高洲地区コミュニティ施設改修工事

図 面 目 録

建 築 図						電 気 設 備 図			機 械 設 備 図		
図面番号	図 面 名	SCALE	図面番号	図 面 名	SCALE	図面番号	図 面 名	SCALE	図面番号	図 面 名	SCALE
A－００	表紙・図面目録	N／S	A－２８	現況・改修１階天井伏図	１：１００	E－０１	電気設備工事特記仕様書（R６．４）　１／２	N／S	M－０１	機械設備工事特記仕様書（R６．４）　１／２	N／S
A－０１	建築工事改修特記仕様書（R０６．４）１／９	N／S	A－２９	改修２階天井伏図　２階改修各部詳細図	１：１００ １：２０	E－０２	電気設備工事特記仕様書（R６．４）　２／２	N／S	M－０２	機械設備工事特記仕様書（R６．４）　２／２	N／S
A－０２	建築工事改修特記仕様書（R０６．４）２／９	N／S	A－３０	展開図１	１：５０	E－０３	現況配置図	１：１００	M－０３	機械設備特記仕様書３	N／S
A－０３	建築工事改修特記仕様書（R０６．４）３／９	N／S	A－３１	展開図２	１：５０	E－０４	改修配置図	１：１００	M－０４	機械設備特記仕様書４	N／S
A－０４	建築工事改修特記仕様書（R０６．４）４／９	N／S	A－３２	展開図３	１：５０	E－０５	新設分電盤結線図　発電機仕様	N／S	M－０５	衛生設備＜改修前・改修後＞機器表	N／S
A－０５	建築工事改修特記仕様書（R０６．４）５／９	N／S	A－３３	展開図４	１：５０	E－０６	現況器具表	N／S	M－０６	衛生設備＜改修前＞配置図	１：１００
A－０６	建築工事改修特記仕様書（R０６．４）６／９	N／S	A－３４	展開図５	１：５０	E－０７	改修照明器具姿図（１）	N／S	M－０７	衛生設備＜改修前＞1階平面図	１：５０
A－０７	建築工事改修特記仕様書（R０６．４）７／９	N／S	A－３５	サッシ周囲胴縁改修図　１階土間改修図	１：１００	E－０８	改修照明器具姿図（２）	N／S	M－０８	衛生設備＜改修前＞２階平面図	１：５０
A－０８	建築工事改修特記仕様書（R０６．４）８／９	N／S	A－３６	現況建具位置図	１：１００	E－０９	改修照明器具姿図（３）	N／S	M－０９	衛生設備＜改修後＞配置図	１：１００
A－０９	建築工事改修特記仕様書（R０６．４）９／９	N／S	A－３７	改修建具位置図	１：１００	E－１０	現況１階電灯図	１：５０	M－１０	衛生設備＜改修後＞1階平面図	１：５０
A－１０	建築材料特記仕様書（R０５．１）１／３	N／S	A－３８	建具表（１）	１：５０	E－１１	現況２階電灯図	１：５０	M－１１	衛生設備＜改修後＞２階平面図	１：５０
A－１１	建築材料特記仕様書（R０５．１）２／３	N／S	A－３９	建具表（２）	１：５０	E－１２	改修１階電灯図	１：５０	M－１２	空調設備＜改修前＞機器表	N／S
A－１２	建築材料特記仕様書（R０５．１）３／３	N／S	A－４０	建具表（３）	１：５０	E－１３	改修２階電灯図	１：５０	M－１３	空調設備＜改修後＞機器表	N／S
A－１３	施工条件特記仕様書	N／S	A－４１	建具表（４）	１：５０	E－１４	現況１階コンセント図	１：５０	M－１４	空調設備＜改修前＞1階平面図	１：５０
A－１４	案内図　施設概要	１：２５００	A－４２	現況家具類解体撤去各階平面図 厨房機器配置図	１：１００ １：５０	E－１５	現況２階コンセント図	１：５０	M－１５	空調設備＜改修前＞２階平面図	１：５０
A－１５	仕上表１	N／S	A－４３	現況・改修外構平面図　各部詳細図	１：２００ １：１５０ １：３０	E－１６	現況屋根コンセント図	１：５０	M－１６	空調設備＜改修前＞屋根伏図	１：５０
A－１６	仕上表２	N／S				E－１７	改修１階コンセント図	１：５０	M－１７	空調設備＜改修後＞1階平面図	１：５０
A－１７	現況配置図　仮設計画図	１：１００				E－１８	改修２階コンセント図	１：５０	M－１８	空調設備＜改修後＞２階平面図	１：５０
A－１８	現況１階平面図	１：５０				E－１９	改修屋根コンセント図	１：５０	M－１９	空調設備＜改修後＞屋根伏図	１：５０
A－１９	改修１階平面図	１：５０				E－２０	現況１階弱電図	１：５０	M－２０	換気設備＜改修前・改修後＞機器表	N／S
A－２０	現況２階平面図	１：５０				E－２１	現況２階弱電図	１：５０	M－２１	換気設備＜改修前＞1階平面図	１：５０
A－２１	改修２階平面図	１：５０				E－２２	改修１階弱電図	１：５０	M－２２	換気設備＜改修前＞２階平面図	１：５０
A－２２	現況・改修屋根伏図	１：５０				E－２３	改修２階弱電図	１：５０	M－２３	換気設備＜改修後＞1階平面図	１：５０
A－２３	現況・改修立面図	１：１００				E－２４	現況１階火報図	１：５０	M－２４	換気設備＜改修後＞２階平面図	１：５０
A－２４	改修立面図	１：１００				E－２５	現況２階火報図	１：５０			
A－２５	現況矩計図	１：３０				E－２６	改修１階火報図	１：５０			
A－２６	現況・改修各部断面図１	１：３０				E－２７	改修２階火報図	１：５０			
A－２７	現況・改修各部断面図２	１：３０				E－２８	改修１階発電設備図	１：５０			

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 青島 彰
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	表紙・図面リスト	N.S	Checked by Approved by 青島 彰 Date R07．03．14

青島彰一級建築士事務所
〒426－0037　静岡県藤枝市青木3丁目14番1号　ソフィアビル3F
PHONE　054－643－6118　FAX　054－643－4354
一級建築士登録　第118124号　青島 彰
一級建築士事務所登録（10）第2195号

訂正	
*	*

Number in set：A－００

建築改修工事特記仕様書

第１　工事概要

1　工事名称　高洲地区コミュニティ施設改修工事
2　工事場所　藤枝市高洲　地内
3　敷地面積　711.18　㎡
4　都市計画　○ 都市計画区域内　・ 準都市計画区域内　・ 都市計画区域外
　○ 線引　（ ○ 市街化区域　・ 市街化調整区域　）　・ 非線引
5　用途地域　○第２種中高層地域
6　防火地域　・ 防火地域　・ 準防火地域　○ 指定なし
7　その他の地域・地区　○ 風力係数算定のための地表面粗度区分　（ ○ Ⅱ　・ Ⅲ ）
　○ 風圧力算定のための基準速度　Ｖo＝　32　m/s
　○ 積雪荷重　H12建設省告示1455号における区域　　別表（ ※24　・　　）
　○ 騒音規制法に基づく指定区域　（ ・ １種　○ ２種　・ ３種　・ ４種）

8　建物概要

建物名称	構造・階数	工事種別	建築面積㎡	延べ面積㎡	建設年度	備考
高洲地区コミュニティ施設	Ｓ造 ２階建て	改修	267.31	416.76	H13.11竣工	

9　工事内容
高洲地区コミュニティ施設の内外部改修工事

○第２　仕様

○１　図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和４年版)」(以下「改修標準仕様書」という。)によるほか、下記仕様書のうち、○印を付いたものを適用する。
・ 土木工事共通仕様書
○ 建築工事標準図(令和４年版)（以下「標準詳細図」という。）
○ 建築物解体工事共通仕様書(令和４年版)
○ 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和４年版(以下「標準仕様書」という。)
・ 営繕工事写真撮影要領(令和３年版)、工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編(平成30年版)

2　電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記を適用する。
　なお、電気設備工事の特記仕様書は（　　）図、機械設備工事の特記仕様書は（　　）図による。

○３　設計図の内容に明記がない場合、又は相違ある場合は、原則として監督職員の指示によるほか、次の優先順位により判定する。
(1)質問回答書((2)から(5)までに対するもの)　(2)現場説明書　(3)特記仕様書
(4)別冊の図面　(5)標準仕様書・改修標準仕様書

○４　本特記仕様書の表記
(1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2)特記事項は、○印の付いたものを適用する。
　○印の付かない場合は※印の付いたものを適用する。
　○印と※印の付いた場合は、共に適用とし、適用範囲は図示とする。
(3)特記事項に記載の(　.　.　)及び[　.　.　]内の表示番号は、それぞれ「改修標準仕様書」及び「標準仕様書」の　当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4)受注者は南海トラフ地震に関連する情報（地震）が気象庁から出された場合には、工事中断の措置をとるものとし、これに伴う必要な補強・落下防止等の保全処置を講じなければならない。
　上記事実が発生した場合は、静岡県建設工事請負契約約款第26条(臨機の措置)の規定による。
(5)[G]　印は「静岡県環境物品等の推進に関する基本方針」(以下「基本方針」という。)の公共工事に関わる特定調達品目を示す。
(6)標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令(条例を含む)の改正等により抵触する場合には、関係法令等の遵守(1.1.13)の規定を優先する。

第３　電子納品等

1　納品の仕様等は「静岡県営繕事業に係る情報共有・電子納品運用ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ」による。
2　貸与する設計図CADﾃﾞｰﾀの有無　※ 有り　・ 無し
3　貸与するCADﾃﾞｰﾀの使用範囲
　当該工事のために必要な施工図及び完成図の作成の範囲で使用できる。

１章　各章共通事項

○１　工事実績情報ｼｽﾃﾑ（CORINS）への登録　(1.1.4)
受注時又は契約変更時に工事請負代金額500万円以上の工事について、工事実績情報ｼｽﾃﾑ（CORINS）に登録すること。また、契約変更により工事請負代金額が500万円未満になった場合は、すみやかに契約変更前の工事登録を削除すること。なお、契約金額の変更登録は、完成時のみとする。

○２　工事の一時中止　(1.1.9)
静岡県建設工事請負契約約款第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画書(以下「基本計画書」という。)を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。
なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。
また、工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。

○３　総合施工計画書　(1.2.2)
総合施工計画書(総合仮設計画を含む)を提出すること

○４　各工事の施工計画
○ 仮設工事　○ 防水改修工事　○ 外壁改修工事　○ 建具改修工事
○ 内装改修工事　○ 塗装改修工事　・ 耐震改修工事
・ 吹付ｱｽﾍﾞｽﾄの除去及び封じ込め工事　○ 解体工事

5　**施工条件**　(1.3.5)
工事用車両の駐車場所　・ 図示
資機材置場　・ 図示

6　**ｼｰﾘﾝｸﾞ材の調査及び撤去**
・ 第一次判定(ｼｰﾘﾝｸﾞ材種の判定)
　日本ｼｰﾘﾝｸﾞ材工業会に次のｼｰﾘﾝｸﾞ材のｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞを送付し、材種の判定を行う。
　判定結果については、監督職員に速やかに報告する。
　ｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞ採取箇所　※ 監督職員との協議による　・ 図示
　採取箇所数　※ 監督職員との協議による　・　　箇所
　採取方法は「PCB含有判定ｼｰﾘﾝｸﾞ材ｻﾝﾌﾟﾙ採取ﾏﾆｭｱﾙ(日本ｼｰﾘﾝｸﾞ材工業会)」を参考にすること。

・ 第二次判定　（ ・ PCB含有量の判定　・ ｱｽﾍﾞｽﾄ含有量判定　）
　専門分析機関に次のｼｰﾘﾝｸﾞ材のｻﾝﾌﾟﾙを送付し、含有量の分析を行う。なお、分析ｻﾝﾌﾟﾙの四周は除去し、採取部の内部(大気にさらされていない部分)を取り出して分析する。判定結果については、監督職員に速やかに報告する。
　ｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞ採取箇所　（　　）　採取箇所数　（　　）

　散去方法
・ 「標準施工要領書(日本ｼｰﾘﾝｸﾞ工事業協同組合連合会/日本ｼｰﾘﾝｸﾞ材工業会)」による。
・ 石綿含有成形板の除去に準じる
　撤去範囲　※ 図示　・

○７　発生材の処理等　(1.3.12)
次の物品は、PCBの混入が疑われるため、専門の分析機関に依頼し、その有無を確認する。
・ 昭和47年以前の建築物：ｽﾀﾞﾘｯﾁﾙﾌｧｲﾄﾞ系ｼｰﾘﾝｸﾞ

・ 引渡しを要するもの　（ ・ 金属類　・ PCB含有物　・　　・　　）
・ 特別管理産業廃棄物　（ ・ 廃石綿　・ 鉛含有物　・　　・　　）
・ 現場において再利用を図るもの　（ ・　　・　　）
・ せっこうｽﾎﾞｰﾄﾞ
　ⅰ）　廃せっこうｽﾎﾞｰﾄﾞの裏面の表示を確認し、石綿、七素、ｶﾄﾞﾐｳﾑを含有するか又は、含有していないことが確認できない場合は、各製造工場に問合せの上、適切に処理する。
　ⅱ）　石綿含有せっこうｽﾎﾞｰﾄﾞ　　9章による
○ その他の含有物質　（アスベスト、外壁サイディング）
・ 特殊な建設副産物　・ ﾌﾛﾝ　・ ﾊﾛﾝ　・ 六ﾌｯ化硫黄(SF6)ｶﾞｽ　・ PFOS(ﾍﾟﾙﾌﾙｵﾛ)　・ ｲｵﾝ化式感知器
　位置　（※図示　・　　）

○８　産業廃棄物管理票
(財)日本産業廃棄物処理振興ｾﾝﾀｰ（http://www.jwnet.or.jp）が運営する「情報処理ｾﾝﾀｰの登録（電子ﾏﾆﾌｪｽﾄ）により行うこと。これにより難い場合は監督職員と協議する。

○９　建設副産物情報交換システム
本工事の情報を「建設副産物情報交換ｼｽﾃﾑ（COBRIS）」へ登録するものとし、総合施工計画書作成時、工事完了時及び登録情報に変更が生じた場合には、それぞれ速やかにﾃﾞｰﾀ入力を行う。また、同ｼｽﾃﾑにより、工事着手時に再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書及び建設副産物情報交換ｼｽﾃﾑ工事登録証明書を、工事完了時に同計画書の実施報告書（書式は同一）を作成し、監督職員に提出する。

○10　特定建設資材の再資源化等
本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」第9条による分別解体等実施義務の対象建設工事となることが想定されるため、同法に基づき分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施について適切な措置を講ずる。
ただし、工事契約後に明らかになったやむを得ない事情により、工事契約時に予定していた条件により難い場合は、監督職員と協議する。
また、分別解体・再資源化等の完了時に、再資源化等が完了した年月日、再資源化等をした施設の名称及び所在地、再資源化等に要した費用を書面にて監督職員に報告する。

○ 分別解体の方法

工事の種類	工程	作業内容	分別解体等の方法
新営、増築、改修工事	(1)造成等、基礎ぐい	左記の工事	※ 手作業　・ 手作業・機械作業の併用
	(2)基礎		※ 手作業　・ 手作業・機械作業の併用
	(3)上部構造部分・外装		※ 手作業　・ 手作業・機械作業の併用
	(4)屋根		※ 手作業　・ 手作業・機械作業の併用
	(5)建築設備・内装等		※ 手作業　・ 手作業・機械作業の併用
	(6)その他（　　）		※ 手作業　・ 手作業・機械作業の併用

工事の種類	工程	作業内容	分別解体等の方法
解体工事	(1)建築設備、内装材等	左記の取り外し	手作業
	(2)屋根ふき材		手作業
	(3)外装材、上部構造部分	左記の取り壊し	手作業・機械作業の併用
	(4)基礎、基礎ぐい		手作業・機械作業の併用
	(5)その他（　　）		手作業・機械作業の併用

・ 特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等をする施設

特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地
・ｺﾝｸﾘｰﾄ		
・鉄及びｺﾝｸﾘｰﾄから成る建設資材		
・ｱｽﾌｧﾙﾄ、ｺﾝｸﾘｰﾄ		
・建設発生木材		

通知に係る事項の説明時に上記と異なる施設(同種の再資源化等を行う施設に限る)を受注者が提示した場合は、当該施設に搬出することができる。ただし、当該施設への変更については設計変更の対象としない。

○11　環境への配慮　(1.4.1)
(1)建築物内部に使用する材料等は、設計図書に所要の品質及び性能を有すると共に、次のアからエを満たすものとする。
　ア　合板、木質系ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ、構造用ﾊﾟﾈﾙ、集成材、単板積層材、MDF、ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ、その他の木質建材、ﾕﾘｱ樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗料は、ﾌｫﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ及びｽﾁﾚﾝを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
　イ　接着剤及び塗料は、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ及びｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝの含有量が少ない材料を使用する。
　ウ　接着剤は、可塑性(ﾌﾀﾙ酸ｼﾞ-n-ﾌﾞﾁﾙ及びﾌﾀﾙ酸ｼﾞ-2-ｴﾁﾙﾍｷｼ等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。
　エ　アの材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｱｾﾄﾌｪﾉﾝﾋﾄﾞ及びｽﾁﾚﾝを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
(2)設計図書に規定する「ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次のアヌはイに該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次のウヌはエに該当する材料を指す。
　ア　建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ発散建築材料以外の材料
　イ　建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
　ウ　建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ発散建築材料
　エ　建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

○12　材料の品質等　(1.4.2)
(1)　本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
(2)　備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。
(3)　標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
(4)　本工事に使用する材料のうち(5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料(外部機関が発行する証明書の写し等)を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。
　①品質及び性能に関する試験データを整備していること。
　②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
　③安定的な供給が可能であること。
　④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
　⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
　⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。
(5)　製造業者等に関する資料の提出を求める材料
・ 鉄骨柱下無収縮ﾓﾙﾀﾙ　・ 無収縮ｸﾞﾗｳﾄ材　・ 乾式保護材(防水立上り部)
・ 既調合ﾓﾙﾀﾙ(ﾀｲﾙ工事用)　・ 既調合目地材　・ ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ　・ 吸水調整材
・ 錠前類　・ ｸﾛｰｻﾞｰ類　・ 自動扉機構　・ 自閉式上吊り引き戸機構(手動開き式)
・ 重量ｼｬｯﾀｰ　・ 軽量ｼｬｯﾀｰ　・ ｵｰﾊﾞｰﾍｯﾄﾞﾄﾞｱ　・ 防水剤
・ 現場発泡断熱材(特定ﾌﾛﾝによるものを除く)　・ ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ　○ 可動間仕切り
・ 移動間仕切り　○ トイレﾌﾞｰｽ　・ 煙突用成形ﾗｲﾆﾝｸﾞ材　○ 天井点検口　・ 床点検口
・ ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ　・ 屋上緑化用ｼｽﾃﾑ　・ ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ　・ ｴﾎﾟｷｼ樹脂
・ ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ　・ 鋳鉄製ふた

○13　材料の検査等
現場に搬入したすべての材料について、自主検査記録(任意様式)を提出すること。ただし、下表に掲げ材料については監督職員の検査を受ける。
なお、監督職員の検査の結果、合格した材料と同じ種別の材料は以後原則として抽出検査とする。
また、製造工場等における材料検査を行う工事材料は監督職員の指示による。

材料名称

仮設工事
・
・
土工事
※ 埋め戻し、盛土材
・
・
地業工事
・ 砕石
※ 杭
・ 杭施工混和材
・ 溶接材料
・ 杭頭補強筋
・ 地盤改良材
・
・
鉄筋工事
※ 鉄筋
・ 溶接金網
・ ｽﾀｰﾌﾟ補強筋(既製品)
・
・
ｺﾝｸﾘｰﾄ工事
・ 型枠
・ 特殊型枠(ﾌﾗｯﾄﾃﾞｯｷ他)
※ ｺﾝｸﾘｰﾄ
・ ｾﾒﾝﾄ
・ 骨材
・ 水
・ 混和材
・
・
鉄骨工事
※ 鋼材
・ 高力ﾎﾞﾙﾄ、普通ﾎﾞﾙﾄ
・ ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ
・ ｽﾀｯﾄﾞ
・ ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ
・ 溶接材料
・ 耐火被覆材
・ 溶融亜鉛めっき
・
・
・
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾟﾛｯｸ他工事
・ ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ
・ ALCﾊﾟﾈﾙ
・ 押出成形ｾﾒﾝﾄ板
・
・
・

防水工事
○ 防水材
・ 断熱材、接着剤
・ ｼｰﾘﾝｸﾞ材
・
・
石、ﾀｲﾙ工事
・ 石材
・ 取付金物
・ ﾀｲﾙ
・ ﾀｲﾙ張付け用材料
・
・
木工事
○ 木材
・ 集成材
・
・
・
屋根、とい工事
・ 長尺金属板
・ 折板
・ 粘土瓦
・ とい
・
・
・
金属工事
・ 金属製品
・ 軽量鉄骨天井下地
・ 軽量鉄骨壁下地
・ あと施工ｱﾝｶｰ
・
・
・
左官工事
・ ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ材
・ 仕上塗材
・ ﾛｯｸｳｰﾙ
・
・
・
建具工事
○ ｱﾙﾐ製、鋼製建具
○ 木製建具
・ 建具用金物
・ ｶﾞﾗｽ
・ ｼｬｯﾀｰ
・
・
ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事
・
・

塗装工事
○ 塗料
・
・
内装工事
○ ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ
・ ｶｰﾍﾟｯﾄ
・ 合成樹脂塗床材
・ ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ
・ 畳
○ せっこうｽﾎﾞｰﾄﾞ
○ 壁紙
・ 断熱、防露材
・
・
ﾕﾆｯﾄ、その他工事
・ ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ
○ 可動間仕切
○ トイレﾌﾞｰｽ
・
・
排水工事
・ 排水管
・ 排水枡
・
・
舗装工事
・ 路床
・ 路盤材
・ ｱｽﾌｧﾙﾄ
・ ｺﾝｸﾘｰﾄ
・ ﾌﾞﾛｯｸ系舗装材
・
・
植栽工事
・ 樹木
・ 芝、吹付けは種、地被類
・ 支柱材
・ 肥料、土壌改良剤
・
・

監督職員の検査を受けて使用すべきとされた材料であっても、設計図書に定めるJIS又はJASのﾏｰｸ表示のある材料並びに規格、基準等の規格証明書が添付された材料で、監督職員の承諾を受けた場合は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとして、取り扱うことができる。

○14　調査のための破壊部分の補修
補修方法　※ 現状復旧　・ 図示

○15　石綿含有建材の調査　(1.5.1)
受注者は石綿含有建材の事前調査を行う。なお、建築物の改修工事で請負代金額の合計額が100万円以上であるもの及び建築物の解体工事で解体部分の床面積が80㎡以上であるものについては、原則として「石綿事前調査結果報告ｼｽﾃﾑ」を用いて調査結果の報告を行い、内容を監督職員へ提出すること。
※石綿事前調査結果報告ｼｽﾃﾑには「gBizID(https://gbiz-id.go.jp)」への登録が必要となる。

調査範囲　※ 図示　・
既存の設計図書　・ 有　・ 無
石綿含有建材の調査報告書の貸与　・ 有　・ 無
調査方法　・ 定性分析　・ 定量分析
分析による石綿含有建材の調査
　分析対象：ｱﾀﾁﾗｲﾄ、ｱﾓｻｲﾄ、ｱﾝｿﾌｨﾗｲﾄ、ｸﾘｿﾀｲﾙ、ｸﾛｼﾄﾞﾗｲﾄ、ﾄﾚﾓﾗｲﾄ
　分析方法(ｻﾝﾌﾟﾙ数：ｻﾝﾌﾟﾙ箇所)

材料名	定性分析(JISA1481-2)	定量分析(JISA1481-3)
	・（　箇所数　：　）	・（　箇所数　：　）
	・（　箇所数　：　）	・（　箇所数　：　）
	・（　箇所数　：　）	・（　箇所数　：　）
	・（　箇所数　：　）	・（　箇所数　：　）

採取箇所　・ 図示　・

○16　地場産品
静岡県中小企業の受注者機会の増大による地域経済の活性化に関する条例に基づき地場産品の使用促進を図ることで地域経済の活性化に寄与することを目的とする。受注者は工事に使用する建設資材等について契約図書に規定する品質が規格値を満足した地場産品の優先使用に努めること。
「地場産品」とは「県産木材」及び「県産品」をいう。
「県産木材」とは「静岡県産材証明制度要綱」第２条に掲げるものをいう。
「県産品」とは建設資材又は製品等で、県内で最終工程が施されたものをいう。

17　技能士　(1.7.2)
一級技能士又は単一等級の資格者を有する者の配置を適用する作業種別

工事種目	技能検定職種	技能検定作業
仮設工事	とび	○ とび作業
鉄筋工事	鉄筋施工	・ 鉄筋組立作業
ｺﾝｸﾘｰﾄ工事	型枠施工	・ 型枠工事作業
	ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送施工	・ ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送工事作業
鉄骨工事	鉄工	・ 構造物鉄工作業
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ、ALCﾊﾟﾈﾙ、押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事	ﾌﾞﾛｯｸ建築	・ ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事作業
	ｴｰｴﾙｼｰﾊﾟﾈﾙ施工	・ ｴｰｴﾙｼｰﾊﾟﾈﾙ工事作業
防水工事	防水施工	・ ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業
		○ ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業
		・ ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業
		・ 合成ｺﾞﾑ系シート防水工事作業
		・ 塩化ﾋﾞﾆﾙ系シート防水工事作業
		・ ｾﾒﾝﾄ系防水工事作業
		○ ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業
		・ 改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄｰﾁｭ法防水工事作業
		・ FRP防水工事作業
石工事	石材施工	・ 石張り作業
ﾀｲﾙ工事	ﾀｲﾙ張り	・ ﾀｲﾙ張り作業
木工事	建築大工	・ 大工工事作業
屋根及びとい工事	建築板金	・ 内外装板金作業
	ｽﾚｰﾄ施工	・ ｽﾚｰﾄ工事作業
金属工事	内装仕上施工	○ 鋼製下地工事作業
	建築板金	・ 内外装板金作業
左官工事	左官	・ 左官作業
建具工事	ｻｯｼ施工	・ ﾋﾞﾙ用ｻｯｼ施工作業
	ｶﾞﾗｽ施工	・ ｶﾞﾗｽ工事作業
	自動ﾄﾞｱ施工	・ 自動ﾄﾞｱ施工作業
ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事	ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ施工	・ 金属製ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事作業
	ｻｯｼ施工	・ ﾋﾞﾙ用ｻｯｼ施工作業
	ｶﾞﾗｽ施工	・ ｶﾞﾗｽ工事作業
塗装工事	塗装	○ 建築塗装作業
内装工事	内装仕上施工	○ ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上げ工事作業
		・ ｶｰﾍﾟｯﾄ系床仕上げ工事作業
		○ ﾎﾞｰﾄﾞ仕上げ工事作業
	表装	○ 壁装作業
排水工事	配管	・ 建築配管作業
舗装工事	路面表示施工	・ 溶解ﾍｲﾄﾊﾟﾄﾞﾏｰｶｰ工事作業
		・ 加熱ﾍｲﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ工事作業
植栽工事	造園	・ 造園工事作業

なお、県内に一級技能士が少ない作業職種は、予め監督職員と協議することができる。

○18　室内空気中の化学物質の濃度測定　(1.7.9)
測定対象室及び測定箇所数
測定対象室　※ 全ての居室、常時換気しない書庫、倉庫　・ 図示
測定箇所数　（　　）箇所

室の床面積A(m2)	A≦50	50＜A≦200	200＜A≦500	500＜A
測定箇所数	1	2	3	4

使用した材料、室の形状、換気設備等の仕様が類似しており、同様の測定結果となることが予想される複数の室については、監督職員と協議の上、そのうちの１室以上を測定する。
測定方法　※ ﾊﾟｯｼﾌﾞ採取による蒸気拡散式分析法
　・ 厚生労働省の標準法
測定物質　ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ、ｽﾁﾚﾝ

対象物質	厚生労働省の指針値（25℃の場合）
ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	0.08ppm（　100μg/m3）
ﾄﾙｴﾝ	0.07ppm（　260μg/m3）
ｷｼﾚﾝ	0.05ppm（　200μg/m3）
ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	0.085ppm（　370μg/m3）
ｽﾁﾚﾝ	0.05ppm（　220μg/m3）

社会福祉施設においては、ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝの測定要否を監督職員と協議すること。
測定者　専門測定機関による測定　※ 現場作業員による測定　・
測定前準備　測定対象室を30分換気し、その後5時間閉鎖する。
測定時　測定前準備・測定時は換気設備又は空気調和設備を稼動させたまま行う。ただし、局所的な換気扇で常時稼動させないものは停止させたままとする。測定時間は、原則として24時間とする。ただし、24時間測定が行えない場合は8時間測定(10時30分～18時30分)とする。
　測定位置は、室中央付近の床から1.2m～1.5mの高さとする。
測定後　測定年月日、測定時刻、測定時の室温・湿度・天候、及び内装仕上げ工事の完了した年月日等を記載すること。

○19　施工図等の取扱い
施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

○20　設備工事との取合い
施工範囲　※ 工事区分表による　・
施工図　設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

○21　検査
中間検査　※ 対象工事　（実施は中間検査実施基準による）　○ 対象外工事

○22　完成時の提出図書　(1.9.1～1.9.3)(表1.9.1)
※ 現場説明書による。

23　重機類
※ 低騒音型　（　　）　・ 低振動型　（　　）　・ 指定無し

○24　設計GL
設計GL　※ 図示

○25　既存部の汚損等
工事施工に際し、既存部分を汚損又は損傷した場合は、構造、仕上げ共、既存にならい補修する。

○26　事故報告
工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、事故発生報告書を監督職員に速やかに提出すること。また建設工事事故報告ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽに登録すること。

○27　異常気象時の報告
異常気象時（大雨警報、暴風警報、大雪警報）及び震度4以上の地震発生時には、現場点検を行い速やかに監督職員に報告する。

○ 28　公共事業労務費調査に対する協力

受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、以下の各号に掲げる協力をしなければならない。また、工期経過後においても同様とする。

(1)調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をしなければならない。

(2)調査票等を提出した事業所を発注者が、事後に訪問して行う調査・指導の対象になった場合には、その実施に協力しなければならない。

(3)正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い就業規則を作成すると共に賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければならない。

(4)対象工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請負工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）が前号と同様の義務を負う旨を定めなければならない。

29　建設発生土の処理　[3.2.5]

・場外指定場所に搬出し、搬出後、監督職員へ搬出先の受入を証明する資料を提出する。

搬出場所　（　　）

受入条件　（　　）

仮置き場　（　　）

土壌汚染のおそれ　・無　・有

分析調査　・無　・有　該当有害物質　（　　）

調査対象　※静岡県盛土等の規則に関する条例施行規則 別表第1の29物質

・場内指定場所に敷き均し　（　・図示　・　　）

・場内指定場所に堆積　（　・図示　・　　）

なお、受注者の提示する運搬距離、処分費及び整地費と異なる場合においても設計変更の対象としない。

静岡県建設発生土マッチングシステム等により他工事現場との調整を行うこと

○ 2章　仮設工事

1　足場その他　(2.1.3)(2.2.1)(表2.2.1)

○ 内部足場の種別　※脚立、足場板等　・

○ 外部足場の種別　・枠組足場　○くさび緊結式足場　・単管本足場

・仮設ｺﾝﾄﾞﾗ　・移動式足場　・

手すり先行足場の設置　※行う　・行わない

工事で設置する足場については、標準仕様書2.2.4(2)によるほか、「手すり先行工法等に関するｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ」（厚生労働省平成21年４月）により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立てや解体等の作業は「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式、又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

屋根面からの墜落事故防止対策として、必要に応じて、JIS A8971（屋根工事用足場及び施工方法）に基づき、建方作業台や墜落防護さく等を設置する。

○ 外部足場の防護ｼｰﾄによる養生

・養生ﾈｯﾄ　・養生ｼｰﾄ（・　Ⅰ類　・Ⅱ類）　・ﾈｯﾄ状養生ｼｰﾄ　（○ Ⅰ類　・Ⅱ類）

騒音・粉じん等の対策　・防音ｼｰﾄ　・防音ﾊﾟﾈﾙ　・

設置範囲　・図示　・

○ 2　材料、搬去材等の運搬　(2.2.1)(表2.2.1)

種別　・A種　・B種　・C種　○D種　○E種

C種　利用可能なエレベーター　（・図示による　・　　）

D種　利用可能な階段　（・図示による　○住宅用階段　）

3　既存部分の養生　(2.3.1)

○ 既存部分の養生方法　※ﾋﾞﾆﾙｼｰﾄ、合板等　・

○ 既存家具、既存設備等の養生方法　※ﾋﾞﾆﾙｼｰﾄ等　・

・工事用通路の養生方法　※ﾋﾞﾆﾙｼｰﾄ等　・

・固定された備品、机、ﾛｯｶｰ等の移動　※図示

・既存ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ、ｶｰﾃﾝ等の養生　※図示

○ 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

4　仮設開仕切り　(2.3.2)

仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所　・図示　・

仮設間仕切りの種別と材質等

種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填
・A種	・せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 種類　・ 厚さ　・　※9.5mm	・無し ・片面	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ32K厚さ50mm以上
・B種	・合板 種類　・ 厚さ　・　※9mm		
・C種	防炎ｼｰﾄ		

仮設間仕切りに設ける扉の材質等

材質	仕上げ	塗装	設置箇所
※木製	※合板張り程度　・	・無し ・片面	・　　箇所 ・図示
・	・		

5　監督職員事務所　(2.4.1)

規模、仕様　・10㎡程度　・既存建物利用　・

備品等(標準仕様書によるほか下記による)

・机　・椅子　・ｺﾞﾑ長靴　・雨がっぱ　・保安帽　・墜落制止用器具　・更衣ﾛｯｶｰ

以上は監督職員　人分

・書棚　・白板　・掛時計　・　寒暖計　・懐中電灯　・受注者加入電話の子機　・消火器

・冷暖房機器　・ﾊﾟｿｺﾝ　(ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ接続：　　)

以上は各１ヶ

6　監理事務所

規模、仕様　・10㎡程度　・既存建物利用　・

備品等

・机　・椅子　・ｺﾞﾑ長靴　・雨がっぱ　・保安帽　・墜落制止用器具　・更衣ﾛｯｶｰ

以上は　人分

・書棚　・白板　・掛時計　・　寒暖計　・懐中電灯　・受注者加入電話の子機　・消火器

・冷暖房機器　・ﾊﾟｿｺﾝ　(ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ接続：　　)

以上は各１ヶ

○ 7　工事用水

構内既存の施設　・利用できない

○ 利用できる（　※有償　・無償　※利用可能口径　　φ　本）

○ 8　工事用電力

構内既存の施設　○ 利用できない

・利用できる（　※有償　・無償　※利用可能電力　　W　回路）

3章　防水改修工事

○ 1　施工数量調査　(1.6.2、3)

○ 調査範囲　・図示　○ 防水改修範囲

○ 調査方法　・図示　○目視

既存部分の破壊を行った場合の補修方法　・図示　・

○ 調査報告書　提出部数　・2部　・

○ 2　降雨等に対する養生方法（とい共）　(3.1.3)

※改修標準仕様書3.1.3(5)(ｱ)～(ｳ)による　・

○ 3　既存防水の処理　(3.1.4)(3.2.3、4、6)

・既存保護層の撤去　範囲　・図示　・

○ 既存防水層の撤去　範囲　・図示　○報告書により範囲を決定、工法は切断撤去増し貼等

・既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去（・M4AS　・M4ASI　・M4C　・M4DI　・L4X　）

4　既存下地の処理　(3.2.6)

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等　・図示　・

POS工法及びPOSI工法(機械的固定方法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理

※改修標準仕様書3.2.6(4)(ｳ)(g)①～③による

設備機器架台、配管受部、ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ、貫通ﾊﾟｲﾌﾟ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理

○ 図示　※監督職員と協議する

5　試験

・施工完了後の満水試験

(ｱｽﾌｧﾙﾄ防水、改質ｱｽﾌｧﾙﾄ防水、合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水、塗膜防水の場合)

6　アスファルト防水　(3.3.2～5)

改修工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	絶縁用ｼｰﾄ
・P2A	・A-1 ・A-2 ・A-3	図示		※ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ 厚さ0.15mm以上 又はﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ 70kg/㎡程度 ・
・P1B	・B-1 ・B-2 ・B-3			
・P2A1	・A1-1 ・A1-2 ・A1-3		(種類) JIS A9521に基づく押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材3種bA(ｽｷﾝ層付き) (厚さ) ・ ・ ・	※ﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ70g/m2程度 ・
・P1B1	・B1-1 ・B1-2			

改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの種類及び厚さ

※標準仕様書3.3.3から表3.3.9による

・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分　・露出単層防水用　・露出複層防水用

・非露出単層防水用　・非露出複層防水用

材料による区分　※R種

厚さ　（　　）mm以上

部分粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの種類及び厚さ

※標準仕様書3.3.3から表3.3.9による

・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分　・露出単層防水用　・露出複層防水用

・非露出単層防水用　・非露出複層防水用

材料による区分　※R種

厚さ　（　　）mm以上

平場の保護ｺﾝｸﾘｰﾄの厚さ　こて仕上げ　※水下80mm以上　・

床ﾀｲﾙ張り　※水下60mm以上　・

立上り部の保護工法

・乾式保護材　(品質、性能、試験方法)建築材料等品質性能表による

窯業系ﾊﾟﾈﾙⅠ類　（厚さ　(mm)　幅　(mm)）

・れんが押え　（※JIS R 1250　・　　）

・コンクリート押え

・モルタル押え(屋内)

屋根露出防水

工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用[G]	備考
・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・ ・ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様による	・ ・ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様による	・	
・M3D ・P0D	・D-1 ・D-2			・ ・ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様による	・ ・ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない
・P0D1 ・N3D1 ・N4DI	・D1-1 ・D1-2		改修標準仕様書3.3.2(9) (種類) (厚さ) ・	・ ・ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様による	・ ・ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない

改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による

・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分　・露出単層防水用　・露出複層防水用

・非露出単層防水用　・非露出複層防水用

材料による区分　※R種

厚さ　（　　）mm以上

部分粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの種類及び厚さ

※標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による

・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分　・露出単層防水用　・露出複層防水用

・非露出単層防水用　・非露出複層防水用

材料による区分　※R種

厚さ　（　　）mm以上

屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量

種類　※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の指定

脱気装置　・　個

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置

※図示　・

屋内防水

工法	種別	施工箇所	保護層
・P1E ・P2E	・E-1 ・E-2		・設ける　（※図示　・　　） ・設けない

E-1の工程3を行う部位　※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位　・

押え金物の材質、形状及び寸法　※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 L-30×15×2.0mm程度　・

屋上排水溝　※図示　・

7　改質アスファルトシート防水　(3.4.2、3)

屋根露出防水(既存)

新設防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用[G]	備考
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2			・ ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ製造所の仕様による	・ ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ製造所の仕様による	・	
・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1			・ ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ製造所の仕様による	・ ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない
・P0AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			・ ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ製造所の仕様による	・ ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない
・M3ASI	・ASI-T1 ・ASI-J1		改修標準仕様書3.4.2(3)(ｲ) (種類) ・ (厚さ) ・	・ ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ製造所の仕様による	・ ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない

改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分　・露出単層防水用　・露出複層防水用

・非露出単層防水用　・非露出複層防水用

材料による区分　※R種

厚さ　（　　）mm以上

粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分　・露出単層防水用　・露出複層防水用

・非露出単層防水用　・非露出複層防水用

材料による区分　※R種

厚さ　（　　）mm以上

部分粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分　・露出単層防水用　・露出複層防水用

・非露出単層防水用　・非露出複層防水用

材料による区分　※R種

厚さ　（　　）mm以上

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法

※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 L-30×15×2.0mm程度

・

屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量

種類　※改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ製造所の指定

設置数量　※改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ製造所の指定　・　個

・絶縁断熱工法の防湿用シートの設置

8　合成高分子ルーフィング防水　(3.5.2～4)(表3.5.1～3)

新設防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用[G]	備考
・P0S	・S-F1	図示		・ ・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ製造所の仕様による	・ ・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ製造所の仕様による	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない
・S4S	・S-F2					・適用する	
	・S-M1			・ ・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ製造所の仕様による	・ ・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ製造所の仕様による	・適用する	
	・S-M2					・適用する	
・S3S	・S-F1			・ ・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ製造所の仕様による	・ ・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ製造所の仕様による	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない
	・S-F2					・適用する	
・M4S	・S-M1			・ ・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ製造所の仕様による	・ ・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ製造所の仕様による	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない
	・S-M2					・適用する	
・S3SI	・SI-F1		改修標準仕様書3.5.2(3)(ｴ)(b) (種類) ・ (厚さ) ・25mm　・50mm ・	・ ・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ製造所の仕様による	・ ・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ製造所の仕様による	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない
	・SI-F2					・適用する	
	・SI-M1		改修標準仕様書3.5.2(3)(ｴ)(a) (種類) ・ (厚さ) ・25mm　・50mm	・ ・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ製造所の仕様による	・ ・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ製造所の仕様による	・適用する	
	・SI-M2					・適用する	

・S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様　※非歩行仕様　・歩行仕様

・S-M1及びSI-M2の場合の防湿用ﾌｨﾙﾑの設置

屋内防水

種別	施工箇所	保護層 平場のﾓﾙﾀﾙ塗厚	保護層 立上がり部の保護ﾓﾙﾀﾙ塗厚
・S-C1			※7mm以下
・P1S			

床塗りの場合の床の目地

目地割り　（・　※2㎡程度（最大目地間隔3m程度））

目地の種類　（・　※押し目地　）

ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による

・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ

種類　・

厚さ　・　mm以上

絶縁用ｼｰﾄ　※発泡ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ　・

固定金具の材質及び寸法形状

※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ｽﾃﾝﾚｽ鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの

・

接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量

種類　※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様による

設置数量　※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様による　・　個

・接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理

・図示による　・

・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ部材の入隅部の増張り(種別S-F1、SI-F1の場合)

・行う（・図示　・　）・行わない

機械的固定工法の場合の一般部のﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの張付け

1章 適用区分による風圧力の　（※1　・1.15　・1.3　）倍の風圧力に対応した工法

○ 9　塗膜防水　(3.6.2、3)

新設防水層の種別

工法	種別	施工箇所	仕上げ塗料 種類	仕上げ塗料 使用量	高日射反射率防水の適用[G]	備考
・P0X	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H	図示	・ ・製造所の仕様による	・ ・製造所の仕様による	・	脱気装置　・設ける ・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ　・設ける ・設けない
○ L4X	○ X-1 ※X-2 ・X-1H ・X-2H		○ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系 ・製造所の仕様による	・ ○ 製造所の仕様による	・	脱気装置　○ 設ける ・設けない

ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水X-1(絶縁工法)の脱気装置の種類及び設置数量

種類　・　※主材料の製造所の仕様による

設置数量　・　個　※主材料の製造所の仕様による

工法	種別	施工箇所	工程数及び各工程の使用量	保護層
・P1Y	※Y-2 ・		・ ※主材料の製造所の仕様による	・設ける ・設けない
・P2Y	※Y-2 ・		・ ※主材料の製造所の仕様による	・設ける ・設けない

○ 10　シーリング　(3.1.4)(3.7.2～8)

ｼｰﾘﾝｸﾞ改修工法の種類
- ○ ｼｰﾘﾝｸﾞ充填工法
- ・ｼｰﾘﾝｸﾞ再充填工法
- ・拡幅ｼｰﾘﾝｸﾞ再充填工法
- ・ﾌﾞﾘｯｼﾞ工法　・ｶﾞﾝﾄﾞﾌﾟﾚｰﾄｰ張り　・ｴｯｼﾞﾝｸﾞ材張り

ｼｰﾘﾝｸﾞ材の種類、施工箇所
下記以外は(表3.7.1)による

施工箇所	ｼｰﾘﾝｸﾞ材の種類(記号)
サッシ周囲	ＭＳ－２

仕上げを行わない施工箇所　・　図示による
シーリング材の目地寸法　※　改修標準仕様書3.7.3(1)による
・　図示による

○ 目地寸法
- 打継ぎ目地　・幅　mm × 深さ　mm 以上　・
- ひび割れ誘発目地　・幅　mm × 深さ　mm 以上　・
- ｶﾞﾗｽ回り目地　・幅　mm × 深さ　mm 以上　・
- その他の箇所　・幅　mm × 深さ　mm 以上　・

○図示
目地位置　※ 図示
ｼｰﾘﾝｸﾞ材の試験
※ 簡易接着性試験　・引張接着性試験

11　とい　(3.8.2、3)(表3.8.1)

といその他の材種
- ・配管用鋼管　・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管　・ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ
- ・表面処理鋼板（表面及び裏面の塗膜の種類　・　）

とい受金物
材種
※ 改修標準仕様書3.8.2による(溶融亜鉛めっきを行ったもの)
・
形状
※ 市販品(とい径100以下)
※ 25mm²以上(とい径100を超えるもの)
取付け間隔
※ 改修標準仕様書3.8.2による
・

足金物
材種
※ 改修標準仕様書3.8.2による(溶融亜鉛めっきを行ったもの)
・
形状
※ 市販品
・
取付け間隔
※ 改修標準仕様書3.8.2による
・

・多雪地域の適用
防露材のｽﾀﾑｱﾙｱﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※ F☆☆☆☆
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法　・図示による
鋼管製といの防露巻き　※ 改修標準仕様書表3.8.4による

ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝの種類及び呼び

種類	呼び	施工箇所
・ろく屋根用たて形Ⅰ型	※ねじ込み式　・80　・100　・125　・150	
・ろく屋根用横形Ⅰ型	※ねじ込み式　・80　・100　・125　・150	
・ﾊﾞﾙｺﾆｰ中継用	※ねじ込み式　・50　・80　・100	
	・差し込み式　・50　・75　・100	
・ﾊﾞﾙｺﾆｰ用	※ねじ込み式　・50　・80　・100	
	・差し込み式　・50　・75　・100	

たてどい受金物の取付け　※ 図示による
ルーフドレンの取付け　※ 水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する

12　アルミニウム製笠木　(3.9.2、3)

種類　・ｵｰﾌﾟﾝ形式　（・押出250形　・押出300形　・押出350形　・図示 ）
・板材折曲げ形　（・ｵｰﾌﾟﾝ形式　・ｼｰﾙ形式 ）
本体幅　（　）mm　板厚　（※ 2.0mm　・　mm ）
表面処理　種別（・　）
色合等　・標準色　（　）　・特注色　（　）
・既存笠木等の撤去　範囲　※ 図示
下地補修の工法　※ 図示　・
板材折曲げ形の笠木の取付方法　※ 図示　・
笠木の固定金具の工法等
1章 適用区分による風圧力の　（ ※ 1　・1.15　・1.3　）倍の風圧力に対応した工法

4章　外壁改修工事（共通事項・材料）

○ 1　施工数量調査　(1.6.2、3)

○ 調査範囲　○外壁改修範囲　・図示の範囲
調査内容（調査内容は壁面へ表示する）

ひび割れ	ひび割れの幅(0.2mm未満、0.2～0.3mm未満、0.3～0.5mm未満、0.5～1.0mm未満、1.0mm以上)及び長さ、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無、及び錆汁の流出の有無を調査する。
浮き	ﾓﾙﾀﾙ塗仕上げ及びﾀｲﾙ張り仕上げについては浮き部分、欠損部の形状、寸法等を調査する。
剥離・剥落	ｺﾝｸﾘｰﾄ表面のはがれ及びはく落部を調査する。
塗り仕上げ	ｺﾝｸﾘｰﾄまたはﾓﾙﾀﾙ表面のはがれ及びはく落部を調査する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。

既存部分の破壊を行った場合の補修方法　・図示　・
○ 調査報告書の部数　※ 1部　○２部
報告書の内容　調査者(氏名、資格等)、調査日、調査結果一覧表、図面、写真等

4-1章　外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁改修）

1　ひび割れ部改修工法　(4.1.4)(4.2.4～8)

・樹脂注入工法(ひび割れ幅0．2以上～1．0mm以下の場合に適用)

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
※ 自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※ 200～300	・130
・手動式ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・　50～100	・　40　・
・機械式ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	・100～200	・　70
	0.5以上～1.0以下	・150～250	・130　・

注入状況の確認方法　※ ｺﾞ抜取を行う　・
抜取り個数　※ 長さ500mごと及びその端数につき１個　・
抜取り部の補修方法　※ 図示

・ﾋｯﾄｼｰﾙ材充填工法(ひび割れ幅1.0mm超の場合に適用)
- ・ｼｰﾘﾝｸﾞ材　充填材料の種類　※ 1成分形又は2成分形ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系　・
- ・ｼｰﾘﾝｸﾞ材のうえにﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙの充填　・行う　・行わない
- ・可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂

・ｼｰﾙ工法(ひび割れ幅0.2mm未満の場合に適用)
- ・ﾊﾟﾃ状ｴﾎﾟｷｼ樹脂　・可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂

2　欠損部改修工法　(4.1.4)(4.2.4、7)

・鉄筋等の防錆処理　処理方法　※ 図示
※ 充填工法　（・ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ　・ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ　）

4-2章　外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁改修）

1　既存モルタル塗りの撤去
・行う（ ※ 全面　・図示の範囲　）　・行わない
撤去後の処置　「4-1.1ひび割れ部改修工法」の後、「4-3.3欠損部改修」を行う。

2　ひび割れ部改修工法　(4.1.4)(4.3.5～8)

・既存モルタル塗りの撤去　範囲　※ 図示

・樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
※ 自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※ 200～300	・130
・手動式ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・　50～100	・　40　・
・機械式ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	・100～200	・　70
	0.5以上～1.0以下	・150～250	・130　・

注入状況の確認方法　※ ｺﾞ抜取を行う　・
抜取り個数　※ 長さ500mごと及びその端数につき１個　・
抜取り部の補修方法　※ 図示

・ﾋｯﾄｼｰﾙ材充填工法(ひび割れ幅1.0mm超の場合に適用)
- ・ｼｰﾘﾝｸﾞ材　充填材料の種類　※ 1成分形又は2成分形ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系　・
- ・ｼｰﾘﾝｸﾞ材のうえにﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙの充填
- ・可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂

・ｼｰﾙ工法(ひび割れ幅0.2mm未満の場合に適用)
- ・ﾊﾟﾃ状ｴﾎﾟｷｼ樹脂　・可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂

3　欠損部改修工法　(4.1.4)(4.2.9、10)

・鉄筋等の防錆処理　処理方法　※ 図示
・充填工法　（・ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ　・ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ　）
・ﾓﾙﾀﾙ塗替え工法
- ・現場調合材料(セメントは改修標準仕様書8-2 コンクリート工事による)
- ・既調合材料　（　）

既製目地材　・使用する　（形状　※ 図示 ）
仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置　※ 図示　・

4　浮き部改修工法　(4.1.4)(4.3.11～16)

工法の種類	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの本数(本/m2) 一般部	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの本数(本/m2) 指定部	注入口の箇所数(箇所/m2) 一般部	注入口の箇所数(箇所/m2) 指定部	注入量(ml/箇所)
・ｱﾝｶｰﾋﾟﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	※ 16　・	※ 25　・			※ 25　・
・ｱﾝｶｰﾋﾟﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	※ 13　・	※ 20　・	※ 12　・	※ 20　・	※ 25　・
・ｱﾝｶｰﾋﾟﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入工法	※ 13　・	※ 20　・	※ 12　・	※ 20　・	※ 50　・
・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	※ 9　・	※ 16　・			※ 25　・
・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	※ 9　・	※ 16　・	※ 9　・	※ 16　・	※ 25　・
・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入工法	※ 9　・	※ 16　・	※ 9　・	※ 16　・	※ 50　・
・充填工法					
・ﾓﾙﾀﾙ塗替え工法					

ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの材質
※ ｽﾃﾝﾚｽ鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの　・
注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの材質
※ ｽﾃﾝﾚｽ鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度　・

注入工法用材料
・ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ

広がり速度 (cm/s)	長さ変化量 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm²)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm²)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm²)
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上

保水係数　0.35～0.55
粘調係数　0.50～1.00

充填工法用材料
- ・ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ
- ・ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ

ﾓﾙﾀﾙ塗替え工法用材料
- ・現場調合材料(ｾﾒﾝﾄは改修標準仕様書8-2 コンクリート工事による)
- ・既調合材料　（　）

既製目地材　・使用する　（形状　※ 図示 ）
仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置　※ 図示　・

4-3章　外壁改修工事（タイル張り仕上げ外壁改修）

1　既存タイル張りの撤去
・行う　（ ※ 外壁ﾀｲﾙ張り全面　・図示の範囲　）　・行わない
撤去範囲　※ 下地ﾓﾙﾀﾙまで　・張付けﾓﾙﾀﾙまで　・ﾀｲﾙのみ

撤去後の処置
- ・「4-1.1ひび割れ部改修工法」の後、「4-3.3欠損部改修」を行う。
- ・「4-2.2ひび割れ部改修工法」の後、「4-3.3欠損部改修」を行う。

ﾀｲﾙの形状、寸法

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材の適用[G]	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施釉	無釉	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
・見本焼き　（ 施工箇所　）
・試験張り　（ 範囲、仕様等は図示による ）

2　ひび割れ部改修工法　(4.1.4)(4.4.5、6)

・樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
※ 自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※ 200～300	・130
・手動式ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・　50～100	・　40　・
・機械式ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	・100～200	・　70
	0.5以上～1.0以下	・150～250	・130　・

注入状況の確認方法　※ ｺﾞ抜取を行う　・
抜取り個数　※ 長さ500mごと及びその端数につき１個　・
抜取り部の補修方法　※ 図示

3　欠損部改修工法　(4.1.4)(4.4.5、7、8)

1か所当たりの張替え面積が0.25m²を超える場合の工法　・図示による

・ﾀｲﾙ部分張替え工法
接着剤の種類
- ・ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ
- ・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成ｼﾘｺｰﾝ樹脂系

・ﾀｲﾙ張替え工法
張替え用材料
- ・接着剤：JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成ｼﾘｺｰﾝ樹脂系
- ・張付けﾓﾙﾀﾙ（・現場調合材料　・既調合ﾓﾙﾀﾙ）

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
※ 改修標準仕様書表4.4.2による　・図示

・外装ﾀｲﾙ張り下地等の下地ﾓﾙﾀﾙ及び下地調整材塗りの接着力試験

・ｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙによるﾀｲﾙ（ｾﾗﾐｯｸﾀｲﾙ）張り
下地ﾓﾙﾀﾙ塗りを行うｺﾝｸﾘｰﾄ素地面の処理
・目荒らし工法（改修標準仕様書4.3.10による　・

ﾀｲﾙ張りの工法
外装ﾀｲﾙ　・密着張り　・改良圧着張り
ﾕﾆｯﾄﾀｲﾙ　・ﾏｽｸ張り　・ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ張り
ｼｰﾘﾝｸﾞ　改修特記仕様書３章　防水改修工事による

・有機系接着剤によるﾀｲﾙ（ｾﾗﾐｯｸﾀｲﾙ）張り
下地ﾓﾙﾀﾙ塗りを行うｺﾝｸﾘｰﾄ素地面の処理
・目荒らし工法（改修標準仕様書4.3.10(3)）による　・

ｼｰﾘﾝｸﾞ材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地　※ ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系　・
伸縮調整目地その他の目地　※ 変成ｼﾘｺｰﾝ系　・
ｼｰﾘﾝｸﾞのその他事項は、改修特記仕様書３章　防水改修工事による

4　浮き部改修工法　(4.1.4)(4.4.5)(4.5.9～15)

工法の種類	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの本数(本/m2) 一般部	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの本数(本/m2) 指定部	注入口の箇所数(箇所/m2) 一般部	注入口の箇所数(箇所/m2) 指定部	注入量(ml/箇所)
・ｱﾝｶｰﾋﾟﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	※ 16　・	※ 25　・			※ 25　・
・ｱﾝｶｰﾋﾟﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	※ 13　・	※ 20　・	※ 12　・	※ 20　・	※ 25　・
・ｱﾝｶｰﾋﾟﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入工法	※ 13　・	※ 20　・	※ 12　・	※ 20　・	※ 50　・
・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	※ 9　・	※ 16　・			※ 25　・
・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	※ 9　・	※ 16　・	※ 9　・	※ 16　・	※ 25　・
・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入工法	※ 9　・	※ 16　・	※ 9　・	※ 16　・	※ 50　・
・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝｸﾞｴﾎﾟｷｼ樹脂注入ﾀｲﾙ固定方法					※ 25　・
・ﾀｲﾙ部分張替え工法					
・ﾀｲﾙ張替え工法					

ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの材質
※ ｽﾃﾝﾚｽ鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの　・
注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの材質
※ ｽﾃﾝﾚｽ鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度　・

・ﾀｲﾙ部分張替え工法
接着剤の種類
- ・ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ
- ・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成ｼﾘｺｰﾝ樹脂系

・ﾀｲﾙ張替え工法
張替え用材料
- ・接着剤：JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成ｼﾘｺｰﾝ樹脂系
- ・張付けﾓﾙﾀﾙ（・現場調合材料　・既調合ﾓﾙﾀﾙ）

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
位置　※ 改修標準仕様書表4.5.1による　・図示

・外装ﾀｲﾙ張り下地等の下地ﾓﾙﾀﾙ及び下地調整材塗りの接着力試験

・ｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙによるﾀｲﾙ（ｾﾗﾐｯｸﾀｲﾙ）張り
下地ﾓﾙﾀﾙ塗りを行うｺﾝｸﾘｰﾄ素地面の処理　・目荒し工法(改修標準仕様書4.3.10(3)による)・
ﾀｲﾙ張りの工法
外装ﾀｲﾙ　・密着張り　・改良圧着張り　・改良積上げ張り
ﾕﾆｯﾄﾀｲﾙ　・ﾏｽｸ張り　・ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ張り
ｼｰﾘﾝｸﾞ　改修特記仕様書３章　防水改修工事による

・有機系接着剤によるﾀｲﾙ（ｾﾗﾐｯｸﾀｲﾙ）張り
ﾓﾙﾀﾙ塗りを行うｺﾝｸﾘｰﾄ素地面の処理　・目荒し工法(改修標準仕様書4.4.9(3)による)　・
ｼｰﾘﾝｸﾞ材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地　※ ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系　・
伸縮調整目地その他の目地　※ 変成ｼﾘｺｰﾝ系　・
ｼｰﾘﾝｸﾞのその他事項は、改修特記仕様書３章　防水改修工事による

5　目地改修工法
・目地ひび割れ部改修工法　(4.1.4)(4.4.16)
・伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地の位置及びｻｲｽﾞ　・図示による
ｼｰﾘﾝｸﾞは、改修特記仕様書３章　防水改修工事による

○4-4章　外壁改修工事（塗り仕上げ外壁改修）

○ 1　既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整　(4.5.4)

工法	処理範囲	下地面の補修
・ｻﾝﾀﾞｰ工法	・既存仕上面全体　・図示	○ ひび割れ部改修工法
○ 高圧水洗工法	○ 既存仕上面全体　・図示	○ 浮き部改修工法
・塗膜はく離剤工法	・既存仕上面全体　・図示	○ 欠損部改修工法
・水洗い工法	・ｻﾝﾀﾞｰ工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上面全面 ・図示	

○ 2　下地調整塗材　(4.5.2)

下地調整　※ 下地調整塗材　・ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ

○ 3　仕上塗材仕上げ　(4.1.5)(4.5.2)(表4.5.1)

○ 新規仕上塗材の種類　○図示による

・薄付け仕上塗材

種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	防火材料
・			・
・			・

・厚付け仕上塗材

種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗り	防火材料
・			・適用する	・
・			・適用する	・

・複層仕上塗材

種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・	・	・	樹脂 ※ ｱｸﾘﾙ ・ 外観 ※ つやあり ・ﾒﾀﾘｯｸ ・ 溶媒 ※ 水系 ・	※ 耐候性3種	・

・可とう形改修用仕上塗材

種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・	・	・	樹脂 ・ 外観 ・ 溶媒 ・	・耐候性1種 ・耐候性2種 ・耐候性3種	・

4　マスチック塗材塗り　(4.1.5)(4.6.2)(表4.6.1)

種別　・A種　・B種

5　外壁用塗膜防水塗り　(4.1.5)(4.7.2、3)(表4.7.1)

仕上げの形状　・
工法　・
仕上塗材の耐候性　・
下地挙動緩衝材の適用　・適用する　・適用しない
ｺﾝｸﾘｰﾄ面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書４章　外壁改修工事（ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放し仕上げ外壁改修）による
ﾓﾙﾀﾙ面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書４章　外壁改修工事（ﾓﾙﾀﾙ塗り仕上げ外壁改修）による
吹付け工法の模様材の種類　・　（ 所要量　(kg/m²) ）
外壁用仕上塗料の種類　・　（ 所要量　(kg/m²) ）
既存塗膜の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書４章　外壁改修工事（塗り仕上げ外壁等改修）による

5章　建具改修工事

○ 1　改修工法　(5.1.3)

建具の種類		かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
○ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具		・	・	○　建具表による　・
・樹脂製建具			・	・　建具表による　・
・鋼製建具	・外部	・	・	・　建具表による　・
	・内部	・	・	・　建具表による　・
・鋼製軽量建具		・	・	・　建具表による　・
・ｽﾃﾝﾚｽ製建具		・	・	・　建具表による　・
○ 木製建具		・	・	○　建具表による　・

○ 新規に建具を設ける場合
　壁部分の開口の開け方　※図示　・
　新規建具周囲の補修工法及び範囲　※図示　・
建具周囲のｼｰﾘﾝｸﾞは、改修特記仕様書3章防水改修工事による

2　防火戸　(5.1.4)
・指定する　　適用箇所　（・　建具表による　・　　）
・指定しない
防火戸の自動閉鎖機構及びﾋｭｰｽﾞ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
　・連動させる（・建具表による　・　　）
　・連動させない

3　見本の製作等　(5.1.5)
・建具見本の製作　　建具符号：
・建具見本の目的等
　・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
　・納まり等が分かる程度のもの
・特殊な建具の仮組　建具符号：

4　防犯建物部品　(5.1.7)
・適用する　（※建具表による　・　　）　・適用しない

○ 5　アルミニウム製建具　(5.2.2～5)(表5.2.2)
性能値等
　耐風圧性の等級　（○S－4　　）
　（建具符号　・建具表による　・　　）
　気密性の等級　（○A－3　　）
　（建具符号　・建具表による　・　　）
　水密性の等級　（○W－4　　）
　（建具符号　・建具表による　・　　）
　外部に面する建具の種別
　　・A種　（建具符号　・建具表による　・　　）
　　○B種　（建具符号　○建具表による　・　　）
　　・C種　（建具符号　・建具表による　・　　）
　枠の見込み寸法
　（○建具表による　・
　防音ドア・防音サッシ
　　遮音性の等級（・　　）
　　（建具符号　・建具表による　・　　）
　断熱ドア・断熱サッシ[G]
　　断熱性の等級（・　　）
　　（建具符号　・建具表による　・　　）
　材料
　　ｽﾃﾝﾚｽ鋼板　※SUS304、SUS430J1L又はSUS443JI　・
　　ｽﾃﾝﾚｽ製のくつずりの仕上げ　※HL
○ 形状及び仕上げ
　○ 表面処理
　　○ 外部に面する建具
　　○ 種別　○BB-1　・　BB-2(改修標準仕様書表5.2.2)
　　着色　・標準色　・　特注色
　　屋内の建具
　　種別　・BC-1　・　BC-2(改修標準仕様書表5.2.2)
　　着色　・標準色　・　特注色
　結露水の処理方法
　　・水貯め式　・排水式
　工法
　　水切り板、ぜん板　※図示による

網戸等　(5.2.3)(5.3.3)

種類	材種	線径	網目
○ 防虫網	※合成樹脂製 ・ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂製 ・ｽﾃﾝﾚｽ（SUS316）製	※　0.25mm以上 ・	※16～18ﾒｯｼｭ ・
・防鳥網	ｽﾃﾝﾚｽ（SUS304）線材	1.5mm	網目寸法　15mm

6　樹脂製建具　(5.2.2)(5.3.2～5)
性能値等
　耐風圧性の等級（　　）
　気密性の等級（　　）
　水密性の等級（　　）
　外部に面する建具の種別
　　・A種　（建具符号　・建具表による　・　　）
　　・B種　（建具符号　・建具表による　・　　）
　　・C種　（建具符号　・建具表による　・　　）
　防音ﾄﾞｱ・防音ｻｯｼ
　　遮音性の等級　（・T-1　　・T-2　）
　　（建具符号　・建具表による　・　　）
　断熱ﾄﾞｱ・断熱ｻｯｼ[G]
　　断熱性の等級　（・H-4　　・H-5　・H-6　・H-7　・H-8　）
　　（建具符号　・建具表による　・　　）
　外部に面する建具の日射熱取得性の等級
　　・
　枠の見込み寸法
　　・建具表による
　　・
材料
　ガラス　※複層ガラス　・
　ｽﾃﾝﾚｽ製のくつずりの仕上げ　※HL　・
形状及び仕上げ
　表面色　・標準色　・特注色
工法
　水切り板、ぜん板　※図示による

7　鋼製建具　(5.2.2)(5.4.2～4)(表5.4.2)
性能値等
　簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄ　・適用する　（建具符号　・建具表による　　）
　　・適用しない
　外部に面する鋼製建具の耐風圧性　耐風圧性の等級（・　　）
　　（建具符号　・建具表による　・　　）
　防音ﾄﾞｱ・防音ｻｯｼ　遮音性の等級（・　　）
　　（建具符号　・建具表による　・　　）
　断熱ﾄﾞｱ・断熱ｻｯｼ[G]　断熱性の等級（・　　）
　　（建具符号　・建具表による　・　　）
　耐震性能
　　建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料
　ｽﾃﾝﾚｽ製くつずりの仕上　※HL
　ｽﾃﾝﾚｽ鋼板　※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1　・
形状及び仕上げ
　鋼板の厚さ　※改修標準仕様書5.4.2による　・　　mm
標準型鋼製建具の形式及び寸法
　※建具表による
　・

8　鋼製軽量建具　(5.2.2)(5.5.2～4)
性能値等
　簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄ　・適用する　（建具符号　・建具表による　　）
　　・適用しない
　防音ﾄﾞｱ・防音ｻｯｼ　遮音性の等級　（・　　）
　　（建具符号　・建具表による　・　　）
　断熱ﾄﾞｱ・断熱ｻｯｼ[G]　断熱性の等級　（・　　）
　　（建具符号　・建具表による　・　　）
　耐震性能
　　建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料
　鋼板の種類　※亜鉛めっき鋼板　・ﾋﾞﾆﾙ被覆鋼板　・ｶﾗｰ鋼板　・ｽﾃﾝﾚｽ鋼板
　ｽﾃﾝﾚｽ鋼板　※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1　・
　召合せ、縦小口包み板の材質　※鋼板　・
　ｽﾃﾝﾚｽ製のくつずりの仕上げ　※HL　・
形状及び仕上げ
　鋼板の厚さ(mm)
　　・改修標準仕様書表5.5.1による
　　・　　mm　使用箇所（　　）
標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法
　※建具表による
　・

9　ステンレス製建具　(5.2.2)(5.4.2)(5.6.2～5)
性能値等
　簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄ　・適用する　(適用箇所　※図示　)
　　・適用しない
　外部に面する建具の耐風圧性　耐風圧性の等級　（・　　）
　　（建具符号　・建具表による　・　　）
　防音ﾄﾞｱ・防音ｻｯｼ　遮音性の等級　（・　　）
　　（建具符号　・建具表による　・　　）
　断熱ﾄﾞｱ・断熱ｻｯｼ[G]　断熱性の等級　（・　　）
　　（建具符号　・建具表による　・　　）
　耐震性能
　　建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料
　ｽﾃﾝﾚｽ鋼板　※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1　・
　ｽﾃﾝﾚｽ製のくつずりの仕上げ　※HL　・
形状及び仕上げ
　表面仕上げ　※HL　・鏡面仕上げ　・
工法
　ｽﾃﾝﾚｽ鋼板の曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ

○ 10　木製建具　(5.7.2～4)
建具材の加工、組立時の含水率　※A種　・
建物内部の木製建具に使用する接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆

○ ﾌﾗｯｼｭ戸
表面材のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量等　※改修標準仕様書5.7.2(2)(イ)(a)による

○ 表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・普通合板[G]	表面の樹種　・ 板面の品質（※広葉樹1等　・　　） 接着の程度（・1種　・2種　）	
・天然木化粧合板[G]	樹種名（　　） 接着の程度（・1種　・2種　）	
○ 特殊加工化粧合板[G]	化粧加工の方法 ※プリント ○ ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・ 接着の程度（・1種　・2種　）	
・MDF[G]		

表面板の厚さ　※改修標準仕様書表5.7.6による
・引戸の召合わせかまちのいんろう付きの適用

・かまち戸　樹種（　　）　鏡板樹種（　　）
　見込み寸法　※36mm　・建具表による
・ふすま　張りの種別　（・Ⅰ形　・Ⅱ型　）
　上張り（押入等の裏側以外）　・島の子　・新島の子又はﾋﾞﾆﾙ紙程度
　縁仕上　・塗り縁　・生地縁（素地）　・生地縁（ｸﾚﾀﾝｸﾘﾔｰ塗装）
　見込み寸法　※19.5mm　・建具表による
・戸ぶすま　表面板の仕上　・建具表による
　見込み寸法　※30mm　・建具表による
・紙張り障子　見込み寸法　※30mm　・建具表による

枠、くつずりの材料　・建具表による

○ 11　建具用金物　(5.8.2、3)
金物の種類・見え掛り部の材質等　※改修標準仕様書表5.8.1による
金属製建具用丁番の枚数及び大きさ　※改修標準仕様書表5.8.2による　・建具表による
樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ　※改修標準仕様書表5.8.3による　・建具表による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ　※改修標準仕様書表5.8.4による　・建具表による
木製建具に使用する戸車及びレール　※改修標準仕様書表5.8.5による　・建具表による
握り玉、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、押板類、ｸﾚｾﾝﾄの取付位置　建具表による
・錠前類【ｼﾘﾝﾀﾞ箱錠及びｼﾘﾝﾀﾞ本締り錠】　別表による
・ｸﾛｰｻﾞ類　別表による

○ 12　鍵　(5.8.4)
○ ﾏｽﾀｰｷｰ　・製作する　○既存のﾏｽﾀｰｷｰに合わせる　・製作しない
　その他の鍵の製作本数　※3本1組　・
○ 鍵箱　○有　・無

13　自動ドア開閉装置　(5.9.2、3)
戸の開閉方式
　・建具表による
・引き戸用駆動装置
　性能値
　　※改修標準仕様書表5.9.1による（・防錆の適用　）
　　・以下による
　　種類・開閉方式（　　）
　　耐電圧（　　）
　　温度上昇（　　）
　　耐久性(ﾘﾀｲｸﾙ)（　　）
　　防錆（　　）
　　電源（　　）
・多機能ﾄﾚｲ出入口引き戸用駆動装置
　性能値
　　※改修標準仕様書表5.9.2による（・防錆の適用　）
　　・以下による
　　耐電圧（　　）
　　温度上昇（　　）
　　耐久性(ﾘﾀｲｸﾙ)（　　）
　　防錆（　　）
　　電源（　　）
・引き戸用検出装置
　性能値
　　※改修標準仕様書表5.9.3による（・防錆の適用　）
　　・以下による
　　耐電圧（　　）
　　温度上昇（　　）
　　防錆（　　）
　　電源（　　）
引き戸用検出装置の種類
　・建具表による
　・
タッチスイッチの種類
　・無線式タッチスイッチ
　・光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便房スイッチの種類
　・大形押しボタンスイッチ
　・非接触スイッチ
凍結防止措置　・行う　・行わない

14　自閉式上吊り引戸装置　(5.10.3)
性能値等
　※改修標準仕様書表 5.10.1 による
　・以下による（　　）
　手動開き力（　　）
　手動閉じ力（　　）
　閉じ速度の調整（　　）
　制動区間（　　）
　開閉繰返し（　　）
　耐衝撃性（　　）

15　重量シャッター　(5.11.2、3)
ｼｬｯﾀｰの種類　・管理用ｼｬｯﾀｰ
　・外壁用防火ｼｬｯﾀｰ
　・屋内用防火ｼｬｯﾀｰ
　・防煙ｼｬｯﾀｰ
外壁開口部に設ける重量ｼｬｯﾀｰの耐風圧強度（　　）Pa
開閉方式の種類　※上部電動式(手動併用)　・手動式
安全装置
　電動ｼｬｯﾀｰの急降下停止装置、急降下制動装置（設置個所　・建具表による　・　　）
　電動ｼｬｯﾀｰの障害物感知装置
　　※設ける　（設置個所　・建具表による　・　　）
　　・設けない　（設置個所　・建具表による　・　　）
　屋内用防火ｼｬｯﾀｰ若しくは防煙ｼｬｯﾀｰの危害防止機構
　　※設ける　（設置個所　・建具表による　・　　）
　　・設けない　（設置個所　・建具表による　・　　）
管理用ｼｬｯﾀｰのｼｬｯﾀｰｹｰｽ
　・設ける　・設けない
ｽﾗｯﾄ及びｼｬｯﾀｰｹｰｽ用鋼板
　鋼板の種類
　　・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
　　・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯)
　めっきの付着量
　　※Z12またはF12
　　・
ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ類のふたの材質
　ｽﾃﾝﾚｽ鋼板
　　※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
　　・

16　軽量シャッター　(5.12.2～4)
開閉方式の種類　※手動式　・電動式(手動併用)
耐風圧強度(　　) Pa
安全装置
　電動ｼｬｯﾀｰの障害物感知装置　（設置個所　・建具表による　・　　）
ｽﾗｯﾄの材質の種類　・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
　　めっきの付着量(※Z06またはF06　・　　)
　　・JIS G 3322(塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑｰ亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)
　　めっきの付着量(※AZ90　・　　)
ｽﾗｯﾄの形状　・ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ形　・ｵｰﾊﾞｰﾗｯﾌﾟﾝｸﾞ形

17　オーバーヘッドドア　(5.13.2、3)

ｾｸｼｮﾝ材による区分	耐風圧性能の区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙの材料
※ｽﾀｰﾙﾀｲﾌﾟ ・ｱﾙﾐﾆｳﾑﾀｲﾌﾟ ・ﾌｨｯﾊﾞｰｸﾞﾗｽﾀｲﾌﾟ	・50 ・75 ・100 ・125	※ﾊﾞﾗﾝｽ式 ・ﾁｪｰﾝ式 ・電動式	・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ形 ・ﾛｰﾍｯﾄﾞ形 ・ﾊｲﾘﾌﾄ形 ・ﾊﾞｰﾃｶﾙ形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ｽﾃﾝﾚｽ鋼板

障害物感知装置を設けた電動式ｼｬｯﾀｰの設置箇所　・図示　・

○ 18　ガラス　(5.14.2～4)
・ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽの品種及び厚さの呼びによる種類　※建具表による
○ 型板ｶﾞﾗｽの厚さによる種類　※建具表による
・網入板ｶﾞﾗｽ及び線入板ｶﾞﾗｽの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
　※建具表による

・合わせｶﾞﾗｽ
　材料板ｶﾞﾗｽの種類及び厚さの組合せ並びにｶﾞﾗｽの合計厚さによる種類※建具表による　・
　落球衝撃はく離特性並びにｼｮｯﾄﾊﾞｯｸ衝撃特性による種類
　　・Ⅰ類　・Ⅱ-1類　・Ⅱ-2類　・Ⅲ類
・強化ｶﾞﾗｽ
　形状による種類、材料板ｶﾞﾗｽの種類による名称　※建具表による
　破片の状態及びｼｮｯﾄﾊﾞｯｸ衝撃特性による種類　・Ⅰ類　・Ⅲ類
・熱線吸収板ｶﾞﾗｽ
　板ｶﾞﾗｽによる種類、厚さによる種類　※建具表による
　性能による種類　・Ⅰ類　・Ⅱ類　・
○ 複層ｶﾞﾗｽ
　材料板ｶﾞﾗｽの種類及び厚さの組合せ並びに複層ｶﾞﾗｽの厚さ　※建具表による　・
　断熱性による区分　・T1　・T2　・T3　・T4　・T5　・T6
　日射取得性、日射遮蔽性による区分　・G　・S
　乾燥気体の種類　・空気　・ｱﾙｺﾞﾝ
・熱線反射ｶﾞﾗｽ
　材料板ｶﾞﾗｽの種類及び厚さによる種類　※建具表による　・
　日射遮蔽性による区分　・1種　・2種　・3種
　耐久性による区分（日射遮蔽性による区分が2種の場合）・A類　・B類
・倍強化ｶﾞﾗｽ
　材料板ｶﾞﾗｽの種類及び厚さによる種類　※建具表による　・

ｶﾞﾗｽの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ｶﾞﾗｽ留め材	ｶﾞﾗｽ溝の大きさ(mm)
ｱﾙﾐﾆｳﾑ製	○ ｼｰﾘﾝｸﾞ材 ・ｸﾞﾚｲｼﾞﾝｸﾞﾃｰﾌﾟﾝｸﾞ	・図示 ○ 建具の製造所の仕様による ・
鋼製及び鋼製軽量	・ｼｰﾘﾝｸﾞ材 ・	・図示 ・建具の製造所の仕様による ・
ｽﾃﾝﾚｽ製	・ｼｰﾘﾝｸﾞ材 ・	・図示 ・建具の製造所の仕様による
樹脂製	・ｸﾞﾚｲｼﾞﾝｸﾞｶﾞｽｹｯﾄ ・	・図示 ・**建具の製造所の仕様による**

19　ガラスブロック　(5.14.5)

呼び寸法(mm)	厚さ(mm)	色調	目地幅(mm)	伸縮調整目地位置(mm)	防火性能
・160×160	・95 ・				
・200×200	・95 ・				

壁用金属枠及び補強材　※図示
力骨　材質　※ｽﾃﾝﾚｽ鋼(SUS304)　・
　　寸法　※5.5mm　・
　　形状　※はしご形状複筋及び単筋
化粧目地ﾓﾙﾀﾙの色　（・白　・グレー　　）
シーリングの種類　・SR-1　・PS-1
金属製化粧ｶﾊﾞｰ　材質　・ｽﾃﾝﾚｽ製　・ｱﾙﾐﾆｳﾑ製
　　寸法　※図示　・
　　形状　※図示　・
目地部の横力骨の納まり　※ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ製造所の仕様による
　・図示　・
工法　適用区分による風圧力の（※1　・1.15　・1.3　）倍の風圧力に対応した工法

20　ガラス用フィルム

種類	記号 内貼り用	記号 外貼り用	性能等
・日射調整ﾌｨﾙﾑ[G]	・SC-1	・SC-2	
・低放射ﾌｨﾙﾑ	・LE		
・衝撃破壊対応ｶﾞﾗｽ飛散防止ﾌｨﾙﾑ	・GI-1	・GI-2	
・相間変位破壊対応ｶﾞﾗｽ飛散防止ﾌｨﾙﾑ	・GD-1	・GD-1	
・ｶﾞﾗｽ貫通防止ﾌｨﾙﾑ	・SF		

品質　JIS A 5759による。

○6章　内装改修工事

○1　改修範囲 (6.1.3)

○ 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
　※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　○ 図示
○ 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
　※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　・図示
○ 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
　※既存のまま　○ 図示

○2　既存床の撤去及び下地補修 (6.2.2)

ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ等の除去　○ 仕上材のみ(接着剤とも)　・下地ﾓﾙﾀﾙとも　（ ・図示　・除去範囲全て ）
合成樹脂塗床材の除去　・機械的除去工法　・目荒し工法
既存のｺﾝｸﾘｰﾄ又はﾓﾙﾀﾙ面の下地処理に用いるｽﾞﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ及びｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙは、４章外壁改修工事による改修後の床の清掃
　※図示

3　既存壁の撤去及び下地補修 (6.3.2)

間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修
・
※改修標準仕様書4.3.10によるﾓﾙﾀﾙ塗り　（塗り厚25mmを超える場合の処置　※図示　）

○4　施工一般 (6.5.2)

材料のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(ｳ)(b)による

○5　製材[G] (6.5.2)

県内産木材の適用がない場合でも可能な範囲で県内産木材・市販品
　報告：静岡県産材証明制度の「県産材販売管理票」により報告すること
・合法的に生産された木材を使用すること。
　報告：木材・木製品の合法性、持続可能性の証明のためのｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ(平成18年2月15日林野庁作成)
　に準拠した証明書により報告すること
造作材の材面の品質の基準　※ A種　・B種

・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			※ 2級 ・		※ A種 ・B種 ・		・有 ・無
			※ 2級 ・		※ A種 ・B種 ・		・有 ・無
			※ 2級 ・		※ A種 ・B種 ・		・有 ・無

県産木材の適用　・適用する　・適用しない

・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見掛面			※ 上小節 ・		※ A種 ・B種 ・		・有 ・無
見掛面以外			※ 小節以上 ・		※ A種 ・B種 ・		・有 ・無
			※ 2級		※ A種 ・B種 ・		・有 ・無

県産木材の適用　・適用する　・適用しない

・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			※ 1等 ・		※ 10%以下 ・A種 ・B種 ・		・有 ・無
			※ 1等 ・		※ 10%以下 ・A種 ・B種 ・		・有 ・無

県産木材の適用　・適用する　・適用しない

・JAS 1083(製材)以外の製材

施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
		（ ） 造作材の場合 ※A種 ・B種	・適用する ・適用しない	※ A種 ・B種	・有 ・無
		（ ） 造作材の場合 ※A種 ・B種	・適用する ・適用しない	※ A種 ・B種	・有 ・無
		（ ） 造作材の場合 ※A種 ・B種	・適用する ・適用しない	※ A種 ・B種	・有 ・無

県産木材の適用　・適用する　・適用しない

6　造作用集成材[G]

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					※ 1等 ・2等	・有 ・無
					※ 1等 ・2等	・有 ・無
					※ 1等 ・2等	・有 ・無

県産木材の適用　・適用する　・適用しない

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用
		化粧薄板： 芯材：				※ 1等 ・2等	・有 ・無
		化粧薄板： 芯材：				※ 1等 ・2等	・有 ・無
		化粧薄板： 芯材：				※ 1等 ・2等	・有 ・無

県産木材の適用　・適用する　・適用しない

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
		化粧薄板： 芯材：				・有 ・無
		化粧薄板： 芯材：				・有 ・無
		化粧薄板： 芯材：				・有 ・無

県産木材の適用　・適用する　・適用しない

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※ 15%以下 ・	・有 ・無
				※ 15%以下 ・	・有 ・無
				※ 15%以下 ・	・有 ・無

県産木材の適用　・適用する　・適用しない

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				※ 15%以下 ・	・有 ・無

県産木材の適用　・適用する　・適用しない

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				※ 15%以下 ・	・有 ・無

県産木材の適用　・適用する　・適用しない

7　造作用単板積層材[G] (6.5.2)

・JAS 0701に基づく造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
				・適用する ・適用しない	・有 ・無

県産木材の適用　・適用する　・適用しない

・JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材等の適用
				※ 14%以下	・適用する ・適用しない	・有 ・無

県産木材の適用　・適用する　・適用しない

・JAS 3079に基づく直交集成板[G]

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用
							・有 ・無

8　合板等 (6.5.2)

・JAS 0360に基づく構造用パネル
・「合板の日本農林規格」による普通合板[G]

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防煙処理	間伐材等の適用
	※ 5.5 ・		※ 1類 ・2類	広葉樹 ※ 2等以上 ・1等 ・ 針葉樹 ※ C-D以上 ・	・有 ・無	・有 ・無	・有 ・無	・有 ・無

県産木材の適用　・適用する　・適用しない

・「合板の日本農林規格」による構造用合板[G]

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板の品質	厚さ(mm)	防虫処理	強度等級	防虫処理	間伐材等の適用
	※ 2級以上 ・1級		※ 1類 ・特類	※ C-D以上 ・	※ 12 ・	・有 ・無	・有 （ ） ・無	・適用する ・適用しない	・有 ・無

県産木材の適用　・適用する　・適用しない

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板[G]

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			・1類 ・特類	・有 ・無	・有 ・無
			・1類 ・特類	・有 ・無	・有 ・無
			・1類 ・特類	・有 ・無	・有 ・無

県産木材の適用　・適用する　・適用しない

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板[G]

施工箇所	厚さ(mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
			・1類 ・2類	・有 ・無
			・1類 ・2類	・有 ・無
			・1類 ・2類	・有 ・無

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板[G]

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理
		・1類 ・2類			・有 ・無
		・1類 ・2類			・有 ・無
		・1類 ・2類			・有 ・無

・ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ[G]

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)
		※ 13ﾀｲﾌﾟ ・	※ P又はM ・		※ 15 ・
		※ 13ﾀｲﾌﾟ ・	※ P又はM ・		※ 15 ・

・JAS 0360に基づく構造用ﾊﾟﾈﾙ

施工箇所	寸法(mm)

・MDF[G]

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

○9　接合具等 (6.5.3)

造作材の化粧面の釘打ち　※隠し釘打ち
　・釘頭埋め木
　・つぶし頭釘打ち
　・釘頭現し
諸金物　※かすがい、座金、箱金物、短冊金物
　（改修標準仕様書表6.5.3～5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度）
　・　（ 形状：　寸法：　材質： ）

○10　接着剤 (6.5.3、4)

接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆　・

11　防腐・防蟻処理 (6.5.5)

・防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材
　適用部位：（ ）
・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分	
	・K2 ・K3 ・K4	
	・K2 ・K3 ・K4	
	・K2 ・K3 ・K4	

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※ 薬剤の製造所の仕様による ・	※ JIS K 1571に適合又は同等品
	・	

・薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理
　適用部位：（ ）
・合板等の加圧注入処理等の適用
　適用部位：（ ）

12　内部間仕切軸組及び床組み (6.5.6)

間仕切軸組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）　※ 杉又は松　・
床組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）　※ 杉又は松　・

13　窓、出入り口その他 (6.5.7)

窓、出入口その他に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
　※ 吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉　・

○14　軽量鉄骨天井下地 (6.6.2～4)

特定天井　・有（ 仕様、位置は図示による ）○ 適用しない
○ 野縁等の種類　屋外（※ 25形　・19形 ）
　　屋内（※ 19形　・25形 ）
屋外の形式及び寸法
　野縁受、吊りﾎﾞﾙﾄ及びｲﾝｻｰﾄの間隔　・図示　・
　周辺部の端からの間隔　・図示　・
　野縁の間隔　・図示　・

既存の埋込みｲﾝｻｰﾄ　・使用する　・使用しない

・あと施工ｱﾝｶｰの引抜き試験
　（ 試験箇所数：　箇所）※ 屋内の場合、当該階において3箇所
　引張試験にて確認する強度　※ つりボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/㎡以内の天井の場合は400N程度
　・（　N ）
・吊りﾎﾞﾙﾄの間隔が900mmを超える場合の補強方法　※ 図示　・
・天井のふところが3.0mを超える場合の補強方法　※ 図示　・
・天井下地材における耐震性を考慮した補強　補強箇所　※ 図示　・
　補強方法　※ 図示　・

○15　軽量鉄骨壁下地 (6.7.3、4)(表6.7.1)

○ ｽﾀｯﾄﾞ、ﾗﾝﾅｰの種類
　※ 改修標準仕様書表6.7.1によるｽﾀｯﾄﾞの高さによる区分に応じた酒類
　・
ｽﾀｯﾄﾞの高さが5mを超える場合　※ 図示　・
出入口及びこれに準ずる開口部の補強　※ 改修標準仕様書6.7.4(5)による　・図示

○16　ビニル床シート[G] (6.8.2、3)

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考
※ FS(複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ) ・	・無地 ○ ﾏｰﾌﾞﾙ柄 ・柄物	※ 2.0 ○ 2.8	

接合部の処理　※ 熱溶接工法　・

17　ビニル床タイル張り[G] (6.8.2)

種類の記号	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考
※ KT(ｺﾝﾎﾟｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0	
・TT(単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・2.5 ・3.0	
・FT(複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	※ 2.0 ・3.0	
・FOA(置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・500×500 ・	・4.0 ・	
・FOB(薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・	・	

18　特殊機能床 (6.8.2)

・帯電防止床ｼｰﾄ
　種類（ ）　性能（ ）
　厚さ（ mm）
・帯電防止床ﾀｲﾙ
　種類（ ）　性能（ ）
　寸法（ × ）　厚さ（ mm）
・視覚障害者用床ﾀｲﾙ
　視覚障害者誘導用ﾌﾞﾛｯｸ等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による
　種類（ ）　形状（ ）
・耐動荷重性床ｼｰﾄ
　種類（ ）　厚さ（ mm）
・防滑性床ｼｰﾄ
　種類（ ）　厚さ（ mm）
・防滑性床ﾀｲﾙ
　種類（ ）　寸法（ × ）
　厚さ（ mm）

○19　ビニル幅木 (6.8.2)

材質　・硬質　○ 軟質
高さ(mm)　※ 60　○ 75　・100
厚さ　※ 1.5mm以上　・

20　ゴム床タイル (6.8.2)

種類　・単層品　・積層品
色柄（ ）
厚さ(mm)　・3.0　・4.5　・6.0　・9.0
寸法(mm)（ ）

21　カーペット敷き (6.9.2、3)(表6.9.1)

・織じゅうたん

織り方	ﾊﾟｲﾙ形状
・ｳｪﾙﾄﾝｶｰﾍﾟｯﾄ ・ﾀｯﾌﾄﾌｪｰｽｶｰﾍﾟｯﾄ ・ﾆｰﾄﾞﾙﾊﾟﾝﾁｶｰﾍﾟｯﾄ	・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ ・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ ・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用

色柄　※ 模様の無い無地　・
ﾊﾟｲﾙ糸の種類等　※ 無地の織りじゅうたんの種別（・A種　・B種　・C種 ）
帯電性　・適用する　・適用しない
織りじゅうたんの接合方法　※ ﾋｰﾄﾎﾞﾝﾄﾞ工法　・
下敷き材　※ 反毛ﾌｪﾙﾄ(JIS L 3204)の第2種1号　呼び厚さ 8mm・

・ﾀﾌﾃｯﾄﾞｶｰﾍﾟｯﾄ

ﾊﾟｲﾙ形状	ﾊﾟｲﾙ長さ(mm)	工法	帯電性	備考
・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ ・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ ・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用	・5～7　・ ・4～6　・ ・	※ 全面接着工法 ・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法	・適用する ・適用しない	

ﾀﾌﾃｯﾄﾞｶｰﾍﾟｯﾄ用接着剤のﾎﾙﾑ放散量　※ F☆☆☆☆
下敷き材(ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法の場合)　※ 反毛ﾌｪﾙﾄ(JIS L 3204)の第212号　呼び厚さ8mm　・

・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ

ﾊﾟｲﾙの形状	種類	施工箇所	寸法(mm)	総厚さ(mm)	備考
※ ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	※ 第一種 ・第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・	
・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ	・第一種 ・第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・	
・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用	・第一種 ・第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・	

ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ用接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※ F☆☆☆☆
ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄの敷き方　平場　※ 市松敷き　・模様流し　・
　　階段部分　※ 模様流し　・市松敷き　・
見切り、押え金物　材質（ ）　種類（ ）
　　形状等　※ 図示

22　合成樹脂塗床 (6.10.2、3)

種別	施工箇所	工法	仕上の種類
・厚膜型塗床材 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床			※ 平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床		・薄膜流しのべ 工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			※ 平滑仕上げ

塗料のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※ F☆☆☆☆

23　フローリング張り (6.11.2～6)

ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞのﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞの放散量　※ 改修標準仕様書6.11.2(2)による
各工法に使用する接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞの放散量　※ F☆☆☆☆

・単層ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ（ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ１等）
　工法　・釘留め工法（・根太張り　・直張り ）　・接着工法
　樹種　※ なら　・
　・間伐材の適用
・単層ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ（ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ１等）
　樹種　※ なら　・
　厚さ　・　　大きさ　・
　・間伐材の適用
・複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ
　工法　・釘留め工法（・根太張り　・直張り ）　・接着工法
　樹種　※ なら　・
　種別　・A種　・B種　・C種
　・間伐材の適用

接着工法の場合の裏面緩衝材　※ 合成樹脂発泡ｼｰﾄ　・
現場塗装仕上げ　※ ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜｰｽ塗り　・ｵｲﾙｽﾃｲﾝの上、ﾜｯｸｽ塗り・生地のままﾜｯｸｽ塗り

24　畳敷き (6.12.2)

種別　・A種　・B種　・C種　・D種(畳床KT-　・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・K　・N ）
下地の種類　・標準仕様書様12.6.1による床組み
　・ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ床下地(ﾉﾝﾌﾛﾝ[G])
　・
畳表及び畳床はﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｱｾﾄｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ及びｽﾁﾚﾝを発散しないか、発散がきわめて少ない材料を使用したものとする。
衝撃緩和型畳　表畳　・C1　・C2

○ 25　せっこうボード、その他ボード及び合板張り　(6.13.2、3)

MDF及びﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ、接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆　・
合板のホルムアルデヒド放散量　※改修標準仕様書6.13.2(2)(ｲ)の(a)～(d)のいずれか

区分	種類等	厚さ(mm)、規格等
	・木毛セメント板　・硬質(HW)　・中質(MW)　・普通(NW)	※図示による　・15　・20　・25
	・木片セメント板　・硬質(HF)　・普通(NF)	※図示による　・12　・15　・18　・21　・30
	○けい酸カルシウム板(ﾀｲﾌﾟ2) 普通ボード 0.8FK	※図示による　○6　・8 ○キャノピー軒樋上裏
	・火山性ガラス質複層板 種類 ※図示による	※図示による
繊維板	・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ(MDF)	※図示による　・3　・7　・9　・12
繊維板	・ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(無処理) ・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・未研磨板(RN) ・研磨板(RS) ・内装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(DI) ・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(処理) ・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・未研磨板(RN) ・研磨板(RS) ・外装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(DE)	※図示による　・2.5　・3.5　・5　・7
繊維板	・ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ ・A級ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ(A-IB) ・天井仕上げ材 ・内装仕上げ材	※図示による　・9　・12　・15　・18
パーティクルボード	・単板張りﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ・無研磨板(VN) ・研磨板(VS)	※図示による　・10　・12　・15　・18
パーティクルボード	・化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲ(DV) ・ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ(DO) ・塗装(DC)	※図示による　・10(難燃)　・12(難燃)
吸音材料	○ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(DR) ○ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ ○凹凸ﾀｲﾌﾟ	○9(不燃)　・12(不燃) ○12(不燃)　・15(不燃)
吸音材料	・ﾛｯｸｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ(1号)	※図示による　・25
吸音材料	・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ(32K)	・25(ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包み)
せっこうボード	○せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-R)	※12.5(不燃)　・15(不燃)
せっこうボード	○ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-S)	・12.5(・不燃　・準不燃)　○9.5
せっこうボード	・強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-F)	・12.5(不燃)　・15(不燃)
せっこうボード	・化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-D)	・木目 12.5(不燃) 幅 440mm程度 模様(・柾目　・板目)専用下地有 ・ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様 9.5(準不燃)
せっこうボード	・せっこうﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ(GB-L)	・9.5
せっこうボード	・不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-NC) ・化粧無(下地張り用) ・化粧有(ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様)	・9.5

合板類

種類等	厚さ(mm)、規格等
・普通合板 表板の樹種名(　　) 板面品質(　　) 防虫処理　・行う　・行わない	※図示による ・
・天然木化粧合板 化粧板の樹種名(　　) 防虫処理　・行う　・行わない	※図示による ・
・特殊加工化粧合板 化粧加工の方法　・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ　・ﾌﾟﾘﾝﾄ　・塗装 表面性能　・ 防虫処理　・行う　・行わない	※図示による ・

天井のﾎﾞｰﾄﾞ類(ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板を除く)の重ね張りを行う場合　※図示による
合板類の張付け　・A種　※B種
せっこうﾎﾞｰﾄﾞの目地工法等
　目地工法の種類　※改修仕上表による
　突付け工法及び目透し工法のエッジの種類　・ベベルエッジ　・スクェアエッジ

○ 26　壁紙張り　(6.14.2、3)

ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維	塩化ﾋﾞﾆﾙ	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	無機質	その他	防火種別	備考
○図示	・	・	○	・	・	・	○不燃　・準不燃　・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃　・準不燃　・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃　・準不燃　・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃　・準不燃　・難燃	

ﾓﾙﾀﾙ、ﾌﾟﾗｽﾀｰ面の素地ごしらえ　※B種　・A種
ｺﾝｸﾘｰﾄ、ALC面の素地ごしらえ　※B種　・A種
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面の素地ごしらえ　※B種　・A種

27　モルタル塗り　(6.15.3、5、6)

モルタル　・現場調合材料　・既調合材料
・既製目地材　(施工箇所　：　　)
　　(形状　：※図示による　)
・床目地　(目地の種類　：※押し目地　・　)
　　(目地割り　：※2m²程度　・　)
　　(最大目地間隔　：※3m程度　・　)
壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理　※図示による

28　タイル張り　(6.16.2～4)

伸縮目地の位置
　床ﾀｲﾙ　(※縦、横とも4m以内ごと　・図示　・　)
　床ﾀｲﾙ以外　(・図示　・　)
伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による
・見本焼き　(施工箇所：　)
・試験張り　(範囲、仕様等は図示による)

・ｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙによるﾀｲﾙ(ｾﾗﾐｯｸﾀｲﾙ)張り

ﾀｲﾙの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状寸法(mm)	再生材の適用[G]	吸水率による区分 I類	II類	III類	うわぐすり 施釉	無釉	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
既製調合ﾓﾙﾀﾙは別表による
　ﾓﾙﾀﾙ下地としたﾀｲﾙ工事に使用する張付け用ﾓﾙﾀﾙとして、ｾﾒﾝﾄ、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
既製調合目地材は別表による

壁ﾀｲﾙ張りの工法
　内装ﾀｲﾙ
　　・密着張り
　　・改良圧着張り
　内装ﾀｲﾙ以外のﾕﾆｯﾄﾀｲﾙ
　　・ﾏｽｸ張り
　　・ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ張り
・有機系接着剤によるﾀｲﾙ(ｾﾗﾐｯｸﾀｲﾙ)張り
　ﾀｲﾙの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状寸法(mm)	再生材の適用[G]	吸水率による区分 I類	II類	III類	うわぐすり 施釉	無釉	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	備考
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆　・

29　セルフレベリング材塗り　(6.17.2、3)

塗厚　(　　)mm

○7章　塗装改修工事

○1　材料　(7.1.3)

○屋内で使用する塗料のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆
防火材料　※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする
　・次の箇所を除き防火材料とする　(箇所：　)

○2　下地調整　(7.2.1～7)

RB種の場合の既存塗膜の除去範囲　※劣化部分は除去し、活膜部分は残す
　・図示
・既存錆止め塗料の除去　鉛含有分析　分析方法　：(　)
　箇所　：(　箇所)
　除去方法：鉛作業主任者を選任し、湿式により除去すること。

○下地調整

下地面の種類	下地調整の種別 塗替え	ひび割れ部の補修
木部	※不透明塗料塗りの場合はRB種	
鉄鋼面	・RA種　※RB種　・RC種	
亜鉛めっき鋼面	・RA種　※RB種　・RC種	
亜鉛めっき鋼面(鋼製建具等)	・RA種　※RB種　・RC種	
ﾓﾙﾀﾙ面、せっこうﾌﾟﾗｽﾀｰ面	・RA種　※RB種　・RC種	・行う　・行わない
ｺﾝｸﾘｰﾄ面(DP以外)、ALCﾊﾟﾈﾙ面	・RA種　※RB種　・RC種	・行う　・行わない
押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・RA種　・RB種　・RC種	・行う　・行わない
ｺﾝｸﾘｰﾄ面(DP)	・RA種　・RB種　・RC種	・行う　・行わない
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面	・RA種　※RB種　・RC種	

○3　素地ごしらえ　(7.3.2～7)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種　・B種
木部	透明塗料塗りの場合	・A種　※B種
鉄鋼面(DP以外)		・A種　・B種　※C種
鉄鋼面(DP)		・A種　※B種　・C種
亜鉛めっき鋼面		・A種　・B種
モルタル面及びプラスター面		・A種　※B種
コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面		・A種　※B種
押出成形セメント板面及びコンクリート面(DP)		・A種　・B種
コンクリート面(DPのみ)		・A種　※B種
せっこうボード面及びその他ボード面	目地：継目処理工法	※A種　・B種
せっこうボード面及びその他ボード面	目地：継目処理工法以外	・A種　※B種

○4　錆止め塗料塗り　(7.4.2、3)

錆止め塗料塗りの種別

素地面	塗装の種類		塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	SOP(工程の種別は表7.4.3)	塗替え	※A種	※C種
鉄鋼面	SOP(工程の種別は表7.4.3)	新規見え掛り	※A種	※A種
鉄鋼面	SOP(工程の種別は表7.4.3)	新規見え隠れ	※A種	※B種
鉄鋼面	EP-G(工程の種別は表7.4.3)	塗替え	・A種　※B種	※C種
鉄鋼面	EP-G(工程の種別は表7.4.3)	新規見え掛り	・A種　※B種	※A種
鉄鋼面	EP-G(工程の種別は表7.4.3)	新規見え隠れ	・A種　※B種	※B種
鉄鋼面	DP(工程の種別は表7.4.4)	塗替え	7.4.2(1)(ｲ)(b)による	・A種(下地調整RA種) ・B種(下地調整RB種) ・C種(下地調整RC種)
鉄鋼面	DP(工程の種別は表7.4.4)	新規	7.4.2(1)(ｲ)(a)による	・A種
亜鉛めっき鋼面	SOP(工程の種別は表7.4.5)	塗替え	※A種　・B種	※C種
亜鉛めっき鋼面	SOP(工程の種別は表7.4.5)	新規 鋼製建具等	※A種　・B種	※A種
亜鉛めっき鋼面	SOP(工程の種別は表7.4.5)	新規 その他	※B種	※B種
亜鉛めっき鋼面	EP-G(工程の種別は表7.4.5)	塗替え	※C種	※C種
亜鉛めっき鋼面	EP-G(工程の種別は表7.4.5)	新規 鋼製建具等	※C種	※A種
亜鉛めっき鋼面	EP-G(工程の種別は表7.4.5)	新規 その他	※C種	※B種
亜鉛めっき鋼面	DP(工程の種別は表7.4.6)	塗替え	※B種	-
亜鉛めっき鋼面	DP(工程の種別は表7.4.6)	新規	※B種	-

○5　塗装　(7.5.2～7.13.2)

塗装の種類	塗装面	工程 塗替え	新規
・合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り(SOP) 塗料の種類 ※1種　・2種	木部(外部)	※B種　・	※A種　・
	木部(内部)	※B種　・	※B種　・
	鉄鋼面	※B種　・	・A種　※B種
	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具)	※A種　・	※B種　・
	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)	※B種　・	※B種　・
・ｸﾘｱﾗｯｶｰ塗り(CL)		・A種　※B種 (着色塗料の種類：　)	・A種　※B種 (着色塗料の種類：　)
・ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		・A種　※B種	・A種　※B種
○耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 上塗り等級 ・1級　・2級　・3級	―	―
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級 ・1級　・2級　・3級	―	―
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・A-1種　・A-2種 ・B-1種　・B-2種 ・C-1種　・C-2種	・A-1種 ・B-1種 ・C-1種
・つや有り合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り(EP-G)	屋内木部	※B種　・	※A種　・
	屋内鉄鋼面	※B種　・	・A種　※B種
	屋内亜鉛めっき鋼面	※A種　・	※A種　・B種
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面等	※B種　・	・A種　※B種
・合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り(EP)		※B種　・	・A種　※B種
・合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ模様塗料塗り(EP-T)		※B種　・	・A種　・B種
○ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗り(UC)		・A種　※B種	・A種　※B種
・ｽﾃｲﾝ塗り		・ピグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS)	
・木材保護塗料塗り(WP)		・A種　※B種	・A種　※B種

つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り(ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面、せっこうﾌﾟﾗｽﾀｰ面、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面)の塗替えの場合のしみ止め
　※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしみ止めｼｰﾗｰとする
　・
合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗りの塗替えの場合のしみ止め
　※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしみ止めｼｰﾗｰとする
　・

・高日射反射率塗料塗り[G]
　下地調整(改修標準仕様書表7.2.2)　・RA種　※RB種　・RC種

工程	塗料その他 規格番号	規格名称	種類	等級	塗付け量(kg/m²)
塗料塗り	JISK5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	・1級　・2級　・3級	塗料製造所の仕様による

クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用
　・適用する　(着色剤：　・溶剤系着色剤　・油性染料着色剤)
　・適用しない
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色適用
　・適用する
　・適用しない
オイルステン塗りの工程等
　・

○9章　環境配慮改修工事

○1　石綿含有建材の除去工事　(9.1.1、3～6)

・石綿粉じん濃度測定
　測定室　(　)
　成形板の除去の際は、原則として粉じん濃度測定を実施しない。

ｱｽﾍﾞｽﾄ粉塵濃度測定の測定時期、場所、及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備考
・	処理作業前	測定1	処理作業室内	計(　)点	(注)1
		測定2	調査対象室外部の付近	計(　)点	大気
・	処理作業中	測定3	処理作業室内	計(　)点	(注)1
		測定4	ｾｷｭﾘﾃｨｰｿﾞｰﾝ入口	計(　)点	―
・		測定5	集じん・排気装置の排出口	出口吹出し風速1m/sec以下の位置 計(　)点	―
・		測定6	処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	計(　)点	―
・	処理作業後(ｼｰﾄ養生中)	測定7	処理作業室内	計(　)点	―
・	処理作業後、	測定8	処理作業室内	計(　)点	(注)1
・	ｼｰﾄ撤去後1週間以降	測定9	調査対象室外部の付近	計(　)点	大気

注1　各施工箇所ごとの室面積が50m2以下までは2点、300m2以下までは3点とする。
　　300m2を超えるものは、監督職員と協議する。

石綿粉塵濃度測定方法
・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定4 ・測定5	粉じん相対濃度計(ﾃﾞｼﾞﾀﾙ粉じん計)、ﾊﾟｰﾃｨｸﾙｶｳﾝﾀｰ、繊維状粒子自動測定器(ﾘｱﾙﾀｲﾑﾌｧｲﾊﾞｰﾓﾆﾀｰ)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	ﾒﾝﾌﾞﾚﾝﾌｨﾙﾀ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)
・測定4 ・測定5	25	5	30
・測定 ・	47	10	120
・測定 ・	47	10	240
・測定 ・			

石綿作業主任者
石綿作業主任者技能講習修了者又は平成18年3月以前の特定化学物質作業主任者の有資格者の内から選任し、法令に基づき、作業の方法、労働者の指導等必要な措置を行うこと。

○石綿含有建材の処理
・石綿含有吹付け材の除去
　除去対象範囲　※図示
　除去工法　※改修標準仕様書9.1.3(2)(ｱ)による　・
　除去した石綿含有吹付け材等飛散防止措置　※湿潤化　・固形化
　除去した石綿含有吹付け材等の処分　・埋立処分(管理型最終処分場)
　　・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

○石綿含有保温材等(石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む)の除去
　除去対象範囲　○図示
　除去工法　・破砕して除去　○手ばらし
　除去した石綿含有保温材等の飛散防止　※湿潤化　・固形化
　除去した石綿含有保温材等の処分　○埋立処分(管理型最終処分場)
　　・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第一種)の除去
　除去対象範囲　・図示
　隔離養生(負圧不要)方法　・図示
　足場　・図示
　除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分　・埋立処分(安定型最終処分場)
　　・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外)の除去
　除去対象範囲　・図示
　除去した石綿含有成形板の処分　・石綿含有せっこうボード
　　※埋立処分(管理型最終処分場)
　　・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
　　・埋立処分(安定型最終処分)
　　・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板(下地調整材)の除去
　対象仕上塗材　・図示による　・
　除去対象範囲　・全面撤去　・外壁補修箇所等作業箇所のみ撤去　・図示による
　　外壁補修等作業は、足場ｱﾝｶｰ設置、ｺｱ抜き、機器及び配管、配線器具類の固定等軽微な作業を示す。

　除去工法
　　・集じん装置併用手工具ｹﾚﾝ工法
　　・集じん装置付高圧水洗工法(15MPa以下、30～50MPa程度)
　　・集じん措置付超高圧水洗工法(100MPa以上)
　　・超音波ｹﾚﾝ工法(HEPAﾌｨﾙﾀｰ付き掃除機併用含む)
　　・剥離剤併用手工具ｹﾚﾝ工法
　　・剥離剤併用高圧水洗工法(30～50MPa 程度)
　　・剥離剤併用超高圧水洗工法(100MPa 以上)
　　・剥離剤併用超音波ｹﾚﾝ工法
　　・集じん装置付ﾃﾞｨｽｸｸﾞﾗｲﾝﾀﾞｰｹﾚﾝ工法
　　上記工法によらない場合は、監督職員と協議の上、承諾を得ること

　養生方法　・
　除去工法の試験施工　・行う　・行わない
　除去した石綿含有仕上塗材の処分　・埋立処分(安定型最終処分場)
　　・埋立処分(管理型最終処分場)
　　・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)
　石綿含有建材除去後の仕上げ工事　・図示

○2　石綿含有建材の除去工事等に係る官公庁等への届出
　○労働安全衛生法に基づく届出
　・石綿障害予防規則に基づく届出
　・大気汚染防止法に基づく届出

3　断熱アスファルト防水改修工事　(9.2.2～3)
　改修特記仕様書3章による

4　外断熱改修工事[G]　(9.2.1～4)

断熱材

種類		厚さ(mm)
・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材		
・押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材(ｽｷﾝなし)	・保温板(2種b)	
	・保温板(3種b)	
	・	
・A種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材		
・ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ保温材(3種2号を除く)		
・ﾛｯｸｳｰﾙ		
・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ		

施工箇所　・図示　・
ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆　・

外装材

種類	防火性能	備考
・		

鋼材　改修特記仕様書第8章8-3鉄骨工事　・鋼材による
笠木　改修特記仕様書第3章　・ｱﾙﾐﾆｳﾑ製笠木による

既存外壁の処置
　既存外壁仕上げ材の撤去　・あり　・なし
　下地面の清掃　・行う　・行わない
　欠損部の改修工法　・改修特記仕様書第4章外壁改修工事による
工法
　1章 適用区分による風圧力の　(※1　・1.15　・1.3)　倍の風圧力に対応した工法
　不陸等の下地調整　・
　断熱材の施工　※断熱材製造所の仕様による　・
　外装材の施工　・外装材製造所の仕様による　・
　通気層の有無　・あり　(　mm)　・なし
　外装材の外壁への取付け　・図示　・
　笠木の施工　・改修特記仕様書第3章ｱﾙﾐﾆｳﾑ製笠木による

5　断熱・防露改修工事[G]　(9.3.2～4)

ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ断熱材又は保温材、接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆
開口部等補修のための張付け用の接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆

工法
・断熱材打込み工法
断熱材　JIS A 9521に基づく発砲ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ断熱材
種類　・
厚さ(mm)　・
施工箇所　・

・断熱材現場発泡工法
断熱材の種類　・A種1　・A種1H
吹付け厚さ(mm)　・25　・30
施工箇所　・図示　・

・断熱材後張り工法
断熱材　JIS A 9521に基づく発砲ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ断熱材
種類　・
厚さ(mm)　・
・断熱材にせっこうﾎﾞｰﾄﾞ等を張り付けたﾊﾟﾈﾙ
材質　・
厚さ　・
・張り付け工法
断熱材の張り付け工法
断熱材へのボードの張り付け工法

6　屋上緑化改修工事[G]　(9.4.2～4)

植栽基盤及び材料
・屋上緑化軽量ｼｽﾃﾑ
芝及び地被類の種類等　※図示　・
見切り材、舗装材、排水管、ﾏﾙﾁﾝｸﾞ材等　※図示　・
(品質・性能・試験方法)別表による

工法　建築基準法に基づき定まる　(※1　・1.15　・1.3　)倍の風圧力に対応した工法
かん水装置　・設置する　(種類　：・　・　)　・設置しない
既存保護層の撤去　・行う　・行わない
新植した芝及び地被類の枯保障の期間　※引渡しの日から1年　・

7　透水性アスファルト舗装改修工事　(9.5.2～5、9)

適用範囲：歩道
既存舗装の撤去及び再利用　※　図示　・
路床

路床の材料

種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	・A種　・B種　・C種　・D種 ・建設汚泥から再生した処理土[G]	・図示 ・
・凍上抑制層	・再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ[G]　・ｸﾗｯｼｬﾗﾝ ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量10%以下) ・	・図示 ・
・ﾌｨﾙﾀｰ層	・砂 ・	・図示 ・

凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験　・行う　・行わない

・路床安定処理　・適用する　・適用しない
安定処理の方法　・置き換え工法　・安定処理工法
路床安定処理用添加材料
種類　・普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ　・ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄB種　・高炉ｾﾒﾝﾄB種[G]
・生石灰　(・　特号　・1号　)・消石灰　(・特号　・1号　)
添加量　kg/m3　(目標CBR　・3以上　・　)
目標CBRを満足する添加量の確認方法
・安定処理土のCBR試験　・
・ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ
単位面積質量　・60g/m2以上　・
厚さ(mm)　・0.5～1.0　・
引張強さ　・98N/5cm(10kgf/5cm)以上　・
透水係数　・1.5×10^{-3}cm/sec以上　・

試験
路床土の支持力比(CBR)試験　・行う　・行わない
現場CBR試験　・行う　・行わない
路床締固め度の試験　・行う　・行わない

路盤
厚さ　・図示　・
材料　・ｸﾗｯｼｬﾗﾝ　・粒度調整砕石　・再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ[G]
・再生粒度調整砕石[G]　・ｸﾗｯｼｬﾗﾝ鉄鋼ｽﾗｸﾞ[G]
・粒度調整鉄鋼ｽﾗｸﾞ[G]　・水硬性粒度調整鉄鋼ｽﾗｸﾞ[G]

舗装の構成　・図示　・
開粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物等の抽出試験　・行う　・行わない
舗装の平たん性　※著しい不陸がないもの　・

10章　ユニット及びその他工事

1　フリーアクセスフロア　(20.2.2)

施工箇所	工法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重(N)	表面仕上材	備考
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3000 ・5000	・帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ	

寸法精度
※標準仕様書20.2.2(2)(ｲ)(a)～(c)による　・
・以下による
ﾊﾟﾈﾙ長さの寸法精度　：
ﾊﾟﾈﾙの平面形状(角度)の寸法精度　：
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱの高さの寸法精度　：
帯電防止性能　・評価値(U)≧0.6以上　・評価値(U)≧1.2以上
感電防止性能　漏えい抵抗(R)≧1×10^{7}Ω
(品質・性能、試験方法は別表による)

○2　可動間仕切　(20.2.3)

構造形式による種類	構成基材の種類 ｽﾀｯﾄﾞ	構成基材の種類 ﾊﾟﾈﾙ	ﾊﾟﾈﾙ表面仕上げ	遮音性(db/500Hz)	防火性能
・ｽﾀｯﾄﾞ式(内臓) ・ｽﾀｯﾄﾞ式(露出) ・ｽﾀｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ式 ○ﾊﾟﾈﾙ式			・ﾒﾗﾐﾝ樹脂焼付又は ｱｸﾘﾙ樹脂焼付 ○壁紙張り	・0　・12 ・20　・28 ・36	・不燃

ﾊﾟﾈﾙ内に取付ける建具　・あり
※図示　・
・なし
ﾊﾟﾈﾙ内に取り付ける家具のﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。
表面仕上げ材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。
ﾊﾟﾈﾙ材料のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放出量　※F☆☆☆☆

3　移動間仕切　(20.2.4)

走行方向	操作方法による種類	ﾊﾟﾈﾙ圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	ﾊﾟﾈﾙ表面材 材質	ﾊﾟﾈﾙ表面材 仕上げ	遮音性(db/500Hz)
・平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・ﾌﾟｯｼｭ式 ・ﾊﾝﾄﾞﾙ式 ・		・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ・36以上

○ﾊﾟﾈﾙ表面仕上げ材の壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。
○ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙの取付け下地の補強
※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する
○図示
○ﾊﾟﾈﾙをﾗﾝﾅに取り付ける部品
※ﾗﾝﾅに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの
・
○ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ及びﾗﾝﾅ
※ﾊﾟﾈﾙ重量の5倍の荷重を、ﾊﾟﾈﾙ1枚に使用するﾗﾝﾅ数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの
・
(品質・性能は別表による)

○4　トイレブース　(20.2.5)

表面材の材料	脚部 種類	ﾄﾞｱｴｯｼﾞ 材質
・ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板 ○ｶﾞﾗｽｽﾃﾝ樹脂系化粧板 ・	・幅木ﾀｲﾌﾟ ○足金物	・製造所の仕様による ○ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・ｽﾃﾝﾚｽ製

(品質・性能、試験方法は別表による)

5　手すり　(20.2.6)

材料の種類及び仕上げ
・SUS304
表面処理　※HL程度　・
・鋼製　表面処理　溶融亜鉛めっき
表面処理(標準仕様書表14.2.2による種別)　・
・ｱﾙﾐﾆｳﾑ
表面処理(標準仕様書表14.2.1による種別)　・
色合等　・標準色　：　・特注色　：
手すりの握り部分

材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
・集成材 材種　：	・ｸﾘﾔｱﾗｯｶｰ ・	・35程度 ・45程度 ・		
・ﾋﾞﾆﾙ製ﾊﾝﾄﾞﾚｰﾙ		・35程度 ・45程度 ・		

6　階段滑り止め　(20.2.7)

材種　・ｽﾃﾝﾚｽ製　・黄銅製押出型材　・ｱﾙﾐﾆｳﾑ製押出型材　・
形状　※ﾀｲﾔ型(ﾀｲﾔの材質：ｺﾞﾑ又は合成樹脂)　・ﾀｲﾔﾚｽ型
端部の形状　・ﾌﾗｯﾄｴﾝﾄﾞあり　・ﾌﾗｯﾄｴﾝﾄﾞなし
寸法(幅)　・35mm程度　・40mm程度　・50mm程度
取付け工法　※接着工法　・埋め込み工法

○7　黒板及びホワイトボード　(20.2.9)

・黒板
区分　※焼き付け
種類　・鋼製黒板　・ほうろう黒板　・
色　※緑　・
○ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ

8　鏡　(20.2.10)

取付箇所　：
寸法(mm)　・図示　・
厚さ(mm)　※5　・

○9　表示　(20.2.11)

衝突防止表示
・設置する
設置場所　※図示　・
形状・寸法　・30φ　・
材質　・ｽﾃﾝﾚｽ製　・
・設置しない
誘導標識、非常用進入口等の表示
※消防法に適合する市販品
○室名札、ﾋﾟｸﾄｸﾞﾗﾌ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等
(案内用図記号はJIS Z 8210による)
※図示

○10　タラップ　(避難はしご)　(20.2.12)

材質及び仕上げ　・SUS304
スリップ止め加工　※あり　・なし
・鋼製　表面処理　溶融亜鉛めっき
※標準仕様書表14.2.2による種別
※C種　・
○アルミ製

11　煙突ﾗｲﾆﾝｸﾞ　(20.2.13)

適用安全使用温度　・
工法　※鋼製ﾕﾆｯﾄ煙突(煙突用成形ﾗｲﾆﾝｸﾞ材)　・

○12　ブラインド　(20.2.14)

形式	操作方法	操作方法の種類	ｽﾗｯﾄの種類	ｽﾗｯﾄ幅(mm)	ﾎﾞｯｸｽ・ﾚｰﾙの材種	幅・高さ・取付箇所
○横形	・電動	―				
	○手動	※ｷﾞﾔ式 ○ｺｰﾄﾞ式 ・操作棒式	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製[G] ・	※25 ・	※鋼製 ・	※図示 ・
・縦形	・電動	―				
	・手動	※1本操作ｺｰﾄﾞ式 ・2本操作ｺｰﾄﾞ式	・ｱﾙﾐｽﾗｯﾄ ・ｸﾛｽｽﾗｯﾄ	・80 ・100	・ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 ・	※図示 ・

縦型ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞのｽﾗｯﾄの材質
・ｱﾙﾐｽﾗｯﾄ　焼付け塗装仕上げ
・ｸﾛｽｽﾗｯﾄ　消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ｶﾞﾗｽﾃｰﾌﾟ繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は[G]とする。

13　ロールスクリーン　(20.2.15)

操作方法	ｽｸﾘｰﾝの材質	その他の材料	幅・高さ、取付箇所	品質
・ｽﾌﾟﾘﾝﾄﾞ式 ・ｺｰﾄﾞ式 ・電動式	・ｶﾞﾗｽ繊維製 ・合成、天然繊維製 ・木製	※製造所の仕様	・図示	・

14　カーテン　(20.2.16)

形式		開閉操作	ひだの種類	生地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考
・ｼﾝｸﾞﾙ ・ﾀﾞﾌﾞﾙ	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・ﾌﾗﾝｽひだ ・箱ひだ、片ひだ ・ﾌﾟﾚｰﾝひだ		・図示	

生地の仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ｶﾞﾗｽﾃｰﾌﾟ繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は[G]とする。
暗幕ｶｰﾃﾝの両端、上部及び召合せの重なり　※300mm以上　・

15　カーテンレール　(20.2.16)

材料による区分　※ｱﾙﾐﾆｳﾑ又はｱﾙﾐﾆｳﾑ合金の押出成型材
・ｽﾃﾝﾚｽ製
強さによる区分　※10-90　・
仕上げ　※ｱﾙﾏｲﾄ　・
形状　※角形　・

16　ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ及びｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ

溝型x深さ(mm)　・90x150　・120x80　・120x150　・150x80　・図示
材種　・集成材
仕上げ　：
・ｱﾙﾐﾆｳﾑ製　押出し型材（市販品）
標準仕様書14.2.1による種別　・BC-1種　・BC-2種
色合い　・標準色　：　・特注色　：
・鋼製
仕上げ　：

○17　天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・	○450×450 ・600×600	○一般形	・屋内外用 ○屋内用	○額縁ﾀｲﾌﾟ ・目地ﾀｲﾌﾟ	○額縁ﾀｲﾌﾟ ・目地ﾀｲﾌﾟ
			・気密形		

(品質・性能、試験方法は別表による)

18　床点検口

材種	寸法	形式		備考
・ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・ｽﾃﾝﾚｽ製 ・鋼製	・450×450 ・600×600 ・	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用	・鍵付き

密閉形とはﾎﾞﾙﾄ、ﾅｯﾄ等ﾒｶﾆｶﾙ構造にﾊﾟｯｷﾝを装着したものとする。
(品質・性能、試験方法は別表とする)

19　耐震ｽﾘｯﾄ

方向	幅(mm)	ﾀｲﾌﾟ	耐火性能	防水性能	備考
・垂直	・25 ・	・完全(全貫通型) ・	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し	
・水平	・25 ・				

目地

目地	内壁	外壁
目地材	・ｼｰﾘﾝｸﾞ材(見え掛かり部のみ) ・	・ｼｰﾘﾝｸﾞ材(見え掛かり部のみ) ・ｼｰﾘﾝｸﾞ材(内外共)
目地寸法	・ｽﾘｯﾄ幅×深さ10 ・	・ｽﾘｯﾄ幅×深さ10 ・

目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による

20　止水板

形式　・差込式　・据置式　・壁張り式
施工箇所　・図示

21　エキスパンションジョイント金物

建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。

22　くつふきマット

材種	受け枠	備考
・塩化ﾋﾞﾆﾙ又はｺﾞﾑ製 ・硬質ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 ・ｽﾃﾝﾚｽ鋼(SUS304)製 ・	・ｽﾃﾝﾚｽ鋼(SUS304)製 ・硬質ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金 ・	

○23　流し台ユニット

材種	寸法(mm) W	D	H	備考
○流し台	・1200 ・1500 ○1800	・550 ○600 ・650	○800 ・850	市販品 ﾄﾗｯﾌﾟ付き 天板ｽﾃﾝﾚｽ製
・ｺﾝﾛ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 ﾊﾞｯｸｶﾞｰﾄﾞ有り 天板ｽﾃﾝﾚｽ
・つり戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品
・水切り	・1200 ・900 ・600	―	―	市販品 ｽﾃﾝﾚｽ製 ・1段式　・

品質・性能　外観は、JIS A 4420「ｷｯﾁﾝ設備の構成材」の4.1による。
構成材は、JIS A 4420の8により試験を行ったとき、表1の規定による。
形状　※図示

24　旗竿

材種	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考
・ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 ・	・ﾃｰﾊﾟｰ式 ・同一断面式		・ﾊﾝﾄﾞﾙ式 ・ﾛｰﾌﾟ式	・埋込式 ・ﾍﾞｰｽ式 ・ﾊﾞﾝﾄﾞ式	

25　旗竿受金物

・ｽﾃﾝﾚｽ製(SUS304)　・

26　車止めさく

形式		材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(m)
・上下式鎖内蔵式	・標準品 ・ｽﾌﾟﾗﾝｸﾞ式	・ｽﾃﾝﾚｽ製 ・	・ ・	・GL＋700 ・
・				

○27　フェンス

ﾌｪﾝｽの種類　・ﾋﾞﾆﾙ被覆ｴｷｽﾊﾟﾝﾄﾞﾌｪﾝｽ　・樹脂塗装ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ　・鋼管ﾌｪﾝｽ　○アルミフェンス
高さ　○図示

28　プレキャストコンクリート　(20.3.3)(20.3.4)

ｺﾝｸﾘｰﾄの設計基準強度
※水ｾﾒﾝﾄ比55%以下、単位ｾﾒﾝﾄ量の最小値300kg/m3を満足する調合強度
・図示
配筋
※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する
・図示
取付け方法
※図示

29　間知石及びｺﾝｸﾘｰﾄ間知ﾌﾞﾛｯｸ積み

	種別	種類	質量区分	備考
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩			
・ｺﾝｸﾘｰﾄ間知ﾌﾞﾛｯｸ			・A ・B	

積み方　※谷積み　・布積み
目詰り　・図示
伸縮調整目地
材種　・図示
厚さ　・図示

30　鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	JISによる種類
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種　・2種　・3種
・鋼製物品棚		・4種　・5種　・6種

31　屋内掲示板

枠の材質　※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製　・
表面の材質　※塩ﾋﾞ発泡ｼｰﾄ張り　・

32　洗面カウンター

材種　・ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板張り(芯材：集成材)　・
奥行き(mm)　・約450　・約600

33　防煙垂れ壁

・固定式

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
※網入り磨き板ｶﾞﾗｽ ・織入り磨き板ｶﾞﾗｽ	※6.8 ・	※500 ・	ｱﾙﾐ製枠付き

・可動式

種類	材質	高さ(mm)	備考
・垂直降下式(巻取り型)	・不燃布(不燃認定品)	・500 ・800 ・	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)
・回転降下式	鋼板製又はｱﾙﾐ製	・500 ・800	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型)

34　屋外掲示板

照明器具　※有り　・無し
施錠　※有り　・無し
製造所　・

35　収納家具

合板類、MDF及びﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞのﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞの放散量　※F☆☆☆☆
材質、形状、寸法　※図示

8章　耐震改修工事

〈共通事項〉

1　適用範囲

・改修標準仕様書　第8章　耐震改修工事
・改修標準仕様書において第8章耐震改修工事以外の改修工事で第8章を引用している部分

工事内容
・現場打ち鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ壁の増設工事
・鉄骨ﾌﾞﾚｰｽの設置工事
・柱補強工事(溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖ﾌｰﾌﾟ巻き付け工法)
・柱補強工事(鉄板巻き工法又は帯板巻き付け工法)
・連続繊維補強工事
・耐震ｽﾘｯﾄ新設工事
・免震改修工事
・制震改修工事
・土工事及び地業工事

2　既存部分の処理等　(8.21.2、3)(8.22.2、3)(8.23.2、3)(8.24.4)(8.25.2)(8.28.2)

既存構造体の撤去
撤去範囲　・図示　・
はつり出した鉄筋及び鉄骨の処理　・図示　・
既存構造体ｺﾝｸﾘｰﾄの目荒しの程度
・既存柱、梁面　・打継ぎ面の15～30%程度に、平均深さ2～5mm（最大7mm）程度の凹凸を全体にわたってつける
・図示　・
・既存壁　・打継ぎ面の10～15%程度に、平均深さ2～5mm（最大7mm）程度の凹凸を全体にわたってつける
・図示　・
既存杭の撤去等
・撤去範囲及び撤去方法　・図示　・
・杭頭部の処理　・図示　・
・既存杭の補強　・図示　・
・既存杭の健全性を確認する試験　・図示　・

8-1　鉄筋工事

1　鉄筋　(8.2.1)

鉄筋の種類等

種類の記号	呼び径（mm）	備考
・SD295	※　D16以下	JIS G 3112
・SD345	※　D19以上	JIS G 3112

2　溶接金網　(8.2.2)

鉄線の形状等

種類	種類の記号	鉄線の形状、網目、寸法、鉄線の径(mm)	適用箇所
・溶接金網			
・鉄筋格子			

3　鉄筋の継手　(8.3.4、8.4.2、3)

鉄筋の継手の方法等

部位	継手方法	呼び径(mm)
柱、梁の主筋	・ｶﾞｽ圧接　・機械式継手　・溶接継手	
耐力壁の鉄筋	・重ね継手　・	
その他の鉄筋　（　　）	・重ね継手　・	

継手位置　※図示による
柱及び梁の主筋の重ね継手の長さ　※図示による
耐力壁の重ね継手の長さ　※図示による

4　鉄筋の定着　(8.3.4)

鉄筋の定着長さ　・図示による
・機械式定着工法
適用箇所　・図示による
種類　・摩擦圧接接合　・鉄合グラウト固定
・螺合グラウト固定　・
工法　※第三者機関の評定等を取得している工法とする
必要定着長さ　※評定等の評価内容による
補強筋形状　※評定等の評価内容による
かぶり厚さ　※評定等の評価内容による
品質確認　※評定等の評価内容による
検査　※評定等の評価内容による

5　鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む)　(8.3.5)

最小かぶり厚さ　・　図示による
軽量ｺﾝｸﾘｰﾄを適用する場合　・　有り　適用箇所　（　　）
・最小かぶり厚さに加える厚さ　（　）mm
耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)
・　有り　適用箇所　（　　）
・最小かぶり厚さに加える厚さ　（　）mm

6　圧接完了後の試験　(8.3.8)

超音波探傷試験　※行う(全圧接部)

7　機械式継手　(8.3.5)(8.4.2)

適用箇所
※図示による
性能(H12建告第1463号に適合するもの)　・A級　・
種類　・ねじ式鉄筋継手
充填方式　・無機グラウト方式　・有機グラウト方式
・端部ねじ加工継手
・モルタル充填式継手
・
工法　※第三者機関の評定等を取得している工法とする
鉄筋相互のあき　※評定等の評価内容による
品質の確認　※評定等の評価内容による
検査　※評定等の評価内容による
施工完了後の継手部の試験　・外観試験
試験対象　※全数
試験項目　・評定等の評価内容による　・
試験方法　・評定等の評価内容による　・
・超音波測定試験
試験対象　・抜取り
ロット　・1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする
・
試験箇所数　・1ロットに対して（　　）箇所
・全数
試験項目　※挿入長さ
試験方法　※JIS Z 3064(鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準)による
不合格となった場合の措置　・

8　溶接継手　(8.3.5)(8.4.3)

適用箇所　※図示
性能(H12建告第1463号に適合するもの)　・A級　・
溶接継手の工法　・図示による
施工完了後の継手部の試験　・外観試験
試験対象　※全数
試験項目　・評定等の評価内容による
試験方法　・評定等の評価内容による
・超音波探傷試験
試験対象　・抜取り
ロット　・1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする
試験箇所数　・1ロットに対して（　　）箇所
・全数
試験項目　※内部欠陥の検出
試験方法　※JIS Z 3063(鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準)による
不合格となった場合の措置　・

9　割裂補強筋　(8.21.6)(8.22.7)

形状　・スパイラル筋　・
種類の記号　・SR235またはSWM-P　・
呼び径、曲げ直径、ピッチ　・図示による

8-2　コンクリート工事

1　レディーミクストコンクリート工場

※品質管理監督検査合格工場(○適ﾏｰｸ取得工場)

2　コンクリート種類　(8.1.3)

ｺﾝｸﾘｰﾄの種別
※Ⅰ類(JIS A 5308への適合を認証されたｺﾝｸﾘｰﾄ)
・Ⅱ類(JIS A 5308に適合したｺﾝｸﾘｰﾄ)

3　コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等　(8.1.3、4)(8.2.5)(8.9.2)

普通ｺﾝｸﾘｰﾄ

設計基準強度（N/mm2）	ｽﾗﾝﾌﾟ	気乾単位容積質量(t/m³)	適用箇所
・24	・	2.3程度	
・21	・		
・	・		

★印は構造体強度補正値(S)を適用しない
構造体強度補正値　※改修標準仕様書8.2.4による　・

軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ

設計基準強度（N/mm2）	ｽﾗﾝﾌﾟ	気乾単位容積質量(t/m³)	種類	適用箇所
・	※21・		・1種　・2種	
・				
・				

構造体強度補正値　※改修標準仕様書8.2.4による　・

4　セメント　(8.2.5)

種類
※普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ、高炉ｾﾒﾝﾄA種、ｼﾘｶｾﾒﾝﾄA種又はﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄA種
(普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/gは以下、かつ28日目で402J/gは以下のものとする。)　適用箇所　（　　）
・高炉ｾﾒﾝﾄB種[G]　適用箇所　（　　）
・ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄB種[G]　適用箇所　（　　）
・

5　骨材　(8.2.5)

ｱﾙｶﾘｼﾘｶ反応性による区分　※A　・B

6　混和材料　(8.2.5)

・混和剤
混和剤の種類　※改修標準仕様書8.2.5(4)(a)による
・混和材
混和剤の種類　※改修標準仕様書8.2.5(4)(b)による

7　構造体用ﾓﾙﾀﾙ　(8.2.6)

圧縮強度　（　　）
ﾌﾛｰ値　（　　）

8　暑中コンクリート　(8.10.2)

構造体強度補正値(S)　※6N/mm2

9　マスコンクリート　[6.13.1、2]

適用箇所　※図示による　・
ｾﾒﾝﾄの種類　・中庸熱ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ　・普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ
・低熱ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ　・ｼﾘｶｾﾒﾝﾄ
・高炉ｾﾒﾝﾄB種[G]　・
・ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄB種[G]
・混和材
混和材の種類　※標準仕様書6.13.2(2)(ｱ)による
・
・混和剤
混和剤の種類　※標準仕様書6.13.2(2)(ｲ)による
・
ｽﾗﾝﾌﾟ　※15cm　・
構造体強度補正値　※標準仕様書6.13.1による　・

10　無筋コンクリート　(8.11.1)

ｺﾝｸﾘｰﾄの種類　※普通ｺﾝｸﾘｰﾄ　・

設計基準強度（N/mm2）	ｽﾗﾝﾌﾟ	ｾﾒﾝﾄの種類	適用箇所
※18 ・	※15又は18 ・	・普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ、高炉ｾﾒﾝﾄA種、ｼﾘｶｾﾒﾝﾄA種又はﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄA種 ・高炉ｾﾒﾝﾄB種[G] ・ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄB種[G]	・図示

11　流動化コンクリート　[6.15.1]

適用箇所　・図示による　・

12　打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地　[6.6.4][6.8.1]

打継ぎの位置　・図示による
目地寸法　・標準仕様書9.7.3(1)(ｱ)による　・図示による
ひび割れ誘発目地の間隔、位置、形状、寸法　※図示による

13　構造体コンクリートの仕上り　(8.1.4)

合板せき板を用いるｺﾝｸﾘｰﾄの打放し仕上げ

種別	適用箇所
・A種	
・B種	
・C種	

ｺﾝｸﾘｰﾄ仕上りの平たんさ

種別	適用箇所
・a種	
・b種	
・c種	

14　打増し厚さ(打放し仕上げ部)　(8.7.8)

・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)
・20mm　・
・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
・10mm　・20mm　・

15　型枠　[6.8.2](8.2.7)

せき板の材料及び厚さ　・合板[G]　（・12mm　・　）　・
・断熱材の兼用　使用箇所（　・図示による　・　）
・MCR工法用ｼｰﾄ　使用箇所（　・図示による　・　）
打増し厚さ　・20mm　・
打増し範囲　・図示による　・
ｽﾀｯﾌﾟの材種　※図示　・

16　型枠の加工及び組立　(8.7.8)

ｼﾞｮｲﾝﾄをｾﾊﾟﾚｰﾀとして使用　適用箇所　・図示による

17　ｺﾝｸﾘｰﾄの打込み工法等　(8.21.8)(8.23.5～7)

ｺﾝｸﾘｰﾄ打設工法の種類

補強工事	工法の種類	適用箇所
・現場打ちｺﾝｸﾘｰﾄ壁の増設工事	・工法指定なし	・全ての増設壁 ・図示による
	・流込み工法8.21.8(1)(ｱ)、(2)	・全ての増設壁 ・図示による
	・圧入工法8.21.8(1)(ｲ)、(3)	・全ての増設壁 ・図示による
	・	・図示による ・
・柱補強工事（溶接金網巻き及び溶接閉鎖ﾌｰﾌﾟ巻き工法）	・工法指定なし	・全ての柱補強部分 ・図示による
	・流込み工法8.21.8(1)(ｱ)、(2)	・全ての柱補強部分 ・図示による
	・圧入工法8.21.8(1)(ｲ)、(3)	・全ての柱補強部分 ・図示による
	・	・図示による ・
・	・工法指定なし	・
	・流込み工法8.21.8(1)(ｱ)、(2)	・
	・圧入工法8.21.8(1)(ｲ)、(3)	・

鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法での型枠等
柱頭及び柱脚の隙間の寸法　・図示による
柱頭及び柱脚の隙間部間の型枠　・発泡ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ保温材等を埋込む
既存柱外周部あと打ちｺﾝｸﾘｰﾄ又は構造用ﾓﾙﾀﾙの厚さ　・図示による
補強後の仕上げ　・図示による

8-3　鉄骨工事

1　鉄骨の製作工場　(8.1.5)

※建築基準法に基づき性能評価を受けた製作工場で、下記ｸﾞﾚｰﾄﾞ以上の認定を受けた製作工場
・Sｸﾞﾚｰﾄﾞ　・Hｸﾞﾚｰﾄﾞ　・Mｸﾞﾚｰﾄﾞ　・Rｸﾞﾚｰﾄﾞ　・Jｸﾞﾚｰﾄﾞ
・上記のもの以外の製作工場　（・監督職員の承諾する製作工場　・　）

2　鉄骨製作工場における施工管理技術者　(8.1.6)

※配置する　・配置しない

3　鋼材

種類等　(8.2.8)

種類の記号	適用箇所(主要な部分)	規格
		・JIS規格による　・
		・JIS規格による　・

4　高力ボルト　(8.2.9)(8.13.2)(8.14.2)

ﾎﾞﾙﾄの種類　・ﾄｼｱ形高力ﾎﾞﾙﾄ　・JIS形高力ﾎﾞﾙﾄ
ﾎﾞﾙﾄの縁端距離、ﾎﾞﾙﾄの間隔、ｹﾞｰｼﾞ等　・図示による　・
摩擦面の処理方法　・改修標準仕様書8.14.2(1)による　・
すべり試験の実施　・すべり係数試験　・すべり耐力試験
すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.14.2(1)(ｲ)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。

5　普通ボルト　(8.13.2)[7.2.3]

ボルト及びナットの材料
・標準仕様書 表7.2.3(JIS附属書品)又は次による
ボルトの規格はJIS B 1180とする。
ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。
ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。ナットの規格はJIS B 1181とする。
ナットの種類は六角ナットCとし、材料は鋼とする。
・
座金　※JIS B 1256による　・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等　※図示による　・
母屋又は胴縁の取付けに使用するボルトの孔径　※ねじの呼び径+1.0mm　・

6　溶融亜鉛めっき高力ボルト　(8.13.2)(8.14.2)(8.20.5)

ﾎﾞﾙﾄの縁端距離、ﾎﾞﾙﾄの間隔、ｹﾞｰｼﾞ等　・図示による
摩擦面の処理方法　・ﾌﾞﾗｽﾄ処理（表面粗度50μmRz以上）　・りん酸塩処理　・
・すべり試験の実施
・すべり係数試験
・すべり耐力試験
すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.20.5(1)(ｱ)又は(ｲ)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。

7　アンカーボルト　[7.2.4][7.3.2]

・構造用ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ
種類　・図示　・ABR400　・ABR490
・建方用ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ
種類　・SS400
ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ及びﾅｯﾄのねじの公差域ｸﾗｽ及び仕上げの程度　※標準仕様書7.2.3による
・標準仕様書7.2.4以外のｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ
適用箇所　・図示（　　）
種類　・SS400
ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ及びﾅｯﾄのねじの公差域ｸﾗｽ及び仕上げの程度　※標準仕様書7.2.3による
ﾎﾞﾙﾄの縁端距離、ﾎﾞﾙﾄの間隔、ｹﾞｰｼﾞ等　・図示による
(構造関係共通事項(鉄骨標準図)1-1縁端距離及びﾎﾞﾙﾄ間隔)

8　溶接材料　(8.2.10)

溶接材料　・改修標準仕様書8.2.10(1)(2)による。

9　スタッド　(8.2.11)

呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所
・16		
・19		
・22		

10　製作精度　(8.13.3)

鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則6［鉄骨精度検査基準］に加えて、次による
通しﾀﾞｲｱﾌﾗﾑの突合せ継手の食い違いの寸法　※H12建告第1464号第二号イ(2)による　・
ｱﾝﾀﾞｰｶｯﾄの寸法　※H12建告第1464号第二号イ(3)による　・
食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法
・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強ﾏﾆｭｱﾙ」による
・

11　仮組　(8.13.10)

仮組を行う範囲　・図示による　・

12　溶接作業を行う技能資格者の技量付加試験　(8.15.3)

試験の要領　・図示による

13　溶接施工　(8.15.4、7)

開先の形状　・図示による　・
鋼製ｴﾝﾄﾞﾀﾌﾞを切断する部分
切断する箇所　・図示による　・
切断範囲　・ｴﾝﾄﾞﾀﾌﾞ、裏当て金等は、梁ﾌﾗﾝｼﾞの端から5mm以下を残して直線上に切断する。
なお、切断線が交差する場合は、交差部をｱｰﾙ状に加工する
・
切断面の仕上げ　・改修標準仕様書8.15.7(1)(ｶ)(b)②による　・
ｽﾀﾗｯﾌﾟの形状　・図示による　・

14　入熱、パス間温度の溶接条件　(8.15.7)(8.15.10)

鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件　・図示による
適用箇所　・図示による
・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部

15　溶接部の試験　(8.15.12)

平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法
・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による
・抜き取り検査①
※抜き取り検査②
JASS 6 付則 6[鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等
・JASS 6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の抜取箇所と同一とする。外観試験の不具合箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する
完全溶込み溶接部の超音波探傷試験
・工場溶接の場合
※全数
・工場現場溶接の場合
※全数

16　錆止め塗装　[7.3.3](8.17.2、4)

塗料の範囲
- 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲　・図示による　・
- 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲　※改修標準仕様書8.17.2(1)(ｱ)～(ｵ)による
  ・図示による

塗料の種別
- ・下記以外の鉄鋼面は、7章[塗装改修工事]による
- ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種別
  ※A種　・
- ・耐火被覆材が接着する面の塗料の種別
  ・

17　耐火被覆　(8.18.2～8)

種類、材料、工法等

種別	材料、工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)
・耐火材吹付け	・乾式吹付ﾛｯｸｳｰﾙ	・	
	・半乾式吹付けﾛｯｸｳｰﾙ	・	
	・湿式ﾛｯｸｳｰﾙ	・	
	・	・	
・耐火板張り	・繊維混入けい酸ｶﾙｼｳﾑ板	・	
	・	・	
・耐火材巻付け	・高断熱ﾛｯｸｳｰﾙ	・	
	・	・	
・ﾗｽ張りﾓﾙﾀﾙ塗り		・	
・耐火塗料	・	・	

18　アンカーボルトの設置等　[7.10.3]

構造用ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄの形状及び寸法　・図示による　・
構造用ｱﾝｶｰﾌﾚｰﾑの形状及び寸法　・図示による　・
建方用ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄの形状及び寸法　・図示による　・
建方用ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄの保持及び埋込み工法　種別　・A種　・B種
柱底均しﾓﾙﾀﾙの厚さ及び工法の種別　厚さ　・
　種別　※A種　・B種

19　鉄骨ブレース設置後の仕上げ　(8.22.9)

・図示による

20　あと施工アンカー　(8.2.4)

材料等
- ・金属系ｱﾝｶｰ
  - ・引張耐力　(　　) kN　・図示による
  - ・せん断耐力　(　　) kN　・図示による
  - ｱﾝｶｰ本体の径及び埋込み長さ
    - ・図示による　(　　)　・
  - セット方式　※本体打込み式改良型　・
  - 接合筋の種類、径、長さ
    - ・図示による　(　　)
  - ・性能確認試験
    - 試験方法及び試験数
      - ・図示による　(　　)
- ・接着系ｱﾝｶｰ
  - ・引張耐力　(　　) kN　・図示による
  - ・せん断耐力　(　　) kN　・図示による
  - ｱﾝｶｰの種類　※ｶﾌﾟｾﾙ方式回転打撃式　・
  - 接着剤の品質　・有機系　・無機系
  - ｱﾝｶｰ筋の径及び埋込み長さ　・図示による
  - ｱﾝｶｰ筋の種類　・
  - ｱﾝｶｰ筋の新設壁内への定着の長さ　・図示による
  - ・性能確認試験
    - 試験方法及び試験数　・図示による

穿孔　(8.12.14)

埋込み配管等の探査方法
- ・鉄筋探知機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う
- ・はつり出しによる
- ・

施工確認試験　(8.12.7)

試験方法
- ※引張試験機による引張試験
  - 確認強度　・図示による
- ・

21　柱底均しモルタル及びグラウト材　(8.2.12)

柱底均しﾓﾙﾀﾙ　※無収縮ﾓﾙﾀﾙ
ｸﾞﾗｳﾄ材
無収縮ｸﾞﾗｳﾄ材の材質等

混和材	ｾﾒﾝﾄ系(酸化ｶﾙｼｳﾑ及びｶﾙｼｳﾑ・ｻﾙﾌｫ・ｱﾙﾐﾈｰﾄ等によって膨張する性質を利用するもの)とする。
ｾﾒﾝﾄ	JIS R 5210「ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ」に適合した普通または早強ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄとする。
砂	土木学会ｺﾝｸﾘｰﾄ標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。

無収縮ｸﾞﾗｳﾄ材の品質及び試験方法

ｺﾝｼｽﾃﾝｼｰ	Jｰﾄによる下流時間 練混ぜ完了から3分以内の値：8±2秒
ﾌﾞﾘｰｼﾞﾝｸﾞ	練混ぜ2時間後のﾌﾞﾘｰｼﾞﾝｸﾞ率：2.0%以下
凝結時間	凝結開始時間：1時間以上 終結時間：10時間以内
無収縮性	材齢　7日　収縮しない
圧縮強度	材齢　3日　20.0N/mm²以上 材齢　28日　40.0N/mm²以上
塩化物量	0.30kg/m³以下
試験方法	1)　NEXCO試験方法 試験法 312-1999「無収縮ﾓﾙﾀﾙ品質管理試験方法」による。 ﾌﾟﾚﾐｯｸｽ形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験はﾌﾟﾚﾐｯｸｽ形のみとする。 2)　塩化物量の試験は、JIS A1144「ﾌﾚｯｼｭｺﾝｸﾘｰﾄ中の水の塩化物ｲｵﾝ濃度試験方法」による。

22　連続繊維シート　(8.2.13)(8.24.6)

連続繊維の材料
- ・炭素繊維
- ・ｱﾗﾐﾄﾞ繊維
- ・

引張強度(含浸硬化後)
- ・(　　) N/mm²　・

ﾔﾝｸﾞ係数(含浸硬化後)
- ・(　　) N/mm²　・

- ・下地処理
  - ・ひび割れ部改修
    - 範囲　・図示による　(　　)　・
    - 工法の種類　・
  - ・柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ
    - ・図示による　(　　)　・

連続繊維補強材の強度試験
- ・引張強度試験
  - ※JIS A 1191(ｺﾝｸﾘｰﾄ用連続繊維ｼｰﾄの引張試験方法)による
  - ・
  - 試験数量
    - ・図示による　(　　)　・
- ・付着強度試験
  - ※JIS A 6909(建築用仕上塗材)による
  - ・
  - 試験数量
    - ・図示による　(　　)　・

23　仕上げ　(8.24.7)

補強工事後の仕上げ
- ・図示による　(　　)　・

24　耐震スリットの方式、幅及び深さ　(8.25.2)

方式　・完全　・部分
幅及び深さ　・図示による　(　　)　・
設置個所　・図示による　(　　)　・

25　耐震スリットの施工前の埋込み配管等の探査　(8.12.4)

部分撤去部の埋込み配管等の探査方法
- ・鉄筋探査機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う
- ・はつりだしによる

26　耐震スリット充填材の挿入及び周囲補修等　(8.25.2)

- ・耐火材
  - 使用箇所及び仕様　・図示による　(　　)　・
- ・遮音材
  - 使用箇所及び仕様　・図示による　(　　)　・

撤去部の補修
- ※撤去材と同一材で補修
- ・

27　埋戻し及び盛土　(8.28.3)

材料及び工法
- ・材料(　　)　工法(　　)
- ※改修標準仕様書表8.28.1による
  - ・A種　適用場所　(　　)
  - ・B種　適用場所　(　　)
  - ・C種　適用場所　(　　)　土質(　　)　受渡場所　(　　)
  - ・D種　適用場所　(　　)
  - (品質　細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする)

28　杭地業　(8.2.15)(8.28.4)[4.3.8]

支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端位置含む)　・図示による　(　　)　・
杭の材料、工法、寸法、施工方法等　・図示による　(　　)　・
- ・試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法
  - ・図示による　(　　)　・
- ・杭の継手の個所数、材料、工法等
  - ・図示による　(　　)　・
- ・杭の溶接接手
  - 技能資格者の技量　・図示による　(　　)　・
  - 溶接部の確認　・図示による　(　　)　・
- ・杭頭の処理
  - ・処理しない
  - ・処理する
    - 処理方法(切断にともなう補強方法含む)
      - ・図示による　(　　)　・
- ・杭頭の中詰め材料
  - ・基礎のｺﾝｸﾘｰﾄと同調合のもの　・

杭の精度
- 水平方法の位置ずれ
  - ・杭径の1/4かつ100mm以下
  - ・評定等の評価内容による
  - ・
- 建て込み時の杭の鉛直度
  - ・1/100以内
  - ・評定等の評価内容による
  - ・

記録する施工状況等
- ・図示による　(　　)　・

29　砂利地業　(8.2.15)(8.28.4)

材料[G]
- ・再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ
- ・切込砂利又は切込砕石

砂利厚さ　※60mm
- ・

30　捨てコンクリート地業　(8.2.15)(8.28.4)

捨てコンクリートの厚さ　※50mm　・
ｺﾝｸﾘｰﾄの種類　※普通ｺﾝｸﾘｰﾄ　・
設計基準強度　※18N/mm²　・
ｽﾗﾝﾌﾟ　※15cm又は18cm　・

藤枝市都市建設部建築住宅課	青島彰一級建築士事務所	管理建築士　青島　彰 一級建築士登録　第118124号	検図	作図	日付 2025/3/14	建設工事名 高洲地区コミュニティ施設改修工事	建築工事改修特記仕様書(R06.4)　9 / 9	図番 A-09

別表

乾式保護材

品質・性能

分類・規格		窯業系パネルⅠ類（寒冷地仕様）	窯業系パネルⅡ類（一般的な仕様）	金属複合板
寸法の許容差		厚さ：+10%、-5%、幅：±1%		
出荷時の含水率		出荷時において10%以下		―
外観		割れ、貫通、き裂がない。欠け、ねじれ、そり、異物の混入、汚れ、はく離など使用上支障がない。		
曲げ強さ・曲げﾓｰﾒﾝﾄ(ｽﾊﾟﾝ40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げﾓｰﾒﾝﾄ)	標準時	550N・cm以上	450 N・cm以上	300N・cm以上
	凍結融解完了時（試験ｻｲｸﾙ数）	400N・cm以上（300）	320 N・cm以上（200）	250N・cm以上（300）
吸水率（%）		20以下	20以下	1以下
吸水による長さ変化率(%)		0.07以下	0.07以下	0.01以下
難燃性		不燃	不燃	表面材は不燃
耐凍結融解性能		300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。	200サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。（明らかに吸水しないと認められるものは耐凍結融解試験を省略できる。）
耐衝撃性能		質量1,000gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落として、裏面に達する穴があかないこと。	質量500gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落として、裏面に達する穴があかないこと。	質量500gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落として、裏面に達する穴があかないこと。残留変形量が1/100以下
剛性(E×I)ｽﾊﾟﾝ40cm幅30cmの中央曲げ時に荷重720N○)時、たわみ4mm以下となる剛性		―	―	80,000N・cm2以上

試験方法

(1)寸法の試験方法
（厚さ）
供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めてパネルの厚さとする。
（幅）
供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央１箇所の幅寸法を、JIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量が1mmの1級コンベックスルール又は、JIS B 7516「金属性直尺」に規定する目量が1mmの1級直尺を用いて測定する。

(2)曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は３号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全幅に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定す破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。
測定項目については、凍結融前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目にわたって測定する。（窯業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。）なお、荷重を加える時の平均速度は、1～3分間で予想最大荷重に達する程度とする。

(3)吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。

(4)難燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。

(5)吸水による長さ変化率試験は、試験体(幅40 mm×長さ160 mm×素材厚さ)を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち24時間経過した後、取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム（試薬）」に規定する塩化カルシウム又はJIS K 1464「工業用乾燥剤」に規定する品質に適合するシリカゲルで調湿したデシケータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の標線間隔が140 mmになるように標線を刻む。
その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて標線間の長さを測定し、それを基準(L1)とする。次に試験片の長さ方向を水平にこば立てし、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、常温の水中に浸せきする。
24時間経過した後、試験片を水中から取り出して湿布で表面に付着した水を拭き取り、再び標線間の長さ(L2)を測る。
吸水による長さ変化率((ΔL)は、次式によって求める。
(ΔL)= (L2 － L1)/ L1 ×100　　ΔL :給水による長さ変化率(%)
L1 : 乾燥時の標線間の長さ (mm)　　L2 ：吸水時の標線間の長さ (mm)

(6)耐凍結融解性能試験は、JIS A 5422「窯業系サイディング」の気中凍結水中融解法によって行う。
100、200、300各サイクル完了時の曲げ強度測定及び外観の状態を観察する。(窯業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。)凍結融解操作の試験条件は、試験片の切断小口面をあらかじめシールし、5～35℃清水中に24時間浸せきさせた後、凍結融解試験装置の槽内に設置し、－20±3℃の気中で2時間の凍結、20±3℃の水中で約1時間の融解を行う約3時間を1サイクルとする。

(7)耐衝撃性能試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」の衝撃性試験に準じて行う。
試験体の支持装置は、記号S2対辺単純支持方法による。
試験体の大きさは、4号（長さ400 mm，幅300 mm）とする。おもりは、鋼製のなす形おもりとし、記号(W1－1000)、質量1,000gとする。試験体を支持装置で支持して、堅固な床に水平に置き、おもりを試験体のほぼ中央の鉛直上1.0mから試験体の弱点部に自然落下させ、裏面に達する穴の「有・無」を確認する。金属複合板の残留変形量は、最大くぼみ深さを測定する。

既調合モルタル

品質・性能

項目		品質・性能
保水率		70.0%以上
単位容積質量		1.80kg/L以上
接着強さ	標準時	0.60N/mm2以上
	温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上
長さ変化率		0.20%以下
曲げ強さ		4.00N/mm2以上

試験方法

(1)試料の調製
製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。
練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。

(2)保水率の試験方法
JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定するみがき板ガラス(縦150mm、横150mm、厚さ5mm)の上にJIS P 3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5 A ろ紙(直径11cm)をのせ、その中央部に真ちゅう製リング型わく(内径50mm、高さ10mm、厚さ３mm)を設置し、(1)で調製した試料を金べら分が上で平滑に詰込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部部になるようにして静置する。 60分後にろ紙へにじみ出た水分の広がりが最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて、１mmの単位まで測定する。試験は３回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。
保水率＝50/平均値×100　　（注）50：リング型わくの内径(mm)

(3)単位容積質量の試験方法
JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ず る。

(4)接着強さ（標準時）の試験方法
イ）適用タイルが「モザイクタイル」の場合
（試験体の作製）
JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B（規定）のうち推奨仕様B-1に規定する普通平板N－300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出又はプレス成形による施ゆうの「50角ユニットタイル(外のり寸法約300mm×300mm)」を圧着する。
その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。
（試験方法）
JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、エポキシ樹脂接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び、抜き取る。また、試験後の部材破断位置の表示を下記の中から選び明記する。
T ：タイルの母材破断
TM：既調合モルタルとタイルの界面破断
M ：既調合モルタルの母材破断
MG：既調合モルタルと下地板の界面破断
G ：下地板の母材破断
ﾛ）適用タイルが「小口タイル・二丁掛けタイル」の場合
（試験体の作製）
JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N－300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ7mmになるように塗付ける。直ちに JIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出またはプレス成形による施ゆうの「小口タイル108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。
その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。
（試験方法）
「モザイクタイル」の場合と同様に行う。

(5) 接着強さ（温冷繰返し後）の試験方法
（試験体の作成）
「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々(4)接着強さ(標準時)の試験方法の「試験体」と同様とする。
（温冷繰返し試験）
「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A 6909「建築用仕上塗材」に規定する7.11温冷繰返し試験に準じて行う。
試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちに－20±2℃の 恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加温し、この24時間を１サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べる。
（温冷繰返し後の接着強さ試験方法）
「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」 とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。
なお、温冷繰返し後の接着強さは、抜取った試験片5箇所ともすべて 0.40 N/mm2以上を確保していること。

(6) 長さ変化率の試験方法
JIS A6203「セメント混和用ポリマーディスパージョン及び再乳化形粉末樹脂」に規定する9.9長さ変化率に準ずる。

(7) 曲げ強さの試験方法
JIS A6916「建築用下地調整塗材」7.11 曲げ強さ試験に準ずる。
試験室の状態 ： 試験室は、温度20±2℃、湿度65±10%とする。

既製調合目地材

品質・性能

項目	品質・性能
保水率	30.0%以上
長さ変化率	0.2%以下(収縮)
吸水量	50g以下
単位容積質量	1.80kg/L以上

試験方法

(1) 試験の条件
試験室は、温度20±2℃、湿度65±5% RHの標準状態とする。また、試験に使用する材料、器具などを、予め24時間以上標準状態に置いた後使用する。

(2) 試料の調整
正味質量と標準練り上がり量より、1.0～1.2Lの試料を練り上げるのに要する材料に相当する量を計算して用意し、さらに標準加水量より用意した材料に相当する量の練り混ぜ水を計算して用意する。
練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」11.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し3分間練り混ぜて試料とする。

(3) 保水性（ろ紙法）
JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス(縦200mm、横200mm、厚さ5mm)の上にJIS P 3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5 A ろ紙(直径18.5cm)をのせ、その中央部に真鍮製リング型わく（内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm）を設置し、２）で練り混ぜた試料を金べらで平滑に詰込める。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当て上下を逆さにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。10分後にろ紙へにじみ出た水分の広がりが最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて１mmまで測定する。
試験は3回実施し、その 平均値を用いて次式により保水率を求める。
保水率(%) ＝ 50/平均値×100　　（注）50：リング型わくの内径(mm)

(4) 単位容積質量
(2)で練り混ぜた試料を、JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」の6.4に規定する方法で求める。

(5) 長さ変化率
(2)で調整した試料を用いてJIS A 1171の 7.8 長さ変化率試験に従って行う。

(6) 吸水量
(2)で調整した試料を用いてJIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」7.5に規定する方法で24時間の吸水量を求める。試験体数は3個とし、その平均値で示す。

錠前類

【シリンダー箱錠及びシリンダー本締り錠】

品質・性能

デッドボルトの出寸法は17mm以上とする。
鍵付きのものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものとする。

使用頻度による性能	1) （シリンダ箱錠のみ）ラッチボルトの開閉繰り返し試験(40万回)を行った後、ハンドルでの開閉操作力及びラッチング力が試験前の2倍未満であり、動作に支障がない。
	2) キーによるデッドボルトの施解錠繰り返し試験(10万回)を行った後、 試験前の回転トルクの2倍未満であり、施解錠操作に支障がない。(シリンダー本締り錠のみ)シリンダー単体の施解錠繰り返しの評価は、シリンダーだけの回転トルクが10N・cm以下とする。
	3) キーによる施錠機構の施解錠繰り返し試験(10万回)を行なった後、 試験前の回転トルクの2倍未満であり、施解錠操作に支障がなく、かつ、確実に施錠状態を維持できる。
	4) キーの抜き差し繰り返し試験(10万回)を行なった後、キーの抜き差しに要する力(N)は10N以下である。また、未使用の合鍵でシリンダーが回転でき、かつ、1箇所1段差浅い刻みをもつ異なるキーでは、シリンダーが回転しないこと。(キーに加えるトルクは、150N・cmとする)
外力に対する性能	1) デッドボルトの押込み強度試験(10kN以上)を行なった後、荷重を除いたときのデッドボルトの出寸法は8 mm以上である。
	2) デッドボルトの側圧強度試験(10kN)の荷重を加えたとき、加圧板がデッドボルトを通過しない。
	3) デッドボルトの押込み強度(衝撃荷重)試験(58.8J)の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態(デッドボルトの突出量が8mm未満)にならない。
	4) デッドボルトの側圧強度（衝撃荷重）試験(58.8J)の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態(加圧板がデッドボルトを通過した状態)にならない。
	5) （シリンダー本締り錠はグレード3以上の彫込錠の場合）ストライクプレートの厚さ1.5mm以上のステンレス鋼製とし、トロヨケは厚さ1.6mm以上の鋼製の一体鋳りとする。又はストライクの強度と同等以上の強度を持つものする。
使用扉の質量に対する性能（ｼﾘﾝﾀﾞｰ箱錠のみ）	1) ラッチボルトの側圧強度試験(4kN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びハンドル操作及びラッチングに支障がない。
	2) レバーハンドルのねじり強度試験(3.5kN・cm)を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが操作に支障がない。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。
	3) 握り玉のねじり強度試験(3kN・cm)を行なった後、トルクを除いたとき、握り玉が正常に作動していること。また、施錠時握り玉が固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。
	4) ハンドルの引張強度試験(2kN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。
	5) ハンドルの垂直荷重強度試験(2kN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、施解錠操作に支障がない。
鍵	1) 鍵数は、1.5万以上とする。ただし、異なるキーウェイ形状であっても、共通のキーセクションが存在する場合は、有効かぎ（鍵）違い数とみなさないものとする。
	2) 同一タンブラーの使用数は、60以下とする。また、6 本タンブラーにおいては、キーの同一刻みは、最大2連続までとしていること。

試験方法は、JIS A 1541-1(建築金物－錠－第１部：試験方法)による。

クローザー類

品質・性能

性能試験項目				①ドアクローザ		②ヒンジクローザー		③フロアヒンジ	
初期値	閉じ力及び効率による区分（注1）（注2）	Grade2	番手	閉じﾓｰﾒﾝﾄ（N・m）	効率（%）	閉じﾓｰﾒﾝﾄ（N・m）	効率（%）	閉じﾓｰﾒﾝﾄ（N・m）	効率（%）
			1	5以上	30以上	5以上	30以上	5以上	30以上
			2	10以上	30以上	10以上	30以上	10以上	30以上
			3	15以上	35以上	15以上	35以上	15以上	35以上
			4	25以上	40以上	25以上	40以上	25以上	40以上
			5	35以上	45以上	35以上	45以上	35以上	45以上
			6	45以上	45以上	45以上	45以上	45以上	45以上
	閉じ速度			常温(5～35℃)無風状態において、開扉(70°)から全閉(0°)までの時間を5～8秒に調整できること。					
	温度依存性			緩衝油の流動点は、JIS K 2269「原油及びﾋ石油製品の流動点並びに石油製品曇り点試験方法」により測定し、-15℃以下であること。					
	ストップ力	ストップ入力		60 N・m以下ただし、ｺﾝｼｰﾙﾄﾞ型は200N・m以下		100 N・m以下		100 N・m以下	
		ストップ解除力		8 N・m以上		3 N・m以上		10 N・m以上	
	ﾊﾞｯｸﾁｪｯｸ性能（秒）（ﾊﾞｯｸﾁｪｯｸ機能を有する機種のみ適用）			ドア開扉方向に荷重60N/㎡を開扉50°から負荷する。ﾊﾞｯｸﾁｪｯｸ開始角度(70～85°)から更に20°まで開く間の時間は±0.8秒以上としていること。		―		―	
	ﾃﾞｨﾚｰﾄﾞｱｸｼｮﾝ性能（秒）ﾃﾞｨﾚｰﾄﾞｱｸｼｮﾝ解除角度(60～70°)（ﾃﾞｨﾚｰﾄﾞｱｸｼｮﾝ機能を有する機種のみ適用）			開扉90°の位置からﾃﾞｨﾚｰﾄﾞｱｸｼｮﾝ解除角度までの時間が10秒以上確保でき、また、その時間の調整が可能であること。		―		―	
	戸の閉鎖位置（中心吊り込み両自由のみに適用）			―		―		±3mm以内	
耐久性	繰返し開閉後の閉じﾓｰﾒﾝﾄ（N・m）	Grade2		耐久試験後も上記初期値を満足していること。		耐久試験後も上記初期値を満足していること。		耐久試験後も上記初期値を満足していること。	
	繰返し開閉後の効率（%）	Grade2		耐久試験後も上記初期値を満足していること。		耐久試験後も上記初期値を満足していること。		耐久試験後も上記初期値を満足していること。	
	繰返し開閉後の閉じ速度(秒)			耐久試験後も上記初期値を満足していること。					
	繰返し開閉後のﾊﾞｯｸﾁｪｯｸ性能（秒）			耐久試験後も上記初期値を満足していること。		―		―	
	繰返し開閉後のﾃﾞｨﾚｰﾄﾞｱｸｼｮﾝ性能（秒）			耐久試験後も上記初期値を満足していること。		―		―	
	繰返し開閉後の戸閉鎖位置（mm）			―		―		耐久試験後±6mm以内	
耐久性の試験回数（繰返し開閉回数）		Grade2		20万回		10万回		30万回	

注１.ﾊﾞﾗﾙ取付けは、右記の閉じﾓｰﾒﾝﾄの70%程度までとする。
注２.ｺﾝｼｰﾙﾄﾞ型は右記の閉じﾓｰﾒﾝﾄの50%程度までとする。
Grade1を選定する場合は、図示による。

試験方法

(1)性能試験は、JIS A 1510-3（建築用ドア金物の試験方法－第３部：フロアヒンジ、ドアクロー ザ及びヒンジクローザ）に規定する試験方法による。

(2)試験ドアの質量は、1番手は25kg、2番手は40kg、3番手は60kg、4番手は80kg、5番手は100kg、6番手は120kgとする。

防水材

品質・性能

項目	品質・性能
防水剤の種別	建築用のモルタルに用いるセメント防水剤
混合割合	セメント重量の5%以下
凝結及び安定性	凝結時間　始発：1時間以上　終結：10時間以内 安定性　　収縮性、膨張性のひび割れ及びそりが無いこと。
曲げ及び圧縮強度比	防水剤を混入したもの、しないものの比： 曲げ強度費及び圧縮強度比　70%以上
吸水比	防水剤を混入したもの、しないものの比： 吸水比　95%以下
透水比	防水剤を混入したもの、しないものの比： 吸水比　80%以下

試験方法

JIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」による。
ただし、透水試験における水圧は、3.0×10^{5}Paとし1時間行う。

現場発泡断熱材

品質・性能

項目	品質・性能
難燃性	下記のいずれかによっていること (1)JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」に規定する難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2)法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験(ｺｰﾝｶﾛﾘｰ試験)に適合していること。
発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の(1)～(3)に適合していること。 (1)総発熱量が8MJ/㎡以下であること。 (2)防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3)最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/㎡を超えないこと。

試験方法

(1)吹付け硬質ウレタンフォーム原液の粘度試験
JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」に規定する6.1による。
(2)発泡品試験
ｲ) 試料の作製は、JIS A 9526に規定する6.2.1による。
ﾛ) 試料の状態調節は、JIS A 9526に規定する6.2.2による。
ﾊ) 試料片の作製は、JIS A 9526に規定する6.2.3による。
ﾆ) 試験場所は、JIS A 9526に規定する6.2.4による。
ﾎ) 圧縮強さ試験は、JIS A 9526に規定する6.2.5による。
ﾍ) 熱伝導率試験は、JIS A 9526に規定する6.2.6による。
ﾄ) 接着強さ試験は、JIS A 9526に規定する6.2.7による。
ﾁ) 透湿率試験は、JIS A 9526に規定する6.2.8による。
(3) 難燃性試験は、JIS A 1321 に規定する表面試験及び発熱性試験による。
ｲ) 難燃性の試験については、JIS A 1321 に規定する試験方法に準じる。
ﾛ) 発熱性試験は、建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価に使用している試験方法に準じる。

フリーアクセスフロア

性能

標準仕様書20.2.2によるほか以下による。
(1)耐震性能
ｲ) 固定台試験による耐震性能(設計床高さ H=300mmを超え、600mm以下の場合)

項目	性能
①ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ又はｱﾝｶｰが耐力に達したとき若しくはコンクリート接着面が剥離したとき	水平荷重の1/2が下記の<適用地震時水平力>以上
②上記①以外の部分が耐力に達したとき	水平荷重の1/1.5が下記の<適用地震時水平力>以上
③適用地震時水平力(0.6G又は1.0G)を加力した時の支柱頂部の変位	構造床面からの高さの1/50以下
<適用地震時水平力> 3,000N 0.6Gタイプ 支柱一本が負担する床加重{(㎡当り自重+3,000N)/㎡当りの支柱本数}×0.6 3,000N 1.0Gタイプ 支柱一本が負担する床加重{(㎡当り自重+3,000N)/㎡当りの支柱本数}×1.0 5,000N 0.6Gタイプ 支柱一本が負担する床加重{(㎡当り自重+5,000N)/㎡当りの支柱本数}×0.6 5,000N 1.0Gタイプ 支柱一本が負担する床加重{(㎡当り自重+5,000N)/㎡当りの支柱本数}×1.0	

ﾛ) 振動台試験による耐震性能 (設計床高さ≦300mmの場合のみ)
パネルの脱落や使用上支障をきたす損傷、せり上がり、隙間及び水平移動しない。
(2)歩行感
通常の歩行において空洞音やがたつきがなく、歩行感に違和感がない
(3)メンテナンス性
交換が必要な部品については交換できるよう設計されている。
構造、形状は配線の変更及び増設に対して支障がないこと。

試験方法

(1)耐震性能
ｲ) 設計床高さ≦300mmの場合
試験体ユニット1000mm×2500mm程度
所定の重りの質量　3000N：200kg　5000N：350kg
加振　0.6G：所定加速度600cm/S^2　1.0G：所定加速度1000cm/S^2
ﾛ) 300mm<設計床高さ≦600mmの場合
① 固定台による耐震性能試験
1) 支柱調整式－支柱分離型・支柱固定タイプの全てのタイプ共、下記の試験方法-1又は、試験方法-2による。
2) 原則として、試験方法-1はﾊﾟﾈﾙ単体設置(Aタイプ)に適用し、試験方法-1はﾊﾟﾈﾙ連結設置(Bタイプ)に適用するものとする。
② 試験方法-1
1) 試験は、ｺﾝｸﾘｰﾄ(JIS A 5371「ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ製品」種類：N300)に接着した支柱の頂部に対し、水平方向に適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。
2) 加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。試験体数は、3個とする。
③ 試験方法-2
1) 試験は、ｺﾝｸﾘｰﾄ(JIS A 5371「ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ製品」種類：N300)に接着した数ユニットの支柱の頂部に対し、水平方向に数ユニット分相当の、適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。
2) 最終的に水平力を支持する支柱の本数で除した値を、支柱1本当たりの水平力とする。
また、800mm×800mmの荷重板に1920N(3,000N/1m2相当)、3,200N(5,000N/1m2相当)を1箇所設ける。試験体数は、1セットとする。
④ 零点補正及び測定記録
試験体と試験機の隙間等を除去するため、始めに適用地震時水平力の1/2程度の水平力を加力した後、速やかに除荷して“0”にした状態を零点とする。また、水平力による各測定点の荷重及び変形曲線を測定し記録する。
ﾊ) 共通事項
試験に使用する表面仕上材
種類：タイルカーペット　繊維素材：ナイロン100 %
パイル携帯：ループパイル　パイル長：3.0mm～4.0mm
バッキング素材：塩化ビニル樹脂　全厚：6.0mm～7.0mm
単位質量：4.0kg/㎡～6.0kg/㎡　人体耐電圧：２KV以下

移動間仕切り

標準仕様書20.2.4によるほか以下による。

品質等

(1)パネル(表面材、心材、フレーム材、幅木、笠木及び補強材)及びハンガーレールは、JIS A 6512「可動間仕切」に規定する表9 材料又はこれらと同等以上の品質性能を有し、かつ、接触腐食をおこさないもの又は防食処理を施したものとする。
(2)外観は、JIS A 6512に規定する 5.要求事項a)～c) による。

性能

(1)パネルの操作性
パネル操作の初動力は98 N 以下とする。
(2)パネル圧着装置の耐久性
パネル圧着装置の固定・解除は、7,500 回の繰返し耐久試験において異常がないものとする。
(3)耐衝撃性
パネル圧着装置の耐久試験後、質量50kgにおける衝撃試験において構造部材の折れ、曲りの異常がなく、表面の割れ、はがれのないものとする。また、接点・接床部が外れないこと及び多少のずれがあっても圧接装置の調整で元に戻せるものとする。
(4)レールの耐久性
レールは普通パネルで吊り車２個が通過する部分を1m以上とし、吊り車の通過回数30,000回以上で異常のないものとする
(5)吊り車の耐久性
吊り車は、走行距離60kmで操作性に異常がなく、レールに大きな変形がないものとする。
(6)ランナーの引張強度
引張り試験を実施し、普通パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナーの数で除した値以上の強度があるものとする。
(7)吊りボルトの引張強度
一本にかかる荷重の15倍以上の引張強度があるものとする。
(8)遮音性能
遮音性試験はJIS A 6512に規定する 8.2 遮音性試験により、試験方法は JIS A 1416「実験室における建築部材の空気音遮断性能の測定方法」による。性能は、中心周波数500Hzについての透過損失とし、36dB以上を遮音タイプ、36dB未満を一般タイプとする。
(9)ホルムアルデヒド等
JIS A 6512「可動間仕切」7.材料による。

トイレブース

標準仕様書20.2.5によるほか以下による。

品質・性能

(1)付属金物

項目	品質・性能
ヒンジ	耐蝕性のあるものとする。
ラッチセット	
戸当り	腐蝕の恐れのある材料は、防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質とする。

(2)外観は、JIS A 6512「可動間仕切」の5.要求事項 b)による。
(3)パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひっかき性・開閉耐久性

項目	品質・性能		
	耐薬品性及び耐汚染性	耐引っかき性	開閉耐久性
メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	JIS K 6903「熱硬化性樹脂高圧化粧板」に規定する表6品質の耐汚染性(C法)を満足していること。又はこれと同等の性能を有するものであること。		JAS A 4702「ドアセット」9.4 開閉繰返し試験によるスイングドア(開閉回数10万回)を満足すること及び試験終了時点で構造金物、固定金具等に緩みがないこと。
低圧メラミン樹脂系化粧板	下記項目のポリエステル樹脂系加工化粧合板、化粧MDF及び化粧パーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。		
ポリエステル樹脂系加工化粧合板	JAS「合板の農林規格」第9条(特殊加工化粧合板の規格)に規定する耐汚染性B試験を満足していること。	JAS「合板の農林規格」第9条(特殊加工化粧合板の規格)に規定する引っかき硬度B試験を満足していること。	
ポリエステル樹脂系化粧MDF	JIS A 5905「繊維板」に規定する表18の化粧MDFの品質に適合していること。		
ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボード	JIS A 5908「パーティクルボード」に規定する表11の化粧パーティクルボードの品質に適合していること。		

試験方法

(1)ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法－第2部：ドア用金物」の規定による。
(2)戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2の規定による。

天井点検口

品質・性能

(1)内外枠の材質は、アルミニウム製とする。
(ｲ)JIS H 4100「アルミニウム及びアルミニウム合金の押出形材」に規定する A6063S-5 又は同等の性能を有するものとする。
(ﾛ)表面処理は、JIS H 8601「アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化被膜」に規定するAA6又は同等の性能を有するものとする。
(2)外枠及び内枠のコーナーピース
鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するものとする。
(3)外枠の取付け金物
(ｲ)吊り金具
鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するものとする。
(ﾛ)吊り金具取付けボルト
鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するものとする。
(4)内枠の仕上材留付金物
アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材、亜鉛めっき鋼板の類及びこれらと同等以上の品質並びに仕上げ材を固定する性能を有するものとする。
(5)寸法の許容差(枠の許容差)
枠の寸法許容差　±0.5mm以内
外枠と内枠のクリアランス(片側)　2.0mm以内
(6)耐久性能（繰り返し開閉試験）
(ｲ)繰返し試験後の内蓋の垂れ下がりが、50回、100回、300回で、0.5mm以内とする。
(ﾛ)開閉試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。

試験方法

内蓋（内枠）の繰り返し開閉試験
(1)試験体は、枠見込み40mm程度のものとする。
(2)吊り金物は、外枠を天井下地取付用補強材に直接留付ける方式（天井ボードなどの仕上材を挟んで固定しない方式）とする。標準仕様書14章4節により製作した試験体固定用天井下地開口補強に試験体の天井点検口450mm×450mmを吊り金具4箇所にて各メーカー仕様に従い取付ける。
(3)野縁の種類は19形とし、仕上材はせっこうボード厚さ9.5mm(JIS A 6901「せっこうボード製品」に規定するGB－Rの難燃2級又は発熱性2級以上）二重張りとする。
(4)試験は、内蓋を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰り返し行う。
(3)測定は、上記繰り返し試験において、各50回、100回、300回毎に内蓋の垂れ下がり状態を測定する。

床点検口

品質・性能

部材名	材質	屋内外用	屋内用
受け枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材	JIS H 4100「アルミニウム及びアルミニウム合金の押出形材」に規定するA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602「アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化塗装複合被膜」に規定する B 又は JIS H 8601「アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化皮膜」に規定する AA15	
	ステンレス鋼製	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定する SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (目地ともの場合の表面仕上) HL又はNo.2B仕上げ程度	JIS G 4305に規定する SUS430 (目地ともの場合の表面仕上) HL又はNo.2B仕上げ程度
	鋼製	－	鋼板又は JIS G 3313「電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」の類にメラミン樹種焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2の錆止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの
二重蓋の中蓋	鋳鉄	JIS G 5501「ねずみ鋳鉄品」に規定する FC150、FC200	
目地材	黄銅	JIS H 3100「銅及び銅合金の板及び条」に規定する C2600、C2720、C2801 JIS H 3250「銅及び銅合金の棒」の C3602、C3604	
	ステンレス	JIS G 4305に規定する SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 また JIS G 4308「ステンレス鋼線材」に規定する SUS304	
底板材 コーナーピース 底板補強材	ステンレス鋼板	JIS G 4305に規定する SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 また JIS G 4308に規定する SUS304	JIS G 4305に規定する SUS304
	アルミニウム板	JIS H 4000「アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条」に規定するA1100P-H24 表面処理：陽極酸化塗装複 合被膜 JIS H 8601 に規定する AA15 JIS H 8602 に規定する B	－
	鋼材	－	鋼板又は JIS G 3313「電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」の類にメラミン樹種焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2の錆止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの
パッキン材		塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等外枠の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの	
アンカー材		鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの	
取手		黄銅鋳鉄製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鋳物製、ステンレス鋼鋳鋼品、ステンレス鋼材製等の堅牢な材質のもの合成樹脂製は、ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材等で表面を被覆し、衝撃による変形・割れが生じない構造のもの	
錠		黄銅製、ステンレス鋼製、亜鉛合金製(クロムめっき)の類のもの	

(1)許容差
(ｲ) 受け枠基準寸法　600mm角程度まで
(ﾛ) 受け枠寸法の許容差　±0.5mm
(ﾊ) 蓋付寸法の許容差　±0.5mm
(ﾆ) 受け枠と蓋枠のクリアランス　片側2.0mm以内
(2)蓋の耐荷重性能
(ｲ) 加圧する荷重値　Pn=1,000N
(ﾛ) 蓋中央部の残留たわみが点検口の有効径の0.08%以内
(ﾊ) 受け枠・蓋その他に使用上の支障がないこと
(ﾆ) 破壊荷重が、加圧荷重値　Pnの2倍以上

試験方法

(1)耐荷重試験
(ｲ) 張物用とし、600mm角程度とする。
(ﾛ) 枠見込みは、40mm以下とする。
(2)試験
(ｲ) 試験は、蓋枠の四周を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。
(ﾛ) 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。
(ﾊ) 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返し行った後、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。
(3) 測定
測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について、1,000Nまで3回繰返し、荷重ごとに記録。また、終局荷重を記録する。

グレーチング

品質・性能等

【鋼製グレーチング＞】

項目	品質・性能
メインバー、サイドバー及びエンドプレート	JIS G 3101「一般構造用圧延鋼材」に規定する SS400
クロスバー	JIS G 3101に規定する SS400 及び JIS G 3505「軟鋼線材」に規定するSWRM
受け枠用アングル材	JIS G 3101に規定する SS400 及び JIS G 3132「鋼管用熱間圧延炭素鋼鋼帯」に規定する SPHT
溶融亜鉛めっき膜厚	JIS H 8641「溶融亜鉛めっき」に規定する HDZT 56/56μm (旧2種40 HDZ 40)以上 HDZT 70/70μm (旧2種50 HDZ 50)以上
受け枠用アングル材	塗装仕上げとする場合は、樹脂系塗料

(1)組立て加工
(ｲ) アンカーの間隔は、側溝の場合500mm内外とする。
(ﾛ) 平たん性は変形が無く据え付けに支障がないものとする。
(ﾊ) ふたの幅及び長さの許容差は、±3.0mmとする。
(2)耐荷重性能
設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする。

【ステンレス製グレーチング】

項目	品質・性能
メインバー、クロスバー	JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間仕上ステンレス鋼棒」に規定する SUS304 又は JIS G4304、JIS G 4305に規定する SUS430J1L
エンドバー、サイドバー	JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間仕上ステンレス鋼棒」に規定する SUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305に規定する SUS430J1L及び JIS G 4317「熱間成形ステンレス鋼軽鋼」JIS G 4320「冷間成形ステンレス鋼軽鋼」に規定する SUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305に規定するSUS430J1L
受け枠用アングル材	JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4317、JIS G 4320に規定する SUS304 又は JIS G 4305 に規定するSUS430J1L
アンカー	JIS G 3101に規定する SS400の類とし、塩害の多い地区は塩害に対する防錆処理を行っているもの

HL又は表面仕上げは、No.2B程度とする。
(1)組立て加工
(ｲ) アンカーの間隔は、側溝の場合500mm内外とする。
(ﾛ) 平坦性は、変形がなく据付けに支障がないものとする。
(ﾊ) ふたの幅及び長さの許容差は、±3.0mmとする。
(2)耐荷重性能
設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする。

荷重試験

設計荷重は以下のとおりとする

歩車道区分	荷重種別	側溝用(kN)	横断溝用(kN)	加圧面積(cm)
車道	T-20	78.5	109.8	20×50
	T-14	54.9	76.9	20×50
	T-6	23.5	33.0	20×24
	T-2	7.8	11.0	20×16
歩道	4,903N/m2(500kgf/m2)の等分布荷重			

(1)試験体
溝ふた、U字溝ふたとし、下記の種別ごとに強度計算における応力度が最大となる製品について試験を行う。
(ｲ) 溝ふた　横断用　T-20～T-2のうち1体
歩道用　1体
側溝用　T-20～T-2のうち1体
(ﾛ) U字溝用　側溝用　T-14～T-2のうち1体
歩道用　1体
(2)試験体への加力
(ｲ) 設計荷重を基準として、一方向繰返し加力を行う。加力速度は、原則として4,903N/s(0.5tf/秒)とする。
(ﾛ) 繰返し加力は3回行った後、残留ひずみ等がないか確認する。その後設計荷重の1.5倍まで加力し、溶接部のはずれ等異常の有無について確認する。

屋上緑化システム

【屋上緑化システム(板状成形品タイプ)】

品質・性能

項目	品質・性能
透水フィルターの材質及び透水性能試験専用土壌を用いた定水位透水試験での透水係数(cm/S)の時間変化	材質は、合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるもの。 透水性能はその週の数値が直前の週の数値より高い値を維持し、透水係数の上昇傾向を確認できること。
透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること (保水層を有する場合は、保水層共)
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を支え流出しない構造をもつこと。
排水層の鉛直方向の排水性能	240L/㎡・h以上
耐荷重性能 排水層の許容圧縮強度	最大有効土壌層厚の単位面積当たりの重量の1.5倍以上、かつ3×10^{4}N/㎡の載荷重で破損・有害な変形のないこと。 また、一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。
耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して３年以上の耐根性能(貫通防止能力)を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるもの。
耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護できること。ただし、耐根層を保護ｺﾝｸﾘｰﾄ(絶縁ｼｰﾄも含む)の下に設ける場合は省略することができるものとする。

試験方法

(1)透水フィルタの透水性能
ｲ) JIS A 1218「土の透水試験方法」に規定する定水位透水試験に準じたインターロッキングブロックの透水性試験装置の下部に試験体(透水フィルタ)をセットし、その上に砂（JIS A5308「レディミクストコンクリート」付属書Aに規定する砂）及びシルト#250を容積比9：1の割合で混合し、高さ80mmの試験容器に加圧せずに均一に充填する。（試験体１体）
ﾛ) 常温で１日置いた後、上部より給水する。給水5日間連続後取り出して自然水切り2日とした給水ｻｲｸﾙを繰り返す。週2回を下回らない測定回数で圧力差の水頭差110mmを保持したまま、1分間の透水量を計量し、透水係数を算出する。なお、乾燥工程の試験室は室温20±3℃　湿度60±5%とする。
ﾊ) 水切り工程は、試験体の入った試験装置を取り出し、試験室内に水が切れる状態で保管する。
ﾆ) 各サイクルごとの透水係数の推移をグラフ化し、6週間を過ぎるまでにその週の数値が直前の週の数値より高い値を維持し、透水係数の上昇傾向を確認できれば目詰まりが解消方向にあると判断し、合格とする。
ﾎ) 試験開始後6週間、流水時間合計が30日を越えた時点で透水係数がまだ上昇に転じない場合は、その後も透水量が増加する方向へ向かうまで流水時間を延長して確認することも可とする。
(2)排水層の耐荷重
ｲ) 最大土壌層厚の単位面積当たりの重量の1.5倍かつ3×10^4 N /㎡の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根層等に有害な変形・破壊の起きないことを確認する。又その時の圧縮応力に対する歪み(%)を測定する。保水層を有する場合は保水層も対象とする。
ﾛ) 試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。加圧速度は10mm/min以下とする。

【屋上緑化軽量システム】

品質・性能

項目	品質・性能
透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。（保水層を有する場合は、保水層共）
透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植え込み用土を流出させない構造であること。
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を流出しない構造であること。
排水層の鉛直方向の排水性能	240L/㎡・h以上
耐荷重性能 排水層の許容圧縮強度	3×104N/㎡以上の載荷重で破損・有害な変形がないこと。 また、一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。
耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して３年以上の耐根性能(貫通防止能力)を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。
耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護できること。ただし,耐根層を保護ｺﾝｸﾘｰﾄ(絶縁ｼｰﾄも含む)の下に設ける場合は省略することができるものとする。

試験方法

(1)排水層の耐荷重性能

イ) 3×10^{6}N/㎡の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根層等に有害な変形破壊の起きないことを確認する。また、その時の圧縮応力に対する歪み(%)を測定する。保水層を有する場合は保水層も対象とする。

ロ) 試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。加圧速度は10mm/min以下とする。

トップライト

品質・性能等

項目			品質・性能		
付帯品			水切、結露受、額縁等が必要に応じて取り付けられること。		
アルミニウム合金の押出形材		材質	JIS H 4100「アルミニウム及びアルミニウム合金の押出形材」に規定するものとする。		
		表面処理	JIS H 8602「アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化塗装複合被膜」に規定する種類 Bとする。		
ステンレス鋼板			JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304 及びSUS430J1L とする。		
副資材	アルミニウム板	材質	JIS H 4000「アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条」に規定するものとする。		
		厚さ	枠・かまち等に用いる場合は、1.5mm以上とする。		
		表面処理	JIS H 8602に規定する種類のBとする。		
	鋼板等	材質	補強材、力骨、アンカー等は、亜鉛めっきなどの接触腐食の防止処置を行ったもの、又はアルミニウム合金製とする。		
	ステンレス鋼板	材質	JIS G 4305に規定する SUS304 及び SUS430J1Lとする。		
		表面仕上げ	No.2B又はHLとする。		
	合成樹脂系成形材		耐久性を有し使用箇所に適したものとする。		
	気密材		耐久性を有し使用箇所に適したものとする。		
	小ねじ類		ステンレス製とする。		
製品の寸法許容差及び相対する辺寸法の差	寸法部位		寸法	許容差	相対する辺寸法の差
	枠の内法寸法高さ及び幅		2.0m未満	±1.5mm	
			2.0m以上3.5m未満	±2.0mm	
	枠の相対する辺寸法の差		2.0m未満		2mm以下
			2.0m以上3.5m未満		3mm以下
	枠の見込み寸法		120mm未満	±1.0mm	
耐風圧性	耐風圧等級		S-5	S-6	S-7
	耐風圧区分		2,400Pa	2,800Pa	3,600Pa
	1) 加圧中破損のないこと。 2) 無目・方立がある場合は、そのたわみ率が1/150以下であること。 3) 除圧後、枠及び戸の部材、金具、その他に機能上支障がないこと。				
気密性	気密性による等級			A-4	
	気密等級線			A-4等級線	
	通気量が JIS A 4706「サッシ」の図-1に規定する気密等級線以下とすること。				
水密性	水密性による等級			W-5	
	サッシ前後の圧力差			500Pa	
	加圧中に JIS A 1517「建具の水密性試験方法」に規定する枠外への流れ出し、しぶき、吹き出し、あふれ出しの状況が発生しないこと。				
耐火性能	建築基準法施行令第107条による屋根の30分耐火構造とする。				

(1)枠部材の接合は、強固で、見え掛り箇所(ねじを含む)は平滑であること。
(2)枠には、必要に応じて付属部品を取り付けるための補強が施されていること。
(3)補強に用いる場合には接触腐食を起こさないよう処置してあること。
(4)組立ては、形状寸法、取合い等を正確に行い、特に雨仕舞い及び開閉具合(開閉機構のある製品に限る)に注意してあること。
(5)枠、水切り板等のアンカー間隔は、製品に適したものとし、両端から逃げた位置から間隔500mm以下に取り付けること。
(6)雨水の浸入の恐れがある接合部には、その箇所に相応したシーリング材又は止水材を用いて止水処理を行うこと。
(7)ガラス溝の寸法・形状等は製造所の仕様による。

試験方法

(1)耐風圧性については JIS A 1515「建具の耐風圧性試験方法」
(2)気密性　については JIS A 1516「建具の気密性試験方法」
(3)水密性　については JIS A 1517「建具の水密性試験方法」
(4)断熱性　については JIS A 1492「出窓及び天窓の断熱性試験方法」
※2006(平成18)以前の評価については、JIS A 4710「建具の断熱性試験方法」も可とする。

ポリマーセメントモルタル

性能

項目			品質・性能
だれ	下がり量(mm)		5以内
	表面の状態		ひび割れの発生がないこと。
曲げ強さ(N/mm2)			6.0以上
圧縮強さ(N/mm2)			20.0以上
接着強さ(N/mm2)	標準条件		1.0以上
	特殊条件	湿潤時	0.8以上
		低温時	0.5以上
透水性			表面のぬれ、水滴の付着が無いこと。
その他			1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 高分子エマルションは、常温常湿において製造後6か月保存しても、変質しないこと。

試験方法

(1)だれの試験方法は、JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N300の表面をワイヤブラシ等で清浄し、その上に厚さ10mm、幅100mm、長さ50mmの寸法にポリマーセメントモルタルを塗り付け、塗り付け開始から5分後に平らにおかれていた平板を直角に立て起し、そのままの状態で静置する。24時間後のポリマーセメントモルタルの変形状態を観測し、その形状の以上の有無とだれ長さを測定する。
(2)曲げ強さ、圧縮強さの試験方法は、JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に規定する7.3による。
(3)接着強さの試験方法は、JIS A 5371に規定する普通平板 N300の表面をワイヤブラシ等を用いて清浄し、その上に厚さ10mmになるようポリマーセメントモルタルを塗り、14日間経過した後にその上面に縦40mm、横40mm、厚さ10mmの鉄片を張り付けて単軸引張りを加える。最大荷重(P)を断面積(A)で除し、接着強さを求める。
(4)透水性試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に規定する8.6に定める方法による。
(5)接着耐久性試験（温冷繰返し後)は、JIS A 1171に規定する7.5による。
(6)透水量試験は、JIS A 6916「建築用下地調整塗材」に規定する7.15による。
(7)吸水量試験は、JIS A 1171に規定する7.6による。
(8)長さ変化率試験は、JIS A 1171に規定する7.8による。
(9)試験室は、温度 20±2℃、湿度 60%以上とする。

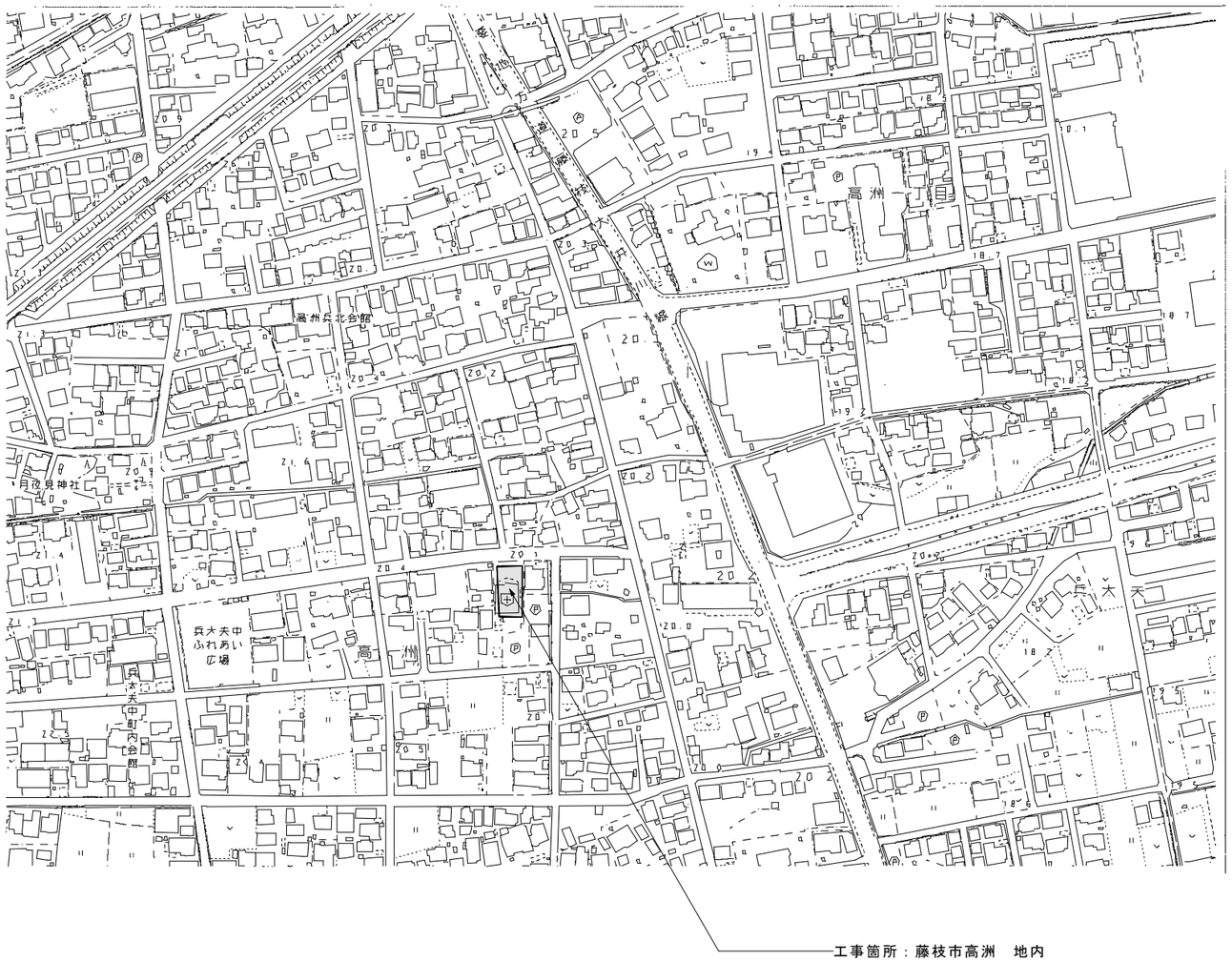
施 工 条 件 特 記 仕 様 書

下記項目のうち適用項目〇印該当欄は、当該工事に関する施工条件として明示するものである。
なお、明示事項に変更が生じた場合は、監督職員に報告し、協議するものとする。

		明示項目	適用項目	明示が必要な場合	明示事項	内容
1 工程関係	1	関連工事との調整		他の工事の開始又は完了の時期により、当該工事の施工時期、全体工期等に影響がある場合	影響を受ける部分	
					影響を受ける工事内容	
					関連する工事内容	
					関連する工事の開始又は完了の時期	
	2	施工時期、時間の制限	〇	施工時期、施工時間及び施工方法が制限される場合	制限される施工内容	既存部分の解体等騒音の発生する工事
					制限される施工時期・施工時間	制限される施工時期・施工時間は監督員との協議による。
					制限される施工方法	
	3	関係機関等との協議		当該工事の関係機関等との協議に未成立のものがある場合	制約を受ける内容	
					協議内容	
					協議成立見込時期	
				関係機関、自治体等との協議の結果、特定の条件が付され当該工事の工程に影響がある場合	影響を受ける部分	
					影響を受ける内容	
	4	地下埋設物及び埋蔵文化財の事前調査		工事着手前に地下埋設物及び埋蔵文化財等の事前調査を必要とする場合	調査項目	
					調査期間	
				地下埋設物等の移設が予定されている場合	移設期間	
	5	作業不能日数			休日日数以外の作業不能日数	
	6	指定部分		工事の規模（範囲）及び工期について指定した部分がある場合	当該工事の規模（範囲）	
					当該工事の工期	現場説明書による。
	7	設備工事との調整		完成時の各種検査までに、別途設備工事の試運転調整等を完了しなければならない場合	試運転調整等の適正期間の確保	
2 用地関係	1	仮用地等として官有地の提供		施工のための仮用地等として施工者に、官有地等を使用させる場合	場所・範囲	仮設建物用地は市指定場所とする。
					時間・時期	監督員との協議による。
					使用条件	監督員との協議による。
					復旧方法	監督員との協議による。
3 公害関係	1	公害防止（騒音、振動、粉塵、排出ガス等防止）	〇	工事に伴う公害防止のため、施工方法、建設機械・設備、作業時間等の指定が必要な場合	施工方法、建設機械・設備、作業時間	※使用すべき建設機械の適用については工事特記仕様書による。
	2	騒音、振動、地盤沈下、地下水枯渇等の防止調査		工事の施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の枯渇等が予測される場合	事前・事後調査の区分	
					調査時期	
					未然に防止するための必要な調査方法	
					未然に防止するための必要な調査範囲	
	3	電波障害等に起因する事業損失防止調査		電波障害等に起因する事業損失が懸念される場合	事前・事後調査の区分	
					調査時期	
					未然に防止するための必要な調査方法	
					未然に防止するための必要な調査範囲	
4 安全対策関係	1	交通安全施設		交通安全施設等を指定する場合	指定の内容	
					指定の期間	
	2	近接施工		鉄道、ガス、電気、電話、水道等の施設と近接する工事において施工方法等に制限がある場合	制限される施工方法	
					制限される作業時間帯	
	3	落石、雪崩、土砂崩落の防護施設		落石、雪崩、土砂崩落に対する防護施設が必要な場合	防護施設の内容	
	4	交通誘導員の配置	〇	交通誘導員の配置を指定する場合	延べ人数	交通誘導警備員Ａ　　交通誘導警備員Ｂ　３人
					配置時間	交通誘導警備員Ａ　8時～17時まで（8時間）　交通誘導警備員Ｂ　8時～17時まで（8時間）
	5	有毒ガス及び酸素欠乏等の対策		有毒ガス及び酸素欠乏対策として、換気設備が必要な場合	換気設備等の内容	
5 工事用	1	一般道の使用		搬入経路、使用時間、使用時間帯等に制限がある場合	制限される工事用資機材の搬入経路	
					制限される使用期間	
					制限される使用時間帯	
				搬入、搬出路の使用中及び使用後の処置が必要である場合	使用中・使用後の処置内容	

		明示項目	適用項目	明示が必要な場合	明示事項	内容
道路関係	2	仮道路		仮道路を設置する場合	仮設道路の仕様	
					安全施設等の設置期間	
					工事終了後の措置	
6 仮設備関係	1	仮設備（仮土留、仮橋、足場等）		仮設物を他の工事に引き渡す場合及び引き継いで使用する場合	仮設備の内容	
					仮設備の期間	
					仮設備の条件	
				仮設備の構造、工法及びその施工範囲を指定する場合	仮設備の種類	工事特記仕様書、図示による。
					仮設備の構造、施工方法、施工範囲	図示による。
				仮設備の設計条件を指定する場合	設計条件の内容	図示による。
7 建設副産物関係	1	建設発生土の搬出		建設発生土が発生する場合	受入場所及び仮置き場所までの距離	工事特記仕様書による。
					処分又は保管条件	工事特記仕様書による。
	2	建設副産物の利用		現場内での再利用又は減量化が必要な場合	現場内利用の内容	
					減量化の内容	
	3	建設副産物及び建設廃棄物の処理	〇	建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合	処理方法、処理場所等の処理条件	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い適切に処理する。
				再資源化処理施設又は最終処分場を指定する場合	受入場所、距離等の処理条件	建設廃棄物の種類 / 数量 / 処理等施設の名称 / 片道運搬距離 / 受入条件等
8 工事支障物件等	1	工事支障物件協議		地上、地下等における占用物件の有無及び占用物件等で工事支障物が存在する場合	支障物件名、管理者名等	支障物件名 / 管理者名 / 支障物件の位置 / 支障物件の移設時期 / 工事方法 / 防護
				地上、地下等の占用物件に係る工事期間と重複して施工する場合	工事内容	
					工事期間	
9 排水関係	1	排水処理		排水の工法、排水処理の方法及び排水の放流先等を指定する場合	排水工法、排水処理の方法等	排水工法 / 排水処理の方法 / 放流先 / 予定される排水量 / 排水の水質基準 / 放流費用
	2	水替・流入防止施設		水替・流入防止施設が必要な場合	施設の内容	
					設置期間	
10 薬液注入関係	1	薬液注入		薬液注入を行う場合	設計条件、施工工法等	設計条件 / 施工工法 / 材料種類 / 施工範囲 / 削孔数量及び延長 / 注入量及び注入圧
				周辺環境に与える影響の調査が必要な場合	周辺環境調査の内容	
11 その他	1	工事現場発生品	〇	工事現場発生品がある場合	品名・数量、現場内での再使用の有無引渡場所	工事特記仕様書による。
	2	支給品及び貸与品		支給材料及び貸与品がある場合	品名・数量・品質	
					規格又は性能	
					引渡場所・引渡期間	
	3	関連機関との近接協議			近接協議に係る条件及び内容	
	4	架設工法		架設工法を指定する場合	施工方法	
					施工条件	
	5	工事用水、電力	〇	工事用水を指定する場合	工事用水の内容	工事特記仕様書による。
			〇	工事電力を指定する場合	工事電力の内容	工事特記仕様書による。
	6	新技術・新工法・特許工法		新技術・新工法・特許工法を指定する場合	工法の内容	
	7	部分使用		部分使用を行う必要がある場合	部分使用箇所	
					部分使用時期	

藤枝市都市建設部建築住宅課	青島彰一級建築士事務所	管理建築士　青島　彰 一級建築士登録　第118124号	検図	作図	日付 Ｒ０７・０３・１４	工事名 高洲地区コミュニティ施設改修工事	施工条件特記仕様書	図番 Ａ － 13



案内図　1：2500

施設概要	
所在地	藤枝市高洲　地内
敷地面積	７１１．１８㎡
都市計画区域	都市計画区域（市街化区域）
用途地域	第２種中高層住居専用地域
指定容積率	１５０％
指定建ぺい率	６０％
防火地域	指定なし　２２条地域
建築面積	２７５．０１㎡（母屋２６７．３１㎡　附属屋　駐輪場７．７㎡）
延べ面積	４１６．７６㎡（母屋１階床面積２３２．６３㎡　２階床面積１８４．１３㎡）
最高の高さ	７．８ｍ
主要用途	（現況）１階診療所　２階住居
	【改修】１階高洲地区コミュニティ施設　２階こども食堂
構造	鉄骨造２階建て
竣工年	平成１３年１１月

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 青島 彰
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	案内図 施設概要	1:2500	Checked by Approved by 青島 彰 Date R07．03．14

青島彰一級建築士事務所
〒426−0037　静岡県藤枝市青木3丁目14番1号　ソフィアビル3F
PHONE　054−643−6118　FAX　054−643−4354
一級建築士登録　第118124号　青島 彰
一級建築士事務所登録（10）第2195号

訂正	
・	・

Number in set：Ａ−１４

外部仕上表

符号	部位			仕様	下地
A	屋根		現況	断熱露出塩ビシート防水厚1．2、脱気工法（脱気シートSPE厚4、断熱材発泡ポリエチレン厚15）	デッキコンクリート厚130
			改修	塩ビシート防水厚1．2存置、高圧洗浄後新規ウレタン系塗膜防水脱気工法（X－1）	同上下地存置
		樋類	現況	鋳鉄製RD横型100φ、竪樋SUS105φ	
			改修	既存RDストレーナー部撤去、新規アルミ合金製ストレーナキャップ設置、竪樋SUS105φ存置	
B	パラペット立上り		現況	断熱露出塩ビシート防水厚1．2脱気工法（コーナー増し貼補強）	押出セメント成型板厚15
			改修	塩ビシート防水厚1．2存置、新規ウレタン系塗膜防水（X－2）	同上下地存置
C	パラペット天端		現況	カラーアルミ笠木(既製品)w175	
			改修	アルミ笠木一時撤去防水工事完了後再取付	
D	4・B通り 柱・梁カバー		現況	柱：四方弾性吹付タイル、梁：3面弾性吹付タイル、天端カラーGフッソ鋼板厚0.5	防火サイディング厚12
			改修	柱・梁：弾性吹付タイル面高圧洗浄後下地調整後外壁と同仕様改修	同上下地存置
				天端カラーGフッソ鋼板厚0.5存置、下地調整後DP仕上げ	
E－1	ベランダ	床	現況	せっき質タイル200×100貼　一部防水モルタ金コテ、伸縮目地シーリング打ち巾20	断熱シート防水厚1.2
			改修	タイル面・防水モルタル面存置、伸縮目地シーリング打ち巾20打ち替え	同上存置
		巾木	現況	露出シート防水厚1.2、端末アルミ金物	
			改修	同上存置	
		腰壁	現況	天然石調シート装飾材（キクスイボダンアートストーン）貼、下見切りアルミ金物	断熱シート防水厚1.2
			改修	天然石調シート装飾材（キクスイボダンアートストーン）貼存置	
				①素地調整：クラック補修微弾性フィラー刷毛刷り込み、シート際の浮き等の接着張り②高圧洗浄③下塗り水系プライマー④水系アクリルシリコン塗材	
		手摺	現況	アルミ製笠木付手摺	
			改修	同上存置	
E－2	バルコニー	床	現況	せっき質タイル200×100貼、伸縮目地シーリング打ち巾20	断熱シート防水厚1.2
			改修	タイル存置・高圧洗浄後新規ウレタン系塗膜防水脱気工法（X－1）、伸縮目地シーリング打ち巾20打ち替え	同上存置
		巾木	現況	露出シート防水厚1.2、端末アルミ金物	
			改修	同上存置・新規ウレタン系塗膜防水（X－2）	
		手摺 下壁	現況	R部押出セメント成形板厚15下地天然石調シート装飾材（キクスイモダンアートストーン）貼	
			改修	天然石調シート装飾材（キクスイボダンアートストーン）貼存置	
				①素地調整：クラック補修微弾性フィラー刷毛刷り込み、シート際の浮き等の接着張り②高圧洗浄③下塗り水系プライマー④水系アクリルシリコン塗材	
		手摺	現況	アルミ製笠木付手摺	
			改修	同上存置	

符号	部位				下地
F	【大庇】 1F 住宅玄関 ポーチ上 通用口入口上 2F ベランダ上	屋根面	改修	カラーGフッ素鋼板一文字葺き	野地板防火サイディング厚12、防水シート敷
			改修	下地調整後高圧洗浄後DP仕上げ	同上存置
		幕板 ケラバ	現況	防火サイディング厚15吹付タイル仕上げ	
			改修	吹付タイル面外壁と同仕様改修	
		上裏	現況	上裏：PB板厚9．5下地岩綿吸音板厚12貼　ボーダー厚9貼	LGS天井下地
			改修	既存下地PB板存置、既存岩綿吸音板撤去	同上存置
				新規岩綿吸音板厚12（ソーラトンキューブ）貼　ボーダー岩綿吸音板厚9（フラット）貼	
G	鋼板庇		現況	既成カラ―エンボス鋼板庇	
			改修	同上存置、下地調整DP仕上げ	
H	外壁		現況	天然石調シート装飾材（キクスイボダンアートストーン）貼、下見切り金物カラーG鋼板	押出セメント成型板厚15（ラムダサイディング、アスベスト含有）
			改修	天然石調シート装飾材（キクスイボダンアートストーン）貼面存置	同上存置
				①素地調整：クラック補修微弾性フィラー刷毛刷り込み、シート際の浮き等の接着張り	1F新規AW部は湿潤化の後手ばらしとし、 周囲を養生シート等で区画すること。
				②高圧洗浄③下塗り水系プライマー④水系アクリルシリコン塗材	
				下見切り金物カラーG鋼板存置	
I	巾木		現況	コンクリート打ち放し素地	
			改修	同上存置	
特記事項	北側スロープ、ポーチ、住宅ポーチ、南側ポーチの改修工事は外構工事関連図を参照のこと。				
J	キャノピー	柱	現況	SUS○－101．6×4　鏡面仕上げ	
			改修	高圧洗浄のみ	
		梁	現況	正面及び東面　SUS○－101．6×3　鏡面仕上げ、一部梁○－101．6×4．2亜鉛メッキドブ浸	
			改修	SOP仕上げ部　高圧洗浄後下地調整DP仕上げ	
		屋根	現況	ポリカーボネート板厚5（準難燃）取付枠CT－50×50×7	
			改修	各部材存置、高圧洗浄のみ	
		樋類	現況	軒樋：SUS箱樋、竪樋：SUS○－105φ、箱樋部上裏ケイカル板厚6貼EP仕上げ	
			改修	箱樋、竪樋存置、上裏ケイカル板厚6撤去、再施工EP仕上げ	

内部仕上表1　(※)は旧室名　【※】は新室名、カッコのない室名は変更なし

階	室名		床	巾木	壁	壁下地	回り縁	天井	天井高	天井下地	備考	室名
1	風除室	現況	せっき質タイル200×100	せっき質タイルH100　一部ガード巾木H300	ビニルクロス貼	LGSスタッド65　PB板厚12．5下地	木装調	岩綿吸音板厚12（キューブストライプ）貼 岩綿吸音板厚9（ボーダーフラット）貼	2,700	LGS天井下地19　PB板厚9．5下地	下足箱　飾棚　手摺	風除室
		改修	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	ボーダー一部貼替	変更なし	同上存置	同上存置	
	（待合室） 【ロビー】	現況	長尺塩ビシート厚2.8	ガード巾木H300	ビニルクロス貼	LGSスタッド65　PB板厚12．5下地	木装調	岩綿吸音板厚12（キューブストライプ）貼 岩綿吸音板厚9（ボーダーフラット）貼	2,700	LGS天井下地19　PB板厚9．5下地	木製衝立　収納戸棚	（待合室） 【ロビー】
		改修	同上解体撤去 新規長尺塩ビシート厚2.8貼	間仕切り改修部ガード巾木H300施工 一部ガード巾木H300存置	既存ビニルクロス全面撤去 新規ビニルクロス貼	既存LGSスタッド65開口部改修　PB板厚12．5存置	同上存置	ボーダー一部貼替	変更なし	同上存置	同上存置	
	廊下1	現況	長尺塩ビシート厚2.8	ガード巾木H300	ビニルクロス貼	LGSスタッド65　PB板厚12．5下地	木装調	岩綿吸音板厚12（キューブストライプ）貼 岩綿吸音板厚9（ボーダーフラット）貼	2,700　2,500	LGS天井下地19　PB板厚9．5下地	手摺	廊下1
		改修	同上解体撤去 新規長尺塩ビシート厚2.8貼	間仕切り改修部ガード巾木H300施工 一部ガード巾木H300存置	既存ビニルクロス全面撤去 新規ビニルクロス貼	一部LGSスタッド65施工 一部PB板厚12．5貼	同上存置	同上存置	変更なし	同上存置	一部撤去、一部再取付、一部存置	
	廊下2	現況	長尺塩ビシート厚2.8	ガード巾木H300	ビニルクロス貼	LGSスタッド65　PB板厚12．5下地	木装調	岩綿吸音板厚12（キューブストライプ）貼 岩綿吸音板厚9（ボーダーフラット）貼	2,700　2,500	LGS天井下地19　PB板厚9．5下地		廊下2
		改修	同上解体撤去 新規長尺塩ビシート厚2.8貼	間仕切り改修部ガード巾木H300施工 一部ガード巾木H300存置	既存ビニルクロス全面撤去 新規ビニルクロス貼	一部LGSスタッド65施工　一部PB板厚12．5貼	一部同上施工	一部天井材撤去再施工	変更なし	一部天井下地PB解体撤去後再施工		
	（電話室） 【物入】	現況	長尺塩ビシート厚2.8	木調ソフト巾木H60	ビニルクロス貼	LGSスタッド65　PB板厚12．5下地	フクビ	岩綿吸音板厚9（フラット）貼	2,500	LGS天井下地19　PB板厚9．5下地	電話カウンター	（電話室） 【物入】
		改修	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	変更なし	同上存置	同上存置	
	受付・事務	現況	長尺塩ビシート厚2.8	木調ソフト巾木H60	ビニルクロス貼	LGSスタッド65　PB板厚12．5下地	フクビ	岩綿吸音板厚9（フラット）貼	2,500	LGS天井下地19　PB板厚9．5下地	カウンター　吊戸棚	受付・事務
		改修	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	変更なし	同上存置	同上存置	
	（薬局） 【備蓄品保管庫1】	現況	長尺塩ビシート厚2.8	木調ソフト巾木H60	ビニルクロス貼	LGSスタッド65　PB板厚12．5下地	フクビ	岩綿吸音板厚9（フラット）貼	2,500	LGS天井下地19　PB板厚9．5下地	カウンター　吊戸棚	（薬局） 【備蓄品保管庫1】
		改修	同上存置 流し台撤去部新規長尺塩ビシート厚2.8	一部存置 流し台撤去部間仕切り変更部 新規木調ソフト巾木H60貼	一部存置 流し台撤去部間仕切り変更部 新規ビニルクロス貼	同上存置 流し台撤去部新規Mバー施工PB板厚12．5下地	同上存置	同上存置	変更なし	同上存置	同上解体撤去	
	（診察室） 【備蓄品保管庫2】	現況	長尺塩ビシート厚2.8	木調ソフト巾木H60	ビニルクロス貼	LGSスタッド65　PB板厚12．5下地	フクビ	岩綿吸音板厚9（フラット）貼	2,500	LGS天井下地19　PB板厚9．5下地	手洗いカウンター　シャーカステン	（診察室） 【備蓄品保管庫2】
		改修	間仕切り撤去部同材施工、その他存置	間仕切り撤去部同上撤去、その他存置 新規ソフト巾木H60	間仕切り撤去部同材施工 その他存置	スタッド存置、間仕切り撤去部PB板施工	同上存置 一部 同材施工	一部同材撤去 一部同材施工	変更なし	同上存置 一部同材施工	カウンター存置　シャーカステン撤去	
	（処置室・検査室） 【備蓄品保管庫3】	現況	長尺塩ビシート厚2.8	木調ソフト巾木H60	ビニルクロス貼	LGSスタッド65　PB板厚12．5下地	フクビ	岩綿吸音板厚9（フラット）貼	2,500	LGS天井下地19　PB板厚9．5下地	天吊アルミカーテンレール　飾り棚	（処置室・検査室） 【備蓄品保管庫3】
		改修	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	変更なし	同上存置	天吊アルミカーテンレール撤去、飾り棚存置	
	（スタッフWC） 【男子WC】	現況	長尺塩ビシート厚2.8	ソフト巾木H60	ビニルクロス貼	LGSスタッド65　PB板厚12．5下地	フクビ	化粧石膏ボード厚9．5	2,400	LGS天井下地19	検尿小窓　作業用棚	（スタッフWC） 【男子WC】
		改修	間仕切り変更により解体撤去 新規長尺塩ビシート厚2.8	間仕切り変更により撤去 新規ソフト巾木H60	間仕切り変更により解体撤去 新規化粧ケイカル板厚6貼	一部スタッド解体撤去新規スタッド施工防水PB板厚12.5貼 その他2面防水PB板厚12．5存置	新規フクビ	間仕切り変更により解体撤去 新規化粧石膏ボード厚9．5	変更なし	間仕切り変更により解体撤去 新規LGS天井下地19	間仕切り変更により解体撤去	

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by	Checked by	Approved by	Date
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	仕上表1	＊	青島　彰		青島　彰	R07．03．14

青島彰一級建築士事務所
一級建築士登録　第118124号　青島　彰
一級建築士事務所登録（10）第2195号
〒426－0037　静岡県藤枝市青木3丁目14番1号　ソフィアビル3F
PHONE　054－643－6118　FAX　054－643－4354

訂正	
＊	＊

Number in set　A－15

診療所内部仕上表

階	室名		床	巾木	壁	壁下地	回り縁	天井	天井高	天井下地	備考	室名
1	（X線室） 【集会室1】	現況	X線散乱防護長尺塩ビシート厚2.7	X線散乱防護ソフト巾木H60	X線散乱防護ビニルクロス貼	LGSスタッド65　　X線透過防護鉛板厚15 PB板厚12．5下地	フクビ	X線散乱防護ビニルクロス貼	2,600	LGS天井下地19　　X線透過防護鉛板厚15 PB板厚12．5（2重）下地	配線ピット	（X線室） 【集会室1】
		改修	同上解体撤去 新規長尺塩ビシート厚2.8	間仕切変更により撤去 新規ソフト巾木H60	同上解体撤去 新規ビニルクロス貼	LGSスタッド65新規開口部及び準備室界壁間仕切り部解体撤去 X線透過防護鉛板厚15及びPB板厚12．5解体撤去 新規PB板厚12．5下地	同上撤去 新規フクビ	同上撤去 新規岩綿吸音板厚9（フラット）貼	2,700	天井高変更により天井下地解体撤去吊りボルト存置 新規LGS天井下地19　PB板厚9．5下地	配線ピット蓋撤去 ピットコンクリート充填金コテ	
	（準備室） 【集会室1】	現況	長尺塩ビシート厚2.8	ソフト巾木H60	ビニルクロス貼	LGSスタッド65　PB板厚12．5下地	フクビ	岩綿吸音板厚9貼	2,400	LGS天井下地19　PB板厚9．5下地	作業台SUSシンク	（準備室） 【集会室1】
		改修	同上解体撤去 新規長尺塩ビシート厚2.8	間仕切変更により撤去 新規ソフト巾木H60	同上解体撤去 新規ビニルクロス貼	LGSスタッド65X線室界壁間仕切り部及びPB板解体撤去 新規PB板厚12．5下地	同上撤去 新規フクビ	同上撤去 新規岩綿吸音板厚9（フラット）貼	2,700	天井高変更により天井下地解体撤去吊りボルト存置 新規LGS天井下地19　PB板厚9．5下地	同上撤去 新規ブラインド	
	（操作室・WC・暗室） 【集会室2】	現況	長尺塩ビシート厚2.8	木調ソフト巾木H60（WC暗室はソフト巾木H60）	ビニルクロス貼	LGSスタッド65　PB板厚12．5下地	フクビ	岩綿吸音板厚9貼	2,400	LGS天井下地19　PB板厚9．5下地	暗室シンク	（操作室・WC・暗室） 【集会室2】
		改修	同上解体撤去 新規長尺塩ビシート厚2.8	間仕切変更により撤去 新規ソフト巾木H60	同上解体撤去 新規ビニルクロス貼	LGSスタッド65X線室界壁間仕切り部及びPB板解体撤去 新規PB板厚12．5下地	同上撤去 新規フクビ	同上撤去 新規岩綿吸音板厚9（フラット）貼	2,700	天井高変更により天井下地解体撤去吊りボルト存置 新規LGS天井下地19　PB板厚9．5下地	同上撤去 新規ブラインド、WB 映写幕	
	（スタッフ休憩室） 湯沸室・ロッカー室 【雑庫】湯沸室・ロッカー室	現況	長尺塩ビシート厚2.8	木調ソフト巾木H60	ビニルクロス貼	LGSスタッド65　PB板厚12．5下地	フクビ	岩綿吸音板厚9貼	2,400	LGS天井下地19　PB板厚9．5下地		（スタッフ休憩室） 湯沸室・ロッカー室 【雑庫】湯沸室・ロッカー室
		改修	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	変更なし	同上存置		
	外来多目的WC	現況	長尺塩ビシート厚2.8	ソフト巾木H60	ビニルクロス貼	LGSスタッド65　PB板厚12．5下地	フクビ	化粧石膏ボード厚9．5	2,400	LGS天井下地19		外来多目的WC
		改修	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	変更なし	同上存置		
	（外来和式WC） （外来洋式WC） 【女子WC】	現況	長尺塩ビシート厚2.8	ソフト巾木H60	ビニルクロス貼 抗菌タイル150角貼	LGSスタッド65　PB板厚12．5下地 LGSスタッド65　防水PB板厚12．5下地	フクビ	化粧石膏ボード厚9．5	2,400	LGS天井下地19		（外来和式WC） （外来洋式WC） 【女子WC】
		改修	同上解体撤去 新規長尺塩ビシート厚2.8	間仕切変更により撤去、新規ソフト巾木H60	同上解体撤去 新規化粧ケイカル板厚6貼	廊下側スタッド解体撤去新規スタッド施工防水PB板厚12.5貼 その他3面防水PB板厚12．5存置	同上撤去 新規フクビ	同上撤去 新規化粧石膏ボード厚9．5	変更なし	間仕切り変更部LGS天井下地19	新規トイレブース	
	（内玄関） 【こども食堂玄関】	現況	天然石調ビニルタイル厚3	ソフト巾木H60	ビニルクロス貼	LGSスタッド65　PB板厚12．5下地	フクビ	岩綿吸音板厚9貼	2,600	LGS天井下地19　PB板厚9．5下地		（内玄関） 【こども食堂玄関】
		改修	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	変更なし	同上存置		
	ホール	現況	長尺塩ビシート厚2.8	ソフト巾木H60	ビニルクロス貼	LGSスタッド65　PB板厚12．5下地	木装調	岩綿吸音板厚9貼	2,500	LGS天井下地19　PB板厚9．5下地		ホール
		改修	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	変更なし	同上存置		
	階段下物入	現況	長尺塩ビシート厚2.8	ソフト巾木H60	PB板厚12．5素地	LGS　Mバー	なし	階段鉄部SOP仕上げ	1,970～	＊		階段下物入
		改修	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	なし	同上存置		＊	新設発電機収納棚	
	階段	現況	長尺塩ビシート厚2.8	ソフト巾木H60、ササラSOP	ビニルクロス貼	LGSスタッド65　PB板厚12．5下地	木装調	岩綿吸音板厚9貼	2,600	LGS天井下地19　PB板厚9．5下地		階段
2		改修	同上存置	同上存置	3面のみクロス張替	同上存置	同上存置	同上存置	変更なし	同上存置		
	（住居玄関） 【こども食堂玄関】	現況	天然石調ビニルタイル厚3	せっき質タイルH100	ビニルクロス貼	LGSスタッド65　PB板厚12．5下地	木装調	岩綿吸音板厚9貼	2,500	LGS天井下地19　PB板厚9．5下地		（住居玄関） 【こども食堂玄関】
		改修	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	変更なし	同上存置		
	ホール　廊下	現況	天然木フローリング厚8直貼り	木製UC	ビニルクロス貼	LGSスタッド65　PB板厚12．5下地	木装調	岩綿吸音板厚9貼	2,400	LGS天井下地19　PB板厚9．5下地	下足箱　コート入れ　収納戸棚	ホール　廊下
		改修	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	変更なし	同上存置		
	（書庫） 【更衣室】	現況	天然木フローリング厚8直貼り	木製UC	ビニルクロス貼	LGSスタッド65　PB板厚12．5下地	木装調	岩綿吸音板厚9貼	2,400	LGS天井下地19　PB板厚9．5下地		（書庫） 【更衣室】
		改修	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	変更なし	同上存置		
	（厨房・サンルーム） 【厨房】	現況	天然木フローリング厚8直貼り	木製UC	ビニルクロス貼 火気使用部デコラフネン貼	LGSスタッド65　PB板厚12．5下地	木装調	岩綿吸音板厚9貼	2,400	LGS天井下地19　PB板厚9．5下地	システムキッチン 作業台　吊戸棚　レンジフード	（厨房・サンルーム） 【厨房】
		改修	同上存置	同上存置	食堂1側のみクロス張替 デコラフネン存置上 化粧ケイカル板厚6貼	同上存置	同上存置	同上存置	変更なし	同上存置		
	（居間） 【食堂1】	現況	天然木フローリング厚8直貼り	木製UC	ビニルクロス貼	LGSスタッド65　PB板厚12．5下地	木装調	岩綿吸音板厚9貼	2,400	LGS天井下地19　PB板厚9．5下地		（居間） 【食堂1】
		改修	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	変更なし	同上存置	新規掲示板	
	（和室6帖） 【食堂2】	現況	畳（ヘリ付）敷	畳寄せ	ビニルクロス（ジュラク）貼	LGSスタッド65　PB板厚12．5下地	木製回り縁	杉中杢敷目板	2,400	木製天井下地	障子　床の間　飾り棚	（和室6帖） 【食堂2】
		改修	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	変更なし	同上存置		
	広縁	現況	天然木フローリング厚8直貼り	木製UC	ビニルクロス（ジュラク）貼	LGSスタッド65　PB板厚12．5下地	木製回り縁	杉中杢敷目板	2,400	木製天井下地	内障子	広縁
		改修	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	変更なし	同上存置		
	（洋室） 【交流スペース1】	現況	天然木フローリング厚8直貼り	木製UC	ビニルクロス貼	LGSスタッド65　PB板厚12．5下地	木装調	岩綿吸音板厚9貼	2,400	LGS天井下地19　PB板厚9．5下地		洋室 【交流スペース1】
		改修	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	変更なし	同上存置		
	（書斎） 【交流スペース2】	現況	天然木フローリング厚8直貼り	木製UC	ビニルクロス貼	LGSスタッド65　PB板厚12．5下地	木装調	岩綿吸音板厚9貼	2,400	LGS天井下地19　PB板厚9．5下地		書斎 【交流スペース2】
		改修	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	変更なし	同上存置		
	（寝室） 【交流スペース3】	現況	天然木フローリング厚8直貼り	木製UC	ビニルクロス貼	LGSスタッド65　PB板厚12．5下地	木装調	岩綿吸音板厚9貼	2,400	LGS天井下地19　PB板厚9．5下地		寝室 【交流スペース3】
		改修	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	変更なし	同上存置		
	洗面・脱衣	現況	長尺塩ビシート厚2.8	木調ソフト巾木H60	ビニルクロス貼	LGSスタッド65　PB板厚12．5下地	フクビ	化粧石膏ボード厚9．5	2,200	LGS天井下地19		洗面・脱衣
		改修	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	変更なし	同上存置		
	浴室	現況	システムバス床仕様		システムバス壁仕様	LGSスタッド65		システムバス仕様				浴室
		改修	同上存置		同上存置	同上存置		同上存置				
	（WIC） 【授乳室】	現況	長尺塩ビシート厚2.8	木調ソフト巾木H60	ビニルクロス貼	LGSスタッド65　PB板厚12．5下地	フクビ	化粧石膏ボード厚9．5	2,400	LGS天井下地19		（WIC） 【授乳室】
		改修	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	変更なし	同上存置		
	（WC） 【女子WC】	現況	長尺塩ビシート厚2.8	ソフト巾木H60	ビニルクロス貼	LGSスタッド65　PB板厚12．5下地	フクビ	化粧石膏ボード厚9．5	2,200	LGS天井下地19		（WC） 【女子WC】
		改修	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	同上存置	変更なし	同上存置		
	（廊下） 【男子WC】	現況	天然木フローリング厚8直貼り	木調ソフト巾木H60	ビニルクロス貼	LGSスタッド65　PB板厚12．5下地	木装調	岩綿吸音板厚9貼	2,400	LGS天井下地19		（廊下） 【男子WC】
		改修	同上存置	間仕切変更により撤去、新規ソフト巾木H60	同上撤去 新規化粧ケイカル板厚6貼	同上存置一部同材施工（天井材下端まで）	一部撤去 新規木装調	同上存置	変更なし	同上存置		

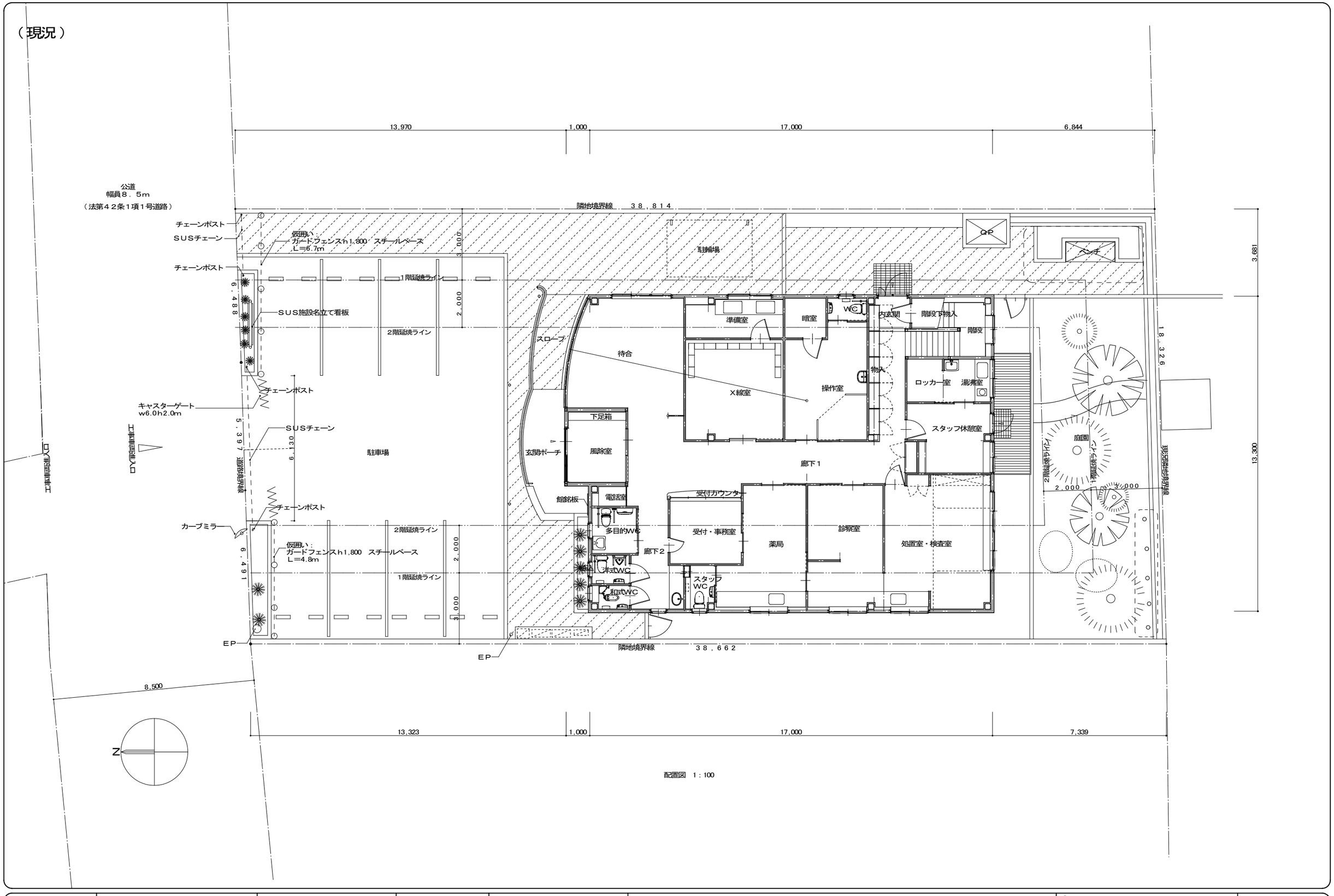
Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale		
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	仕上表２	＊	Drawn by 青島 彰 Checked by Approved by 青島 彰 Date R07．03．14	

青島彰一級建築士事務所
〒426－0037　静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号　ソフィアビル３Ｆ
PHONE　054－643－6118　FAX　054－643－4354
一級建築士登録　第１１８１２４号　青島 彰
一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号

訂正	
＊	＊

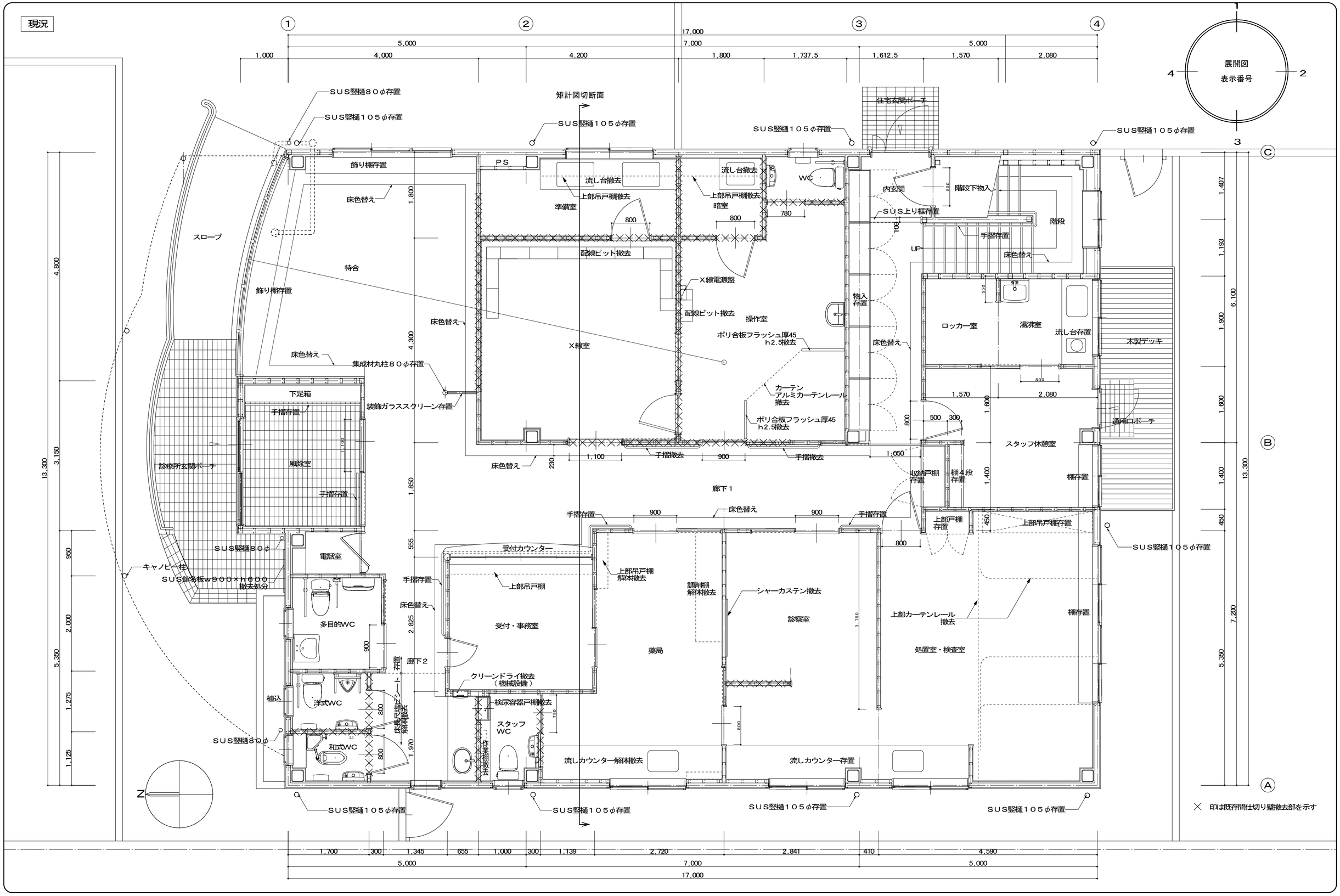
Number in set：Ａ－１６

（現況）



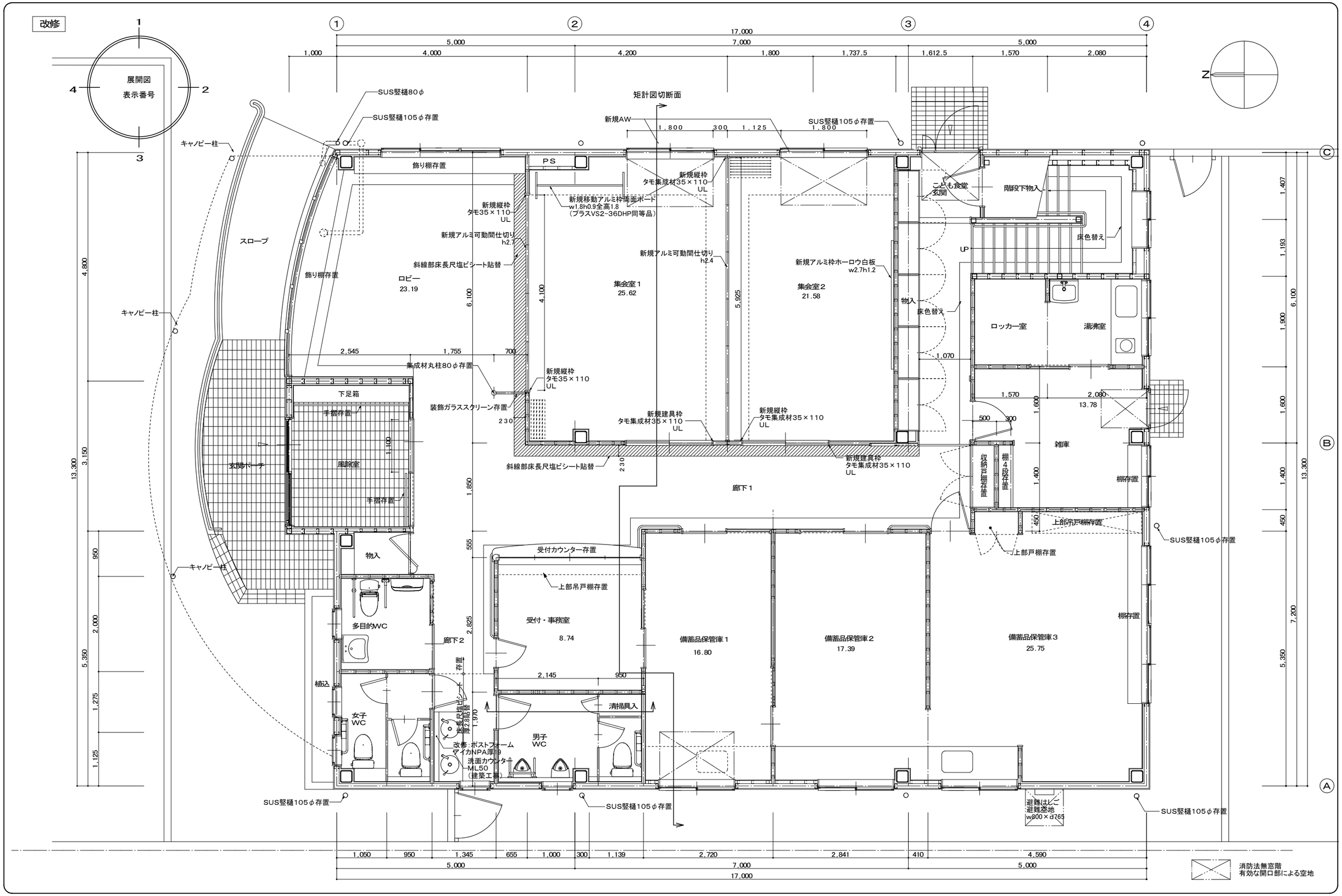
配置図　1：100

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 青島 彰	青島彰一級建築士事務所	訂正	Number in set
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	現況配置図 仮設計画図	1:100	Checked by Approved by 青島 彰 Date R07．03．14	〒426−0037　静岡県藤枝市青木3丁目14番1号　ソフィアビル3F PHONE　054−643−6118　FAX　054−643−4354 一級建築士登録　第118124号　青島 彰 一級建築士事務所登録（10）第2195号	* / *	A−17



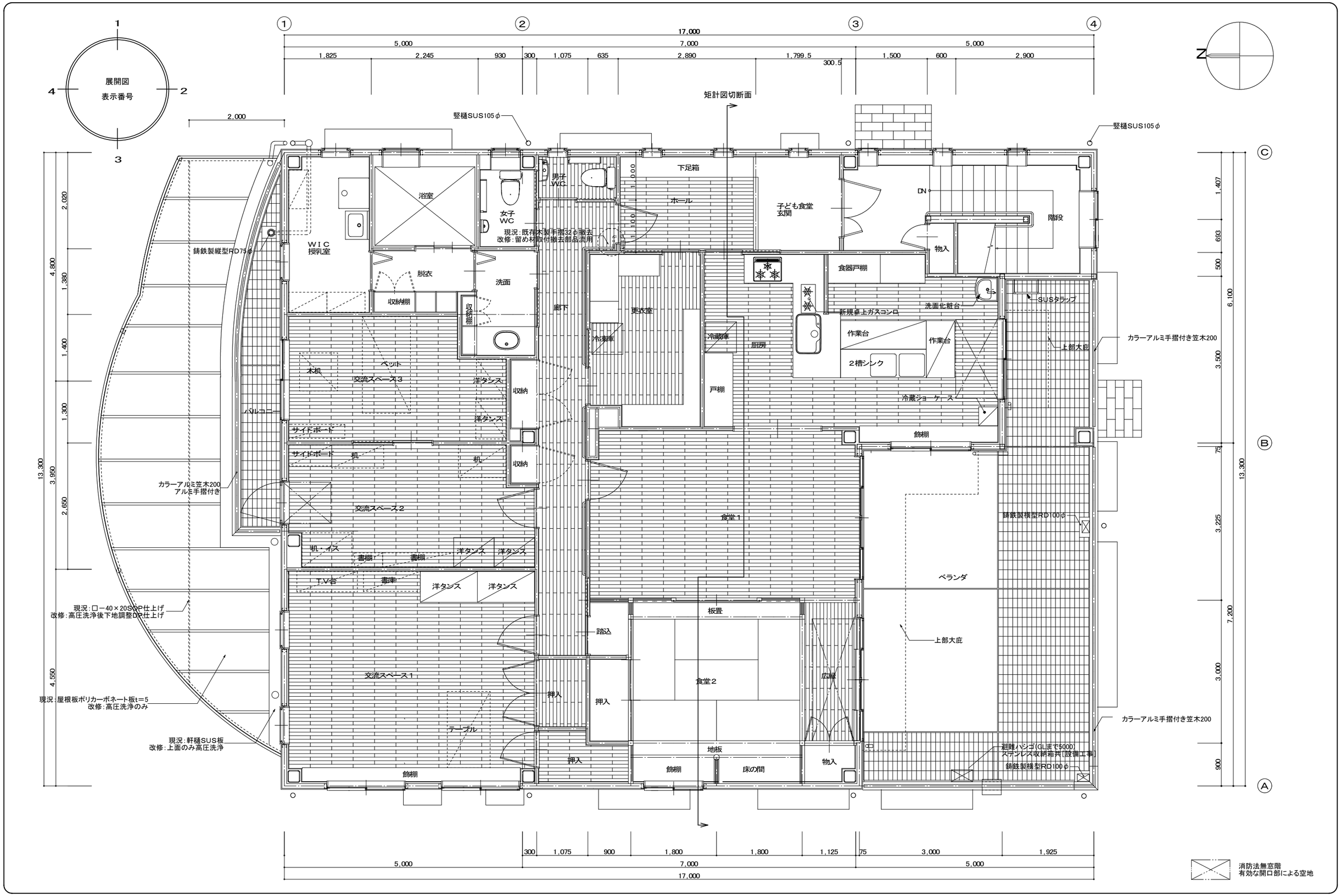
Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 青島 彰	青島彰一級建築士事務所	訂正	Number in set
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	現況１階平面図	1:50	Checked by	一級建築士登録 第１１８１２４号 青島 彰	*	Ａ－１８
				Approved by 青島 彰	一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号		
				Date R07.03.14	〒４２６－００３７ 静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号 ソフィアビル３Ｆ		
					PHONE ０５４－６４３－６１１８ FAX ０５４－６４３－４３５４		

改修



Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 青島 彰	青島彰一級建築士事務所	訂正	Number in set
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	改修１階平面図	1:50	Checked by	〒426−0037 静岡県藤枝市青木3丁目14番1号 ソフィアビル3F	*	A−19
				Approved by 青島 彰	PHONE 054−643−6118 FAX 054−643−4354		
				Date R07.03.14	一級建築士登録 第118124号 青島 彰 一級建築士事務所登録（10）第2195号		

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 青島 彰	青島彰一級建築士事務所	訂正	Number in set
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	現況２階平面図	1:50	Checked by	〒426−0037 静岡県藤枝市青木3丁目14番1号 ソフィアビル3F	* *	A−20
				Approved by 青島 彰	PHONE 054−643−6118 FAX 054−643−4354		
				Date R07.03.14	一級建築士登録 第118124号 青島 彰 一級建築士事務所登録（10）第2195号		

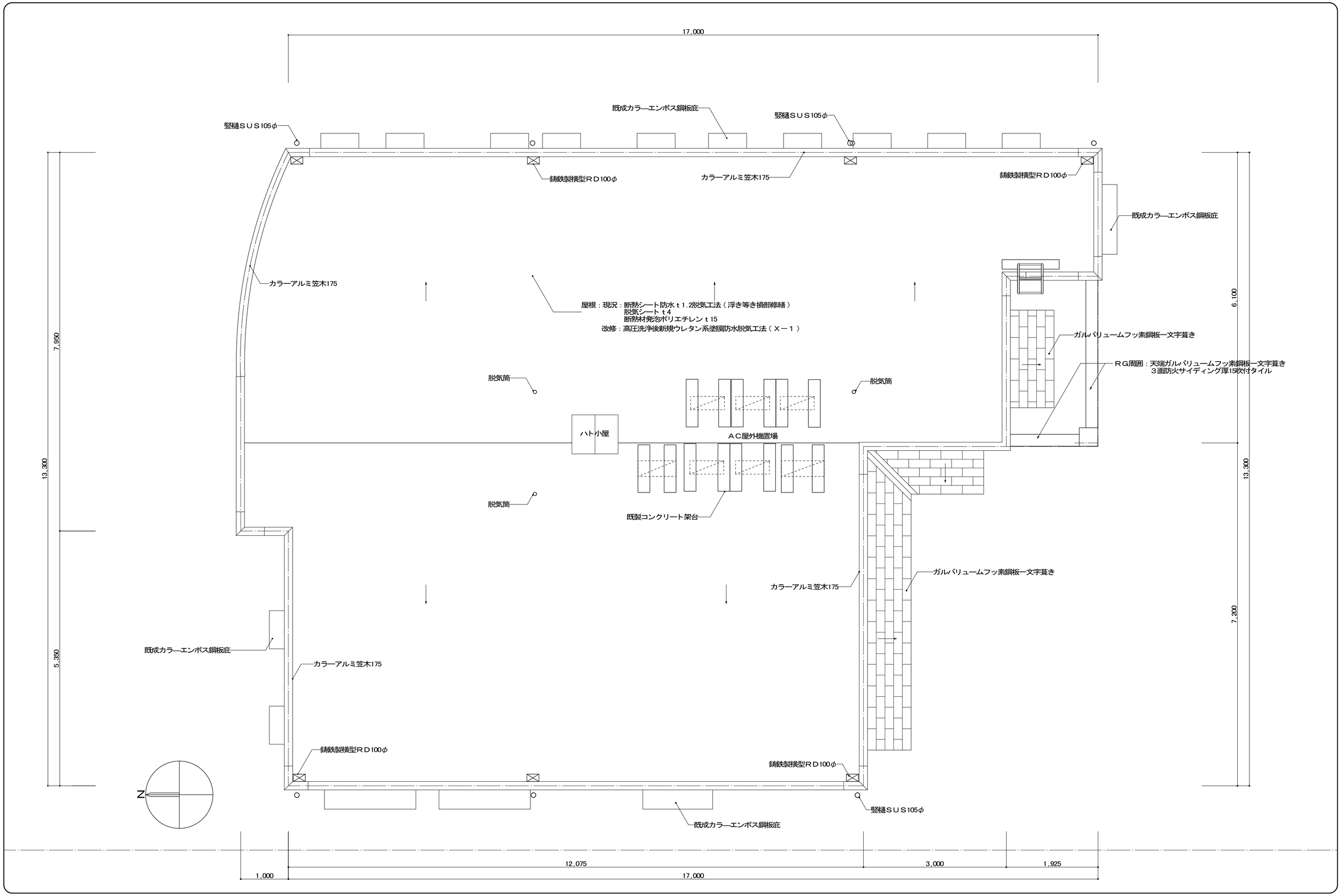


Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	改修２階平面図	1:50	Drawn by 青島 彰 Checked by Approved by 青島 彰 Date R07.03.14

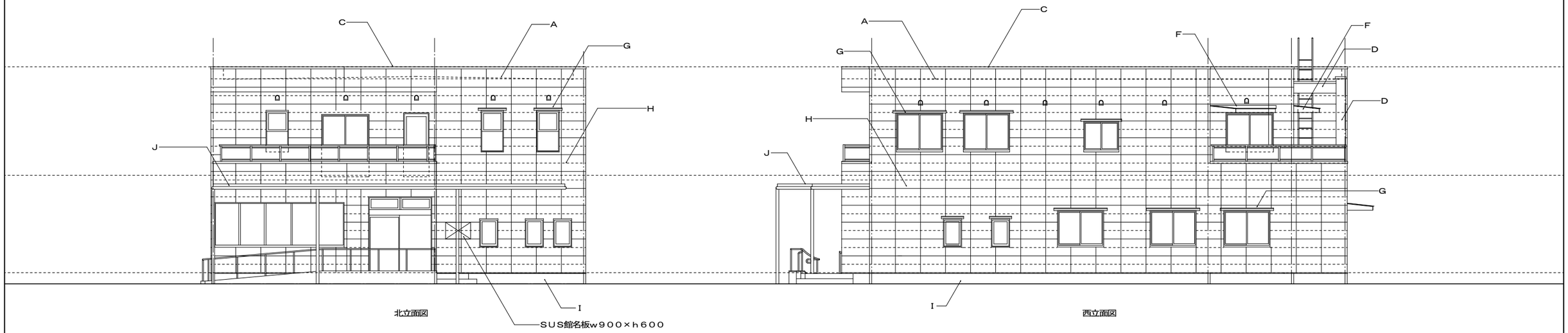
青島彰一級建築士事務所
一級建築士登録 第118124号 青島 彰
一級建築士事務所登録（10）第2195号
〒426－0037 静岡県藤枝市青木3丁目14番1号 ソフィアビル3F
PHONE 054-643-6118 FAX 054-643-4354

訂正	
*	*

Number in set: A－21

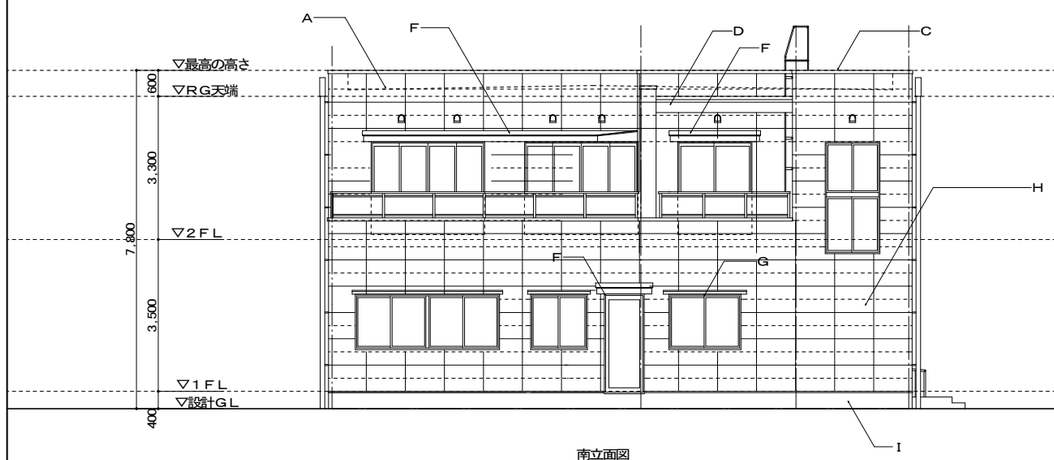


Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 青島 彰	青島彰一級建築士事務所	訂正	Number in set
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	現況・改修屋根伏図	1:50	Checked by	一級建築士登録 第１１８１２４号 青島 彰	* *	Ａ－２２
				Approved by 青島 彰	一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号		
				Date R07.03.14	〒４２６－００３７ 静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号 ソフィアビル３Ｆ		
					PHONE ０５４－６４３－６１１８ FAX ０５４－６４３－４３５４		

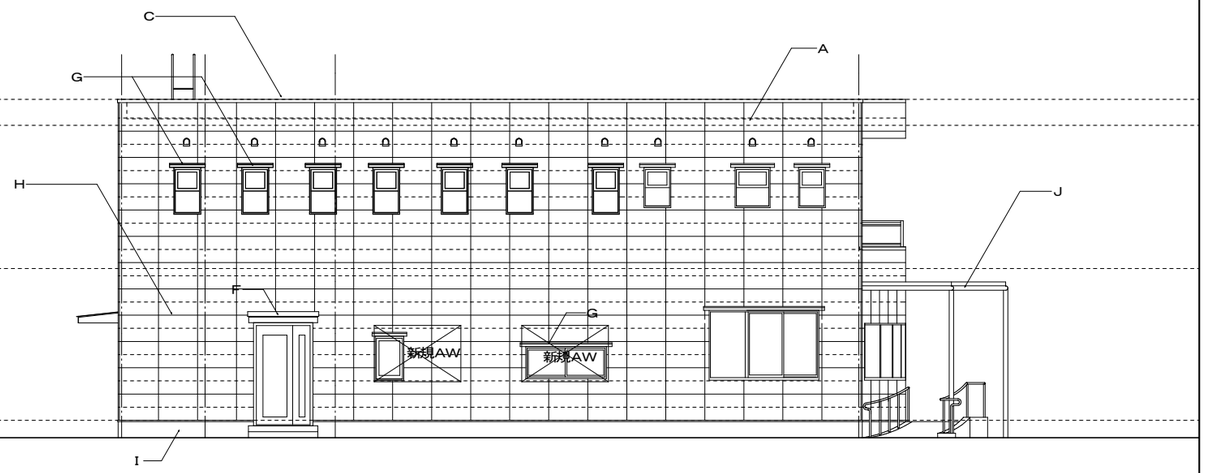


北立面図

西立面図



南立面図



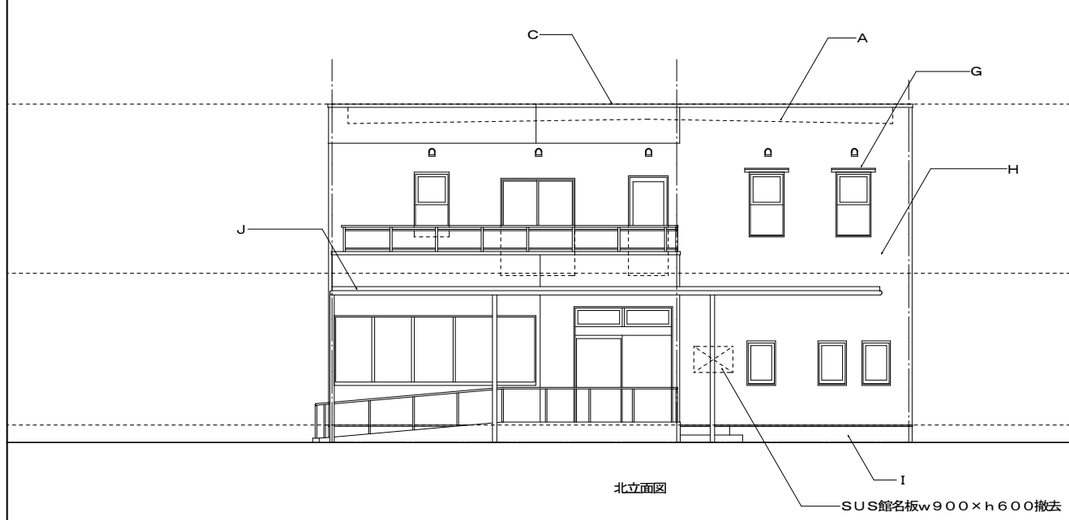
東立面図

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 青島 彰
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	現況・改修立面図	1:100	Checked by
				Approved by 青島 彰
				Date R07.03.14

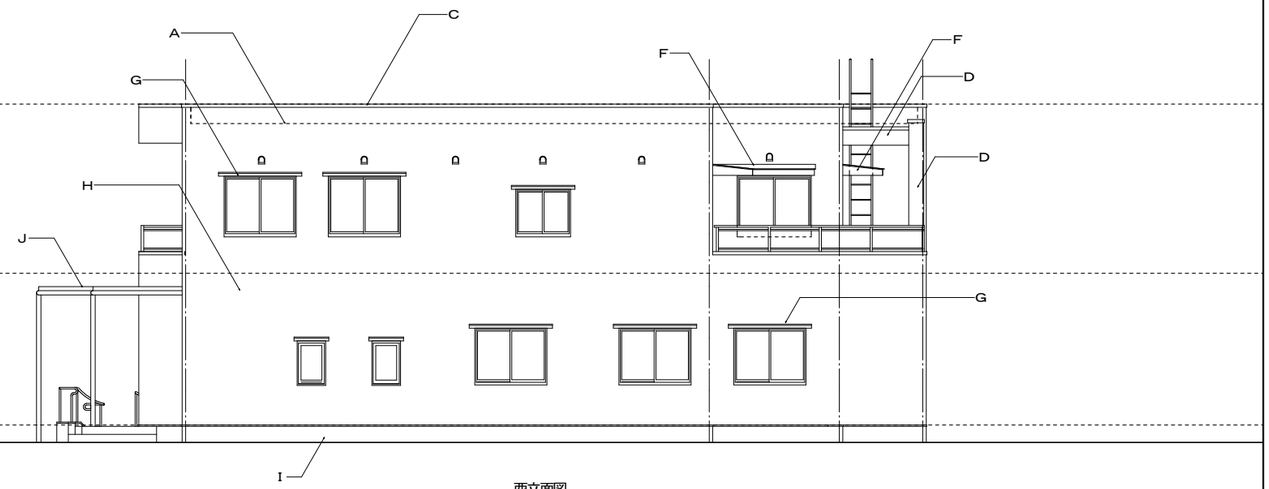
青島彰一級建築士事務所
〒426−0037 静岡県藤枝市青木3丁目14番1号 ソフィアビル3F
PHONE 054-643-6118 FAX 054-643-4354
一級建築士登録 第118124号 青島 彰
一級建築士事務所登録（10）第2195号

訂正	
*	*

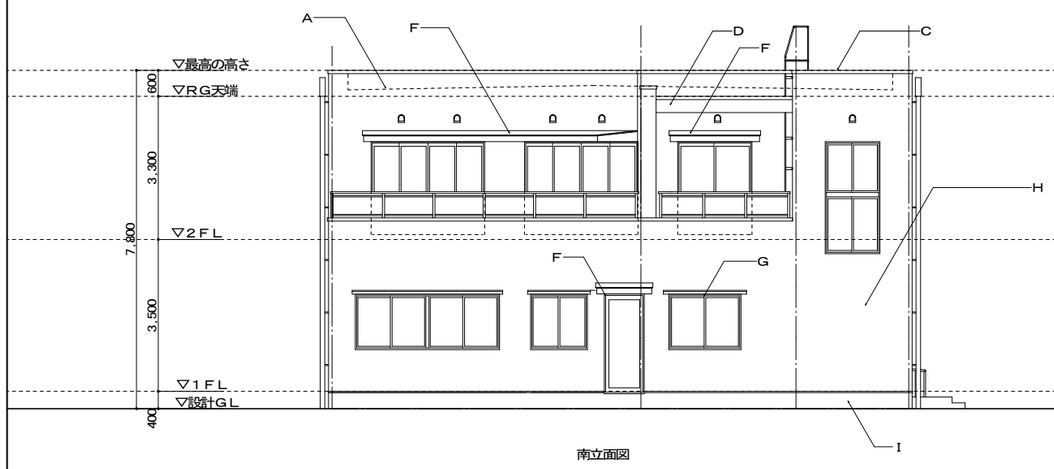
Number in set: A−23



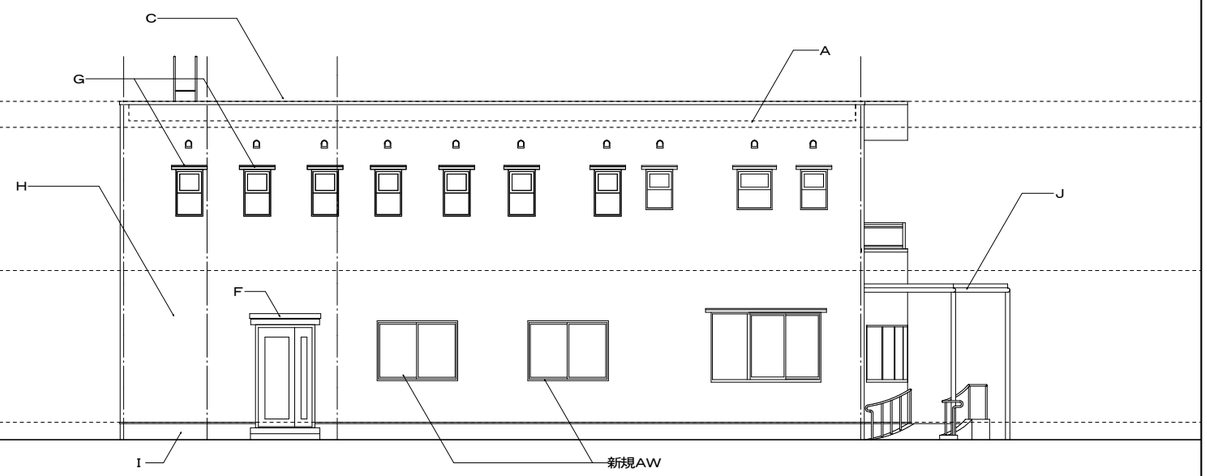
北立面図



西立面図



南立面図



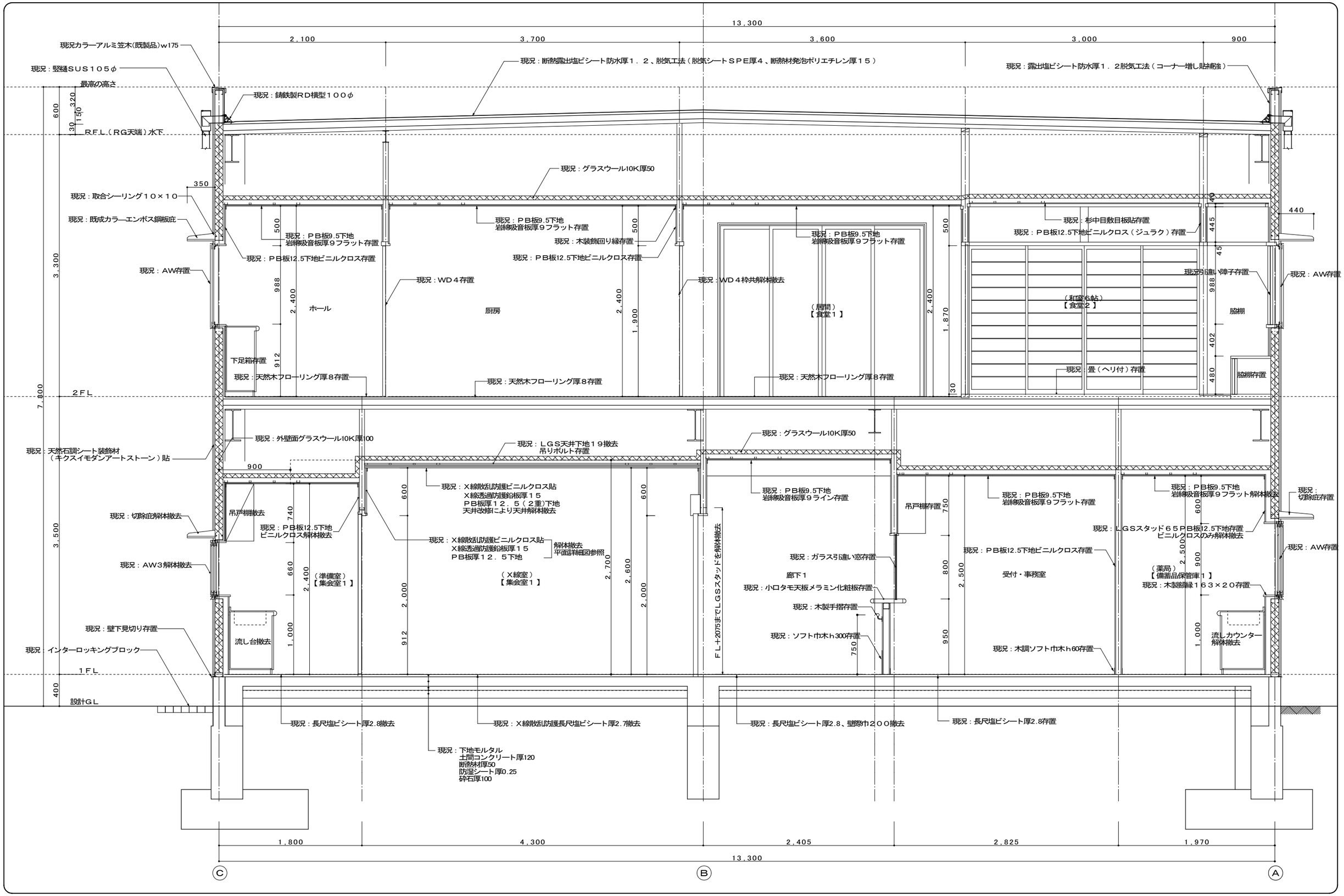
東立面図

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 青島 彰
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	改修立面図	1:100	Checked by
				Approved by 青島 彰
				Date R07.03.14

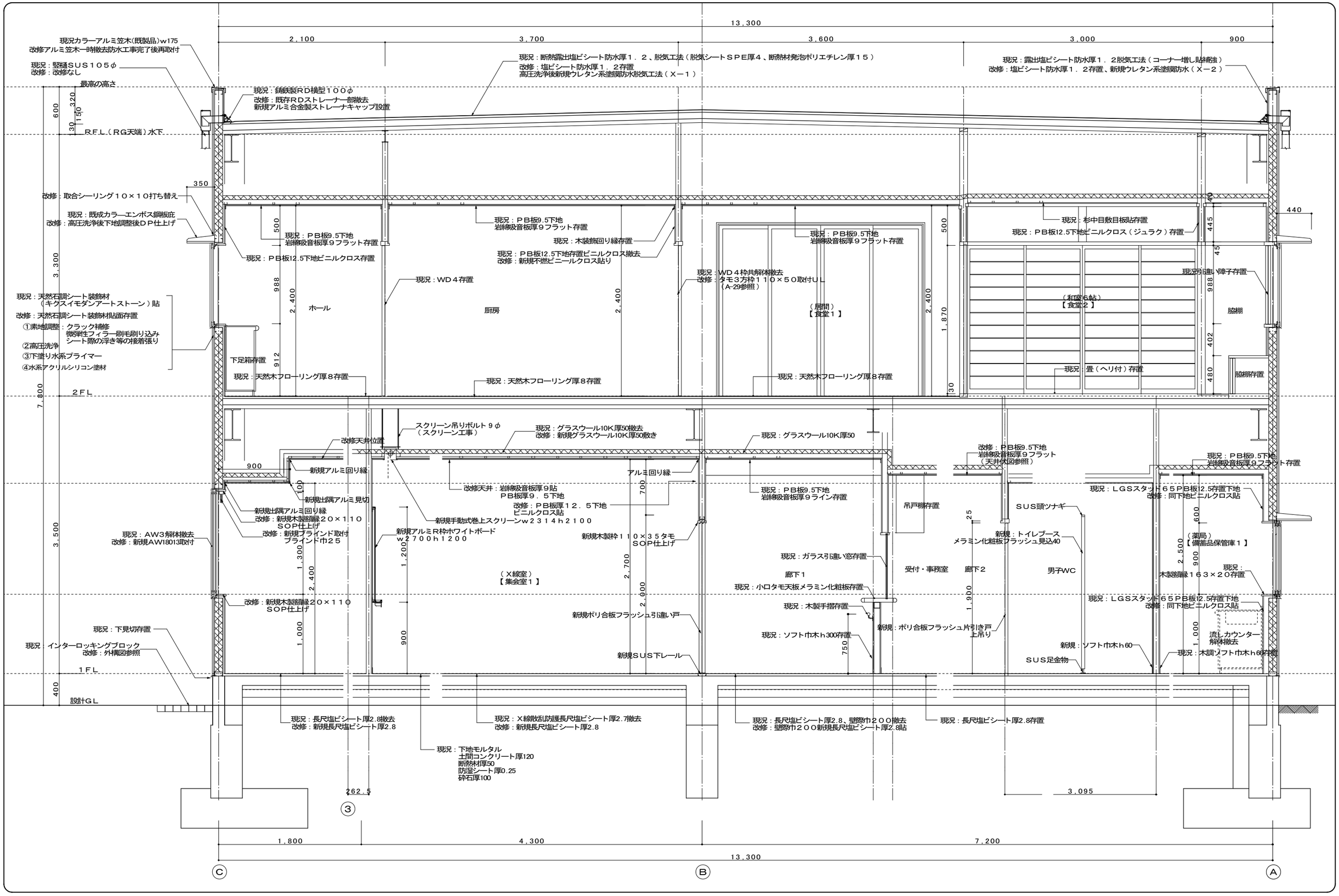
青島彰一級建築士事務所
〒426−0037 静岡県藤枝市青木3丁目14番1号 ソフィアビル3F
PHONE 054-643-6118 FAX 054-643-4354
一級建築士登録 第118124号 青島 彰
一級建築士事務所登録（10）第2195号

訂正	
*	*

Number in set: A−24



Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 青島 彰	青島彰一級建築士事務所	訂正	Number in set
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	現況矩計図	1:30	Checked by	〒426−0037 静岡県藤枝市青木3丁目14番1号 ソフィアビル3Ｆ		Ａ−２５
				Approved by 青島 彰	PHONE 054−643−6118 FAX 054−643−4354		
				Date R07.03.14	一級建築士登録 第118124号 青島 彰		
					一級建築士事務所登録（10）第2195号		

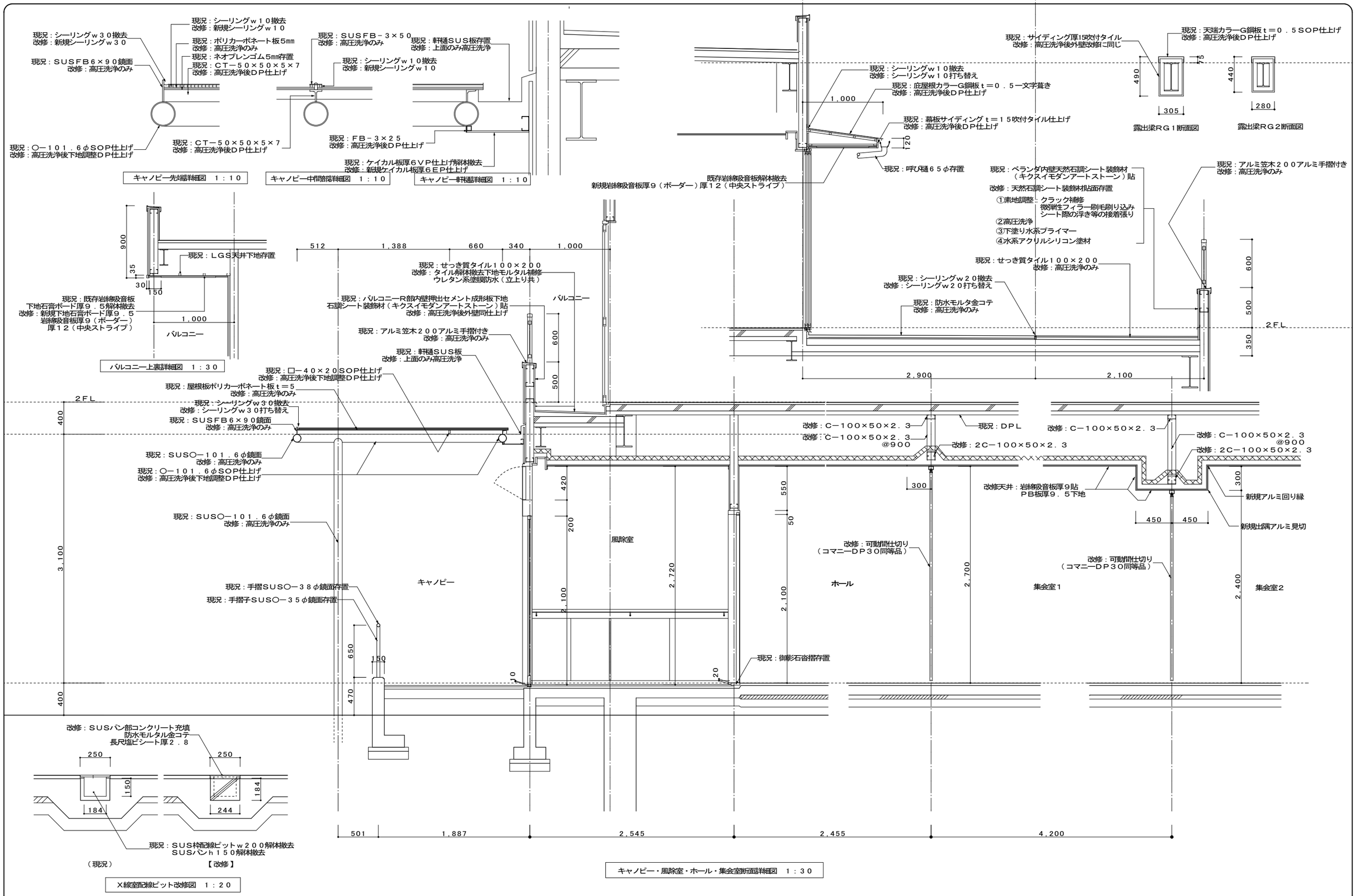


Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 青島 彰
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	現況・改修各部断面図１	1:30	Checked by
				Approved by 青島 彰
				Date R07.03.14

青島彰一級建築士事務所
〒426－0037 静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号 ソフィアビル３Ｆ
PHONE 054-643-6118 FAX 054-643-4354
一級建築士登録 第118124号 青島 彰
一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号

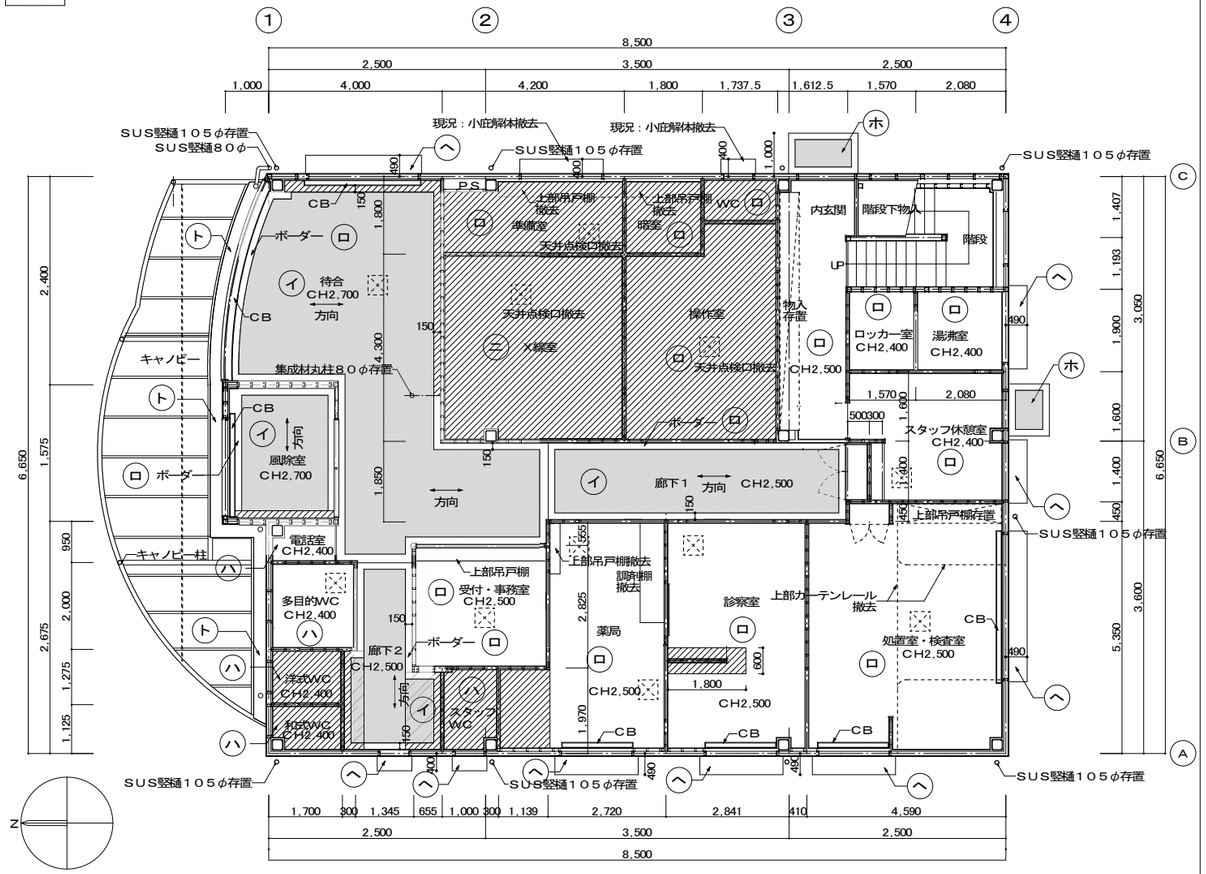
訂正	
*	*

Number in set
Ａ－２６



Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 青島 彰	青島彰一級建築士事務所	一級建築士登録 第１１８１２４号 青島 彰	訂正	Number in set
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	現況・改修各部断面図２	1:30	Checked by	〒４２６－００３７ 静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号 ソフィアビル３Ｆ	一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号		Ａ－２７
				Approved by 青島 彰	PHONE 054-643-6118 FAX 054-643-4354			
				Date R07.03.14				

現況



網掛部は岩綿吸音板ｔ＝12（キューブライン）存置

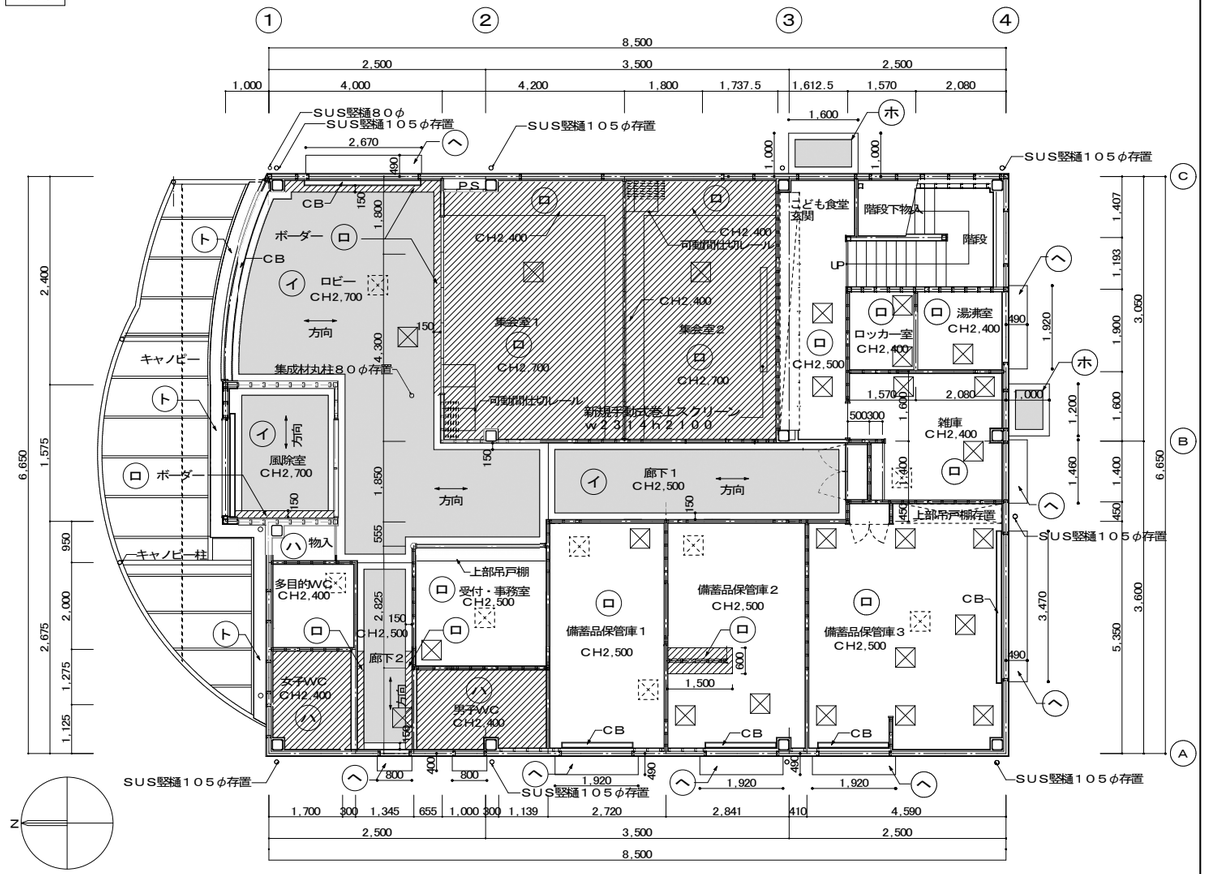
斜線部は天井材解体撤去

現況１階天井伏図　1：100

は現況アルミ枠天井点検口（４５０角）を示す

符号	仕上げ	下地	天井下地	回り縁
イ	岩綿吸音板厚１２（キューブライン）	石膏ボード厚９．５	ＬＧＳ１９@３０３	木装調パナソニックｈ４０
ロ	岩綿吸音板厚９（フラット）	石膏ボード厚９．５	ＬＧＳ１９@３０３	木装調パナソニックｈ４０
ハ	化粧石膏ボード厚９．５		ＬＧＳ１９@３０３	木装調パナソニックｈ４０
ニ	Ｘ線散乱防護ビニルクロス貼石膏ボード厚９．５ Ｘ線透過防護鉛板厚１５ 石膏ボード厚１２．５（２重）　解体撤去		ＬＧＳ１９@３０３ 解体撤去 （吊りボルト存置）	木装調パナソニックｈ４０ 解体撤去
ホ	既存岩綿吸音板存置			
ヘ	既成庇上裏鋼板存置			
ト	現況ケイカル板厚６解体撤去		現況下地材存置	

改修



網掛部は岩綿吸音板ｔ＝12（キューブライン）存置

斜線部は天井改修範囲

改修１階天井伏図　1：100

は現況アルミ枠天井点検口（４５０角）を示す

は新規アルミ枠天井点検口（４５０角）を示す　２４か所

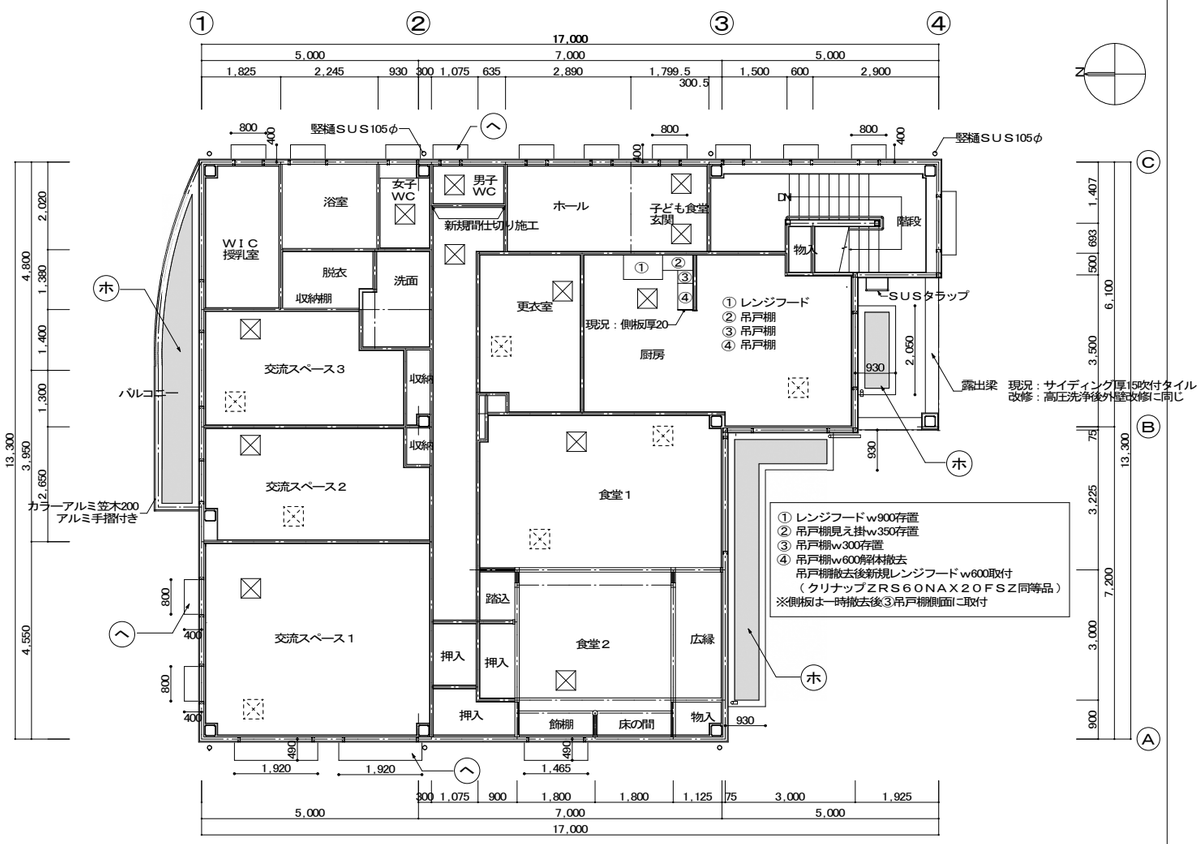
符号	仕上げ	下地	天井下地	回り縁
イ	岩綿吸音板厚１２（キューブライン）	石膏ボード厚９．５	ＬＧＳ１９@３０３	木装調パナソニックｈ４０
ロ	岩綿吸音板厚９（フラット）	石膏ボード厚９．５	ＬＧＳ１９@３０３	木装調パナソニックｈ４０
ハ	化粧石膏ボード厚９．５		ＬＧＳ１９@３０３	木装調パナソニックｈ４０
ニ	Ｘ線散乱防護ビニルクロス貼石膏ボード厚９．５ Ｘ線透過防護鉛板厚１５ 石膏ボード厚１２．５（２重）		ＬＧＳ１９@３０３	木装調パナソニックｈ４０
ホ	既存岩綿吸音板存置　シーラー塗りＥＰ仕上げ			
ヘ	既成鋼板庇上裏　下地調整後ＤＰ仕上げ			
ト	新規ケイカル板厚６貼ＥＰ仕上げ		現況下地材流用	

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	現況・改修１階天井伏図	1：100	Drawn by 青島 彰 Checked by Approved by 青島 彰 Date R07．03．14

青島彰一級建築士事務所
〒426－0037　静岡県藤枝市青木3丁目14番1号　ソフィアビル3Ｆ
PHONE　054－643－6118　FAX　054－643－4354
一級建築士登録　第118124号　青島 彰
一級建築士事務所登録（10）第2195号

訂正	
*	*

Number in set　Ａ－２８

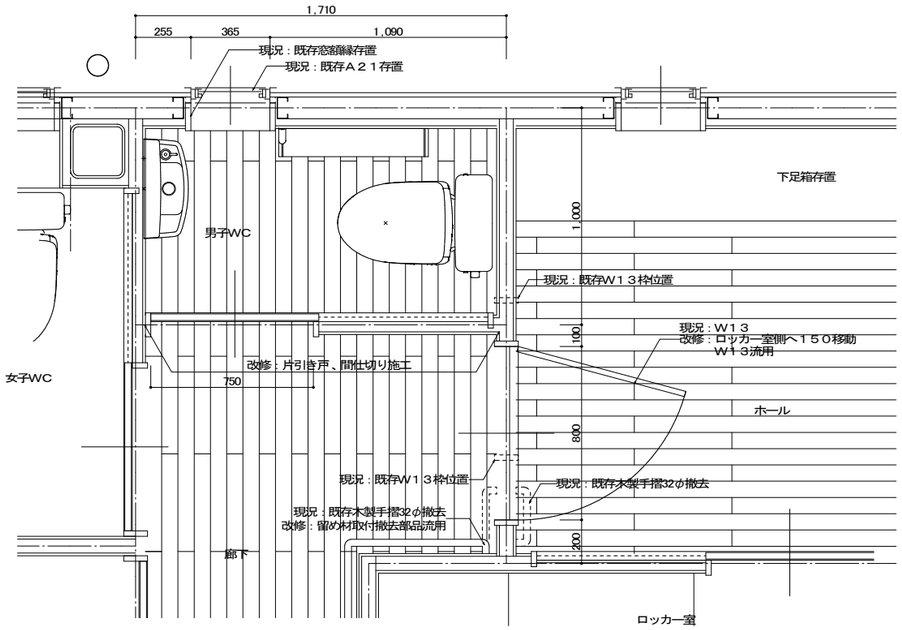


改修２階天井伏図　１：100

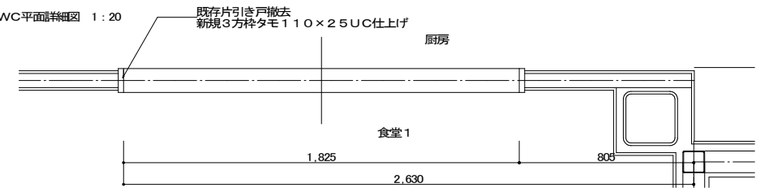
は現況アルミ枠天井点検口（４５０角）を示す

は新規アルミ枠天井点検口（４５０角）を示す　１２か所

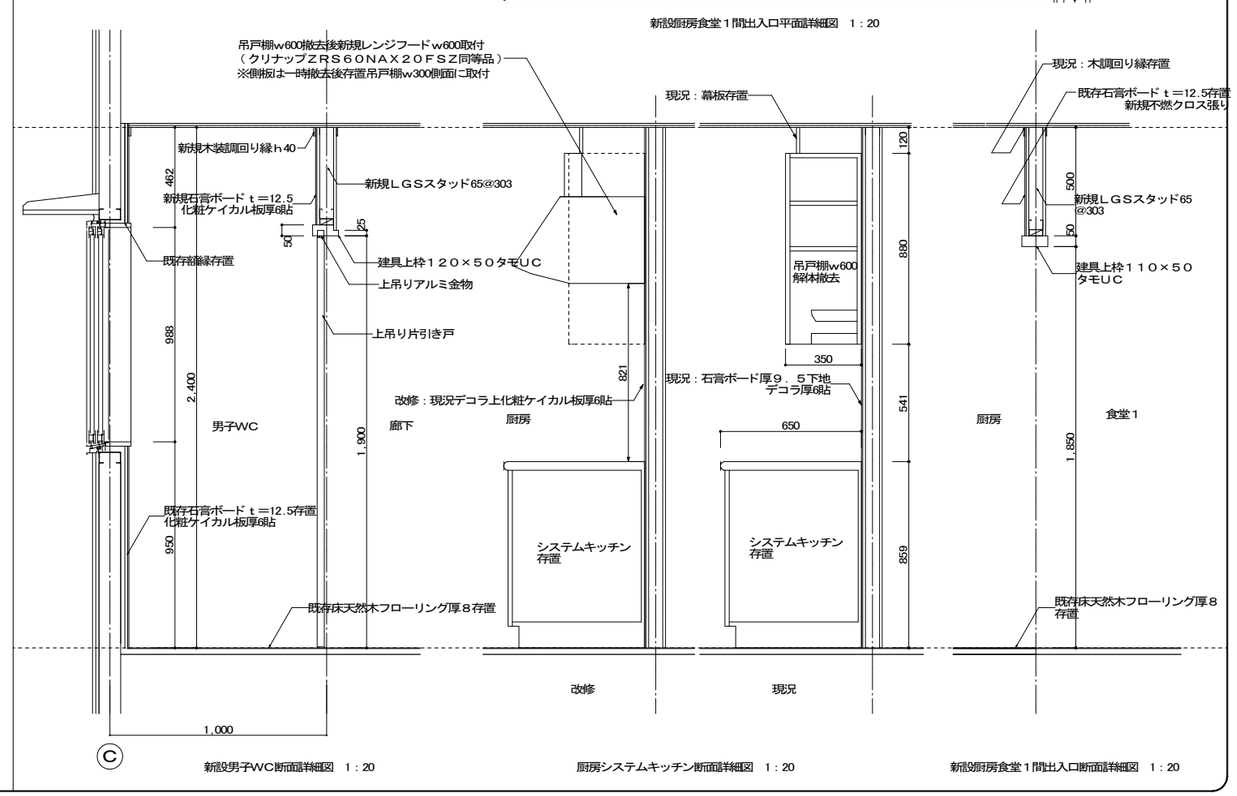
符号	仕上げ	下地	天井下地	回り縁
イ	岩綿吸音板厚１２（キューブストライプ）	石膏ボード厚９．５	ＬＧＳ１９@３０３	木製巾パナソニックｈ４０
ロ	岩綿吸音板厚９（フラット）	石膏ボード厚９．５	ＬＧＳ１９@３０３	木製巾パナソニックｈ４０
ハ	化粧石膏ボード厚９．５		ＬＧＳ１９@３０３	木製巾パナソニックｈ４０
ニ	Ｘ線防護ビニルクロス貼石膏ボード厚９．５ Ｘ線透過防護鉛板厚１５ 石膏ボード厚１２．５（２重）		ＬＧＳ１９@３０３	木製巾パナソニックｈ４０
ホ	既存岩綿吸音板解体撤去 新規岩綿吸音板厚９（ボーダー）厚１２（中央ストライプ）		ＬＧＳ１９@３０３存置	
ヘ	既成鋼板庇上裏下地調整後ＤＰ仕上げ			
ト	新規ケイカル板厚６貼ＤＰ仕上げ		現況下地材流用	



新設男子WC平面詳細図　１：20



新設厨房食堂１間出入口平面詳細図　１：20



新設男子WC断面詳細図　１：20　　厨房システムキッチン断面詳細図　１：20　　新設厨房食堂１間出入口断面詳細図　１：20

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 青島 彰
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	改修２階天井伏図 ２階改修各部詳細図	１：100 １：20	Checked by Approved by 青島 彰 Date Ｒ０７．０３．１４

青島彰一級建築士事務所
〒４２６－００３７　静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号　ソフィアビル３Ｆ
PHONE　０５４－６４３－６１１８　FAX　０５４－６４３－４３５４
一級建築士登録　第１１８１２４号　青島 彰
一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号

訂正	
*	*

Number in set　Ａ－２９

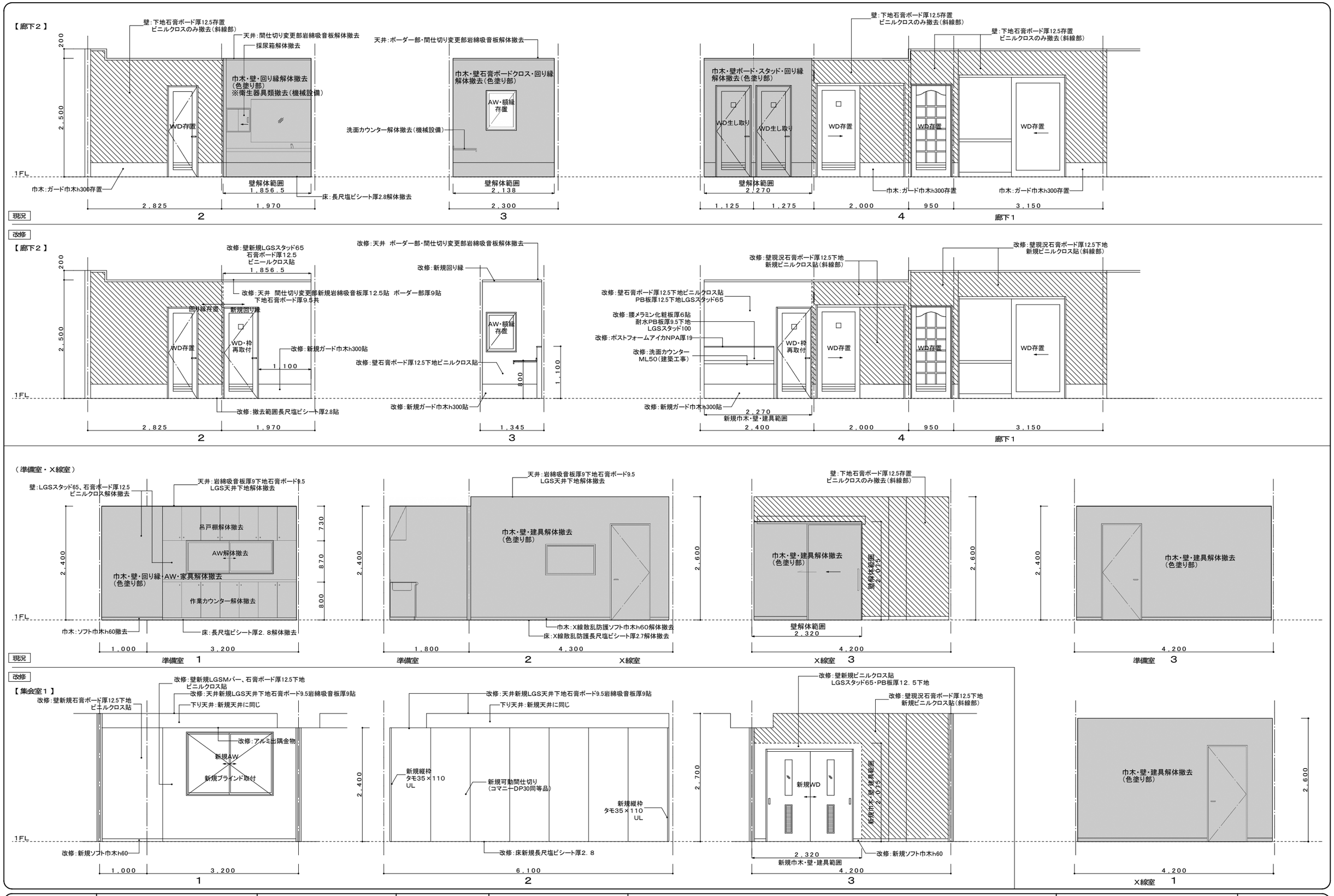
Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 青島 彰
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	展開図１	1：50	Checked by
				Approved by 青島 彰
				Date R07．03．14

青島彰一級建築士事務所
一級建築士登録　第118124号　青島 彰
一級建築士事務所登録（10）第2195号
〒426−0037　静岡県藤枝市青木3丁目14番1号　ソフィアビル3F
PHONE 054−643−6118　FAX 054−643−4354

訂正

Number in set

A−30



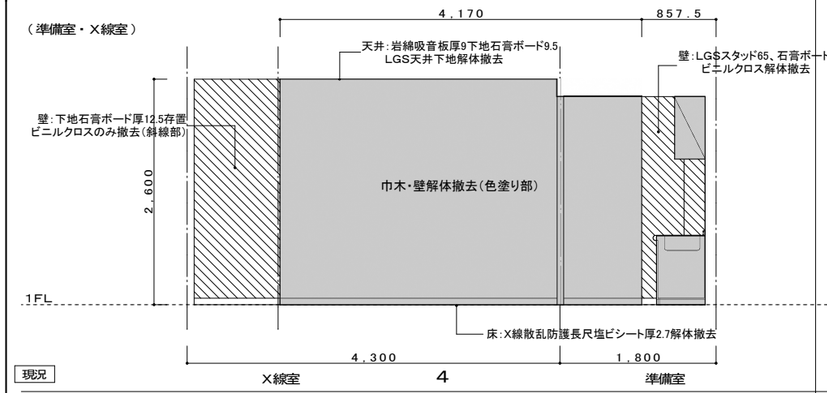
Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 青島 彰
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	展開図２	1:50	Checked by
				Approved by 青島 彰
				Date R07.03.14

青島彰一級建築士事務所
〒426−0037 静岡県藤枝市青木3丁目14番1号 ソフィアビル3F
PHONE 054−643−6118 FAX 054−643−4354
一級建築士登録 第118124号 青島 彰
一級建築士事務所登録（10）第2195号

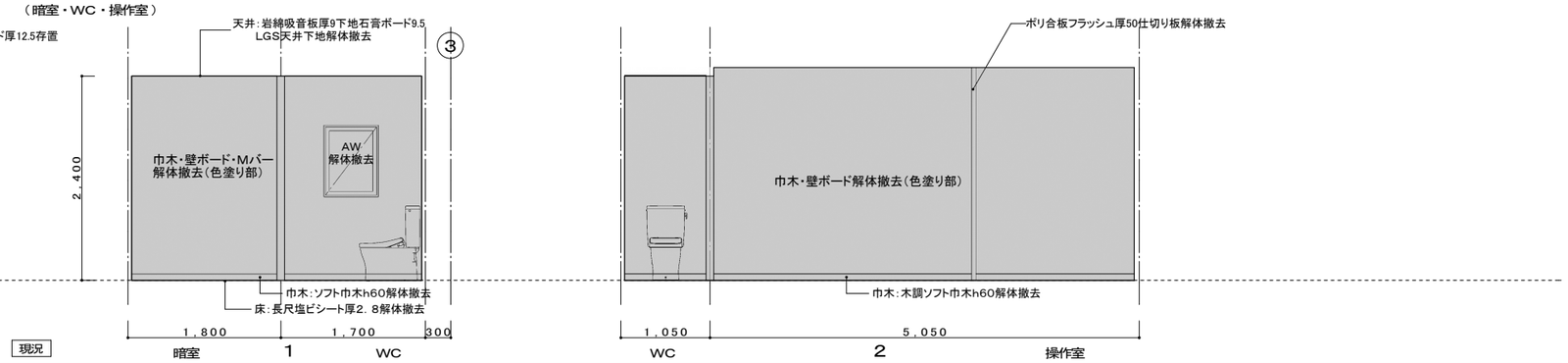
訂正	
*	*

Number in set: A−31

（準備室・X線室）



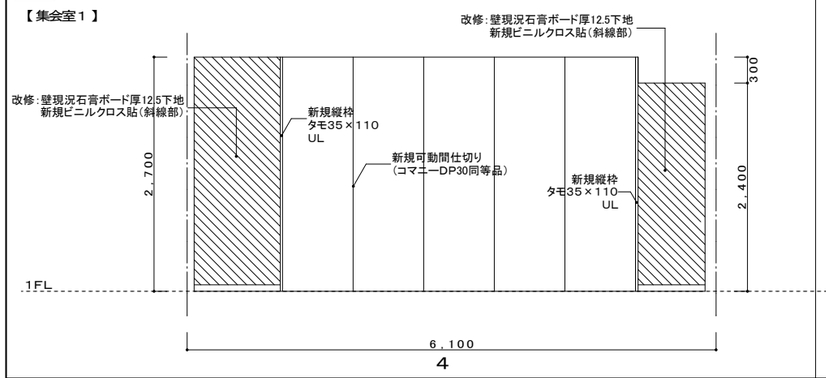
（暗室・WC・操作室）



現況

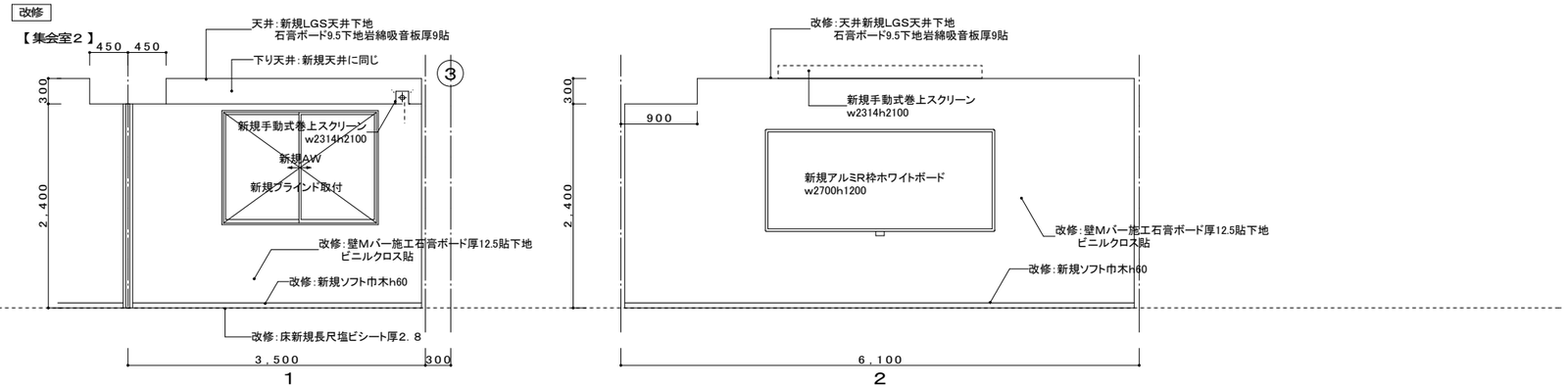
改修

【集会室１】

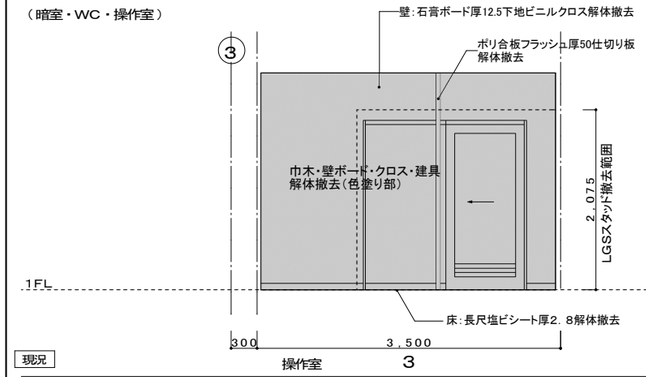


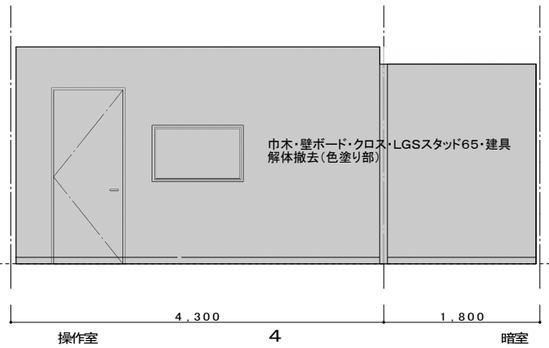
改修

【集会室２】

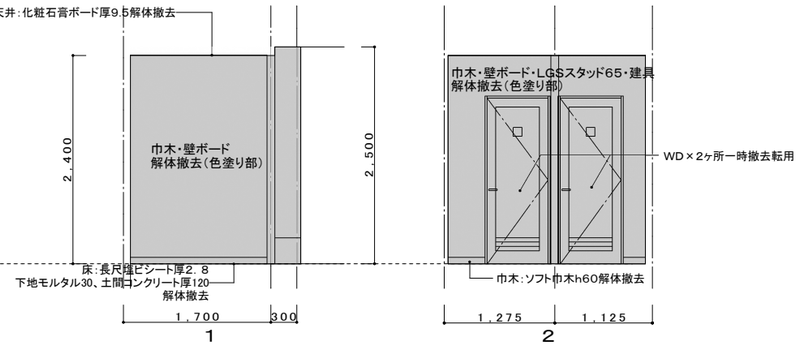


（暗室・WC・操作室）





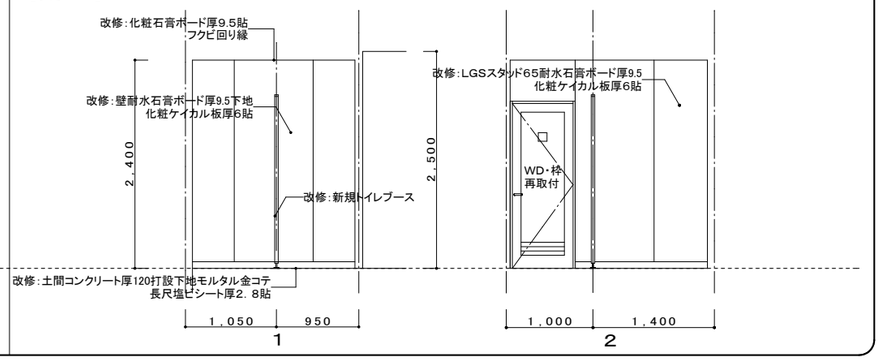
（洋式WC）



現況

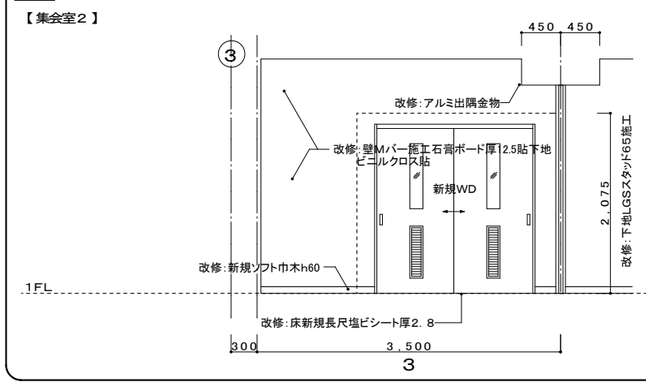
改修

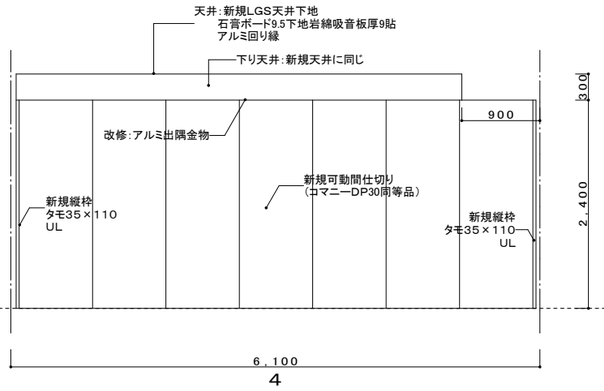
【女子WC】



改修

【集会室２】





Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 青島 彰
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	展開図３	1：50	Checked by
				Approved by 青島 彰
				Date R07．03．14

青島彰一級建築士事務所
〒426－0037 静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号 ソフィアビル３Ｆ
PHONE 054－643－6118 FAX 054－643－4354
一級建築士登録 第１１８１２４号 青島 彰
一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号

訂正	
*	*

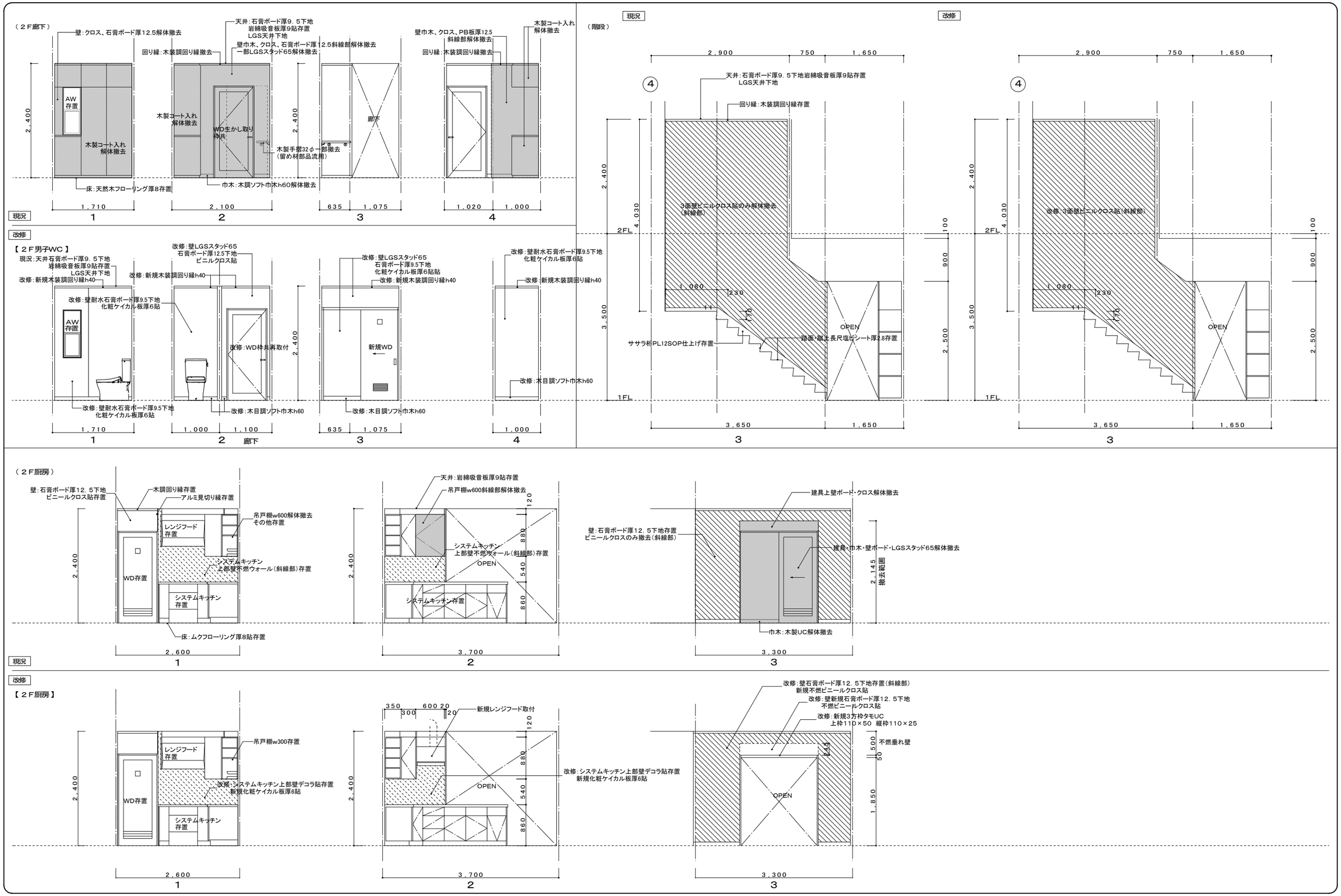
Number in set：Ａ－３２

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 青島 彰
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	展開図４	1：50	Checked by
				Approved by 青島 彰
				Date R07．03．14

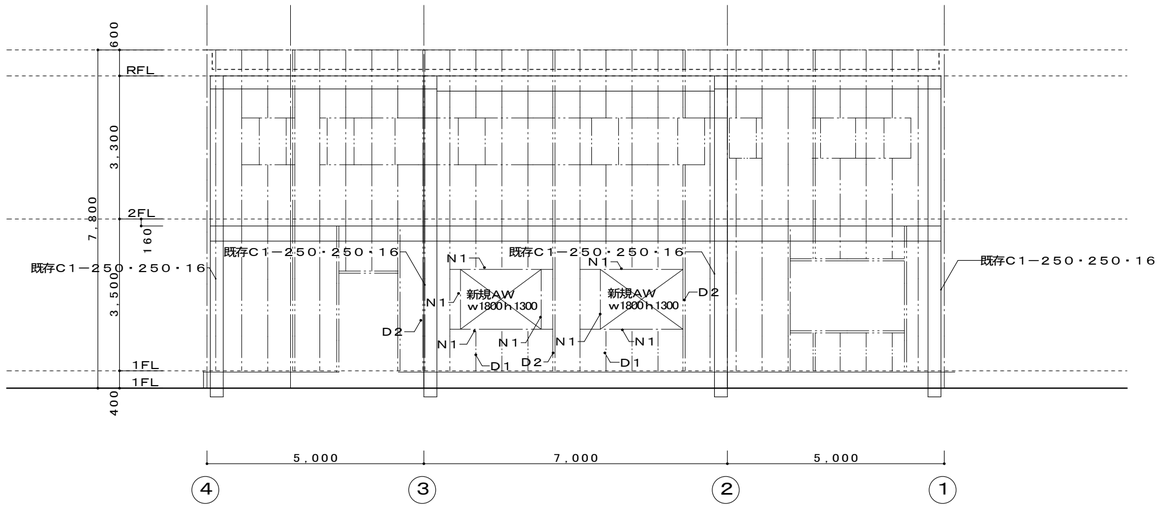
青島彰一級建築士事務所
〒426−0037 静岡県藤枝市青木3丁目14番1号 ソフィアビル3F
PHONE 054−643−6118 FAX 054−643−4354
一級建築士登録 第118124号 青島 彰
一級建築士事務所登録（10）第2195号

訂正	
*	*

Number in set
A−33



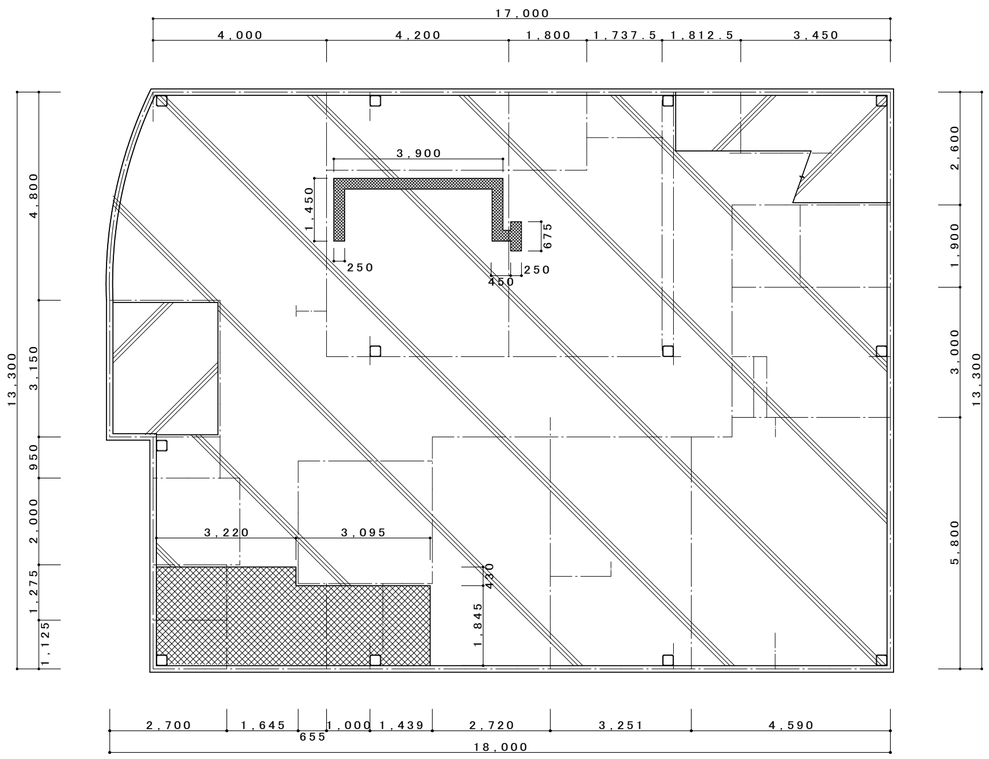
Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 青島 彰	青島彰一級建築士事務所	訂正	Number in set
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	展開図５	1:50	Checked by	〒426−0037 静岡県藤枝市青木3丁目14番1号 ソフィアビル3F	*	Ａ−３４
				Approved by 青島 彰	PHONE 054-643-6118 FAX 054-643-4354		
				Date R07．03．14	一級建築士登録 第118124号 青島 彰 / 一級建築士事務所登録（10）第2195号		



C通りサッシ周囲胴縁改修図　1：100

−·− 既存胴縁　D1　C−100・50・20・3．2
=·= 既存胴縁　D2　2C−100・50・20・3．2
−·− 新規胴縁　N1　C−100・50・20・3．2　　取付アングル既製品　BOLT2−M12

3



既存配線ピット撤去後
コンクリート充填４ｆｃ２１
モルタル金コテ仕上げ

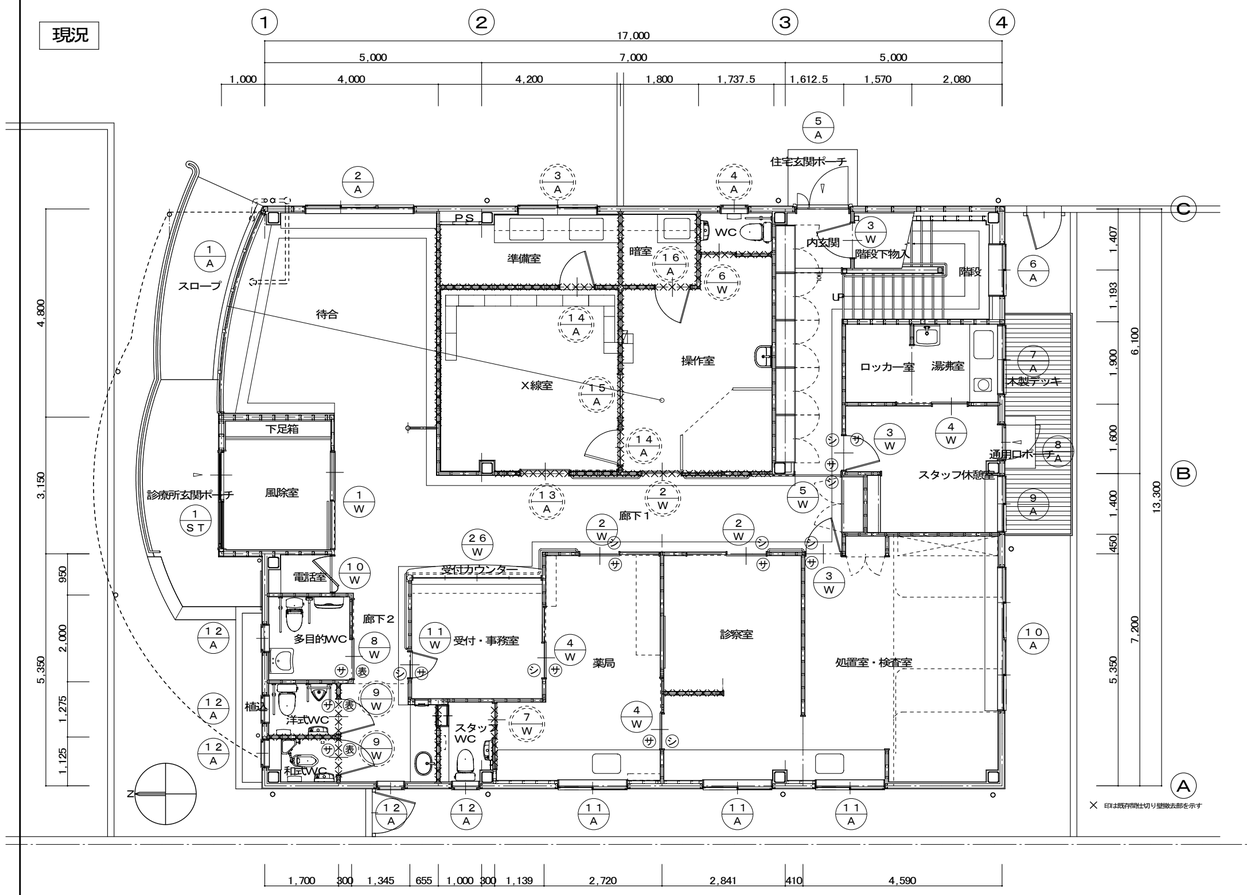
現況：既存土間コンクリート厚120
土間配筋ｄ１０−@２００タテヨコ
モルタル共解体撤去

改修：土間コンクリート厚120
土間配筋ｄ１０−@２００タテヨコ
既存土間配筋に接続
モルタル金コテ仕上げ

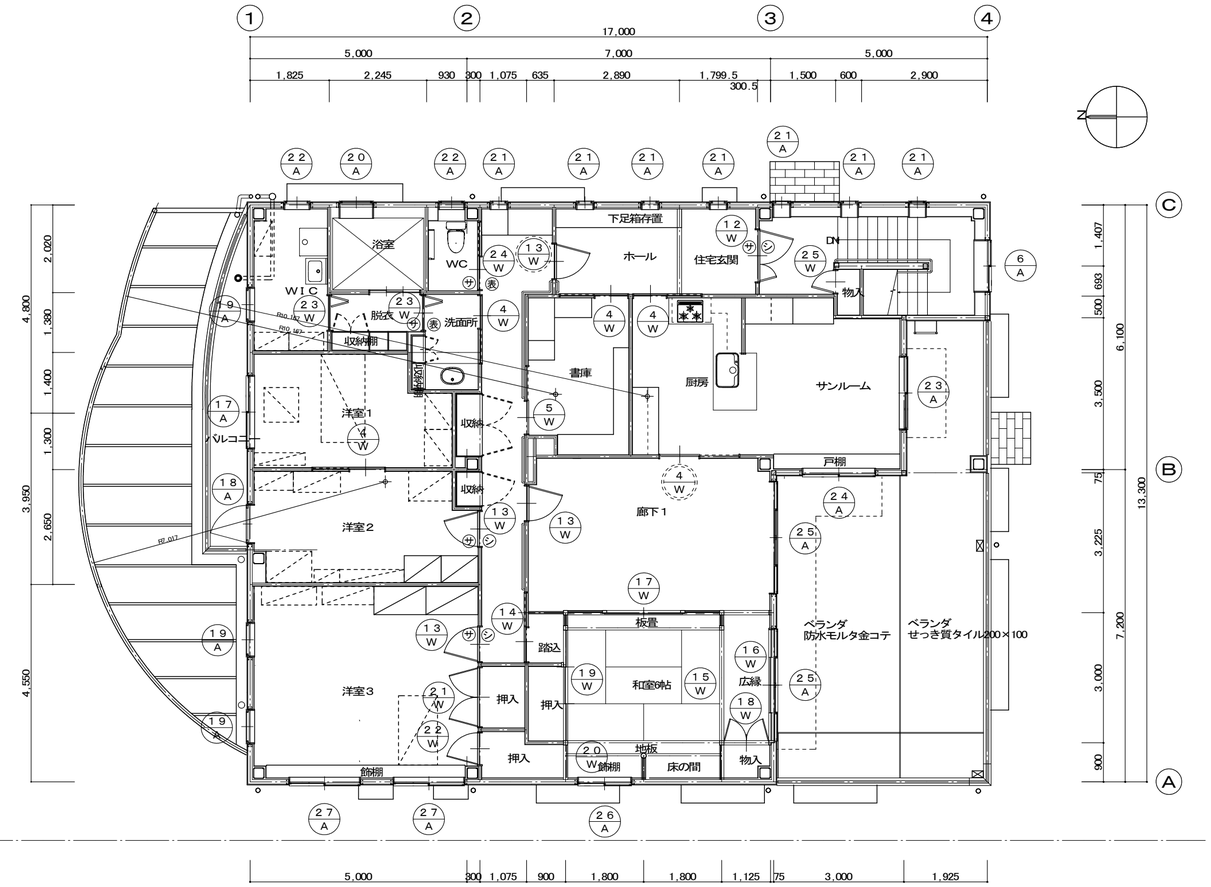
１階土間改修図　1：100

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 青島 彰	青島彰一級建築士事務所	訂正	Number in set
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	サッシ周囲胴縁改修図 １階土間改修図	1:100	Checked by Approved by 青島 彰 Date R07．03．14	一級建築士登録　第118124号　青島 彰 一級建築士事務所登録（10）第2195号 〒426−0037 静岡県藤枝市青木3丁目14番1号 ソフィアビル3F PHONE 054-643-6118 FAX 054-643-4354	* *	A−35

現況



1階建具位置図　1：100



2階建具位置図　1：100

凡例

- 存置建具を示す
- 撤去建具を示す
- 一時撤去建具（再利用）を示す
  - シ　シリンダー
  - サ　サムターン
  - 表　表示装置付シリンダー

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale		
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	現況建具位置図	1:100	Drawn by 青島　里花	
				Checked by 青島　彰	
				Approved by 青島　彰	
				Date R07．03．14	

青島彰一級建築士事務所
〒426−0037　静岡県藤枝市青木3丁目14番1号　ソフィアビル3F
PHONE　054−643−6118　FAX　054−643−4354
一級建築士登録　第118124号　青島　彰
一級建築士事務所登録（10）第2195号

訂正	
*	*

Number in set

A−36

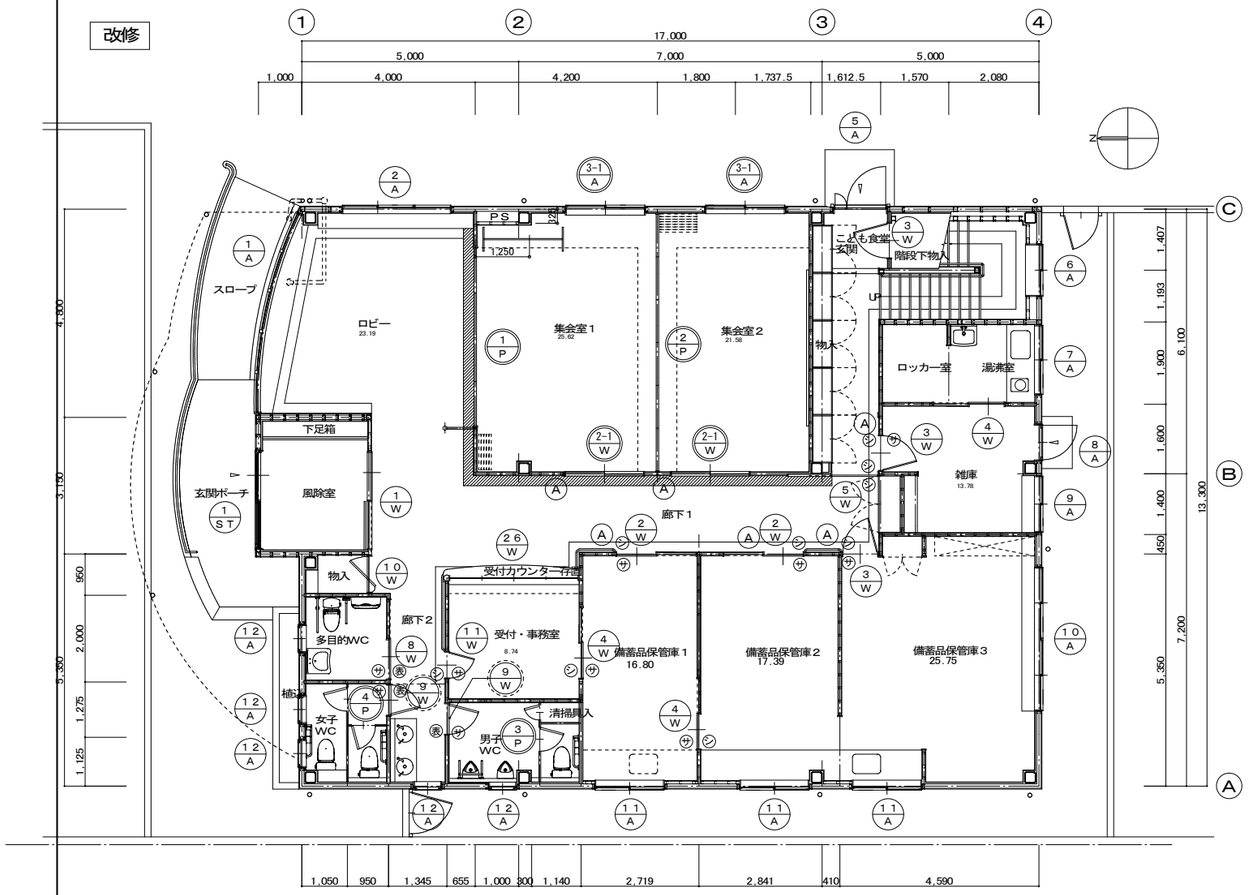
採光・換気・排煙検討表

階	室　名	床面積（㎡）	採光　1／20 必要面積	採光 有効面積			換気（1／20）必要面積	換気 有効面積			排煙（1／50）必要面積	排煙 有効面積		
1	集会室１（ＰＳ　0.41㎡除く）	25.21	1.261	3-1 A	1.800×1.300	2.340	∴ＯＫ	2.339	3-1 A	1.800×1.300×1/2×2	2.340	∴ＯＫ	0.504	3-1 A	1.800×0.700×1/2	0.630	∴ＯＫ
1	集会室２	21.58	1.079	3-1 A	1.800×1.300	2.340	∴ＯＫ						0.432	3-1 A	1.800×0.700×1/2	0.630	∴ＯＫ
2	厨房	23.65	1.183	2 3 A	1.650×2.153	3.552	∴ＯＫ	1.183	2 3 A	1.650×2.153×1/2	1.776	∴ＯＫ	0.473	2 3 A 2 4 A	1.650×0.553×1/2 = 0.456 1.650×0.553×1/2 = 0.456	0.912	∴ＯＫ
2	食堂１	20.52	1.026	2 5 A	2.559×2.153	5.509	∴ＯＫ	1.026	2 5 A	2.559×2.153×1/2	2.754	∴ＯＫ	0.410	2 5 A	2.559×0.553×1/2	0.707	∴ＯＫ
2	食堂２（広縁含む）	17.64	0.882	2 5 A	2.559×2.153×0.7	3.856	∴ＯＫ	0.882	2 5 A	2.559×2.153×1/2	2.754	∴ＯＫ	0.353	2 5 A	2.559×0.553×1/2	0.707	∴ＯＫ
2	交流スペース１	24.12	1.206	2 7 A	1.605×1.291	2.072	∴ＯＫ	1.206	2 7 A	1.605×1.291×1/2×2ヶ所	2.072	∴ＯＫ	0.482	2 7 A	1.605×0.600×1/2×2ヶ所	0.962	∴ＯＫ
2	交流スペース２	14.05	0.703	1 8 A	0.860×2.210	1.900	∴ＯＫ	0.703	1 8 A	0.860×2.210	1.900	∴ＯＫ	0.281	1 8 A	0.860×0.610	0.524	∴ＯＫ
2	交流スペース３	11.77	0.589	1 7 A	1.650×2.153	3.552	∴ＯＫ	0.589	1 7 A	1.650×2.153×1/2	1.776	∴ＯＫ	0.235	1 7 A	1.650×0.553×1/2	0.456	∴ＯＫ

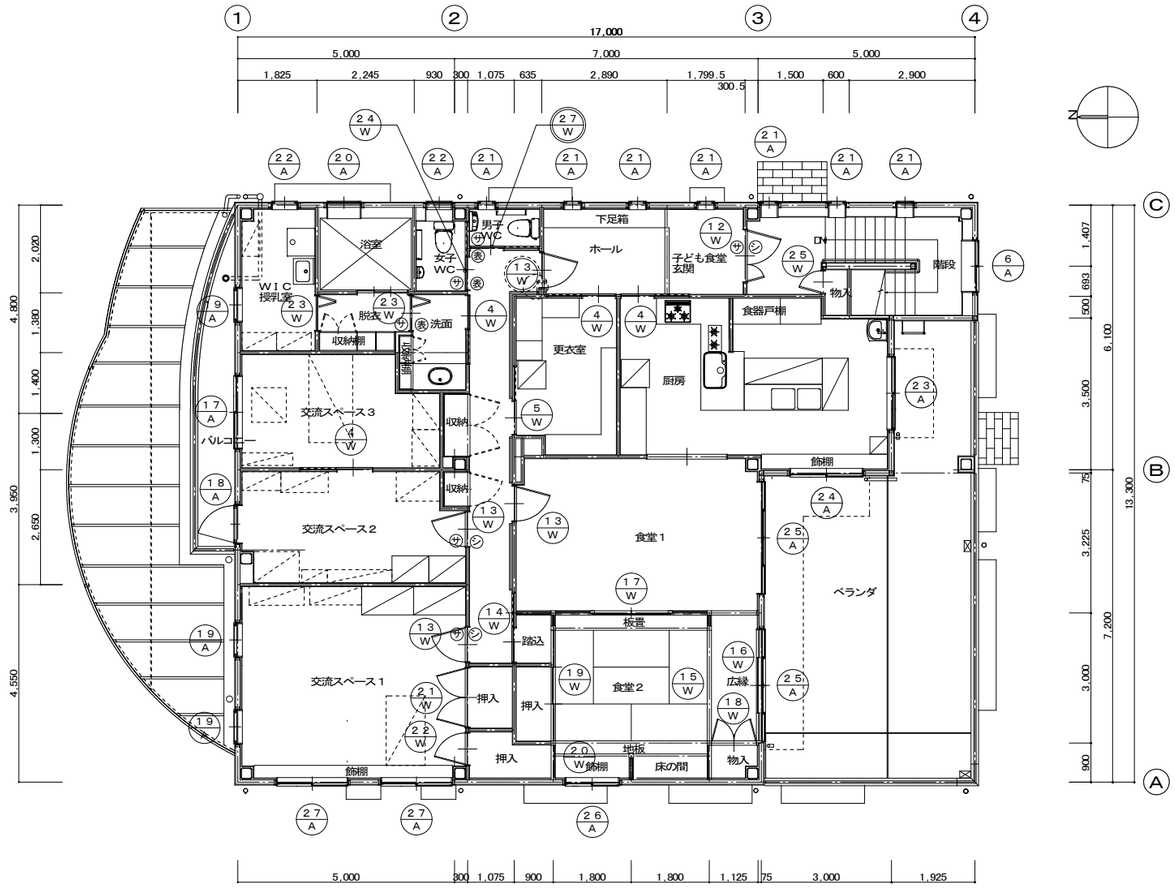
消防法による無窓階検討表

階	床面積（㎡）	必要面積 1／30	有効な開口部				
1	232.63	7.754	3-1 A	カラーアルミサッシ　引違い	0.900×1.300×2ヶ所	= 2.340	
			5 A	カラーアルミ玄関ドア　親子開き	1.240×2.285×1ヶ所	= 2.833	
			8 A	カラーアルミサッシ　片開き	0.800×2.200×1ヶ所	= 1.760	
			11 A	カラーアルミサッシ　引違い	0.800×1.200×1ヶ所	= 0.960	7.893　∴ＯＫ
2	184.13	6.137	18 A	断熱サッシアルプラ　片開き	0.860×2.210×1ヶ所	= 1.900	
			23 A	断熱サッシアルプラ　テラス戸引違い	0.825×2.153×1ヶ所	= 1.776	
			20 A	断熱サッシアルプラ　テラス戸引違い	1.279×2.153×1ヶ所	= 2.753	6.429　∴ＯＫ

改修



１階建具位置図　1：100



２階建具位置図　1：100

凡例

新設建具を示す

撤去建具（再利用）を示す

シ　シリンダー
サ　サムターン
表　表示装置付シリンダー

新規室名札

アルミ製150角（文字）平付型　計1か所（W－4建具面）
アルミ製150角（ピクトサイン）平付型　計2か所（W－9建具面）
アルミ製200角（文字）平付型　壁面　計6か所（図示）A

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by	Checked by	Approved by	Date
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	改修建具位置図	1：100	青島　里花	青島　彰	青島　彰	R07．03．14

青島彰一級建築士事務所
〒426－0037　静岡県藤枝市青木3丁目14番1号　ソフィアビル3F
PHONE　054－643－6118　FAX　054－643－4354
一級建築士登録　第118124号　青島　彰
一級建築士事務所登録（10）第2195号

訂正	
*	*

Number in set：A－37

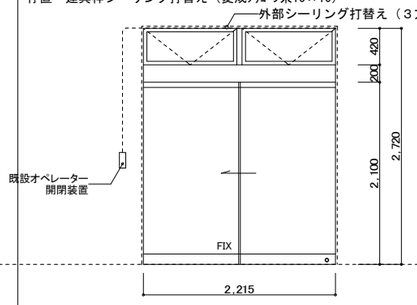
建具表 1:50

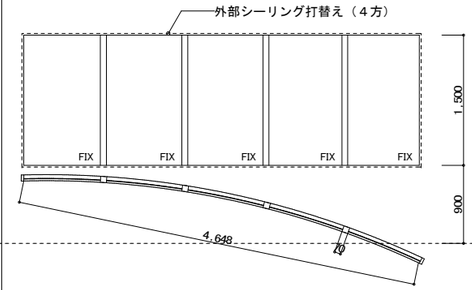
※既設金属製建具は鉄骨用サッシ半外付型であり、建具寸法は「内法寸法」を示す。

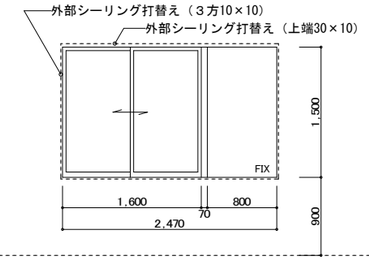
凡例　撤去建具を示す　新設建具を示す　改修建具を示す

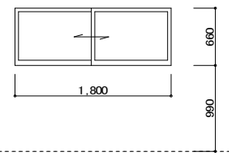
記号	場所	数量	工事内容	型式・枠見込	金物	仕上	ガラス	備考
1/ST	1階 風除室	1	存置 建具枠シーリング打替え（変成ｼﾘｺｰﾝ系10×10） 外部シーリング打替え（３方）	ステンレスサッシ 片引自動ドア、排煙外倒し窓 120	自動ドアエンジン付属品一式（身障者用）、埋込型オペレーター開閉装置、シリンダー本締錠 レーダースイッチ、敷居ステンレス、ステンレスアングル	ステンレス鏡面	強化ガラス８㎜、ランマペアガラス厚１４（透明強化４＋Ａ６＋４） 衝突防止デザインシート貼	ロールスクリーン
1/A	1階（待合室）【ロビー】	1	存置 建具枠シーリング打替え（変成ｼﾘｺｰﾝ系10×10）	カラーアルミサッシ ＦＩＸ 70	付属品一式、カラーアルミアングル	ファイングレー	ペアガラス厚１４（透明強化４＋Ａ６＋４）	–
2/A	1階（待合室）【ロビー】	1	存置 建具枠シーリング打替え（変成ｼﾘｺｰﾝ系10×10、30×10）	カラーアルミサッシ 引違い、ＦＩＸ 70	付属品一式、カラーアルミアングル、網戸	ファイングレー	ペアガラス厚１４（透明強化４＋Ａ６＋４）	–
3/A	1階（準備室）	1	解体撤去	カラーアルミサッシ 引違い 70	付属品一式、カラーアルミアングル、網戸	ファイングレー	ペアガラス厚１４（型板強化４＋Ａ６＋４）	–
4/A	1階（操作室ＷＣ）	1	解体撤去	カラーアルミサッシ すべり出し 70	付属品一式、カラーアルミアングル、網戸	ファイングレー	ペアガラス厚１４（型板強化４＋Ａ６＋４）	–
3-1/A	1階【集会室１・２】	2	新設（アルミサッシ引違い窓）	カラーアルミサッシ 引違い（半外付け） 70	付属品一式、カラーアルミアングル、網戸	グレー	ペアガラス厚１４（型板強化４＋Ａ６＋４）	建具枠外部変成シーリング10×10、横型ブラインドW25額縁内取付

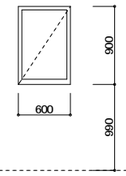
姿図

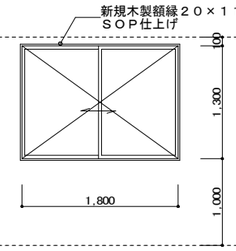






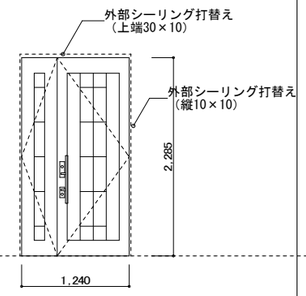


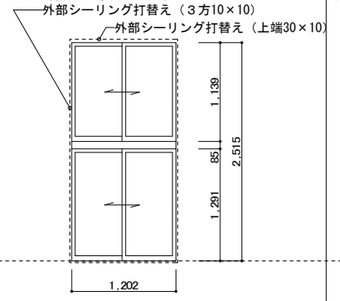


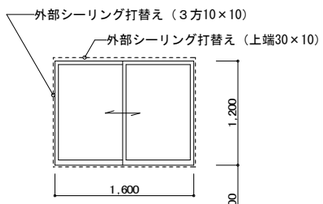


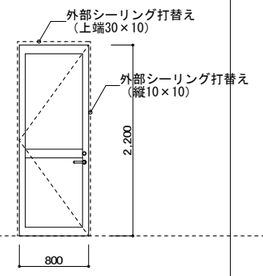
記号	場所	数量	工事内容	型式・枠見込	金物	仕上	ガラス	備考
5/A	1階（内玄関）【こども食堂玄関】	1	建具枠シーリング打替え（変成ｼﾘｺｰﾝ系縦10×10、30×10）	カラーアルミ玄関ドア 親子開き（リベール２３・７型） 98	付属品一式、電気錠セット、専用ドア枠	ファイングレー	装飾合わせガラス模様入り厚12、アルミ形材	–
6/A	階段室	1	建具枠シーリング打替え（変成ｼﾘｺｰﾝ系10×10、30×10）	断熱サッシアルプラ 引違い段窓 70	付属品一式、隠ぺい型オペレーター開閉装置、カラーアルミアングル、網戸	ファイングレー	ペアガラス厚１６（透明網入６．８＋Ａ５．２＋強化４）	–
7/A	1階（スタッフ休憩室湯沸）【湯沸室】	1	建具枠シーリング打替え（変成ｼﾘｺｰﾝ系10×10、30×10）	カラーアルミサッシ 引違い 70	付属品一式、カラーアルミアングル、網戸	ファイングレー	ペアガラス厚１４（型板強化４＋Ａ６＋４）	–
8/A	1階（スタッフ休憩室）【雑庫】	1	建具枠シーリング打替え（変成ｼﾘｺｰﾝ系10×10、30×10）	カラーアルミサッシ 片開き 70	付属品一式、レバーハンドル錠、ステン丁番、ドアクローザー、戸当り カラーアルミアングル、アコーディオン網戸	ファイングレー	ペアガラス厚１４（型板強化４＋Ａ６＋４）	–
9/A	1階（スタッフ休憩室）【雑庫】	1	建具枠シーリング打替え（変成ｼﾘｺｰﾝ系10×10、30×10）	カラーアルミサッシ 引違い 70	付属品一式、カラーアルミアングル、網戸	ファイングレー	ペアガラス厚１４（透明強化４＋Ａ６＋４）	–
10/A	1階（処置室）【備蓄品保管庫３】	1	建具枠シーリング打替え（変成ｼﾘｺｰﾝ系10×10、30×10）	カラーアルミサッシ 引違い 70	付属品一式、カラーアルミアングル、網戸	ファイングレー	ペアガラス厚１４（透明強化４＋Ａ６＋４）	–

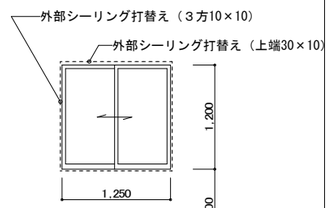
姿図

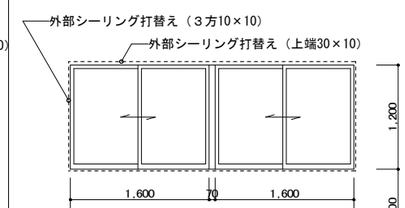






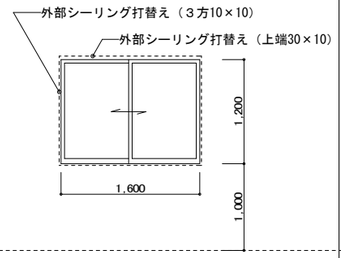


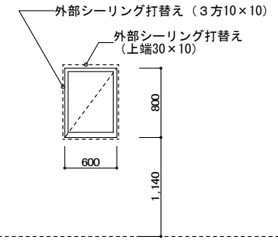


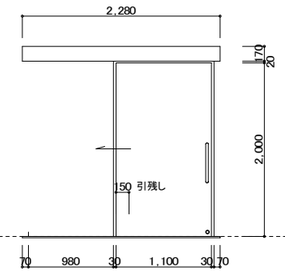


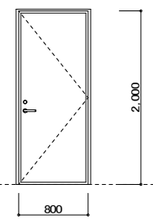
記号	場所	数量	工事内容	型式・枠見込	金物	仕上	ガラス	備考
11/A	1階（薬局、診察室、処置室）【備品保管庫１・２・３】	3	建具枠シーリング打替え（変成ｼﾘｺｰﾝ系10×10、30×10）	カラーアルミサッシ 引違い 70	付属品一式、カラーアルミアングル、網戸	ファイングレー	ペアガラス厚１６（型板網入６．８＋Ａ５．２＋強化４）	–
12/A	1階（多目的・洋式・和式ＷＣ、廊下２、ｽﾀｯﾌＷＣ）【多目的・女子・男子ＷＣ、廊下２】	5	建具枠シーリング打替え（変成ｼﾘｺｰﾝ系10×10、30×10）	カラーアルミサッシ すべり出し 70	付属品一式、カラーアルミアングル、網戸	ファイングレー	ペアガラス厚１６（型板網入６．８＋Ａ５．２＋強化４）	–
13/A	1階（Ｘ線室）	1	解体撤去	Ｘ線防護アルミハンガー片引戸（サンレイズＡＳＤ規格品） 102	付属品一式、自動閉鎖装置付き、バーハンドル、シリンダー錠	スチール枠ウレタン樹脂塗装	廊下側鉛板貼合板厚７（Ｐｂ１．５）壁装クロス貼 Ｘ線室側合板厚５．５Ｘ線散乱防護クロス貼 フラッシュパネル	出入り口有効巾９５０確保、Ｘ線透過防護鉛板厚１．５
14/A	1階（操作室、準備室）	2	解体撤去	アルミＸ線防護ドア 片開き（サンレイズＡＸＤ規格品） 100	付属品一式、レバーハンドル、シリンダー錠（操作室のみ）、 Ｘ線透過防護鉛板厚１．５、アルミアングル	–	操作室側鉛板貼合板厚７（Ｐｂ１．５）壁装クロス貼 Ｘ線室側合板厚５．５Ｘ線散乱防護クロス貼 フラッシュパネル	–
15/A	1階（操作室）	1	解体撤去	アルミＸ線防護のぞき窓（サンレイズＡＸＷ６規格品） 100	付属品一式、Ｘ線透過防護鉛板厚１．５、アルミアングル	–	含有ガラス（鉛等量１．５ １０００×６００）	–
16/A	1階（暗室）	1	解体撤去	カラーアルミフラッシュドア 片開き 70	レバーハンドル錠、ステン丁番、ドアクローザー、戸当り、遮光吸気ガラリ カラーアルミアングル、省措ステンレス	ステンカラー	カラーアルミフレーム壁装クロス貼 フラッシュドア	–

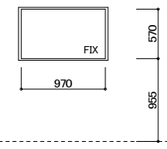
姿図

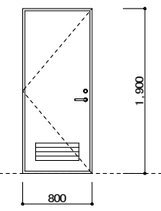












Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	建具表（１）	1:50

Drawn by	青島 里花
Checked by	青島 彰
Approved by	青島 彰
Date	R07．03．14

青島彰一級建築士事務所
〒426−0037 静岡県藤枝市青木3丁目14番1号 ソフィアビル3F
PHONE 054−643−6118 FAX 054−643−4354
一級建築士登録 第118124号 青島 彰
一級建築士事務所登録（10）第2195号

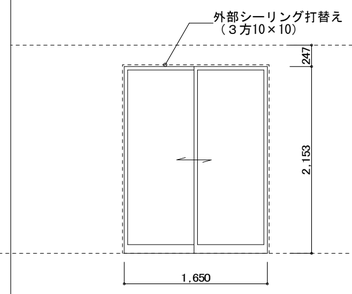
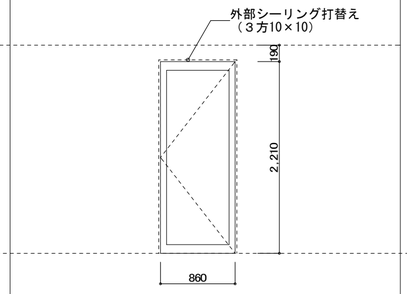
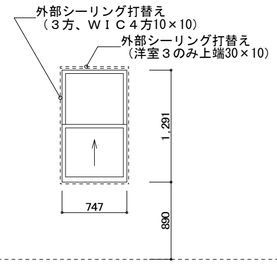
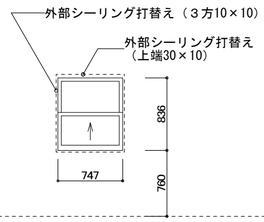
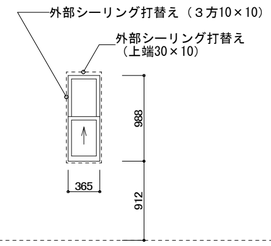
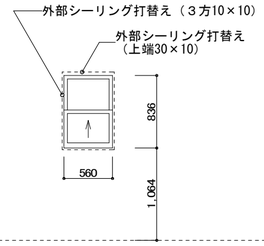
訂正	
*	*

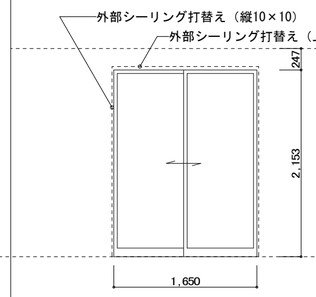
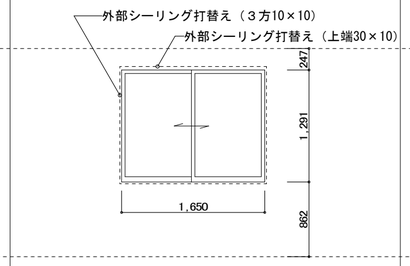
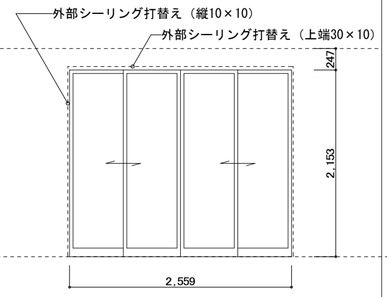
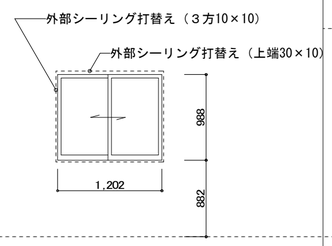
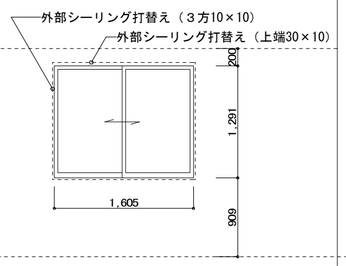
Number in set: A−38

凡例　撤去建具を示す　新設建具を示す　改修建具を示す

建具表　1:50

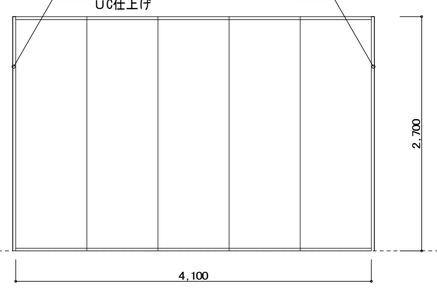
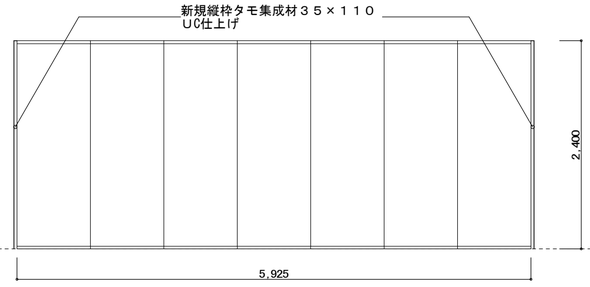
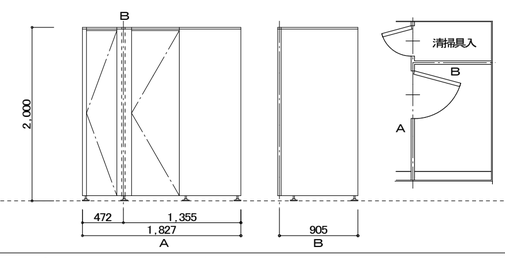
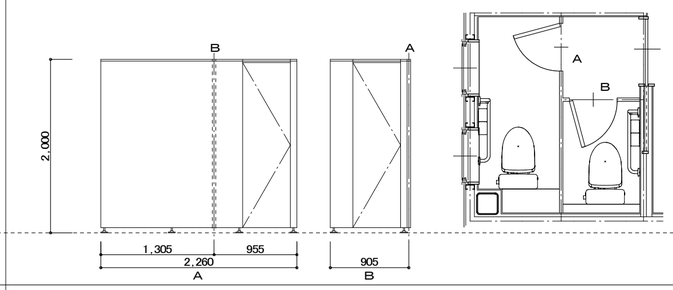
※既設金属製建具は鉄骨用サッシ半外付型であり、建具寸法は「内法寸法」を示す。

記号	場所	数量	17 A	18 A	19 A	20 A	21 A	22 A
			2階（洋室1）【交流スペース3】	2階（洋室2）【交流スペース2】	2階（洋室3、WIC）【交流スペース1、授乳室】	2階　浴室	2階（階段室、住宅玄関ﾎｰﾙ、廊下）【階段室、こども食堂玄関ﾎｰﾙ、男子WC】	2階（WC、WIC）【女子WC、授乳室】
			1	1	3	1	7	2
工事内容			建具枠シーリング打替え（変成ｼﾘｺｰﾝ系10×10）	建具枠シーリング打替え（変成ｼﾘｺｰﾝ系10×10）	建具枠シーリング打替え（変成ｼﾘｺｰﾝ系10×10、30×10）	建具枠シーリング打替え（変成ｼﾘｺｰﾝ系10×10、30×10）	建具枠シーリング打替え（変成ｼﾘｺｰﾝ系10×10、30×10）	建具枠シーリング打替え（変成ｼﾘｺｰﾝ系10×10、上端30×10）
姿図								
型式・枠見込			断熱サッシアルプラ　引違い　70	断熱サッシアルプラ　テラスドア　70	断熱サッシアルプラ　片上げ下げ窓　70	断熱サッシアルプラ　片上げ下げ窓　70	断熱サッシアルプラ　片上げ下げ窓　70	断熱サッシアルプラ　片上げ下げ窓　70
金物			付属品一式、アングル付タイプ、網戸	付属品一式、アコーディオン網戸	付属品一式、網戸	付属品一式、網戸	付属品一式、網戸	付属品一式、網戸
仕上			ファイングレー	ファイングレー	ファイングレー	ファイングレー	ファイングレー	ファイングレー
ガラス			ペアガラス厚１６（透明網入６．８＋Ａ４．２＋透明５）	ペアガラス厚１６（透明網入６．８＋Ａ４．２＋透明５）	ペアガラス厚１６（透明網入６．８＋Ａ６．２＋透明３）	ペアガラス厚１６（型板網入６．８＋Ａ６．２＋透明３）	ペアガラス厚１６（透明網入６．８＋Ａ６．２＋透明３）	ペアガラス厚１６（型板網入６．８＋Ａ６．２＋透明３）
備考			－	－	－	－	－	－

記号	場所	数量	23 A	24 A	25 A	26 A	27 A	
			2階（サンルーム）【厨房】	2階（サンルーム）【厨房】	2階（居間、広縁）【食堂1、広縁】	2階（和室）【食堂2】	2階（洋室3）【交流スペース1】	
			1	1	2	1	2	
工事内容			建具枠シーリング打替え（変成ｼﾘｺｰﾝ系10×10、30×10）	建具枠シーリング打替え（変成シリコーン系10×10、30×10）	建具枠シーリング打替え（変成シリコーン系10×10、30×10）	建具枠外部シーリング打替え（変成ｼﾘｺｰﾝ系10×10、30×10）	建具枠外部シーリング打替え（変成ｼﾘｺｰﾝ系10×10、30×10）	
姿図								
型式・枠見込			断熱サッシアルプラ　テラス戸引違い　70	断熱サッシアルプラ　引違い　70	断熱サッシアルプラ　テラス戸引違い　70	断熱サッシアルプラ　引違い　70	断熱サッシアルプラ　引違い　70	
金物			付属品一式、アングル付タイプ、網戸	付属品一式、アングル付タイプ、網戸	付属品一式、アングル付タイプ、網戸	付属品一式、アングル付タイプ、網戸	付属品一式、アングル付タイプ、網戸	
仕上			ファイングレー	ファイングレー	ファイングレー	ファイングレー	ファイングレー	
ガラス			ペアガラス厚１６（透明５＋Ａ６＋５）	ペアガラス厚１６（透明５＋Ａ６＋５）	居間　ペアガラス厚１６（透明５＋Ａ６＋５） 広縁　ペアガラス厚１６（透明網入６．８＋Ａ４．２＋透明５）	ペアガラス厚１６（型板網入６．８＋Ａ６．２＋透明３）	ペアガラス厚１６（透明網入６．８＋Ａ４．２＋透明５）	
備考			－	－	－	－	－	

建具表　1:50

※建具寸法は「内法寸法」を示す。

記号	場所	数量	1 P	2 P	3 P	4 P
			1階【集会室1】	1階【集会室2】	1階【男子WC】	1階【女子WC】
			1	1	1	1
工事内容			新設（枠共） 新規縦枠タモ集成材３５×１１０ UC仕上げ	新設（枠共） 新規縦枠タモ集成材３５×１１０ UC仕上げ	新設	新設
姿図						
型式・枠見込			アルミ可動間仕切り（コマニーＤＰ-30同等品）　パネル53	アルミ可動間仕切り（コマニーＤＰ-30同等品）　パネル53	トイレブース（コマニーＣＢ－ＡＣＲ同等品）　パネル40	トイレブース（コマニーＣＢ－ＡＣＲ同等品）　パネル40
金物			ランナー、アルミレール、ケースハンドル、ワンタッチ圧接装置、回転ハンドル式圧接装置	ランナー、アルミレール、ケースハンドル、ワンタッチ圧接装置、回転ハンドル式圧接装置	アルミ笠木、アルミ壁レール、ＳＵＳグレビティヒンジ、表示付きスライドロック（非常解錠付き）、戸当り、脚金物、ＳＵＳ丁番、物置用取っ手	アルミ笠木、アルミ壁レール、ＳＵＳグレビティヒンジ、表示付きスライドロック（非常解錠付き）、戸当り、脚金物
仕上			シート合板（ビニールクロス貼）	シート合板（ビニールクロス貼）	メラミン化粧板、アルミ合金押出型材（アールエッジ）	メラミン化粧板、アルミ合金押出型材（アールエッジ）
ガラス			－	－	－	－
備考			縦枠：タモ集成材35×110UC	縦枠：タモ集成材35×110UC	－	－

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by	Checked by	Approved by	Date
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	建具表（２）	1:50	青島　里花	青島　彰	青島　彰	R07.03.14

青島彰一級建築士事務所
〒426−0037　静岡県藤枝市青木3丁目14番1号　ソフィアビル3F
PHONE　054-643-6118　FAX　054-643-4354
一級建築士登録　第118124号　青島　彰
一級建築士事務所登録（10）第2195号

訂正	
*	*

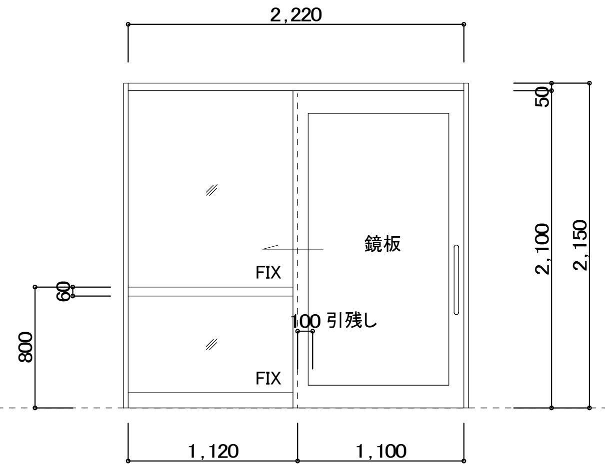
Number in set：Ａ−３９

建具表　1:50　※建具寸法は「内法寸法」を示す。

1W

記号	場所	数量
1W	1階　風除室	1

工事内容：存置

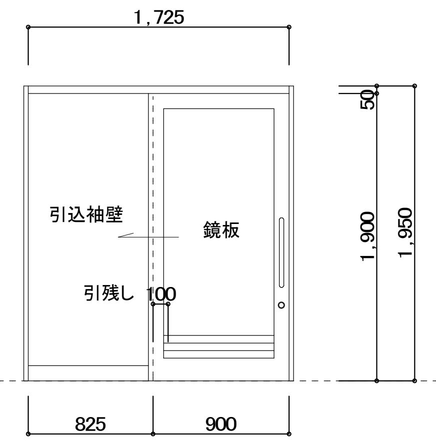


項目	内容
型式・枠見込	木製カマチ上吊り片引き戸（袖・ランマＦＩＸ）　ドア33、標準枠25×110
金物	ＦＳＤ付属品一式（ベストNo.781S）、ドアハンドルNo.380、マグネットキャッチ
仕上	チャイナタモＵＣ（着色）　鏡板タモ合板フラッシュ厚１８　建具枠チャイナタモ
ガラス	型板強化ガラス４㎜
備考	沓摺ステンレス厚２ｎ型

2W

記号	場所	数量
2W	1階（薬局、診察室）【備蓄品保管庫１・２】	2

工事内容：存置

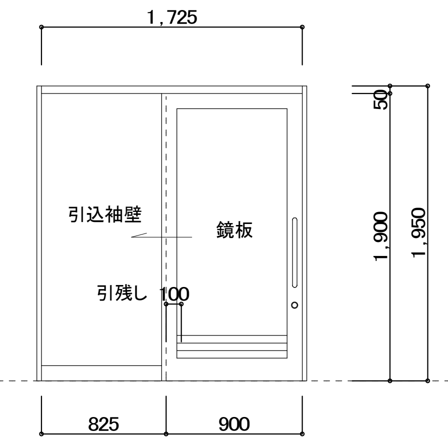


項目	内容
型式・枠見込	木製カマチ上吊り片引き戸（換気ガラリ付き）　ドア33、標準枠25×110
金物	ＦＳＤ付属品一式（ベストNo.781S）、引戸錠（ミワSL77）、ドアハンドルNo.380 マグネットキャッチ
仕上	チャイナタモＵＣ（着色）　鏡板タモ合板フラッシュ厚１８　建具枠チャイナタモ
ガラス	–
備考	沓摺ステンレス厚２ｎ型 引込袖壁：石膏ボード厚9.5合板厚6ﾌﾗｯｼｭﾊﾟﾈﾙ　ｸﾛｽ貼

2W（撤去）

記号	場所	数量
2W	1階（操作室）	1

工事内容：解体撤去（枠共）

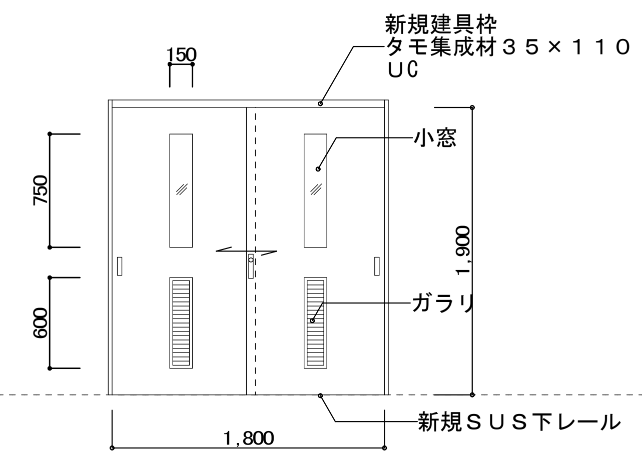


項目	内容
型式・枠見込	木製カマチ上吊り片引き戸（換気ガラリ付き）　ドア33、標準枠25×110
金物	ＦＳＤ付属品一式（ベストNo.781S）、引戸錠（ミワSL77）、ドアハンドルNo.380 マグネットキャッチ
仕上	チャイナタモＵＣ（着色）　鏡板タモ合板フラッシュ厚１８　建具枠チャイナタモ
ガラス	–
備考	沓摺ステンレス厚２ｎ型 引込袖壁：石膏ボード厚9.5合板厚6ﾌﾗｯｼｭﾊﾟﾈﾙ　ｸﾛｽ貼

2-1W

記号	場所	数量
2-1W	1階【集会室１・２】	2

工事内容：新設（枠共）

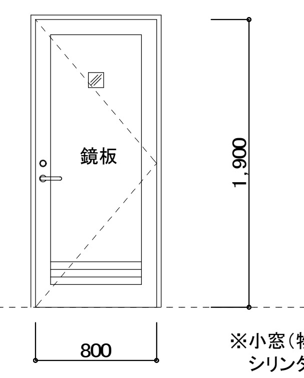


項目	内容
型式・枠見込	木製引違い戸　ドア見込36、建具枠縦35×110、上枠50×110
金物	ＳＵＳ下レール、戸車、ＳＵＳ彫込引手Ｌ150（手掛け付き）、サムターン付きシリンダー錠 マグネットキャッチ、戸当りゴム（枠付）、アルミガラリ
仕上	ポリ合板　額・大手：木製ＵＣ　建具枠：タモ材UC
ガラス	型強化ガラス４㎜
備考	–

3W

記号	場所	数量
3W	1階（処置室、スタッフ休憩室、階段室物入）【備蓄品保管庫３、雑庫、階段室物入】	3

工事内容：存置



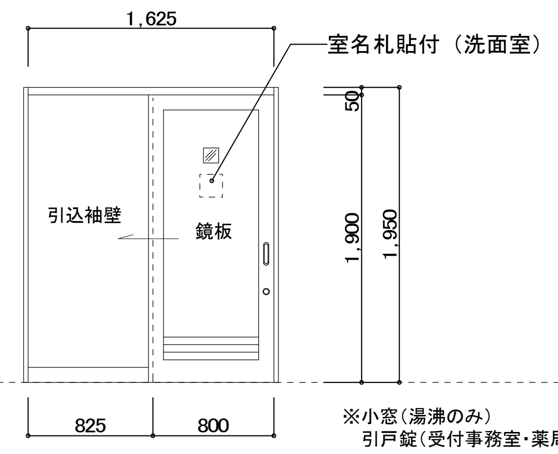
※小窓(物入のみ)
シリンダー錠(処置室・ｽﾀｯﾌ休憩室のみ)】

項目	内容
型式・枠見込	木製カマチドア片開き（換気ガラリ付き）　ドア36、標準枠25×110
金物	レバーハンドル、シリンダー錠（処置室・スタッフ休憩室のみ）、カラーステン丁番、 ドアクローザー、戸当り
仕上	チャイナタモＵＣ（着色）木口チャイナタモ細縁貼　鏡板タモ合板フラッシュ厚１８ 建具枠チャイナタモ
ガラス	小窓薄型板ガラス（物入のみ）
備考	沓摺ステンレス厚２ｎ型

4W

記号	場所	数量
4W	1階（受付事務室、薬局、ｽﾀｯﾌ休憩湯沸）【受付事務室、備蓄品保管庫１、湯沸室】 2階（厨房、書庫、洗面所、洋室１）【厨房、更衣室、洗面、交流ｽﾍﾟｰｽ３】	7

工事内容：存置　洗面所のみ室名札貼付（アクリル製150角）



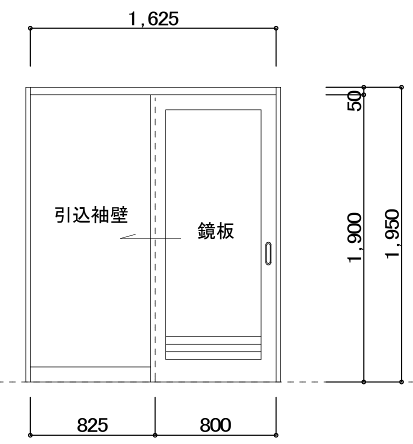
※小窓(湯沸のみ)
引戸錠(受付事務室・薬局のみ)

項目	内容
型式・枠見込	木製カマチ上吊り片引き戸（換気ガラリ付き）　ドア33、標準枠25×110
金物	ＦＳＤ付属品一式（ベストNo.781S）、引戸錠ミワSL77（受付事務室・薬局のみ）、大型彫込引手、 マグネットキャッチ
仕上	チャイナタモＵＣ（着色）　鏡板タモ合板フラッシュ厚１８　建具枠チャイナタモ
ガラス	薄型板ガラス（湯沸のみ）
備考	沓摺ステンレス厚２ｎ型（２階チャイナタモ） 引込袖壁：石膏ボード厚9.5合板厚6ﾌﾗｯｼｭﾊﾟﾈﾙ　ｸﾛｽ貼　木目調ｿﾌﾄ巾木貼

4W（撤去）

記号	場所	数量
4W	2階（居間）	1

工事内容：解体撤去（枠共）

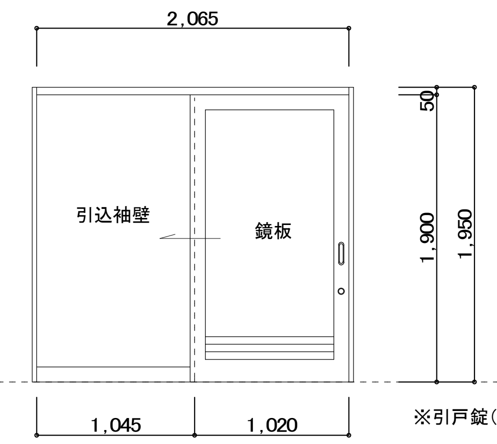


項目	内容
型式・枠見込	木製カマチ上吊り片引き戸（換気ガラリ付き）　ドア33、標準枠25×110
金物	ＦＳＤ付属品一式（ベストNo.781S）、大型彫込引手、マグネットキャッチ
仕上	チャイナタモＵＣ（着色）　鏡板タモ合板フラッシュ厚１８　建具枠チャイナタモ
ガラス	–
備考	沓摺チャイナタモ 引込袖壁：石膏ボード厚9.5合板厚6ﾌﾗｯｼｭﾊﾟﾈﾙ　ｸﾛｽ貼　木目調ｿﾌﾄ巾木貼

5W

記号	場所	数量
5W	1階　廊下１ 2階（書庫）【更衣室】	2

工事内容：存置
1階　廊下１のみ両面シリンダー錠に取替え



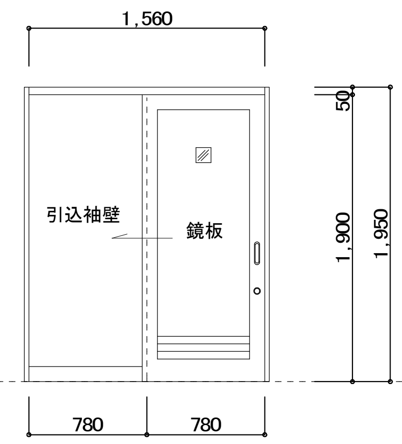
※引戸錠(廊下1のみ)

項目	内容
型式・枠見込	木製カマチ上吊り片引き戸 （換気ガラリ付き）　ドア33、標準枠25×110
金物	ＦＳＤ付属品一式（ベストNo.781S）、引戸錠ミワSL77（廊下１のみ）、大型彫込引手、 マグネットキャッチ
仕上	チャイナタモＵＣ（着色）　鏡板タモ合板フラッシュ厚１８　建具枠チャイナタモ
ガラス	–
備考	沓摺ステンレス厚２ｎ型 引込袖壁：石膏ボード厚9.5合板厚6ﾌﾗｯｼｭﾊﾟﾈﾙ　ｸﾛｽ貼　木目調ｿﾌﾄ巾木貼

6W

記号	場所	数量
6W	1階（操作室ＷＣ）	1

工事内容：解体撤去（枠共）

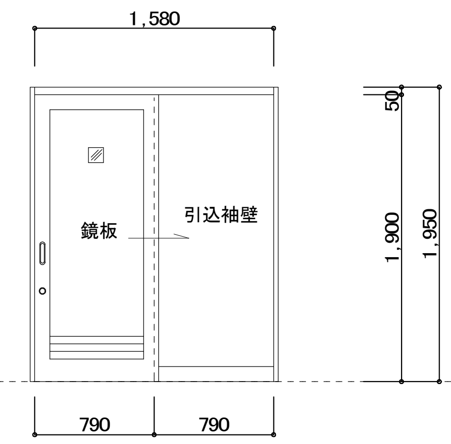


項目	内容
型式・枠見込	木製ﾎﾟﾘ合板ﾌﾗｯｼｭ木目地ﾓｰﾙはめ込み上吊り片引き戸 （換気ガラリ付き）　ドア33、標準枠25×110
金物	ＦＳＤ付属品一式（ベストNo.781S）、引戸表示錠（ミワFF-8）、大型彫込引手、 マグネットキャッチ
仕上	チャイナタモＵＣ（着色）木口チャイナタモ細縁貼　鏡板ポリ合板フラッシュ厚１８ 建具枠チャイナタモ
ガラス	薄型板ガラス
備考	沓摺ステンレス厚２ｎ型 引込袖壁：石膏ボード厚9.5合板厚6ﾌﾗｯｼｭﾊﾟﾈﾙ　ｸﾛｽ貼　木目調ｿﾌﾄ巾木貼

7W

記号	場所	数量
7W	1階（スタッフＷＣ）	1

工事内容：解体撤去（枠共）

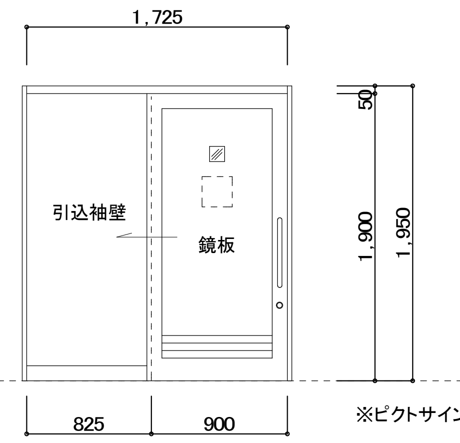


項目	内容
型式・枠見込	木製ﾎﾟﾘ合板ﾌﾗｯｼｭ木目地ﾓｰﾙはめ込み上吊り片引き戸 （換気ガラリ付き）　ドア33、標準枠25×110
金物	ＦＳＤ付属品一式（ベストNo.781S）、引戸表示錠（ミワFF-8）、大型彫込引手、 マグネットキャッチ
仕上	チャイナタモＵＣ（着色）木口チャイナタモ細縁貼　鏡板ポリ合板フラッシュ厚１８ 建具枠チャイナタモ
ガラス	薄型板ガラス
備考	沓摺ステンレス厚２ｎ型 引込袖壁：石膏ボード厚9.5合板厚6ﾌﾗｯｼｭﾊﾟﾈﾙ　ｸﾛｽ貼　木目調ｿﾌﾄ巾木貼

8W

記号	場所	数量
8W	1階　多目的ＷＣ	1

工事内容：存置



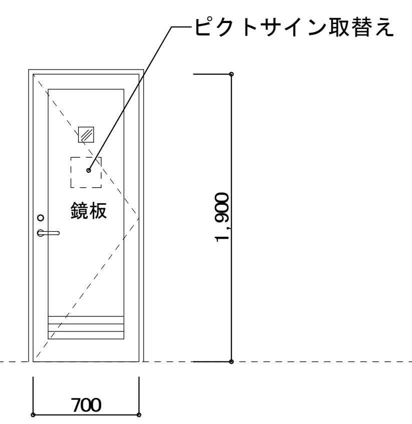
※ピクトサイン

項目	内容
型式・枠見込	木製ﾒﾗﾐﾝ板ﾌﾗｯｼｭ木目地ﾓｰﾙはめ込み上吊り片引き戸 （換気ガラリ付き）　ドア33、標準枠25×110
金物	ＦＳＤ付属品一式（ベストNo.781S）、引戸表示錠（ミワFF-8）、 ドアハンドルNo.380、マグネットキャッチ
仕上	チャイナタモＵＣ（着色）木口チャイナタモ細縁貼 鏡板メラミン板フラッシュ厚１８　建具枠チャイナタモ
ガラス	薄型板ガラス
備考	ピクトサイン190角　沓摺ステンレス厚２ｎ型 引込袖壁：石膏ボード厚9.5合板厚6ﾌﾗｯｼｭﾊﾟﾈﾙ　ｸﾛｽ貼　木目調ｿﾌﾄ巾木貼

9W

記号	場所	数量
9W	1階　（洋式ＷＣ・和式ＷＣ）【男子ＷＣ・女子ＷＣ】	2

工事内容：一時撤去、再設置（建具枠共）
ピクトサイン取替え（アクリル製150角）

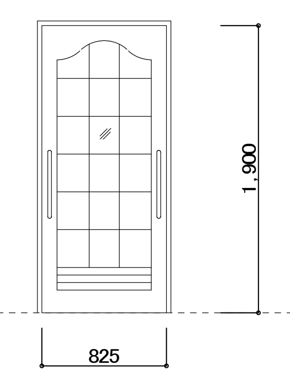


項目	内容
型式・枠見込	木製ﾒﾗﾐﾝ板ﾌﾗｯｼｭ木目地ﾓｰﾙはめ込みドア　片開き 換気ガラリ付き　ドア36、標準枠25×100
金物	レバーハンドル錠（表示付き）、カラーステン丁番、ドアクローザー、 戸当り
仕上	チャイナタモＵＣ（着色）木口チャイナタモ細縁貼 鏡板メラミン板フラッシュ厚１８　建具枠チャイナタモ
ガラス	小窓薄型板ガラス
備考	ピクトサイン190角　沓摺ステンレス厚２ｎ型

10W

記号	場所	数量
10W	1階（電話室）	1

工事内容：存置

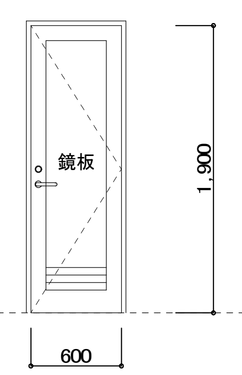


項目	内容
型式・枠見込	木製カマチ格子上吊り回転移動ドア （換気ガラリ付き）　ドア36、枠25×100＋飾り額縁20×35
金物	専用部品一式（戸先オフセット戸車）、ローラー空錠ソフト、戸当り ナチュラルドアハンドル
仕上	チャイナタモＵＣ（着色）　建具枠チャイナタモ
ガラス	型板強化ガラス４㎜
備考	沓摺ステンレス厚２ｎ型

11W

記号	場所	数量
11W	1階　受付事務室	1

工事内容：存置

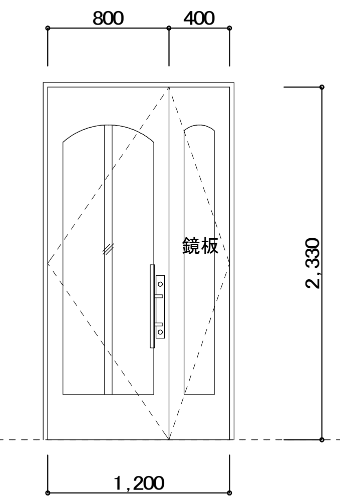


項目	内容
型式・枠見込	木製カマチドア片開き（換気ガラリ付き）　ドア36、標準枠25×110
金物	レバーハンドル、シリンダー錠、カラーステン丁番、ドアクローザー、戸当り
仕上	チャイナタモＵＣ（着色）木口チャイナタモ細縁貼 鏡板タモ合板フラッシュ厚１８　建具枠チャイナタモ
ガラス	–
備考	沓摺ステンレス厚２ｎ型

12W

記号	場所	数量
12W	2階（住宅玄関）【こども食堂玄関】	1

工事内容：存置



項目	内容
型式・枠見込	木製カマチドア親子開き （ｱｲｶDS－321EK相当）　ドア40、枠30×100＋飾り額縁20×35
金物	金具セットDF-1101BR/L（プッシュプルハンドル、本締錠、丁番、クローザー） ドアチェーン、戸当り、フランス落とし
仕上	フッ素塗装（着色）　鏡板タモ合板フラッシュ厚１８　建具枠チャイナタモ
ガラス	型板ガラス４㎜かすみ面取り
備考	沓摺ステンレス厚２ｎ型

凡例　撤去建具を示す　撤去建具を示す（再利用）　新設建具を示す　存置建具を示す

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	建具表（３）	1:50

Drawn by	青島　里花
Checked by	青島　彰
Approved by	青島　彰
Date	R07．03．14

青島彰一級建築士事務所
〒426−0037　静岡県藤枝市青木3丁目14番1号　ソフィアビル3Ｆ
PHONE　054−643−6118　FAX　054−643−4354
一級建築士登録　第118124号　青島　彰
一級建築士事務所登録（10）第2195号

訂正
＊　＊

Number in set
Ａ－４０

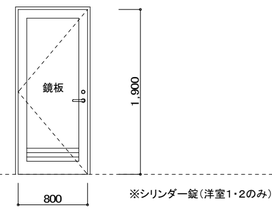
建具表　1:50

※建具寸法は「内法寸法」を示す。

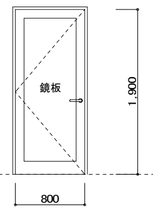
記号	場所	数量	工事内容	型式・枠見込	金物	仕上	ガラス	備考
13 W	2階（居間、洋室２・３）【食堂１、交流スペース１・２】	3	存置	木製カマチドア片開き（換気ガラリ付き）（廊下ガラリなし） ドア36、標準枠25×110	レバーハンドル、シリンダー錠（書斎・洋室のみ）、カラーステン丁番 ドアクローザー、戸当り	チャイナタモＵＣ（着色）木口チャイナタモ細縁貼 鏡板タモ合板フラッシュ厚１８　建具枠チャイナタモ	–	沓摺ステンレス厚２ｎ型
13 W	2階　廊下	1	一時撤去、再設置（建具枠共）	木製カマチドア片開き ドア36、標準枠25×110	レバーハンドル、カラーステン丁番、ドアクローザー、戸当り	チャイナタモＵＣ（着色）木口チャイナタモ細縁貼 鏡板タモ合板フラッシュ厚１８　建具枠チャイナタモ	–	沓摺ステンレス厚２ｎ型
14 W	2階　和室踏込	1	存置	木製カマチ上吊り片引き戸（換気ガラリ付き） ドア33、標準枠25×110	ＦＳＤ付属品一式（ベストNo.781S）、大型彫込引手、マグネットキャッチ	チャイナタモＵＣ（着色）木口チャイナタモ細縁貼　建具枠チャイナタモ	和紙入りガラス	沓摺チャイナタモ 引込袖壁：石膏ボード厚9.5合板厚6ﾌﾗｯｼｭﾊﾟﾈﾙ　ｸﾛｽ貼　木目調ｿﾌﾄ巾木貼
15 W	2階（和室）【食堂２】	1	存置	木製雪見障子４本建て 建具30	桑引手	杉ＷＡＸ	和紙貼、透明ガラス３㎜	敷居溝薄竪木貼
16 W	2階　広縁	1	存置	木製雪見障子４本建て 建具30	桑引手	杉ＷＡＸ　三方枠：杉３０×１２８ＷＡＸ上下枠溝付き	和紙貼、透明ガラス３㎜	敷居溝薄竪木貼
17 W	2階（和室）【食堂２】	1	存置	戸フスマ二本建て引込 建具30	桑引手	杉ＷＡＸ	和風壁装クロス	敷居溝薄竪木貼

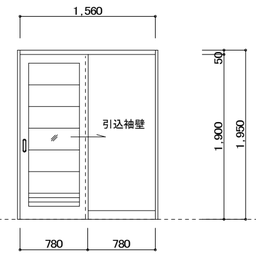
記号	場所	数量	工事内容	型式・枠見込	金物	仕上	ガラス	備考
18 W	2階　広縁物入	1	存置	戸フスマ両開き 建具30	木製取手	桧ＷＡＸ	和風壁装クロス	敷居桧４０×１００ＷＡＸ
19 W	2階（和室）【食堂２】	1	存置	戸フスマ三本建て引違い 建具30	桑引手	杉ＷＡＸ	鳥の子紙、壁装クロス	敷居溝薄竪木貼
20 W	2階（和室）【食堂２】	1	存置	木製障子引違い 建具30	桑引手	杉ＷＡＸ	和紙貼	–
21 W	2階（洋室３押入）【交流スペース１押入】	1	存置	木製ポリ合板フラッシュ木目地モールはめ込み両開き（通気ガラリ付き） ドア36、標準枠25×110	キャビネットヒンジ、マグネットキャッチ、取手、ローラー空錠	チャイナタモＵＣ（着色）木口チャイナタモ細縁貼 鏡板ポリ合板フラッシュ厚１８　建具枠チャイナタモ	–	沓摺チャイナタモ
22 W	2階（洋室３押入）【交流スペース１押入】	1	存置	木製ﾎﾟﾘ合板ﾌﾗｯｼｭ木目地ﾓｰﾙはめ込み片開き（通気ガラリ付き） ドア36、標準枠25×110	キャビネットヒンジ、マグネットキャッチ、取手、ローラー空錠	チャイナタモＵＣ（着色）木口チャイナタモ細縁貼 鏡板ポリ合板フラッシュ厚１８　建具枠チャイナタモ	–	沓摺チャイナタモ
23 W	2階（脱衣室、ＷＩＣ）【脱衣室、授乳室】	2	存置	木製ﾒﾗﾐﾝ板ﾌﾗｯｼｭ木目地ﾓｰﾙはめ込み折れ戸（換気ガラリ付き） ドア33、標準枠25×100	彫込み引手、表示付き鍵錠（脱衣室のみ）、カラーステン丁番、 折戸金物一式（No.7815他）、戸当り	チャイナタモＵＣ（着色）木口チャイナタモ細縁貼 鏡板メラミン板フラッシュ厚１８　建具枠チャイナタモ	–	沓摺チャイナタモ

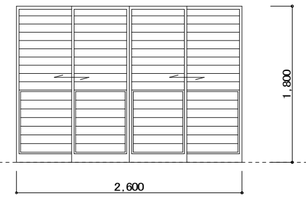
記号	場所	数量	工事内容	型式・枠見込	金物	仕上	ガラス	備考
24 W	2階（WC）【女子WC】	1	存置　ピクトサイン貼付（カッティングシート150角）	木製ﾎﾟﾘ合板ﾌﾗｯｼｭ木目地ﾓｰﾙはめ込み上吊り片引き戸（換気ガラリ付き） ドア33、標準枠25×110	ＦＳＤ付属品一式（ベストNo.781S）、引戸表示錠（ミワFF-8）、 大型彫込み引手、マグネットキャッチ	チャイナタモＵＣ（着色）木口チャイナタモ細縁貼 鏡板ポリ合板フラッシュ厚１８　建具枠チャイナタモ	薄型板ガラス	沓摺チャイナタモ 引込袖壁：石膏ボード厚9.5合板厚6ﾌﾗｯｼｭﾊﾟﾈﾙ　ｸﾛｽ貼　木目調ｿﾌﾄ巾木貼
25 W	2階　階段室物入	1	存置	木製ﾎﾟﾘ合板ﾌﾗｯｼｭ木目地ﾓｰﾙはめ込み片開き（通気ガラリ付き） ドア30、標準枠25×110	キャビネットヒンジ、マグネットキャッチ、取手、ローラー空錠	チャイナタモＵＣ（着色）木口チャイナタモ細縁貼 鏡板ポリ合板フラッシュ厚１８　建具枠チャイナタモ	–	沓摺チャイナタモ
26 W	1階　受付事務室	1	存置	引き分けガラス窓 –	ＳＵＳハカマ平車、取付ベアリング、ＳＵＳ上レール・下レール、プッシュ錠	–	透明板ガラス	–
27 W	2階【男子WC】	1	新設（枠共）	木製ポリ合板フラッシュ上吊り片引き戸 ドア36、建具枠35×110	上吊レール、上ローラー、引戸表示錠、ＳＵＳ彫込引手L150（手掛け付き） マグネットキャッチ、戸当りゴム（枠付）、アルミガラリ	ポリ合板　額・大手：木製ＵＣ　建具枠：タモ集成材UC	型強化ガラス４㎜	ピクトサイン：カッティングシート150角貼付

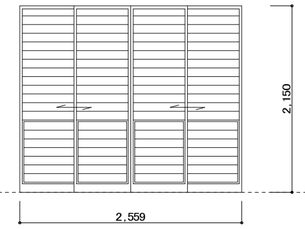


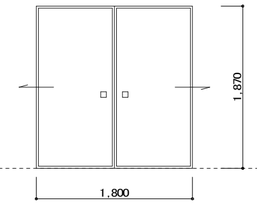
※シリンダー錠（洋室1･2のみ）

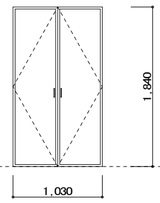


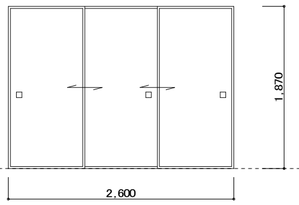


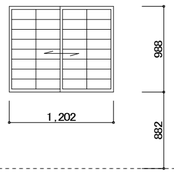


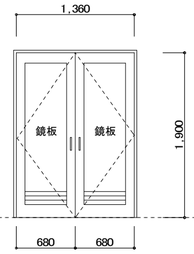


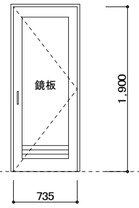


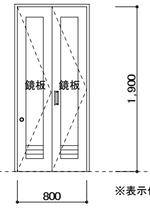




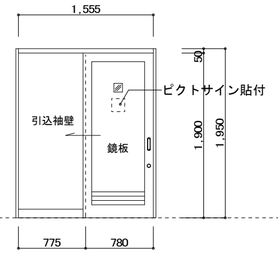


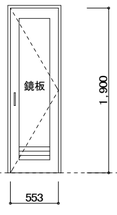


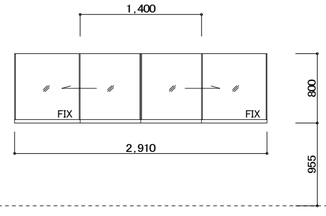


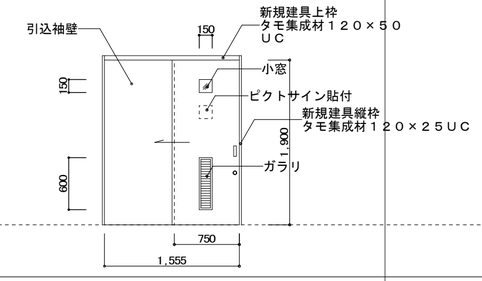


※表示付き鍵錠（脱衣室のみ）









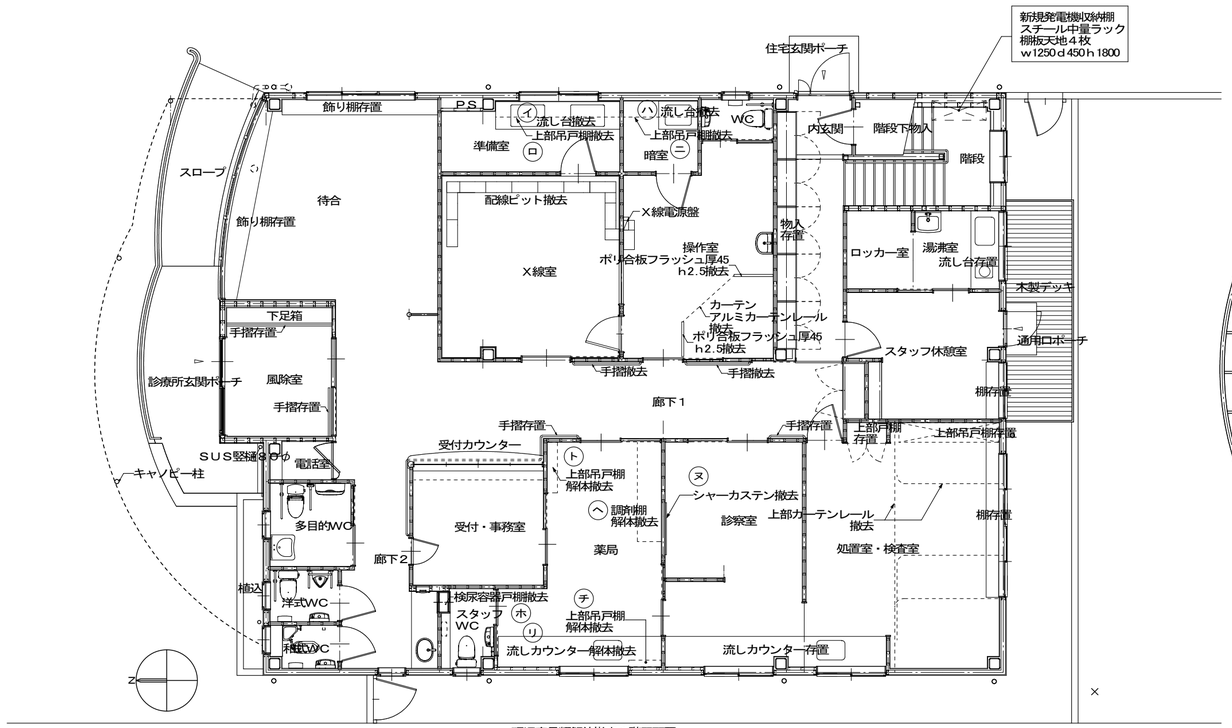
凡例　撤去建具を示す　撤去建具を示す（再利用）　新設建具を示す　存置建具を示す

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by	Checked by	Approved by	Date
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	建具表（４）	1:50	青島　里花	青島　彰	青島　彰	R07．03．14

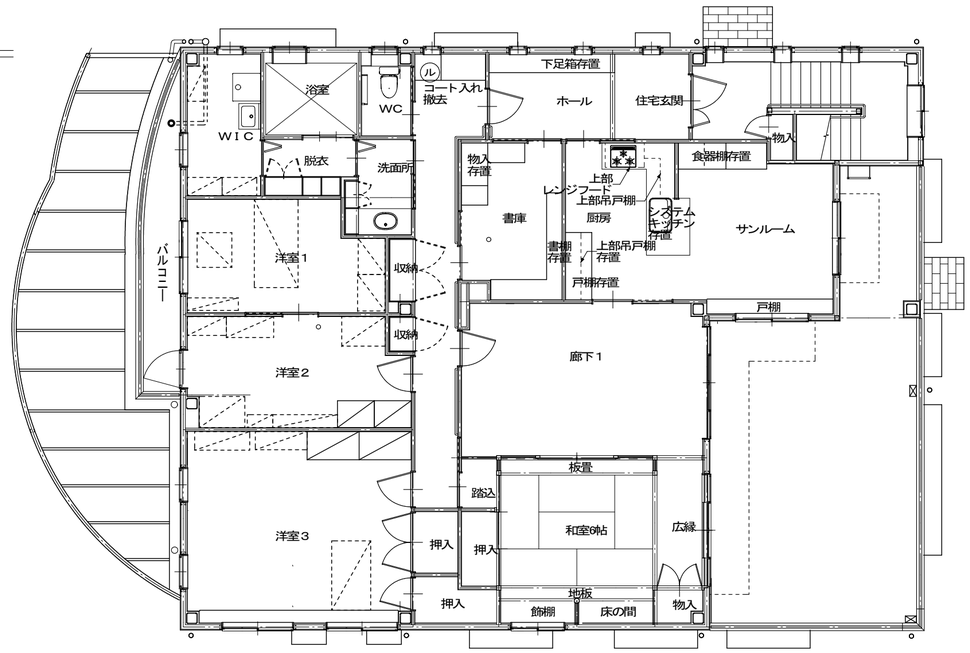
青島彰一級建築士事務所
〒426－0037　静岡県藤枝市青木3丁目14番1号　ソフィアビル3Ｆ
PHONE　054-643-6118　FAX　054-643-4354
一級建築士登録　第118124号　青島　彰
一級建築士事務所登録（10）第2195号

訂正	
*	*

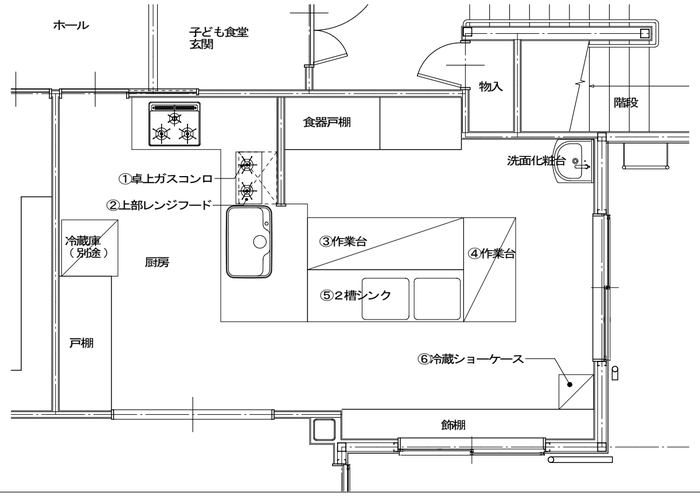
Number in set：Ａ－４１



現況家具類解体撤去１階平面図



現況家具類解体撤去２階平面図



厨房機器配置図　１：50

家具類解体撤去一覧表

符号	室名	名称	仕様	寸法（W×D×H）	台数	工事内容	備考
㋑	準備室	天板ポストフォーム流し台	ポリ合板フラッシュ扉付棚板１段	2,830・ 650・ 800	1	解体撤去	ＳＵＳシンク×２
㋺	準備室	吊戸棚	ポリ合板フラッシュ扉付棚板１段	2,830・ 350・ 750	1	解体撤去	＊
㋩	暗室	天板ポストフォーム流し台	ポリ合板フラッシュ扉付棚板１段	900・ 650・ 800	1	解体撤去	ＳＵＳシンク×１
㋥	暗室	吊戸棚	ポリ合板フラッシュ扉付棚板１段	1,730・ 350・ 750	1	解体撤去	＊
㋭	スタッフWC	容器戸棚	ポリ合板フラッシュ両面扉付	1,900・ 500・ 500	1	解体撤去	＊
㋬	薬局	調剤棚	上部ポリ合板フラッシュ扉付 下部ポリ合板フラッシュ棚	2,765・ 350・ 690 2,765・ 235・ 750	1	解体撤去	＊
㋣	薬局	吊戸棚	ポリ合板フラッシュ扉なし棚板２段	970・ 230・ 700	1	解体撤去	＊
㋠	薬局	吊戸棚	ポリ合板フラッシュ扉なし棚板１段	750・ 150・ 575	1	解体撤去	＊
㋡	薬局	天板ポストフォーム流し台	ポリ合板フラッシュ扉付棚板１段	8,950・ 650・ 800	1	解体撤去	ＳＵＳシンク×１
㋧	診察室	シャーカステン	ＳＵＳ枠ポリカーボネート板内照入り	1,290・ 1,090・ 100	1	解体撤去	
㋨	２階廊下	コート入れ	ポリ合板フラッシュ上戸棚付	1,620・ 650・ 2,400	1	解体撤去	

２階厨房機器類一覧表

符号	名称	仕様	寸法（W×D×H）	台数	備考
①	卓上コンロ	リンナイ ＲＴＳ－３３６－２ＦＴＳ（ＳＬ）Ａ－Ｌ （同等品）	564・ 448・ 203	1	都市ガス
②	レンジフード	リンナイ ＢＤＡ－３ＨＬ－ＡＰ６０１ 上部前幕板付（同等品）	600・ 605・ 400	1	
③	作業台	ＳＵＳ 引出し引き戸付き バックガードなし	1,800・ 600・ 800	1	
④	作業台	ＳＵＳ 引出し引き戸付き バックガードなし	1,200・ 600・ 800	1	
⑤	２槽シンク	ＳＵＳ スノコ付き バックガードなし	1,800・ 600・ 800	1	
⑥	冷蔵ショーケース	ジェーシーエム ｊｃｍｓ－２４０ （同等品）	515・ 553・ 1600	1	

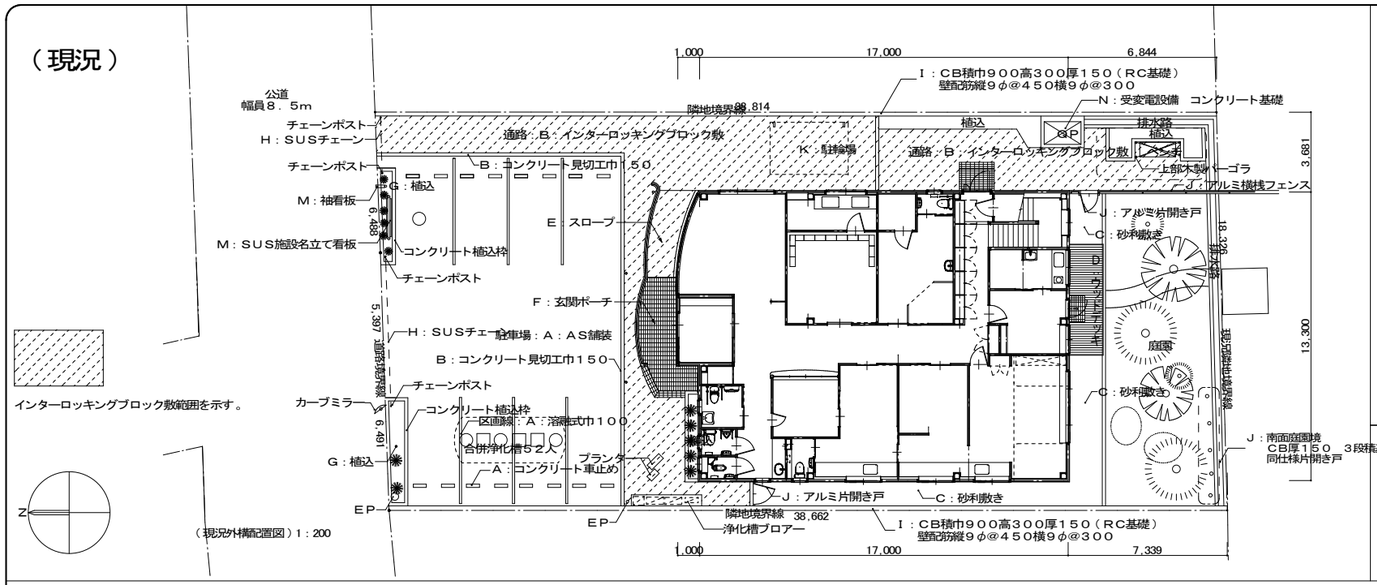
Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 青島 彰
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	現況家具類解体撤去各階平面図 厨房機器配置図	1:100 1:50	Checked by Approved by 青島 彰 Date R07.03.14

青島彰一級建築士事務所
〒426－0037 静岡県藤枝市青木3丁目14番1号 ソフィアビル3F
PHONE 054-643-6118 FAX 054-643-4354
一級建築士登録 第118124号 青島 彰
一級建築士事務所登録（10）第2195号

訂正	
＊	＊

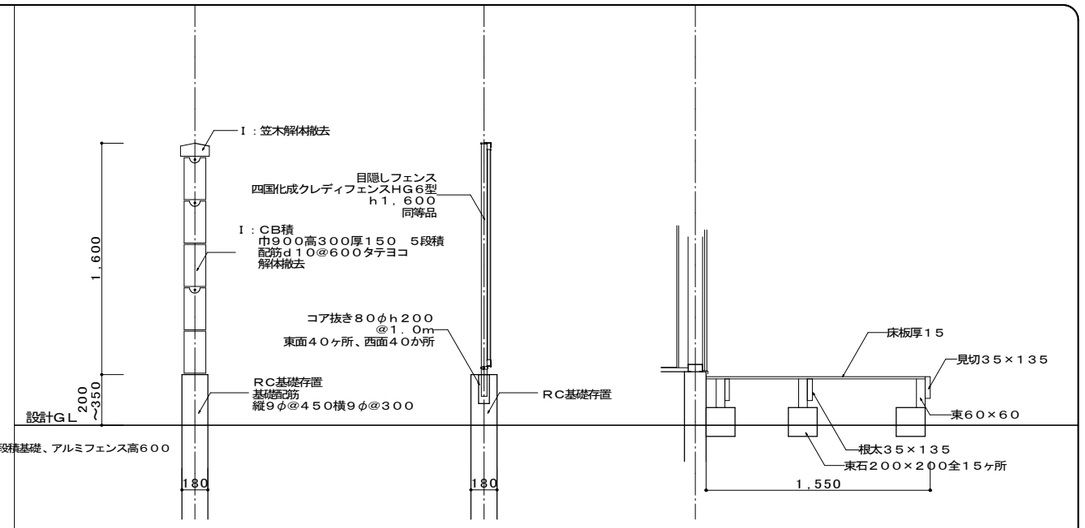
Number in set
Ａ－４２

（現況）



インターロッキングブロック敷範囲を示す。

（現況外構配置図）１：200

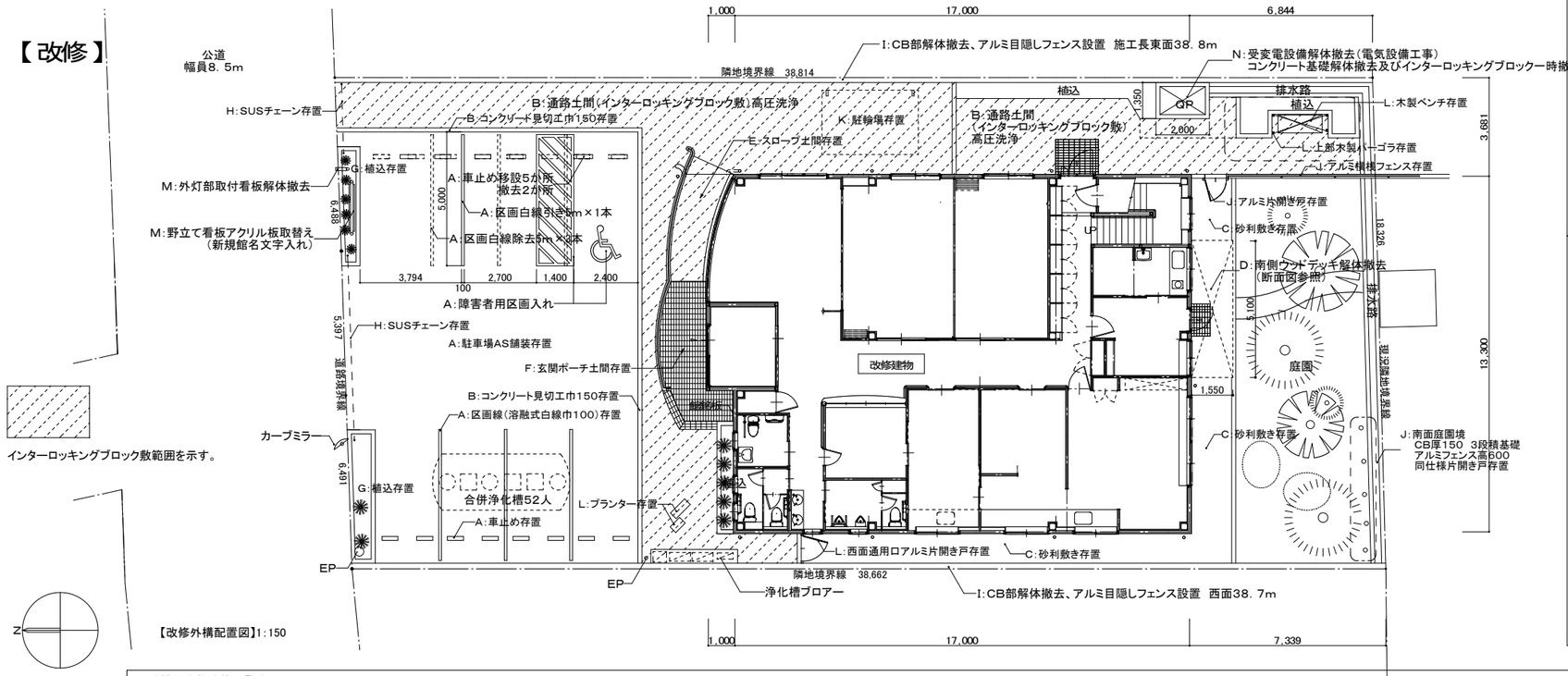


Ｉ：現況ＣＢ積断面図　１：30

Ｉ：改修目隠しフェンス断面図　１：30

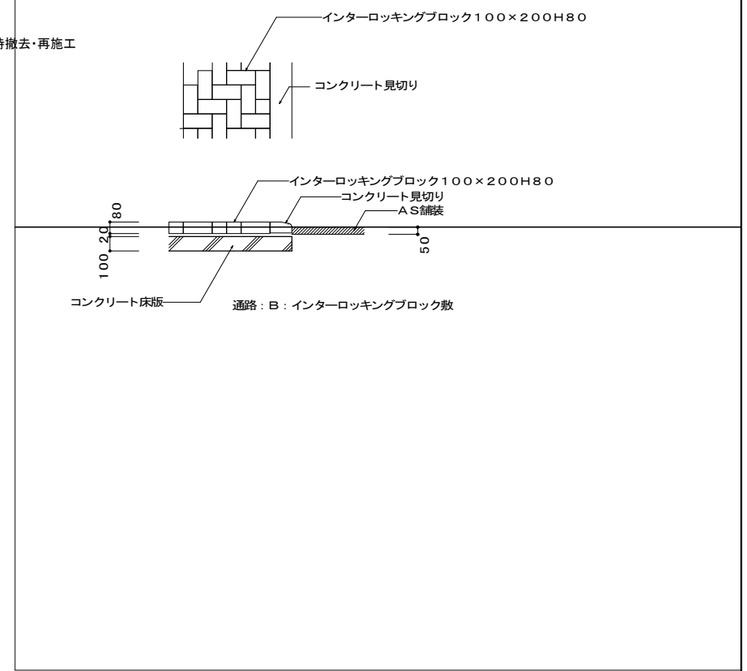
Ｄ：ウッドデッキ断面図　１：30
全面撤去

【改修】



インターロッキングブロック敷範囲を示す。

【改修外構配置図】1:150



外構工作物改修一覧表								
Ａ:駐車場土間	現況	ＡＳ舗装、区画線(溶融式白線巾100)、車止め(コンクリート既製品)	Ｆ:玄関ポーチ土間 各入口土間	現況	せっき質タイル200×100貼	Ｋ:駐輪場	現況	アルミ片流れサイクルポート
	改修	ＡＳ舗装(存置) 区画線5m×3本除去後、障害者用区画線引き1か所・区画白線5m×2本引き 車いす用駐車区画新設により車止め移設6か所・撤去2か所		改修	同上存置		改修	同上存置
Ｂ:通路土間	現況	インターロッキングブロック敷、コンクリート見切り	Ｇ:正面植込 建物北面植込	現況	植込枠コンクリート見切りブロック、白砕石敷均し、樹木ドラセナ	Ｌ:その他工作物	現況	西面通用口:アルミフェンス仕様片開き戸、木製パーゴラ、木製ベンチ、プランター
	改修	高圧洗浄		改修	同上存置		改修	同上存置
Ｃ:建物西、南側土間	現況	砂利敷き	Ｈ:囲障駐車場入口 通路入口	現況	ＳＵＳチェーンポスト、ＳＵＳチェーン	Ｍ:看板類	現況	外灯部取付看板:巾400高1500厚120(内照付) 野立て看板:柱ＳＵＳ100φ鏡面仕上げ、看板部Ｗ1750高850厚210(内照式)
	改修	同上存置		改修	同上存置		改修	外灯部取付看板解体撤去 野立て看板:アクリル板取替、新規館名文字入れ(カッテングシート12文字)
Ｄ:南側ウッドデッキ	現況	床板:床板厚18、転がし根太、コンクリート東石	Ｉ:西面、東面塀	現況	ＣＢ積巾900高300厚150(ＲＣ基礎)壁配筋縦9φ@450横9φ@300、笠木	Ｎ:受変電設備	現況	受変電設備
	改修	同上解体撤去		改修	同上ＣＢ部解体撤去、アルミ目隠しフェンス設置		改修	同上解体撤去(電気設備工事)、コンクリート基礎解体撤去
Ｅ:スロープ土間	現況	インターロッキングブロック敷、コンクリート見切り			施工長東面38．8m西面38．7m同上ＣＢ部解体撤去、アルミ目隠しフェンス設置			受変電設備周囲インターロッキングブロック一時撤去・再施工
	改修	同上存置	Ｊ:南面庭園境	現況	ＣＢ厚150　3段積基礎、アルミフェンス高600、同仕様片開き戸			
				改修	同上存置			

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 青島 彰	青島彰一級建築士事務所	一級建築士登録 第118124号 青島 彰	訂正	Number in set
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	現況・改修外構平面図 各部詳細図	1:200 1:150 1:30	Checked by Approved by 青島 彰 Date R07．03．14	〒426−0037 静岡県藤枝市青木3丁目14番1号 ソフィアビル3Ｆ PHONE 054−643−6118 FAX 054−643−4354	一級建築士事務所登録（10）第2195号	* * Ａ−４３	

電気設備工事特記仕様書

Ⅰ 工事概要

1 建設工事名

高洲地区コミュニティ施設改修工事

2 建設工事場所

藤枝 (市/郡) 区/町 高洲 地内

3 建物概要

建物（棟）名称	構造	階数	延床面積（m²）	備考
高洲地区コミュニティ施設	S	2F		

4 工事科目（ ⊙ 印のあるもの）

⊙ 電灯設備(電灯幹線、電灯分岐、コンセント分岐)	⊙ 誘導支援設備（音声誘導装置、インターホン、トイレ呼出）
⊙ 動力設備(動力幹線、動力分岐)	・ テレビ共同受信設備
・ 電熱設備	・ 監視カメラ設備
・ 雷保護設備	・ 駐車場管制設備
⊙ 受変電設備	・ 防犯・入退室管理設備
・ 電力貯蔵設備(直流電源、交流無停電電源)	⊙ 火災報知設備(自動火災報知、自動閉鎖、非常警報、ガス漏れ)
⊙ 発電設備	・ 中央監視制御設備
・ 構内情報通信網設備	・ 屋外構内配電線路
⊙ 構内交換設備	・ 屋外構内通信線路
・ 情報表示設備(出退・情報表示、電気時計)	・ テレビ電波障害防除
・ 映像・音響設備	・ 昇降機設備
⊙ 拡声設備	・ 電気自動車用充電設備

Ⅱ 仕様

1 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、下記の国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の仕様書（令和 4 年版）による。

・ 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）　・ 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）
⊙ 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）　⊙ 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）
・ 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）　・ 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）
・ 建築物解体工事共通仕様書

2 標準図は以下の令和 4 年版による。

・ 建築工事標準詳細図
⊙ 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)
・ 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)

3 設計図書に明記がない場合、又は相違がある場合は、原則として監督職員の指示によるほか、次の優先順位により判定する。

(1) 質疑回答書（(2)～(5)に対するもの）　(2)現場説明書　(3) 特記仕様書　(4) 図面　(5) 標準仕様書

4 特記仕様

(1) 項目は全て適用する。
(2) 特記事項のうち選択する事項は、⊙ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印のない場合は、※印を適用する。　⊙ 印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。

科目	項目	特記事項
一般事項	①法令その他	この工事は、工事に関係する法令、条例及び規定等に基づいて施工する。官公署の検査を必要とする工事にあっては、工事完成時までに検査を受け検査済証等の交付を受ける。
	②工事実績情報の登録	受注時又は契約変更時に工事請負代金額500万円以上の工事について、工事実績情報ｻｰﾋﾞｽ(CORINS)に10営業日以内に登録すること。また、契約変更により工事請負代金額が500万円未満になった場合は、すみやかに契約変更前の工事登録を削除すること。 なお、契約金額の変更登録は、完成時のみとする。
	③工事の一時中止	静岡県建設工事請負契約約款第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画書（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。 なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。また、工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。
	④施工図等の権利	施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。
	⑤工事写真	営繕工事写真撮影要領令和３年版及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「営繕工事写真撮影要領(平成28年版)による工事写真撮影ガイドブック 電気設備工事編 平成30年版」によるほか、監督職員の指示により撮影する。
	⑥監理事務所	※ 設けない　・ 設ける（ ・ 既存建物内の一部を使用する　・ 構内に新設する ）
	⑦工事用水電力等	本工事に必要な工事用電力・水等は受注者の負担とする。
	⑧工事用仮設物	敷地内につくることが　※ できる　⊙ できない
	⑨電気工事士	最大電力５００ｋW以上の場合においても、第一種電気工事士により施工を行う。
	⑩電気保安技術者	電気保安技術者の選定については、標準仕様書のほか監督職員が認める者とする。
	⑪発生材の処理	(1) 引渡しを要するもの　（ ・ ＰＣＢ使用機器　　） (2) 特別管理産業廃棄物　（ ・ 水銀灯　・ 蓄電池　　） (3) 再資源化を図るもの　（ ⊙ 蛍光ランプ ⊙ 白熱灯 ⊙ ＨＩＤ灯　） (4) 発生材保管、集積場所が必要なもの（　　） 照明器具安定器にＰＣＢが使用されている場合は、安定器を本体より分離し保管ボックス（鋼板製）に収納して建物管理者に引き渡す。また、変圧器・コンデンサ等を廃棄しようとする場合は、ＰＣＢ混入の可能性の有無について確認し、混入の可能性が判定・確認できない場合は、ＰＣＢ廃棄物として保管受皿に入れ指定された場所に保管する。 建設廃棄物の処理にあたっては建設廃棄物処理計画書を提出すること。
	⑫産業廃棄物管理票	(財)日本産業廃棄物処理振興センター（ http://www.jwnet.or.jp ）が運営する「情報処理センター」の登録（電子マニフェスト）により行うこと。 これにより難い場合は監督職員と協議する。
	⑬建設副産物情報交換システム	本工事の情報を「建設副産物情報交換システム（ＣＯＢＲＩＳ）」へ登録するものとし、総合施工計画書作成時、工事完了時及び登録情報に変更が生じた場合には、それぞれ速やかにデータ入力を行う。 また、同システムにより、工事着手時に再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書、及び建設副産物情報交換システム工事登録証明書を、工事完了時に同計画書の実施報告書（書式は同一）を作成し、監督職員に提出する。
	⑭特定建設資材の再資源化等	「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号)の通知の有無 ・ 通知を要しない（対象工事でない）　⊙ 通知を要する（対象工事である） 対象建設工事の場合は、分別解体等、特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う。 (1) 分別解体の方法 工程 ・ 新築工事等 ／ 作業内容 建築設備工事 ※ 有 ／ 分別解体の方法 ※ 手作業 ・ 手作業・機械作業併用 (2) 特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等をする施設 特定建設資材廃棄物の種類 ・ コンクリート ・ コンクリート及び鉄から成る建設資材 ・ 木材 ・ アスファルト・コンクリート ／ 再資源化等をする施設名称 ・ ・ ・ ・ ／ 所在地 ・ ・ ・ ・ 注)(1)、(2)については積算上の条件明示であり、処理施設等を指定するものではない。 受注者の提示する分別解体の方法、施設等と異なる場合においても設計変更の対象としない。
	⑮環境性能等	使用する機材はトップランナー基準に適合したものであること。
	⑯使用機材の選定	工事に使用する機材は、その工事の着手前に、「使用材料（機器）報告書」を監督職員に提出して承諾を受けること。
	⑰地場産品	静岡県中小企業の受注者機会の増大による地域経済の活性化に関する条例に基づき、地場産品の使用促進を図ることで、地域経済の活性化に寄与することを目的とする。 受注者は、工事に使用する建設資材等について、契約図書に規定する品質が規格値を満足した地場産品の優先使用に努めること。 「地場産品」とは「県産木材」及び「県産品」をいう。 「県産木材」とは「静岡県産材証明制度要綱」第２条に掲げるものをいう。 「県産品」とは建設資材又は製品等で、県内で最終工程が施されたものをいう。
	⑱機材の検査等	使用する機材について、自主検査記録（任意様式）を作成すること。 ただし、別表に掲げる機材については監督職員の検査を受ける。 なお、監督職員の検査の結果、合格した機材と同じ種別の機材は以後原則として抽出検査とする。 また、製造工場等における材料検査を行う工事材料は監督職員の指示による。
	⑲排出ガス対策等	使用する建設機械は排出ガス対策及び低騒音型とする。
	⑳検査	中間検査　⊙ 対象工事（実施は中間検査実施基準による）　・ 対象外工事 工事施工中における技術検査の実施回数等は監督職員の指示による。
	㉑完成図書	現場説明書による。
	㉒電子納品	電子納品特記仕様書による。 貸与する設計図データの有無（ ※ 有り　・ 無し ） 貸与するＣＡＤデータは当該工事のために必要な施工図及び完成図の作成の範囲で使用できる。
	㉓公共事業労務費調査に対する協力	受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、以下の各号に掲げる協力をしなければならない。また、工期経過後においても同様とする。 (1) 調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をしなければならない。 (2) 調査票等を提出した事業所を発注者が、事後に訪問して行う調査・指導の対象になった場合には、その実施に協力しなければならない。 (3) 正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い就業規則を作成すると共に賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければならない。 (4) 対象工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請負工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）が前号と同様の義務を負う旨を定めなければならない。
	㉔石綿含有建材の事前調査	特定建築物石綿含有建材調査者は石綿含有建材の事前調査を行う。 なお、建築物の改修工事で請負代金額の合計額が100万円以上であるものについては、 原則として「石綿事前調査結果報告システム」を用いて調査結果の報告を行い、 内容を監督職員へ提出すること。 ※石綿事前調査結果報告システムには「gBizID（https://gbiz-id.go.jp）」 への登録が必要となる。
	25 地下埋設物の事故防止	「静岡県地下埋設物の事故防止マニュアル」に基づき、事故防止対策を行うこと。

共通工事

1 仮設備	仮設備項目（ ・ 受変電　・ 発電　・　　） 仮設備期間（ ・ 図示　・　　）
②足場その他	※ 別契約の関係工事で定置したものは無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。 内部足場の種別　※ 脚立、足場板等　・ 外部足場の種別　・ Ａ種 ※ Ｂ種 ・ Ｃ種 ・ Ｄ種 ・ Ｅ種 （Ａ種 ： 施工箇所面に枠組足場を設ける Ｂ種 ： 施工箇所面にくさび緊結式足場を設ける Ｃ種 ： 施工箇所面に単管本足場を設ける Ｄ種 ： 仮設ゴンドラを使用する Ｅ種 ： 移動式足場を使用する） 設置においては、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月)における手すり据置方式又は手すり先行専用足場方式に基づき設置すること。 外部足場の防護シートによる養生 ・ 養生ネット　※ 養生シート（ ※ Ⅰ類　・ Ⅱ類 ） ・ ネット状養生シート（ ・ Ⅰ類　・ Ⅱ類 ） ・ 防音シート　・ 防音パネル　・　　・　　）
3 養生	養生範囲（ ※図示による　・　　） 養生方法（ ※図示による　・　　）
④土工事	標準仕様書によるほか次による。 (1) 管路を敷設する掘削床は平坦に突き固める。 (2) 埋戻し及び盛り土（Ｏ印があるもの） ※ 根切り土　・ 持込み土（　　） (3) 残土処分 ※ 構内敷きならし ・ 構外搬出　片道運搬距離（　　）km、ＤＩＤ区間（ ・ 有　・ 無 ） 場外指定場所に搬出し、搬出後、監督職員へ提出場所の受入を証明する資料を提出する。 搬出場所の名称及び所在地（　　） 受入条件（　　） 仮置場（　　） 受注者の提示する運搬距離、処分費及び整地費と異なる場合においても設計変更の対象としない。 ・ 構内指示の場所に堆積
5 コンクリート工事	コンクリート圧縮強度試験 現場での試験　（ ※ 行わない　・ 行う ） 工場での試験成績書の提出（ ※ 求める　・ 求めない ）
⑥接地工事	(1) 接地工事の接地抵抗は、原則として規定値の90パーセント以下の値とする。 (2) 板状の接地極は 900mm×900mm、厚さ1.5mm以上の厚板とし、管状又は棒状の接地極は銅又は銅被覆鋼製接地棒もしくは炭素鋼棒とする。 (3) その他、図面に特記なき場合は、表1「接地極一覧表」による。
⑦関連する工事との施工区分	図面に特記なき場合は「工事区分表」による。ただし、これにより難い場合は監督職員と協議する。
⑧機器等の取付高さ	図面に特記なき場合は、表２「機器標準取付高さ」を標準とし、監督職員との協議の上決定する。
9 耐震施工	設備機器の設計用水平地震力は、下記に示す設計用水平震度に、機器の重量を乗じたものとする。設計用鉛直震度は、設計用水平震度の1/2とする。 設置場所 ／ 設備耐震クラス分類 Ｓクラス 1.5 ／ Ａクラス 1.0 ／ Ｂクラス 0.72 上層階・屋上階及び塔屋 2.0 1.5 1.2 中間階 1.5 1.0 0.72 地下階及び１階 1.0 0.6 0.48 ※防振支持する場合は、設備機器の応答倍率を考慮し、Ｂクラスのときは Ａクラスを Ａクラスのときは Ｓクラスを適用する。 本施設は（ ・防災上重要な機能を必要とする防災拠点等 ・防災上重要な施設 ・一般の施設 ）とする。 機器等の設備耐震クラスの分類は、次による。 クラス ／ 防災拠点等及び防災上重要な施設 ／ 一般の施設 Ｓクラス ／ ・ 受変電設備 ・ 発電設備 ・ 非常用蓄電池設備 ・ 交換機、無線装置等 ・ 防災用情報通信設備 ・ アンテナ、統制台等 ・ ／ ・ ・ ・ Ａクラス ／ ・ 電話設備 ・ 中央監視設備 ・ 非常放送設備 ・ 幹線設備（盤類を含む） ・ ／ ・ 受変電設備 ・ 発電設備 ・ 非常蓄電池設備 ・ 電話設備 ・ 非常放送設備 ・ Ｂクラス ／ Ｓ、Ａクラス以外の機器等 ／ Ｓ、Ａクラス以外の機器等 設備機器・配管等の支持、固定は、表３「耐震施工の基準」による。 ただし、これにより難い場合は監督職員と協議する。 配管、ダクト、機器等の天井吊下げ用として金属拡張アンカーを用いる場合には、締付け方式のアンカーを使用すること。 あと施工アンカーの引き抜き試験　・ 行う　※ 行わない
10 非破壊検査	改修工事ではつり作業を行う場合の、非破壊検査による埋設物の事前調査を ※ 行う（ 床 ※ 放射線透過検査 ・ レーダー探査 ／ 壁 ※ レーダー探査 ・ 放射線透過検査 ） ・ 行わない
⑪分電盤、制御盤、配電盤等	標準仕様書によるほか次による。 (1) 扉の幅が、端子盤及び機器収納箱にあっては600mm、制御盤にあっては800mmをこえる場合は扉は原則として両開きとする。 (2) 蝶番は、寸法・重量等を考慮した丈夫なものとし十分な耐久性を保つ構造とする。 (3) 屋外用の盤類は水が浸入しない構造とし、計器窓は網入りガラスとする。 (4) 盤類の塗色は次による。 ※ マンセル 2.5Y9/1　・ 塗色なし　・ 指定色（　　） (5) 屋外形の開閉器箱及びプルボックスは、次による。 開閉器箱：　※ 鋼製　・ 樹脂製　・ ステンレス製　⊙ 図示による プルボックス：　・ 鋼製　・ 樹脂製　※ ステンレス製　・ 図示による (6) ＯＡ盤の端子盤部に通気口又は冷却ファンを設ける。仕様はメーカー仕様に準ずる。
⑫電線類	6kV EM-CE,CETケーブルは次による。 ※E-Eタイプ（外部半導電層が押出成形）　・E-Tタイプ（外部半導電層がテープ巻き）
13 架空電線	特記なき電柱の、腕金、がいし、支線その他の装柱材は、電力会社仕様による。
14 電力・電話の引込み	電力及び電話線引込線の引留方法、位置については電力会社及び電気通信事業者と打合わせの上監督職員との協議により施工する。また、外線工事負担金などの調査報告を監督職員に対し速やかに行う。申請書類作成を行い、申請手続に要する費用は受注者の負担とする。
15 最上階の埋込配管	最上階の天井スラブへの埋込み配管は、原則として避けるものとする。
⑯位置ボックス等	ケーブル送り配線となる天井埋込照明器具、スピーカ及び感知器の位置ボックスは不要とする。
17 防護柵	屋外キュービクルの周囲に防護柵を設置する場合は、高さ1.8m以上とする。 建築工事に含まれる場合には協議を要する。
18 地中電線	(1) ハンドホールの蓋 地中配線路の鉄蓋には、破壊荷重と次の事項を鋳込みとする。 ・地中配線路の用途（「電気」、「通信」等） (2) 地中配線の埋設深さ等 地中配線で特記なき埋設深さは0.6m以上とする。 (3) 次の箇所には原則として埋設標を設ける。 ア 建物及びハンドホールへの引込口及び引出口付近 イ 地中線路の曲折箇所 ウ 直線部分では30mごとに1個（30mに満たない場合はその中間に1個） エ 道路横断箇所
19 自立型アンテナマストのベースアンカー	自立型アンテナマスト及び自立型避雷設備等のベースプレートのアンカーボルトの設置間隔は500mmを標準とする。
⑳電線保護物類	(1) 合成樹脂製可とう電線管（ＰＦ管）及び付属品 タイプ25を使用するものとする。 電力用位置ボックス類は、合成樹脂製又は鋼製とする。鋼板製とした場合は管内に接地線を付加し、当該ボックスにボンディングを施すものとする。 ただし、これにより難い場合は監督職員と協議する。 (2) 金属製露出管路 次の管路は、塗装を行う。ただし、溶融亜鉛めっき加工された電線管を除く。 （ ※ 屋外　※ 配線室を除く屋内で見えがかり部分　・　　） (3) ケーブル配線の保護管は、標準仕様書金属管配線、合成樹脂管配線の項による。 (4) 弱電設備の管の敷設 ケーブルを収容する管路の１区間の屈曲箇所は３箇所以内で曲げ角度の合計は180°以内とする。ただし、通線及び管内の電線の引き替えが容易に行えるように施工する場合はこの限りでない。 (5) 壁面配管等で人が容易に触れるおそれのある部分（２ｍ以下）の配管支持材には保護キャップ等の安全措置を施すものとする。
21 照明用ポール	照明用ポールは、次による。 ※ 配線用遮断器又はカットアウトスイッチを設ける。仕様についてはメーカー仕様に準ずる。 ・ 配線用遮断器又はカットアウトスイッチが内蔵できるものとする。
㉒配線器具	(1) スイッチは原則としてネーム付きとし、器具の場所を表示する。 (2) フラッシュプレート ※ 新金属　・ ステンレス　・ 合成樹脂 (3) フロアプレートは水平高低調整付（空転防止形または工具締付形）とする。 ※ アルミ製　・ 黄銅製 (4) 発電機回路に接続されるコンセントは、原則として赤色とする。 (5) コンセントには回路番号を表示する。
㉓屋外の支持金物	電線管等の屋外支持金物は、原則として次による。 ※ ステンレス製　・ 亜鉛メッキ
㉔機器姿図	姿図の形状及び寸法は概略を示す。

青島彰一級建築士事務所		検図 青島	作図 甲斐
藤枝市都市建設部建築住宅課			
高洲地区コミュニティ施設改修工事			図番 E－01
日付 R07. 3.	縮尺	図名 電気設備工事特記仕様書 (R6.4) 1/2	

電気設備工事特記仕様書

	㉕ 照度測定	照明器具を新設、改修した部屋の照度 ※測定する　・測定しない 測定箇所等は監督職員の指示による
	26 建築材料等	本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の (1) から (4) を満たすものとする。 (1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗料は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料を使用する。 (2) 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 (3) 接着材は、可塑剤（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑材を除く）が添加されていない材料を使用する。 (4) (1) の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
	27 化学物質の濃度測定	・要　　※ 不要 測定時期、測定対象化学物質、測定方法、測定対象室、測定箇所数等については、監督職員の指示による。
	28 設備機器容量	本工事及び関連工事において設備機器容量等が相違する場合は、関連する設備の施工及び機器製作前に監督職員と協議し、指示を受けること。
撤去工事	① 撤去	⊙ 撤去前に内容物（発電設備燃料等）の回収を要する機器、配管等の処置（　発電機燃料　） ⊙ 撤去後の補修、復旧（　　）
	2 石綿含有建材の除去工事	事前調査　※ 行う　・行わない 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している建築材料等の使用の有無について調査する。 分析による石綿含有建材の調査　※ 行わない　・行う（　　箇所） 測定箇所等は監督職員の指示による。 石綿粉じん濃度測定　※ 行わない　・行う（　　箇所） 測定箇所等は監督職員の指示による。 石綿作業主任者 石綿作業主任者技能講習修了者又は平成１８年３月以前の特定化学物質作業主任者の有資格者の内から選任し、法令に基づき、作業の方法、労働者の指導等必要な措置を行うこと。 石綿含有品　・ フランジ用ガスケット（ ・ 配管　・ ダクト ） ・ 天井材　・ ・ 外壁（ ・塗材 ・スレート ・　　） 撤去部にアスベストを含む材料が使用されている場合は、適切に処理を行い、必要に応じて官公庁等への届出を行うこと。 石綿含有塗材の塗布された外壁及び石綿含有スレート波板等の外壁面に対して、足場及び配管等の支持のため、アンカーを打設する際にも、石綿作業主任者を配置し、外壁面に対して湿潤状態とし、集塵機能付き電動工具を使用する等、飛散防止措置を講ずること。
電力・発電設備工事	① 防災用照明器具	建築基準法の規定による非常用照明器具は次による。（ ○で囲むもの ） ⊙ 電池内蔵形　・ 電源別置形（ ・ バッテリー　・ 発電機 ）
	2 電動機等の接地	金属管配線において、電動機容量7.5 KW以下は金属管を接地線とする。
	3 受変電設備	受変電キュービクル本体の耐震性は、JEM-TR144「配電盤・制御盤の耐震設計指針2003年版」（一般社団法人日本電機工業協会）における耐震機能クラス１とする。
	4 雷保護設備	(1) 保護レベル　・ Ⅰ　・ Ⅱ　・ Ⅲ　※ Ⅳ (2) 受雷部システムの配置　・ 保護角法　・ 回転球体法　・ メッシュ法
	5 主燃料槽	主燃料槽は満油渡しとする。
	6 太陽光発電設備	太陽電池アレイ用支持物の荷重計算は、JIS C 8955:2011「太陽電池アレイ用支持物設計標準」による。 太陽光発電システムの用途 ※ 極めて重要な太陽光発電システム　・ 通常の太陽光発電システム
通信・情報設備工事	1 構内情報通信網設備	学校については校内ＬＡＮ工事特記仕様書による。
	2 テレビ共同受信装置	(1) テレビ機器収容箱 ブースターを収容する収納箱は、露出コンセント（2P15A 2口）を内蔵し、扉には放熱に有効なガラリ等を備えたものとする。 (2) アンテナマスト　・ 自立形　・ 壁面形 ・ 標準図のＡの寸法　（　　）mm

防災設備工事	① 自動火災報知装置	(1) 受信機 ・ Ｒ型　⊙ Ｐ型（ 2 ）級（ 5 ）回路 予備電源付（⊙ 壁掛形　・ 自立形 ） 複合盤の場合は図示する。 (2) 副受信機　表示窓数（　　）窓（ ・ 壁掛形　・ 自立形 ） (3) 発信機　・ Ｒ型　⊙ Ｐ型（ 2 ）級（　　）形 (4) 機器収納箱　⊙ 埋込形　・ 露出形　・ 消火栓箱組込形 (5) 消火栓ポンプ始動用表示灯　・ 専用　※ 火報と兼用
	2 自動閉鎖装置	(1) 連動制御器　（　）回線（複合盤の場合は図示する。） (2) 動作仕様 ア 作動方式　・ 多回線順次作動　・ 単独作動 イ 防煙ダンパ　・ 手動復帰　・ 遠方復帰
	3 非常警報装置	(1) 非常警報装置　・ 埋込形　・ 露出形 (2) 起動装置（押しボタン）　・ 埋込形　・ 露出形
	4 ガス漏れ火災警報装置	(1) 受信機　（　）回線　予備電源付（ ・ 壁掛形　・ 自立形 ） 複合盤の場合は図示する (2) 検知器　・ 都市ガス　・ 液化ガス 電源　・ AC100V　・ DC24V (3) 中継器　確認表示灯　・ あり　・ なし
その他	舗装版切断時の濁水は産業廃棄物として適切に処理を行うこと。	

別表

名称
⊙配電盤、分電盤、制御盤、警報盤等
⊙照明器具
・電熱装置
・高圧機器類
・特別高圧機器類
・直流電源装置
・交流無停電電源装置（ＵＰＳ）
・ディーゼル発電装置
⊙ガスエンジン発電装置
・マイクロガスタービン発電装置
・燃料電池発電装置
・熱併給発電装置
・太陽光発電装置
・風力発電装置
・構内情報通信網装置
・構内交換装置
・情報表示装置
・映像・音響装置
・誘導支援装置
・テレビ共同受信設備
・監視カメラ装置
・駐車場管制装置
・防犯・入退室管理装置
・監視制御装置
・

⊙ 印の付いたものを適用する。

表１　接地極一覧表

接地の種類	記号	接地抵抗	接地極の規格・数量
・共同接地	ＥＡ・Ｂ・Ｃ・Ｄ	Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又はＷ＝４０）× ３連 一 組
・共同接地	ＥＡ・Ｃ・Ｄ	１００Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又はＷ＝４０）× ３連 一 組
・Ａ種	ＥＡ	１０Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又はＷ＝４０）× ３連 一 ２組
・Ｂ種	ＥＢ	Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又はＷ＝４０）× ３連 一 組
・Ｂ種	ＥＢ	37.5～75Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又はＷ＝３０）× ３連
・Ｃ種	ＥＣ	１０Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又はＷ＝４０）× ３連 一 ２組
⊙ Ｄ種	ＥＤ	１００Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１０又はＷ＝３０）× １
⊙ Ｄ種	ＥELCB	１００Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１０又はＷ＝３０）× １
・雷保護用	ＥＬＡ	Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又はＷ＝４０）× 連 一 組 又はＥＰ× ０．６－２
・高圧避雷器	ＥＬＨ	１０Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又はＷ＝４０）× ３連 一 ２組
・低圧避雷器	ＥＬＬ	１０Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又はＷ＝４０）× ３連 一 ２組
・交換機用	Ｅｔ	１０Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又はＷ＝４０）× ３連 一 組
・通信機器用	ＥＡｔ	１０Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又はＷ＝４０）× ３連 一 ２組
・通信機器用	ＥＤｔ	１００Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１０又はＷ＝３０）× １
・測定用	Ｅｏ	１００Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１０又はＷ＝３０）× １
・構造体接地		Ω以下	
・等電位接地		Ω以下	

注１）ＥＢでＤ＝１４の場合はＬ＝１５００とし、Ｗ＝４０の場合はＬ＝１２００、Ｗ＝３０の場合はＬ＝９００とする。
注２）図中に記載がある場合は、それを優先する。

表２　機器標準取付高さ

	名称	測定	取付高さ(mm)
電力共通	取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000
	引込開閉器	地上～中心	1,800～2,200
電灯	分電盤	床上～中心	1,500
		(上端1,900以下)	
	スイッチ	床上～中心	1,100
	人感センサ用切替スイッチ	床上～中心	1,800
	コンセント（一般）	床上～中心	400
	コンセント（和室）	床上～中心	200
	コンセント（台上）	台上～中心	150～200
	コンセント（土間）	床上～中心	500
	コンセント（外壁・屋外）	地上～中心	800
	ブラケット（一般）	床上～中心	2,100～2,300
	ブラケット（踊場）	床上～中心	2,000～2,500
	ブラケット（鏡上）	鏡上端～中心	150
動力	壁掛制御盤	床上～中心	1,500
		(上端1,900以下)	
電熱	手元開閉器	床上～中心	1,500
	操作スイッチ	床上～中心	1,300
	室内端子盤	床上～下端	300
	集合保安器箱	天井下～上端	200
話	壁付アウトレット（一般）	床上～中心	400
	壁付アウトレット（和室）	床上～中心	200
時計	壁付形親時計	床上～中心	1,500
		(上端1,900以下)	
	子時計	床上～中心	天井高×0.9
拡声	壁掛形スピーカ	床上～中心	天井高×0.9
	壁付アッテネータ	床上～中心	1,100

	名称	測定	取付高さ(mm)
表示	表示盤	床上～中心	天井高×0.9
	壁付発信器	床上～中心	1,100
	ﾍﾞﾙ・ﾌﾞｻﾞｰ・ﾁｬｲﾑ	床上～中心	2,300
	壁付押し釦（一般）	床上～中心	1,100
誘導支援	壁付インターホン	床上～中心	1,100
	壁付アウトレット（一般）	床上～中心	400
	壁付アウトレット（和室）	床上～中心	200
	押し釦（トイレ呼出用）	床上～中心	900又は400
	復帰釦	床上～中心	1,800
テレビ共同受信	機器収容箱	天井下～上端	200
	直列ユニット（一般）	床上～中心	400
	直列ユニット（和室）	床上～中心	200
火災報知	受信器・副受信器	床上～中心	800～1,500
	機器収容箱・受信器	床上～中心	800～1,500
	ベル	床上～中心	2,300
	表示灯	床上～中心	2,100
	ＬＰガス用検知器	床上～上端	300

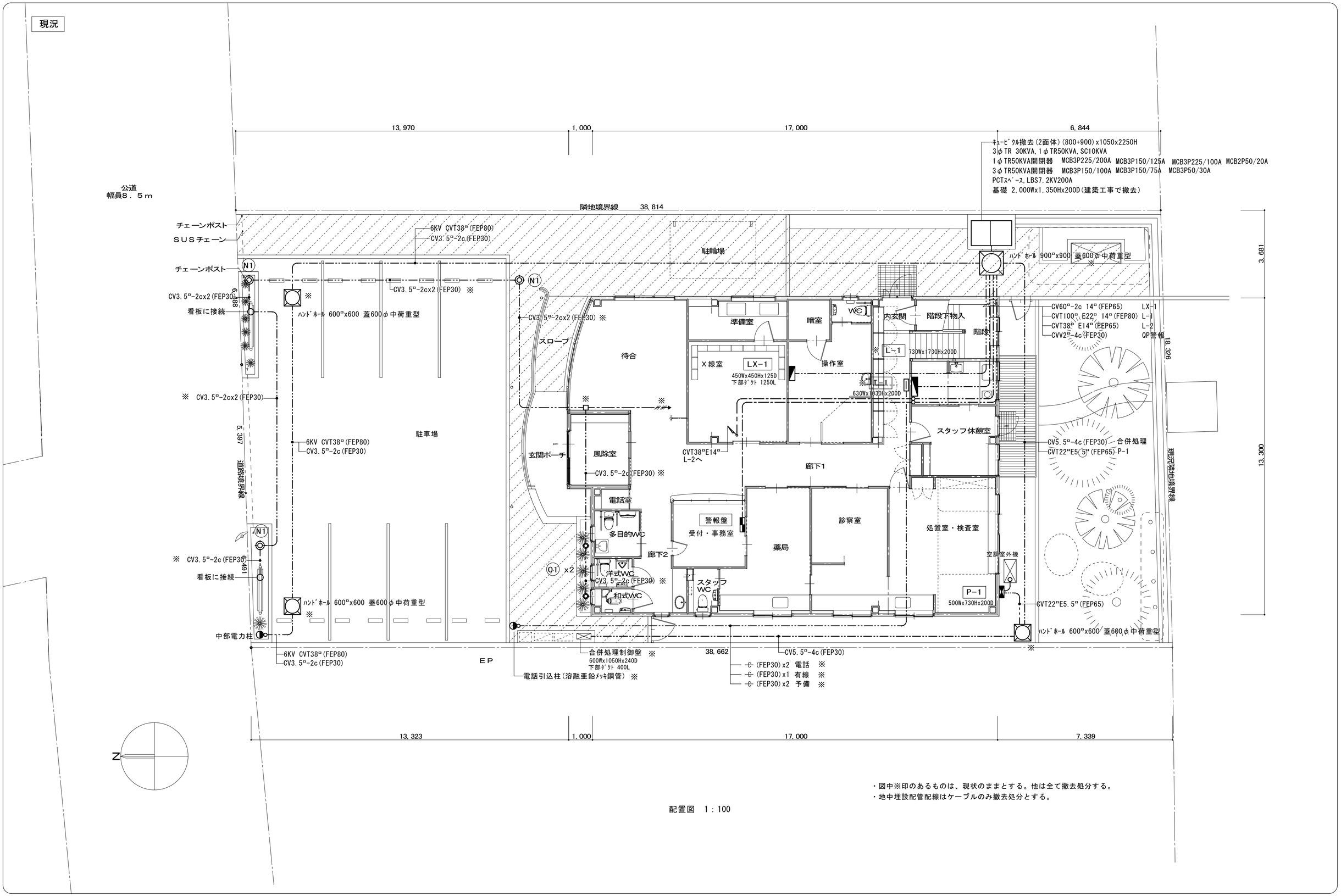
備考
注）
1. 天井高 3,000以上の場合は、監督職員と協議する。
2. 意匠に関係する部分（正面玄関・玄関ホール・ＥＶホール・上級室・会議室）の取付位置は、監督職員と十分協議する。
3. 表は原則とし、施工前に監督職員の承諾を受ける。

表３　耐震施工の基準
設備機器・配管等の支持、固定は、以下の図書を適用する。
ガイドライン：静岡県防災拠点等における設備地震対策ガイドライン（平成25年度）
センター指針：建築設備耐震設計・施工指針（2014年版）

施設分類	設備機器・配管等の支持、固定	左記のうち、横引き配管などの支持
防災上重要な機能を必要とする防災拠点等	ガイドライン*	ガイドライン*
防災上重要な施設	ガイドライン*	標準仕様書
一般の施設	標準仕様書	標準仕様書

*ガイドラインに記載のない内容は、センター指針を適用する。

青島彰一級建築士事務所	検図 青島	作図 甲斐	
藤枝市都市建設部建築住宅課			
高洲地区コミュニティ施設改修工事			図番 E－02
日付 R07. 3.	縮尺	図名 電気設備工事特記仕様書（R6.4）2/2	

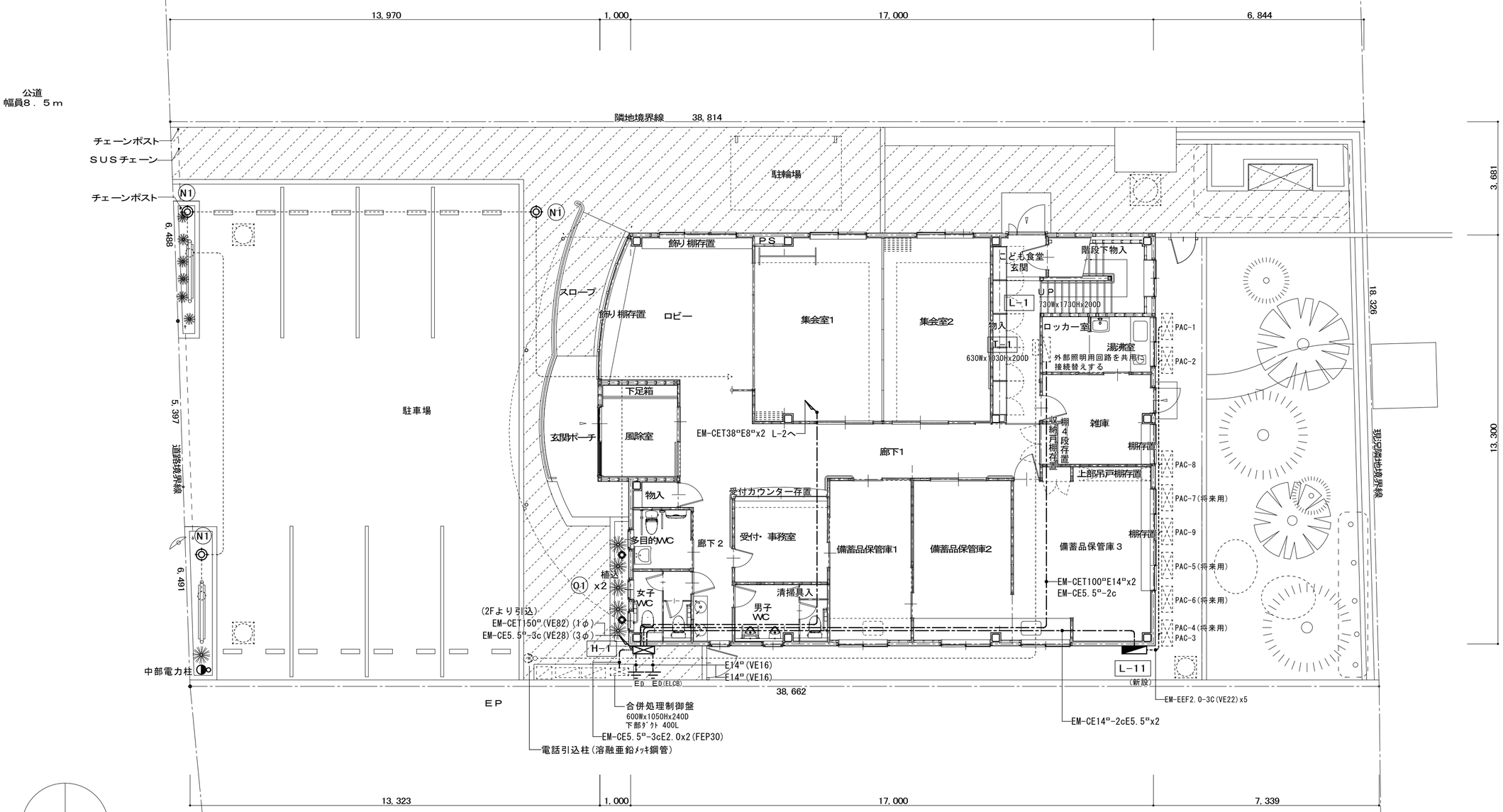


・図中※印のあるものは、現状のままとする。他は全て撤去処分する。
・地中埋設配管配線はケーブルのみ撤去処分とする。

配置図 1：100

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 甲斐裕士	青島彰一級建築士事務所	一級建築士登録 第118124号 青島 彰	訂正	Number in set
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	現況配置図	1：100	Checked by	〒426－0037 静岡県藤枝市青木3丁目14番1号 ソフィアビル3F	一級建築士事務所登録(10)第2195号	* *	E－03
				Approved by 青島 彰	PHONE 054-643-6118 FAX 054-643-4354			
				Date *				

改修



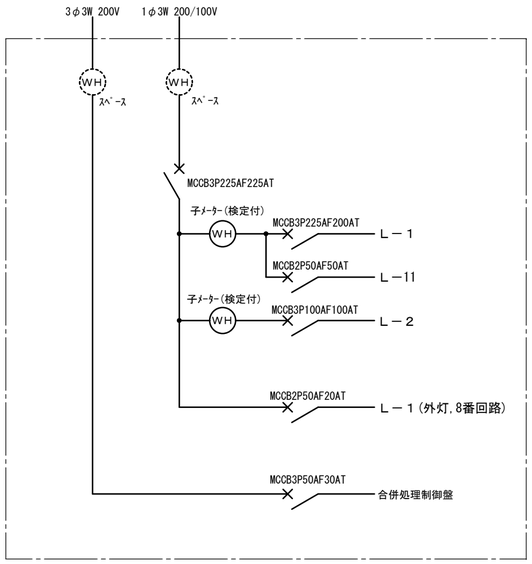
配置図 1：100

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by	甲斐裕士
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	改修配置図	1：100	Checked by	
				Approved by	青島 彰
				Date	*

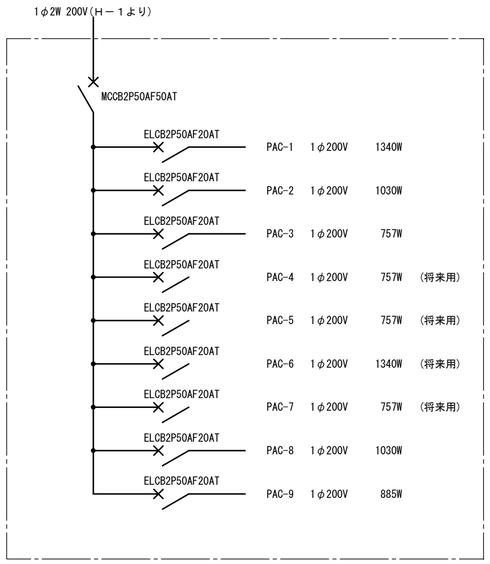
青島彰一級建築士事務所
〒426－0037 静岡県藤枝市青木3丁目14番1号 ソフィアビル3F
PHONE 054-643-6118 FAX 054-643-4354
一級建築士登録 第118124号 青島 彰
一級建築士事務所登録（10）第2195号

訂正	
*	*

Number in set: E－04



引込開閉器盤　H－1　屋外SUS製壁掛型



電灯分電盤　L－11　屋外SUS製壁掛型

・GHP発電機(ﾎﾞｰﾀﾌﾞﾙ型)仕様　　参考品番(HONDA　EU15iGP)

出力	1φ100V　1.5KVA
燃料	ﾌﾟﾛﾊﾟﾝｶﾞｽ
排気量	98.5cc
全長	512mm
全幅	290mm
全高	425mm
乾燥重量	21.0kg
使用温度範囲	-15～40℃
備考	電源ｺｰﾄﾞ(2m)及び接続用ｺﾝｾﾝﾄ取付

計　2台

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 甲斐裕士
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	新設分電盤結線図、発電機仕様	N.S	Checked by
				Approved by 青島　彰
				Date ＊

青島彰一級建築士事務所
〒426－0037　静岡県藤枝市青木3 丁目14 番1 号　ソフィアビル3Ｆ
PHONE 054-643-6118　FAX 054-643-4354
一級建築士登録　第118124号　青島　彰
一級建築士事務所登録(10)第2195号

訂正	
＊	＊

Number in set　E－05

記号	形状	備考	記号	形状	備考	記号	形状	備考
A1	V型 FHF32Wx2		L1	天井埋込避難口誘導灯 20A型 片面		r	ｼｰﾘﾝｸﾞﾗｲﾄ IL60Wx2	
B1	ﾌﾞﾗｹｯﾄ FML13Wx1		L2	天井埋込避難口誘導灯 20A型 両面		t	ﾌﾞﾗｹｯﾄ IL40Wx1	
B2	ﾌﾞﾗｹｯﾄ FML13Wx1 ｾﾝｻｰ付		M1	使用中表示灯 FL10Wx1		u	足元灯 IL5W	
C1	埋込下面開放型　FL20Wx2		N1	外灯 HF100Wx1		v	ﾎﾟｰﾁﾗｲﾄ FDL13Wx1 WP	
C2	埋込下面開放型 FHF32Wx1		O1	ｶﾞｰﾃﾞﾝﾗｲﾄ FPL13Wx1		w	ﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄ IL100Wx1	
C3	埋込下面開放型 FHF32Wx2					y	手元灯 FL20Wx1	
C4	埋込下面開放型 FHF32Wx2 調光用		a	ｼｰﾘﾝｸﾞﾗｲﾄ FHD(100W+40W)		z	ﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄ FCL(32W+30W)	
			b	ｼｰﾘﾝｸﾞﾗｲﾄ FL40Wx2				
D2	直付型下面ﾙｰﾊﾞｰ FHF32Wx2 調光用		d	埋込下面ﾊﾟﾈﾙ付 FHP32Wx4				
E1	ｱｸﾘﾌﾞﾗｹｯﾄ FL20Wx1 (防湿,防雨型)		e	埋込下面ﾊﾟﾈﾙ付 FHP55Wx4				
F1	埋込下面ﾙｰﾊﾞ付 FPL36Wx3		f	ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ FDL13Wx1				
F2	埋込下面ﾙｰﾊﾞ付 FPL36Wx2		g	ﾄﾗﾌ型 FHF32Wx1				
F3	埋込下面ﾙｰﾊﾞ付 FPL27Wx2		h	ｱｸﾘﾌﾞﾗｹｯﾄ IL40Wx1				
G1	埋込下面ﾊﾟﾈﾙ付 FML55wX4		i	埋込下面ﾊﾟﾈﾙ付 FHP32Wx4				
H1	ｱｸﾘﾌﾞﾗｹｯﾄ FHF32Wx1		j	埋込下面ﾊﾟﾈﾙ付 FPL55Wx2				
H2	ｱｸﾘﾌﾞﾗｹｯﾄ FHF20Wx1		k	ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ FDL27Wx1				
I1	ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ FDL18Wx1		l	ﾌﾞﾗｹｯﾄ IL60Wx1				
I2	ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ FDL27Wx1		m	ｼｰﾘﾝｸﾞﾗｲﾄ FL40Wx2				
J1	ﾌﾞﾗｹｯﾄ IL60Wx1		n	ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ FDL18Wx1				
K1	非常灯ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ ﾊﾛｹﾞﾝ13Wx1 電池内臓型		q	ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ IL40Wx1				

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 甲斐裕士	青島彰一級建築士事務所	一級建築士登録　第１１８１２４号　青島　彰	訂正	Number in set
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	現況器具表	NS	Checked by	〒４２６－００３７　静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号　ソフィアビル３F	一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号	* *	Ｅ－06
				Approved by 青島　彰	PHONE 054-643-6118　FAX 054-643-4354			
				Date *				

照明器具姿図

(A1) 40形6900固定 V形230幅

LSS10-4-65LN

Myシリーズ 昼白色（5000K） Ra85
100V～242V共用タイプ
段調光機能付
ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞﾅﾉｺｰﾃｨﾝｸﾞ（ﾎｺﾘ,すす汚れ防止ｺｰﾃｨﾝｸﾞ）ﾗｲﾄﾕﾆｯﾄ
光源寿命：40,000時間
光束：6900lm 消費電力：43W 消費効率：160.4lm/W
三菱 MY-V470331/N AHTN

(B1) LEDｸﾗｽ40 ﾌﾞﾗｹｯﾄWP

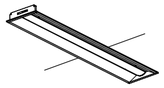
エクステリア 電球色（2700K） Ra82
本体：プラスチック・黒色塗装
光源寿命：40,000時間
光束：580lm 消費電力：8.5W 消費効率：68.2lm/W
三菱 EL-V0507L 1LN

(B2) LEDｸﾗｽ40 ﾌﾞﾗｹｯﾄWPｾﾝｻｰ付

エクステリア 電球色（2700K） Ra82
本体：プラスチック・黒色塗装
光源寿命：40,000時間
光束：580lm 消費電力：8.5W 消費効率：68.2lm/W
三菱 EL-V0507L 1LN

(C3) 40形6900固定 埋込220幅

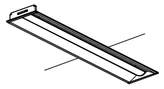
LRS3-4-65LN



Myシリーズ 昼白色（5000K） Ra85
100V～242V共用タイプ
段調光機能付
ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞﾅﾉｺｰﾃｨﾝｸﾞ（ﾎｺﾘ,すす汚れ防止ｺｰﾃｨﾝｸﾞ）ﾗｲﾄﾕﾆｯﾄ
光源寿命：40,000時間
光束：6680lm 消費電力：43W 消費効率：155.3lm/W
埋込穴：220×1235
三菱 MY-B470333/N AHTN

(C4) 40形6900固定 埋込220幅

LRS3-4-65LN



Myシリーズ 昼白色（5000K） Ra85
100V～242V共用タイプ
段調光機能付
ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞﾅﾉｺｰﾃｨﾝｸﾞ（ﾎｺﾘ,すす汚れ防止ｺｰﾃｨﾝｸﾞ）ﾗｲﾄﾕﾆｯﾄ
光源寿命：40,000時間
光束：6680lm 消費電力：43W 消費効率：155.3lm/W
埋込穴：220×1235
三菱 MY-B470333/N AHTN

(D2) 40形6900連調 埋込220幅ﾌｧｲﾝﾍﾞｰｽ

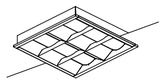
Myシリーズ 昼白色（5000K） Ra85
100V～242V共用タイプ
連続調光 5～100 初期照度補正
ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞﾅﾉｺｰﾃｨﾝｸﾞ（ﾎｺﾘ,すす汚れ防止ｺｰﾃｨﾝｸﾞ）ﾗｲﾄﾕﾆｯﾄ
光源寿命：40,000時間
埋込穴：220×1235
三菱 MY-B470338/N AHZ+L4000

(E1) 20形 定格出力ﾀｲﾌﾟ ﾌﾞﾗｹｯﾄWP

LBF3MP/RP-2-06LN

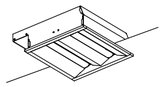
ブラケット Ra85
100V～242V共用タイプ
段調光機能付
本体：ステンレス鋼板 白色塗装
光源寿命：40,000時間（光束維持率85%）
光束：1070lm 消費電力：7.8W 消費効率：137.1lm/W
三菱 EL-LR-WF0600N/2 AHTN

(F1) LEDｸﾗｽ600調光 □450埋込ﾙｰﾊﾞ



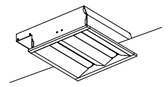
埋込形スクエアライト 昼白色（5000K） Ra83
100V～242V共用タイプ
連続調光 5～100
反射板：鋼板 白色塗装仕上
光源寿命：40,000時間
光束：6270lm 消費電力：42.1W 消費効率：148.9lm/W
埋込穴：450
三菱 EL-SK6011N/4 AHTZ

(F2) LEDｸﾗｽ300調光 □350埋込



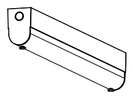
埋込形スクエアライト 昼白色(5000K) Ra83
100V～242V共用タイプ
連続調光 5～100
反射板：鋼板 白色塗装仕上
光源寿命：40,000時間
光束：3120lm 消費電力：21.1W 消費効率：147.8lm/W
埋込穴：350
三菱 EL-SK3010N/3 AHTZ

(F3) LEDｸﾗｽ300調光 □350埋込



埋込形スクエアライト 昼白色(5000K) Ra83
100V～242V共用タイプ
連続調光 5～100
反射板：鋼板 白色塗装仕上
光源寿命：40,000時間
光束：3120lm 消費電力：21.1W 消費効率：147.8lm/W
埋込穴：350
三菱 EL-SK3010N/3 AHTZ

(H2) LDL20 ﾌﾞﾗｹｯﾄ 初期照度補正



ブラケット Ra83
100V～242V共用ﾀｲﾌﾟ
初期照度補正
本体：アルミ アルマイト仕上
反射板：鋼板 白色仕上（高反射白色塗装）
光源寿命：40,000時間
光束：1070lm 消費電力：13W 消費効率：82.3lm/W
三菱 EL-LFV2361 AHJ(13N4)

(I1) ｸﾗｽ60 50K 一般形MC DLφ150

ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ 昼白色(5000K) Ra83
AC100V～242V共用ﾀｲﾌﾟ
固定出力
光源寿命：40000時間
光束：610lm 消費電力：4.4W 消費効率：138.6lm/W
埋込穴：Φ150
三菱 EL-D04/3(062NM) AHN

(I2) ｸﾗｽ100 50K 一般形MC DLφ150

LRS1-08LN

ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ 昼白色(5000K) Ra83
AC100V～242V共用ﾀｲﾌﾟ
固定出力
光源寿命：40000時間
光束：960lm 消費電力：6.8W 消費効率：141.1lm/W
埋込穴：Φ150
三菱 EL-D04/3(102NM) AHN

型番は参考型番とする

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by	甲斐裕士
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	改修照明器具姿図(1)	N.S	Checked by	
				Approved by	青島 彰
				Date	*

青島彰一級建築士事務所
〒426－0037 静岡県藤枝市青木3 丁目14番1号 ソフィアビル3F
PHONE 054-643-6118 FAX 054-643-4354
一級建築士登録 第118124号 青島 彰
一級建築士事務所登録（10）第2195号

訂正	
*	*

Number in set: E－07

照明器具姿図

(K1) LED ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ非常灯BT付低天井φ150

蓄電池内蔵形・LED光源
ﾘﾓｺﾝ自己点検機能ﾀｲﾌﾟ
非常用照明器具型式評定番号：LALE-013
本体：鋼板・亜鉛めっき鋼板
消費電力：1.0W
二種ビニル絶縁電線 架橋ポリエチレン絶縁電線
ニッケル水素蓄電池
三菱 EL-DB23111B

ﾗﾝﾌﾟ LED3521m 光束 352 lm 光束比 100.00 % 保守率 0.93 廊下巾 2.00 m 照度範囲 2.00 lx

器具高さ(m)		2.10	2.40	2.60	3.00	4.00	5.00	6.00	7.00
単体配置	A1	4.3	4.7	4.9	5.1	3.4	0.0	0.0	0.0
直線配置	A2	9.3	10.4	11	12.2	12.9	10.2	5.0	0.0
四角配置	A4	7.2	8.0	8.6	9.6	11.9	11.3	10.8	9.8
	A0	3.2	3.4	3.6	3.8	2.5	0.0	0.0	0.0

(L1) LED誘導灯B級BL片面天井埋込

SH1-FRF20P-BL

高輝度誘導灯ルクセントスクエア 天井埋込形
本体：鋼板・亜鉛メッキ仕上
誘導灯型式認定番号：1AM111-3367
埋込穴：295×105
三菱 KSH2911A 1EL+S1-2061S

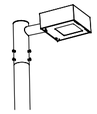
(L2) LED通路誘導灯B級BL両面天井埋込

ST1-FRF23P-BL

高輝度誘導灯ルクセントスクエア 天井埋込形
本体：鋼板・亜鉛メッキ仕上
誘導灯型式認定番号：1AM221-3368
埋込穴：295×105
三菱 KSH2922A 1EL+S1-2072S

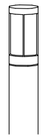
矢印(通路誘導灯)とする

(N1) LEDｸﾗｽ400 外灯



エクステリア 昼白色(5000K) Ra75
100V～242V共用タイプ
本体：ステンレス 黒色塗装仕上
光源寿命：60,000時間(光束維持率90%)
ポール：φ89.1共
三菱 EL-M4010N AHN+EL-XAJ004/K

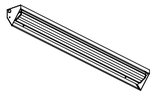
(01) 庭園灯 LED7Wx1



ﾗﾝﾌﾟ別売（E26）、防雨型、100V
光束維持時間40000時間（光束維持率70%）
本体･ｶﾞｰﾄﾞ：ｱﾙﾐﾀﾞｲｶｽﾄ（ﾐﾃﾞｨｱﾑｸﾞﾚｰﾒﾀﾘｯｸ）
ｸﾞﾛｰﾌﾞ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ（ﾌﾟﾘｽﾞﾑｸﾞﾛｰﾌﾞ･乳白）
ﾎﾟｰﾙ：ｽﾃﾝﾚｽ（ﾐﾃﾞｨｱﾑｸﾞﾚｰﾒﾀﾘｯｸ）
幅φ120･地上高958、保護等級：IP23
ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ NNY22267K

(P) 40形3200固定集光 直付黒板灯

LSS13-4-29LN



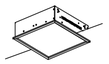
Myｼﾘｰｽﾞ 昼白色(5000K) Ra83
AC100V～242V共用ﾀｲﾌﾟ
固定出力･段調光機能付
本体：鋼板・白色仕上（高反射白色塗装）
光源寿命：40000時間
光束：3000lm 消費電力：21.0W 消費効率：142.8lm/W
三菱 MY-N430340/N AHTN

(b) 40形5200固定 直付

LSS6-4-48LN

Myシリーズ 昼白色（5000K） Ra85
100V～242V共用タイプ
段調光機能付
ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞﾅﾉｺｰﾃｨﾝｸﾞ(ﾎｺﾘ,すす汚れ防止ｺｰﾃｨﾝｸﾞ)ﾗｲﾄﾕﾆｯﾄ
光源寿命：40,000時間
光束：5030lm 消費電力：32.5W 消費効率：154.7lm/W
三菱 MY-X450330/N AHTN

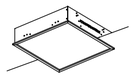
(d) LEDｸﾗｽ550固定 □450埋込ｶﾊﾞｰ付



埋込形スクエアライト 昼白色（5000K） Ra85
100V～242V共用タイプ
連続調光 5～100
光源寿命：40,000時間
光束：5680lm 消費電力：40.4W 消費効率：140.5lm/W
埋込穴：450
三菱 EL-SK5512N/4 AHTZ

(e) LEDｸﾗｽ900固定 □600埋込ｶﾊﾞｰ付

LRS9-6-84LN



埋込形スクエアライト 昼白色（5000K） Ra83
100V～242V共用タイプ
連続調光 5～100
光源寿命：40,000時間
光束：9320lm 消費電力：65.2W 消費効率：142.9lm/W
埋込穴：600
三菱 EL-SK9012N/5 AHTZ

(f) ｸﾗｽ60 50K 角形木枠MC DL

ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ 昼白色(5000K) Ra83
AC100V～242V共用ﾀｲﾌﾟ
固定出力
光源寿命：40000時間
光束：590lm 消費電力：4.4W 消費効率：134.0lm/W
埋込穴：□150
三菱 EL-D13/3(062NM) AHN

(g) 40形3200固定 ﾄﾗﾌ

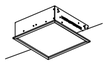
LSS1-4-30LN

Myシリーズ 昼白色（5000K） Ra85
100V～242V共用タイプ
段調光機能付
ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞﾅﾉｺｰﾃｨﾝｸﾞ(ﾎｺﾘ,すす汚れ防止ｺｰﾃｨﾝｸﾞ)ﾗｲﾄﾕﾆｯﾄ
光源寿命：40,000時間
光束：3200lm 消費電力：21W 消費効率：152.3lm/W
三菱 MY-L430330/N AHTN

(h) LED電球 ﾌﾞﾗｹｯﾄ

LED 口金：E17
本体：鋼板 白色塗装仕上
ランプ：LDA4N-G-E17/60/S
三菱 EL-VE1700C

(i) LEDｸﾗｽ550固定 □450埋込ｶﾊﾞｰ付



埋込形スクエアライト 昼白色（5000K） Ra85
100V～242V共用タイプ
連続調光 5～100
光源寿命：40,000時間
光束：5680lm 消費電力：40.4W 消費効率：140.5lm/W
埋込穴：450
三菱 EL-SK5512N/4 AHTZ

(j) 40形6900固定 V形230幅

LSS10-4-65LN

Myシリーズ 昼白色（5000K） Ra85
100V～242V共用タイプ
段調光機能付
ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞﾅﾉｺｰﾃｨﾝｸﾞ(ﾎｺﾘ,すす汚れ防止ｺｰﾃｨﾝｸﾞ)ﾗｲﾄﾕﾆｯﾄ
光源寿命：40,000時間
光束：6900lm 消費電力：43W 消費効率：160.4lm/W
三菱 MY-V470331/N AHTN

(k) ｸﾗｽ100 50K 一般形MC DLφ150

LRS1-08LN

ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ 昼白色(5000K) Ra83
AC100V～242V共用ﾀｲﾌﾟ
固定出力
光源寿命：40000時間
光束：960lm 消費電力：6.8W 消費効率：141.1lm/W
埋込穴：Φ150
三菱 EL-D04/3(102NM) AHN

型番は参考型番とする

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 甲斐裕士 / Checked by / Approved by 青島 彰 / Date *
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	改修照明器具姿図(2)	NS	

青島彰一級建築士事務所
〒426－0037 静岡県藤枝市青木3 丁目14番1号 ソフィアビル3F
PHONE 054-643-6118 FAX 054-643-4354
一級建築士登録 第118124号 青島 彰
一級建築士事務所登録（10）第2195号

訂正	
*	*

Number in set: E－08

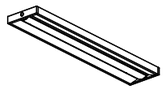
照明器具姿図

ⓛ LED電球 ﾌﾞﾗｹｯﾄ

LED 口金：E17
フランジ：鋼板 クロームメッキ仕上
ランプ：LDA7N-G-E17/60/S
三菱 EL-VE1715C

ⓜ 40形5200固定 直付

LSS6-4-48LN



Myシリーズ 昼白色（5000K） Ra85
100V～242V共用タイプ
段調光機能付
ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞﾅﾉｺｰﾃｨﾝｸﾞ(ﾎｺﾘ,すす汚れ防止ｺｰﾃｨﾝｸﾞ)ﾗｲﾄﾕﾆｯﾄ
光源寿命：40,000時間
光束：5030lm 消費電力：32.5W 消費効率：154.7lm/W
三菱 MY-X450330/N AHTN

ⓝ ｸﾗｽ60 50K 一般形MC DLφ150

ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ 昼白色(5000K) Ra83
AC100V～242V共用ﾀｲﾌﾟ
固定出力
光源寿命：40000時間
光束：610lm 消費電力：4.4W 消費効率：138.6lm/W
埋込穴：Φ150
三菱 EL-D04/3(062NM) AHN

ⓠ ｸﾗｽ60 50K 一般形MC DLφ150

ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ 昼白色(5000K) Ra83
AC100V～242V共用ﾀｲﾌﾟ
固定出力
光源寿命：40000時間
光束：610lm 消費電力：4.4W 消費効率：138.6lm/W
埋込穴：Φ150
三菱 EL-D04/3(062NM) AHN

ⓡ LED6畳 ｼｰﾘﾝｸﾞ

居室用ｼｰﾘﾝｸﾞ 電球色2700K~昼光色6500K Ra82
調光 約1~100
本体:鋼板 白色
光源寿命:40,000時間
光束:3440lm 消費電力:29.4W 消費効率:117lm/W
三菱 EL-CP3417M 1HZ

ⓣ LED電球 ﾌﾞﾗｹｯﾄ

LED 口金：E17
本体：鋼板 オフホワイト塗装仕上
ランプ：LDA4N-G-E17/40/S-PS
三菱 EL-VE1705C

ⓤ LEDﾌｯﾄﾗｲﾄ 5形小丸電球1灯器具相当

電球色(2800K)、Ra74
器具光束4lm、消費電力0.9W、電圧100V
熱線・明るさｾﾝｻ付(ﾎﾜｲﾄ)
送り用端子台付、はさみ金具取付
埋込穴□105×100
ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ LGBC70069

ⓥ LEDｸﾗｽ40 ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄWP

エクステリア 電球色（2700K） Ra82
本体：アルミダイカスト・黒色塗装
光源寿命：40,000時間
光束：530lm 消費電力：8.5W 消費効率：62.3lm/W
三菱 EL-S0504L 1LN

ⓧ 20形1600固定 ﾄﾗﾌ

LSS1-2-15LN

Myシリーズ 昼白色（5000K） Ra85
100V～242V共用タイプ
段調光機能付
ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞﾅﾉｺｰﾃｨﾝｸﾞ(ﾎｺﾘ,すす汚れ防止ｺｰﾃｨﾝｸﾞ)ﾗｲﾄﾕﾆｯﾄ
光源寿命：40,000時間
光束：1600lm 消費電力：11.2W 消費効率：142.8lm/W
三菱 MY-L215230/N AHTN

ⓨ LDL20 ｷｯﾁﾝﾗｲﾄ

直管形LEDランプ搭載ベースライト Ra83
本体：鋼板 白色塗装仕上
光源寿命：40,000時間
三菱 EL-LFY20051 1HN(13N4)

ⓩ LED8畳 ｼｰﾘﾝｸﾞ

居室用ｼｰﾘﾝｸﾞ 電球色2700K~昼光色6500K Ra82
調光 約1~100
本体:鋼板 白色
光源寿命:40,000時間
光束:3900lm 消費電力:33.3W 消費効率:117.1lm/W
三菱 EL-CP3917M 1HZ

型番は参考型番とする

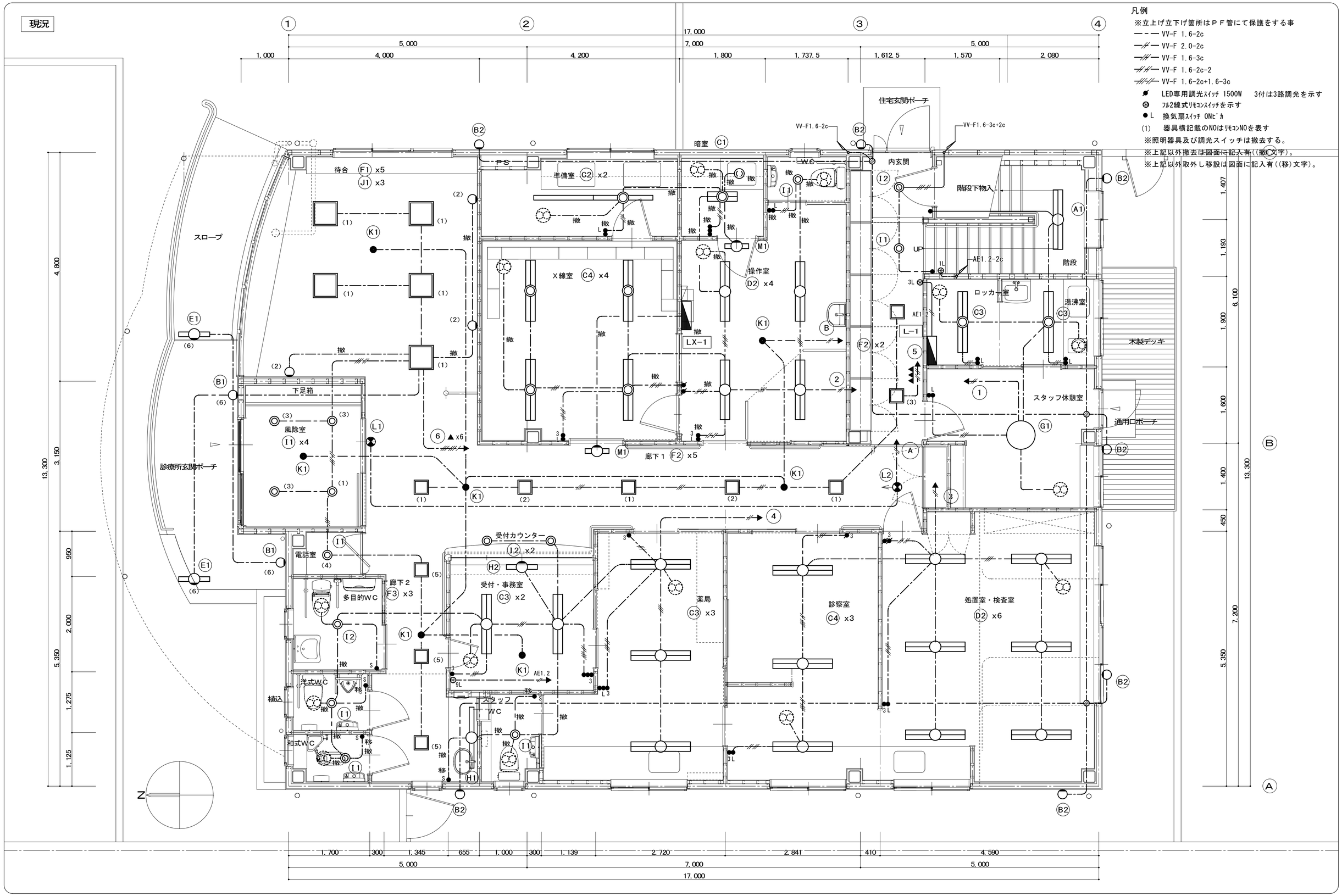
Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale		
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	改修照明器具姿図(3)	NS	Drawn by 甲斐裕士	
				Checked by	
				Approved by 青島 彰	
				Date ＊	

青島彰一級建築士事務所
〒４２６－００３７ 静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号 ソフィアビル３Ｆ
PHONE 054-643-6118 FAX 054-643-4354
一級建築士登録 第１１８１２４号 青島 彰
一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号

訂正	
＊	＊

Number in set: Ｅ－09

現況



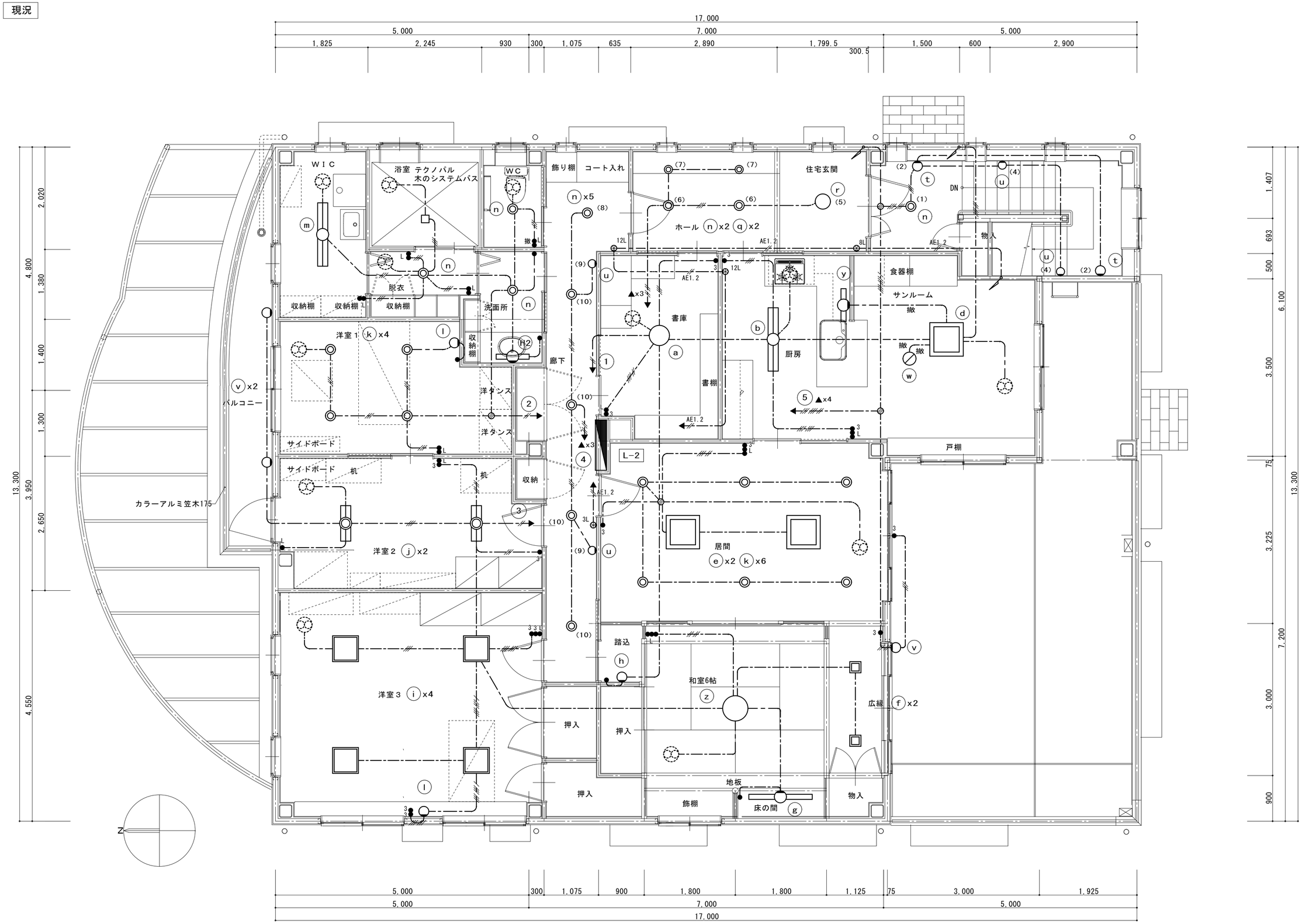
Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by	甲斐裕士
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	現況１階電灯図	１：５０	Checked by	
				Approved by	青島　彰
				Date	*

青島彰一級建築士事務所
〒４２６－００３７　静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号　ソフィアビル３Ｆ
PHONE 054-643-6118　FAX 054-643-4354
一級建築士登録　第１１８１２４号　青島　彰
一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号

訂正	
*	*

Number in set: Ｅ－10

現況



Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 甲斐裕士
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	現況２階電灯図	１：50	Checked by
				Approved by 青島　彰
				Date ＊

青島彰一級建築士事務所
〒４２６－００３７　静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号　ソフィアビル３Ｆ
PHONE 054-643-6118　FAX 054-643-4354
一級建築士登録　第１１８１２４号　青島　彰
一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号

訂正	
＊	＊

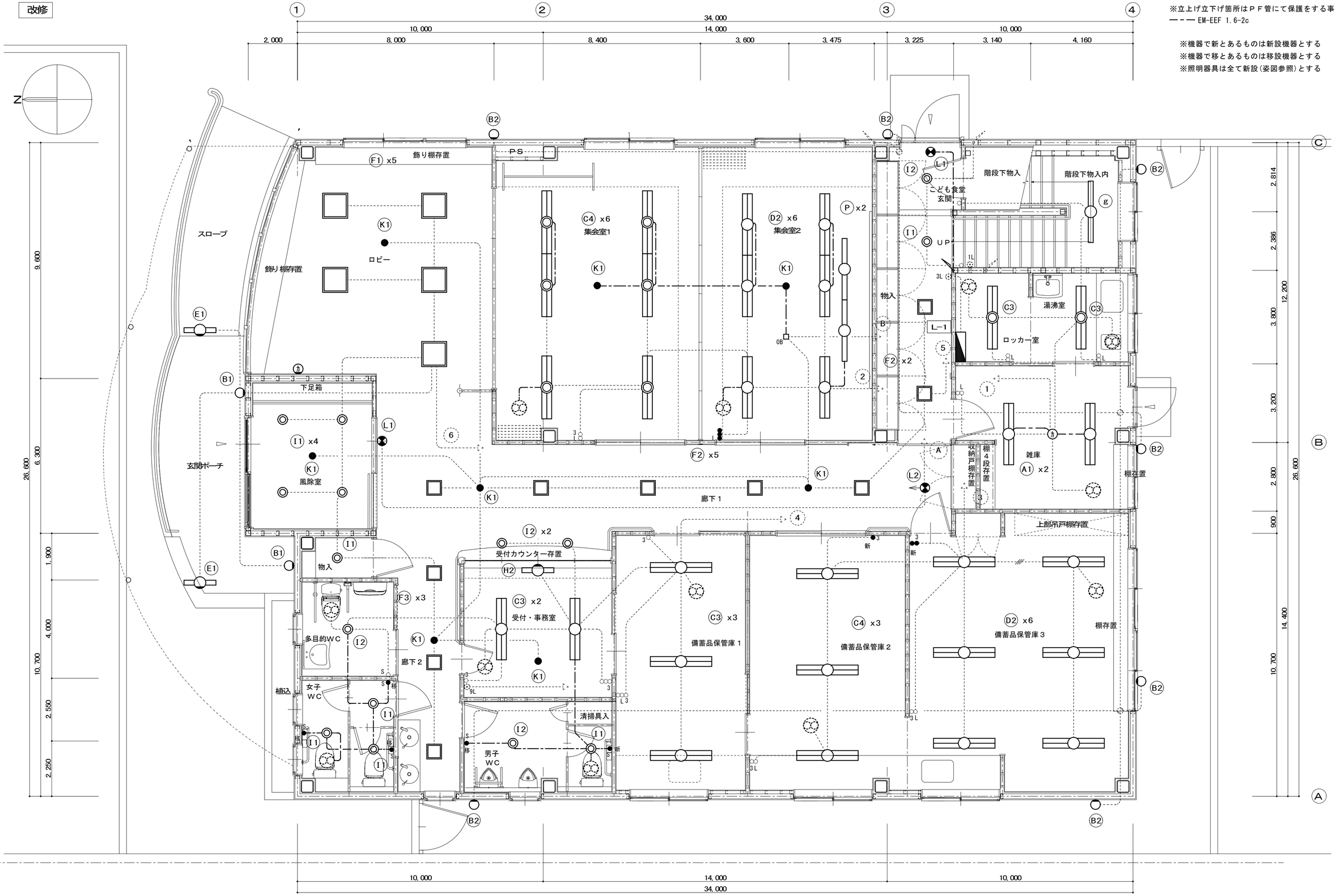
Number in set

Ｅ－11

改修

凡例
※立上げ立下げ箇所はＰＦ管にて保護をする事
— — — EM-EEF 1.6-2c

※機器で新とあるものは新設機器とする
※機器で移とあるものは移設機器とする
※照明器具は全て新設(姿図参照)とする



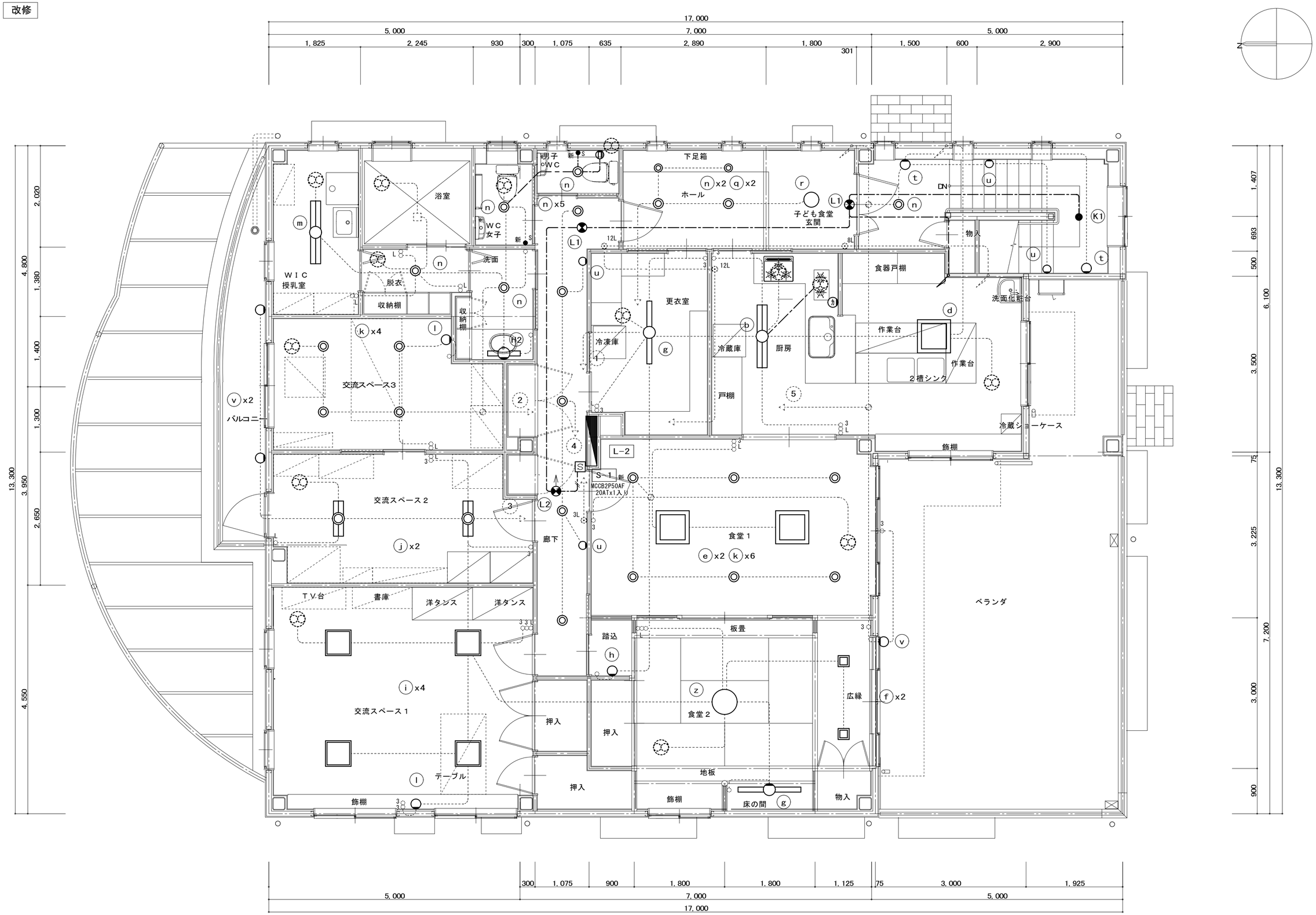
Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by	甲斐裕士
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	改修１階電灯図	1 : 50	Checked by	
				Approved by	青島　彰
				Date	*

青島彰一級建築士事務所
〒４２６－００３７　静岡県藤枝市青木3 丁目１４番1 号　ソフィアビル3Ｆ
PHONE 054-643-6118　FAX 054-643-4354
一級建築士登録　第１１８１２４号　青島　彰
一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号

訂正	
*	*

Number in set
Ｅ－12

改修



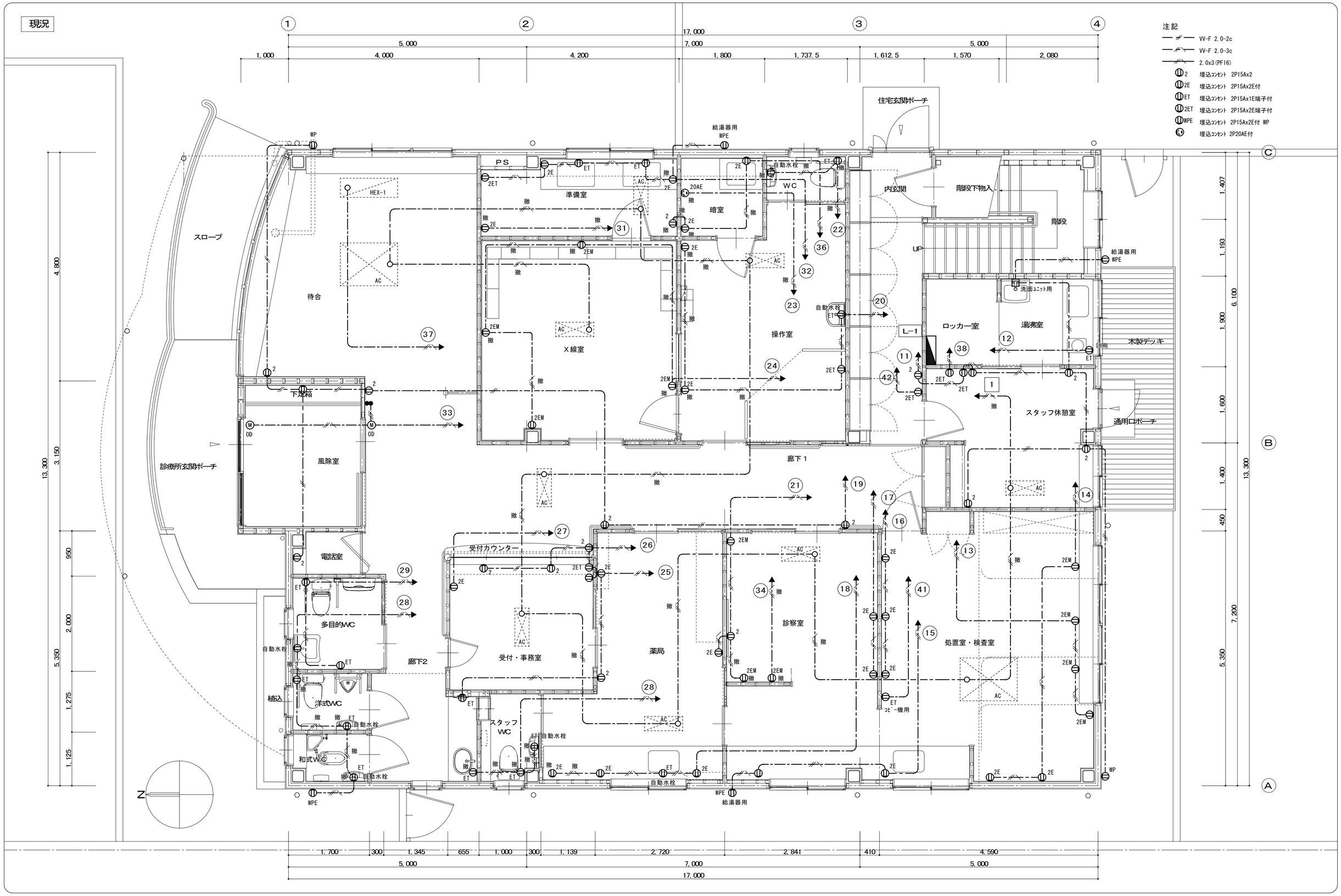
Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 甲斐裕士
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	改修２階電灯図	1：50	Checked by
				Approved by 青島　彰
				Date ＊

青島彰一級建築士事務所
〒426－0037　静岡県藤枝市青木3丁目14番1号　ソフィアビル3F
PHONE 054-643-6118　FAX 054-643-4354
一級建築士登録　第118124号　青島　彰
一級建築士事務所登録（10）第2195号

訂正	
＊	＊

Number in set

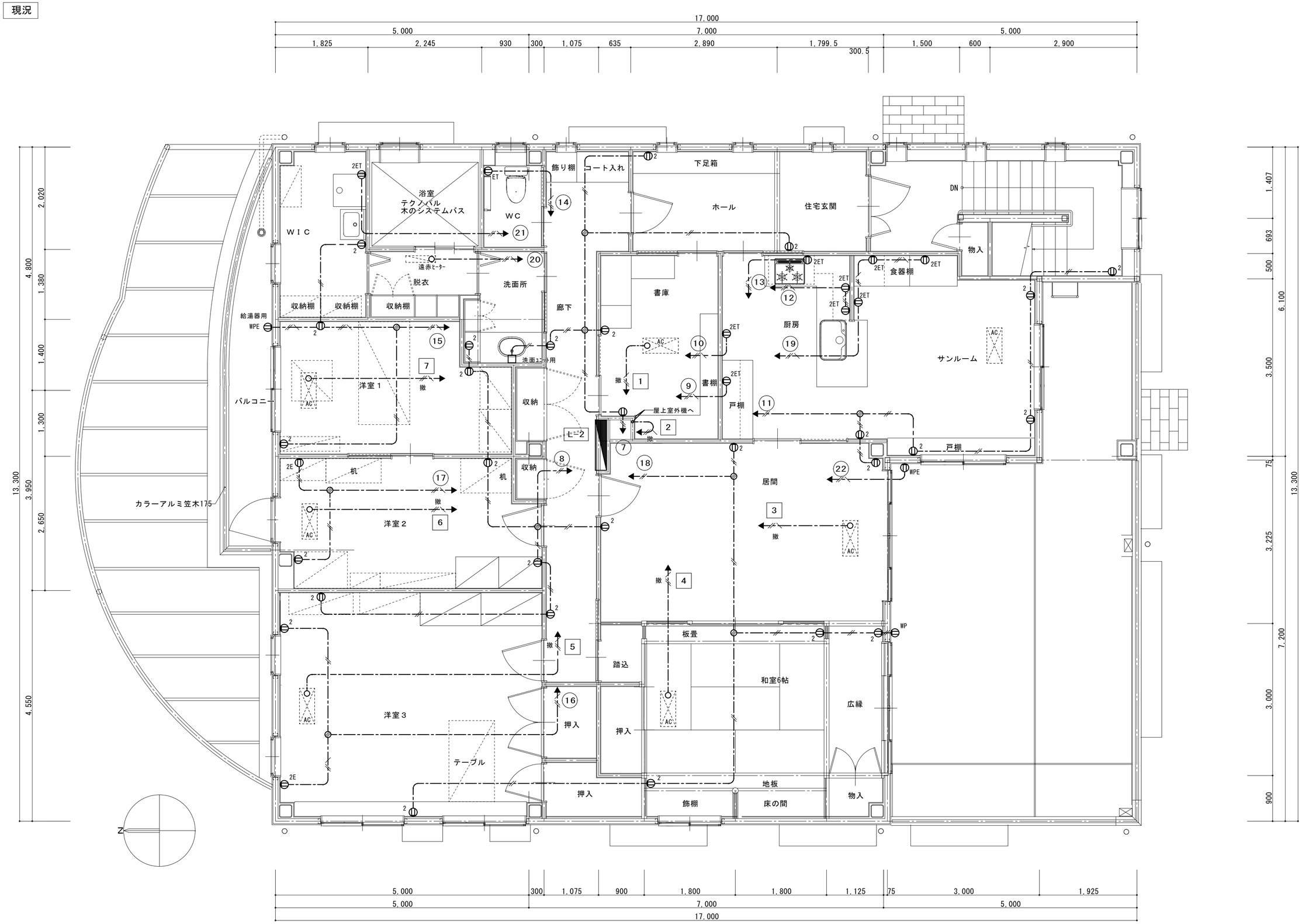
E－13



Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 甲斐裕士 / Checked by / Approved by 青島 彰 / Date ＊	青島彰一級建築士事務所	訂正	Number in set
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	現況１階ｺﾝｾﾝﾄ図	1 : 50		〒426－0037 静岡県藤枝市青木3丁目14番1号 ソフィアビル3F PHONE 054-643-6118 FAX 054-643-4354	＊ ＊	E－14

一級建築士登録 第118124号 青島 彰
一級建築士事務所登録（10）第2195号

現況



Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by	甲斐裕士
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	現況２階ｺﾝｾﾝﾄ図	1：50	Checked by	
				Approved by	青島　彰
				Date	*

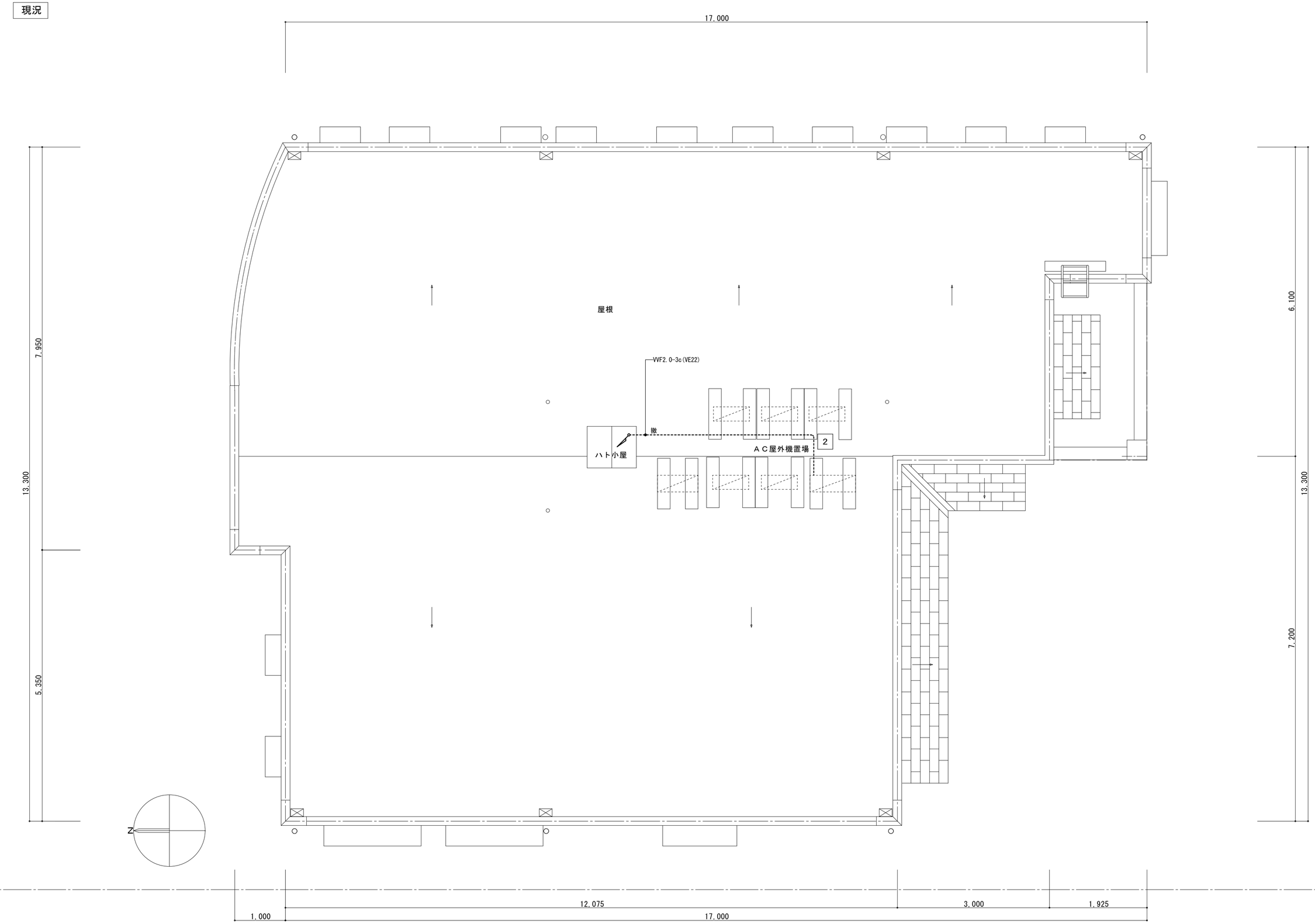
青島彰一級建築士事務所
〒４２６－００３７　静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号　ソフィアビル３F
PHONE 054-643-6118　FAX 054-643-4354
一級建築士登録　第１１８１２４号　青島　彰
一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号

訂正	
*	*

Number in set

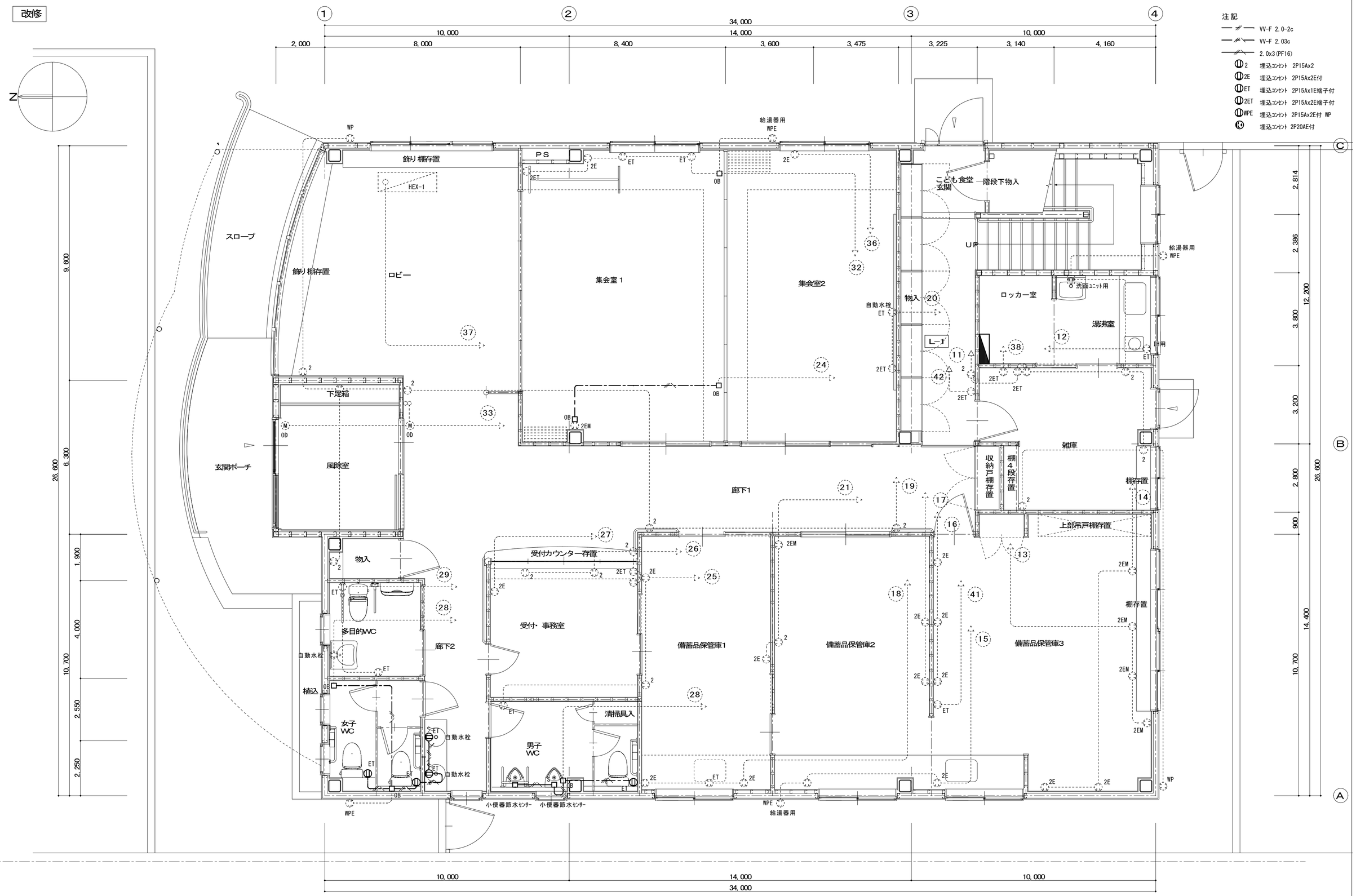
Ｅ－15

現況



Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 甲斐裕士	青島彰一級建築士事務所	訂正	Number in set
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	現況屋根ｺﾝｾﾝﾄ図	1：50	Checked by	一級建築士登録　第１１８１２４号　青島　彰		Ｅ－16
				Approved by 青島　彰	一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号		
				Date ＊	〒４２６－００３７　静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号　ソフィアビル３Ｆ		
					PHONE 054-643-6118　FAX 054-643-4354		

改修



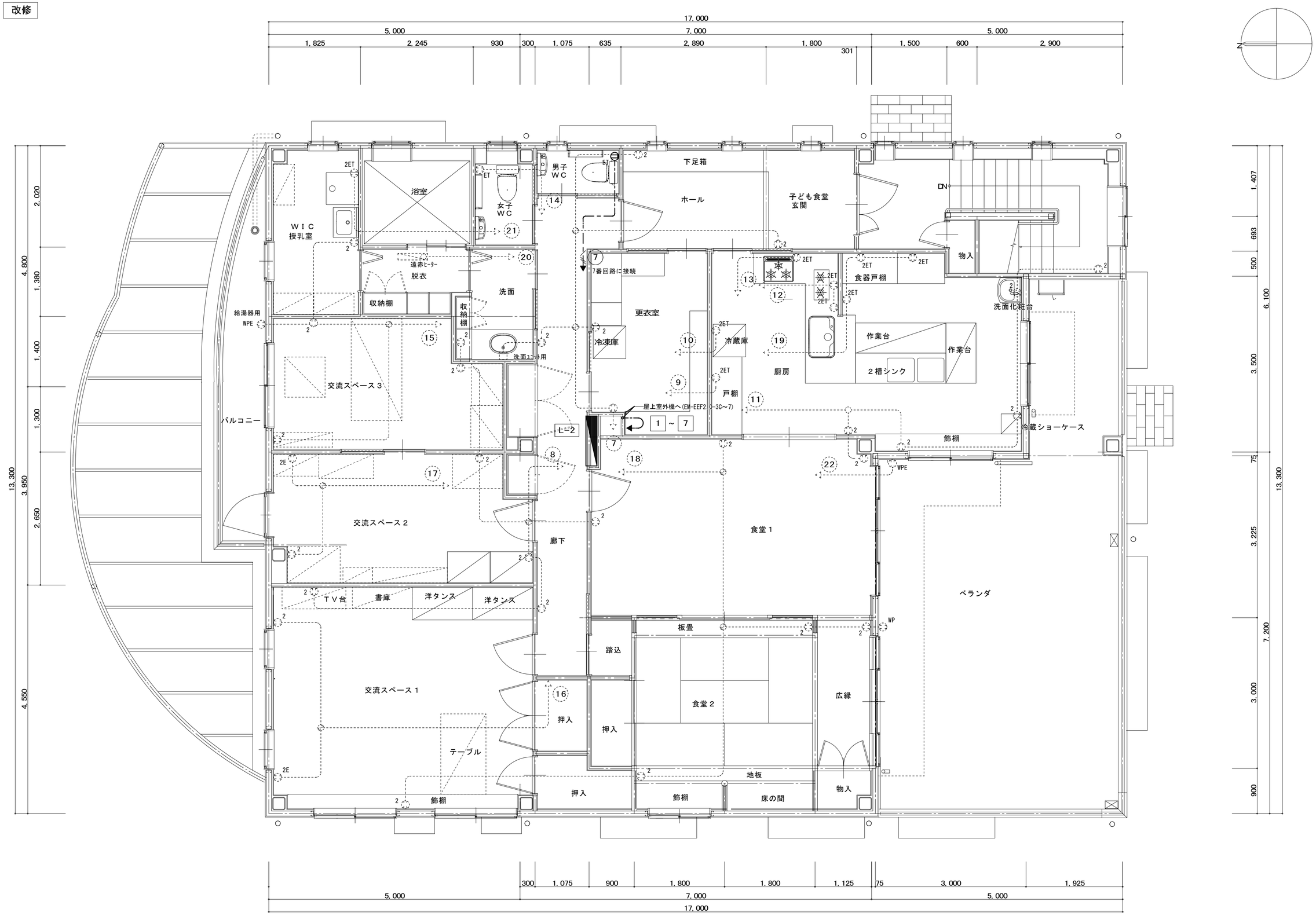
Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by	甲斐裕士
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	改修１階コンセント図	1：50	Checked by	
				Approved by	青島　彰
				Date	＊

青島彰一級建築士事務所
〒426−0037　静岡県藤枝市青木3 丁目14 番1 号　ソフィアビル3F
PHONE 054-643-6118　FAX 054-643-4354
一級建築士登録　第118124号　青島　彰
一級建築士事務所登録（10）第2195号

訂正	
＊	＊

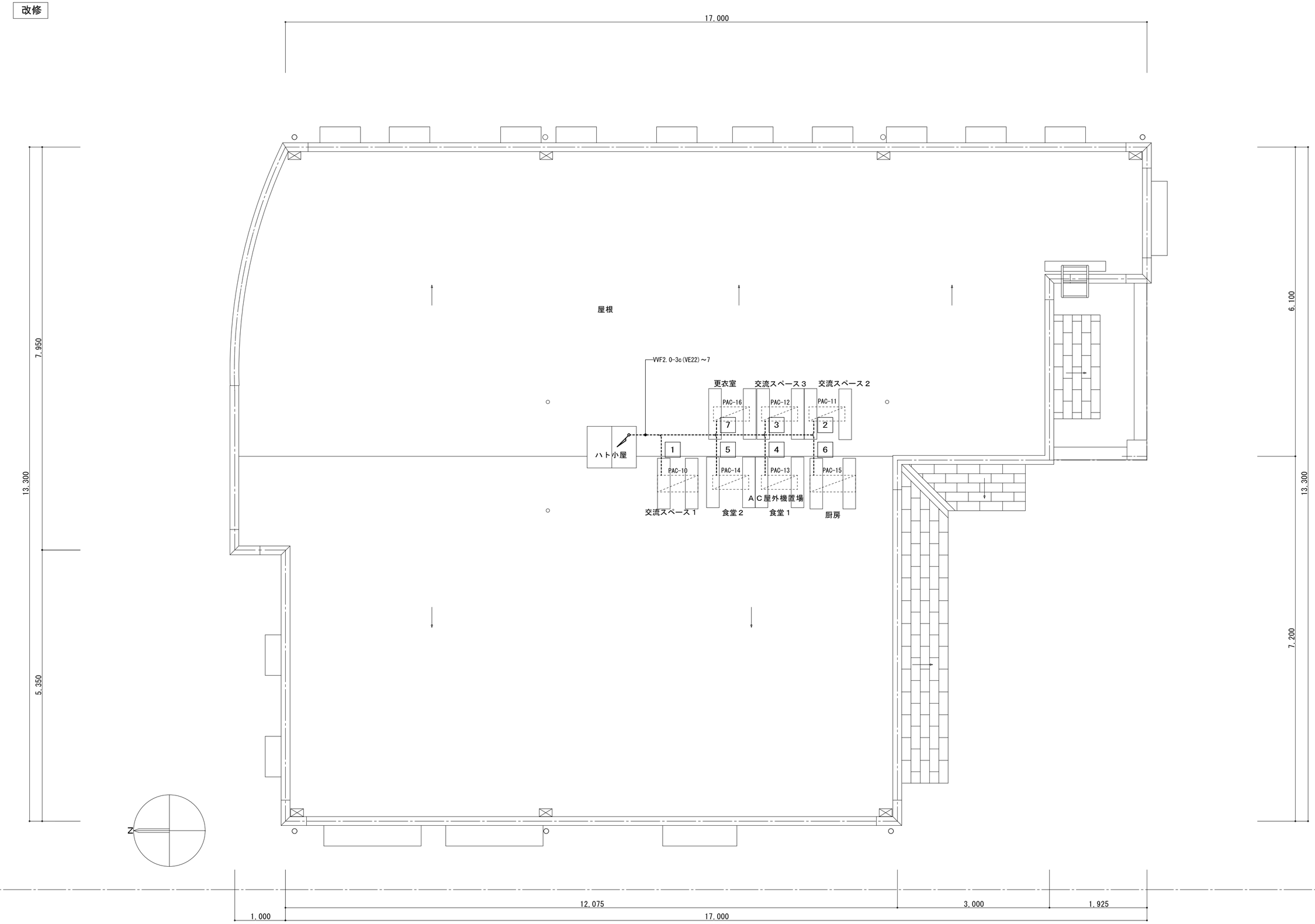
Number in set: E−17

改修

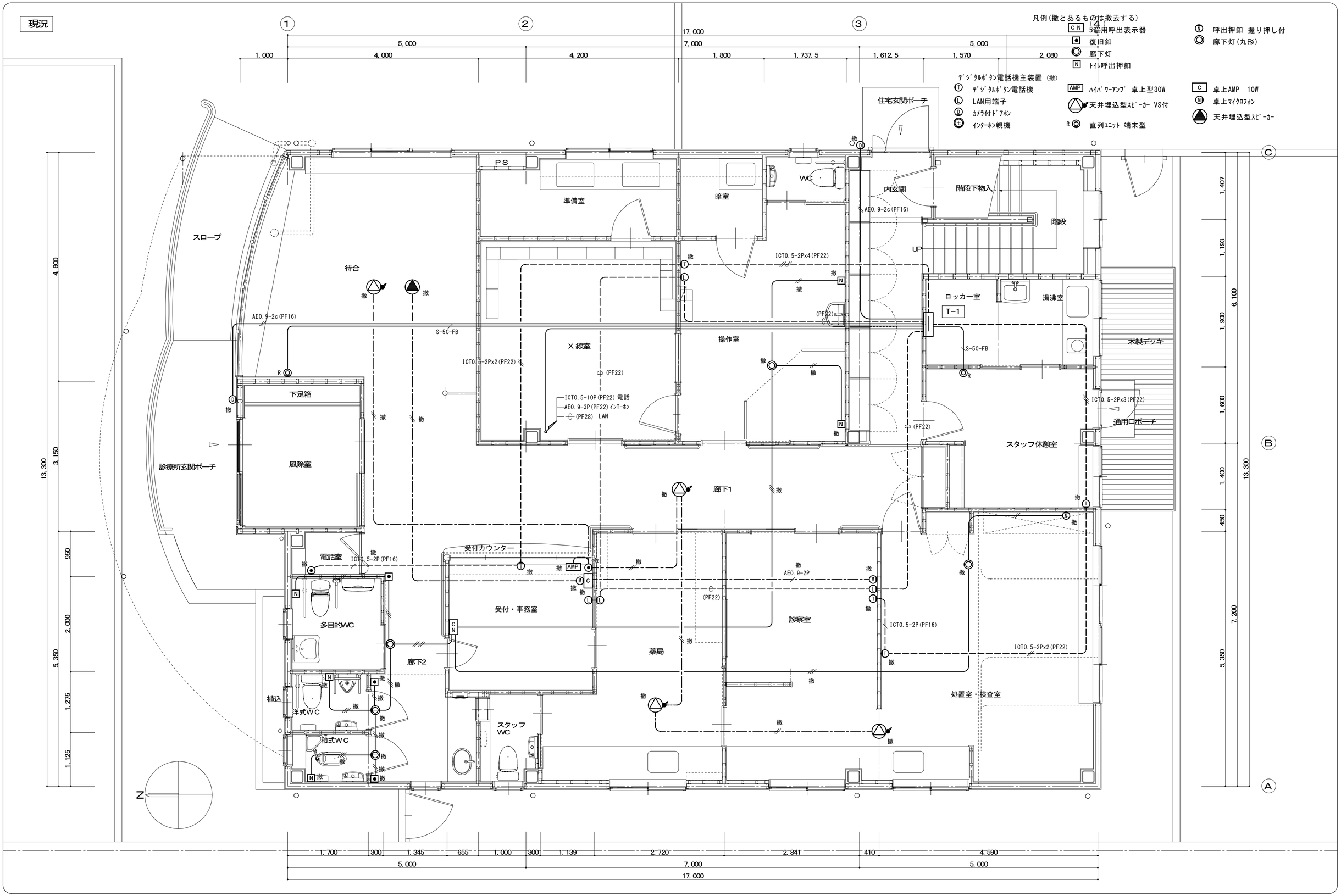


Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 甲斐裕士	青島彰一級建築士事務所	一級建築士登録 第118124号 青島 彰	訂正	Number in set
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	改修２階ｺﾝｾﾝﾄ図	1：50	Checked by	〒426－0037 静岡県藤枝市青木3丁目14番1号 ソフィアビル3F	一級建築士事務所登録（10）第2195号	* *	E－18
				Approved by 青島 彰	PHONE 054-643-6118 FAX 054-643-4354			
				Date *				

改修



Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 青島 彰	青島彰一級建築士事務所	訂正	Number in set
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	屋根伏図	1：50	Checked by	一級建築士登録 第１１８１２４号 青島 彰		Ｅ－19
				Approved by 青島 彰	一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号		
				Date ＊	〒４２６－００３７ 静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号 ソフィアビル３Ｆ		
					PHONE 054-643-6118 FAX 054-643-4354		



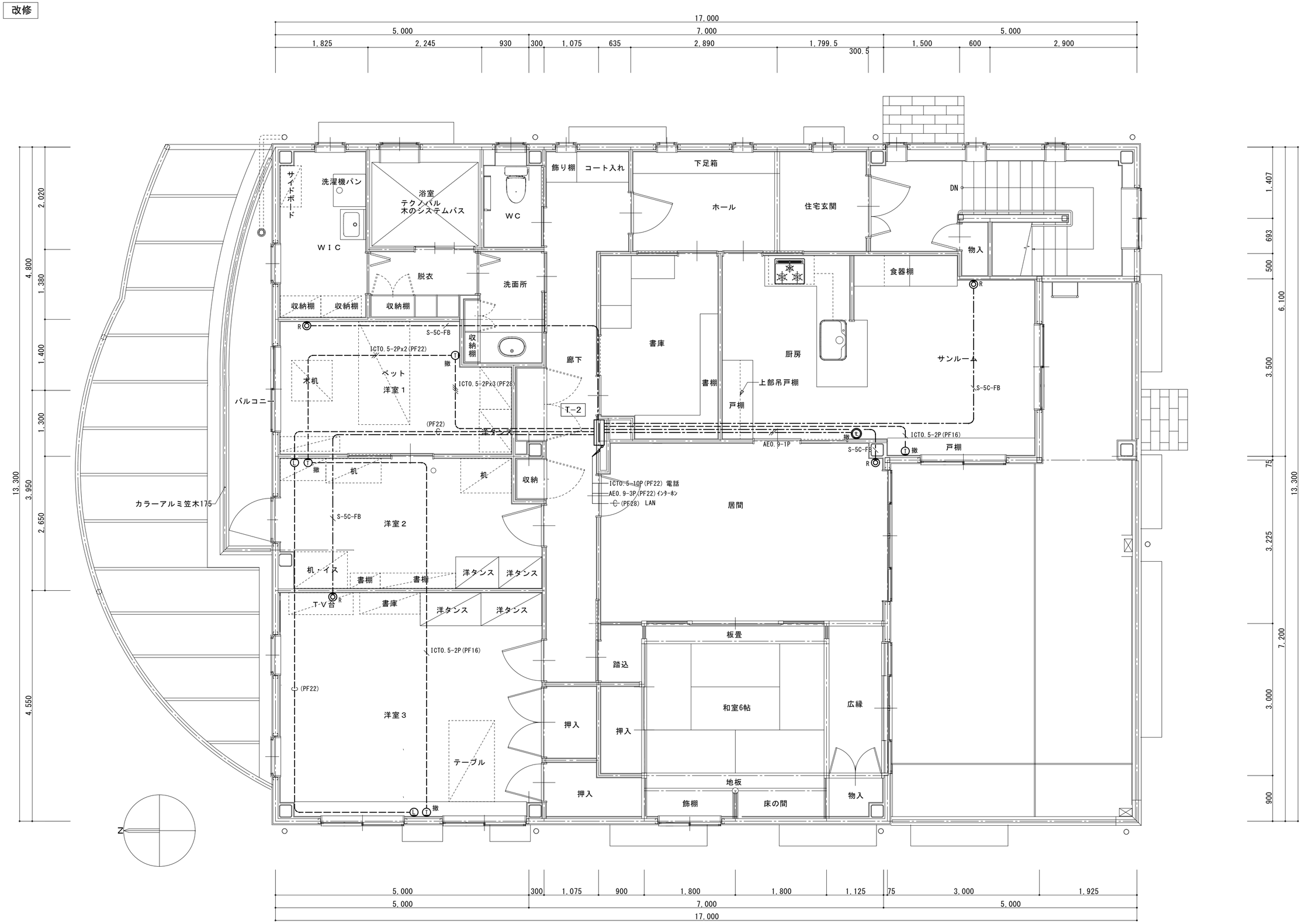
Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by	甲斐裕士
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	現況１階弱電図	１：50	Checked by	
				Approved by	青島　彰
				Date	＊

青島彰一級建築士事務所
〒４２６－００３７　静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号　ソフィアビル３Ｆ
PHONE 054-643-6118　FAX 054-643-4354
一級建築士登録　第１１８１２４号　青島　彰
一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号

訂正	
＊	＊

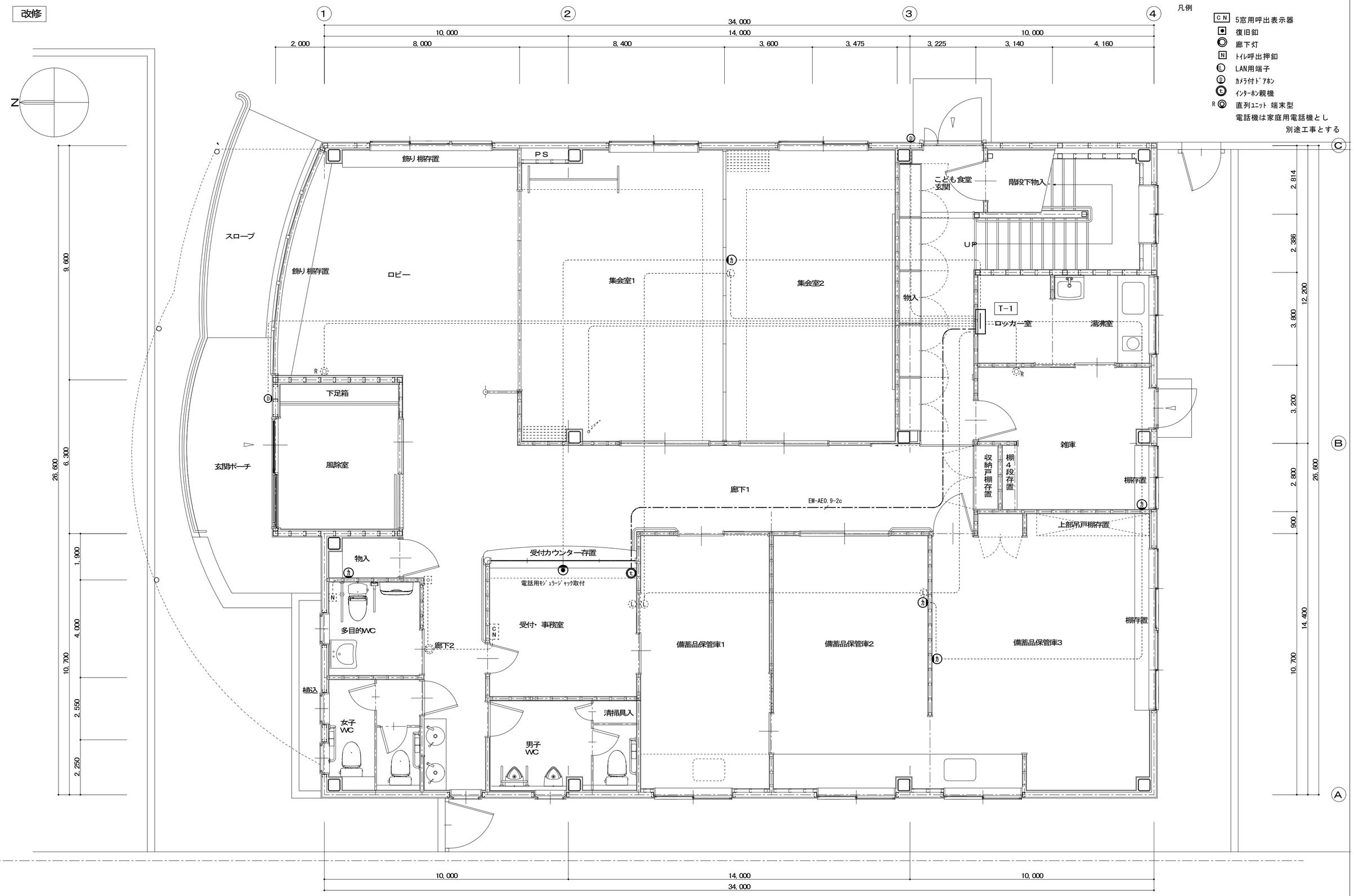
Number in set: Ｅ－20

改修



Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 甲斐裕士	青島彰一級建築士事務所	訂正	Number in set
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	現況２階弱電図	1：50	Checked by	一級建築士登録 第１１８１２４号 青島 彰	*	Ｅ－21
				Approved by 青島 彰	一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号		
				Date *	〒４２６－００３７ 静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号 ソフィアビル３F		
					PHONE 054-643-6118 FAX 054-643-4354		

改修



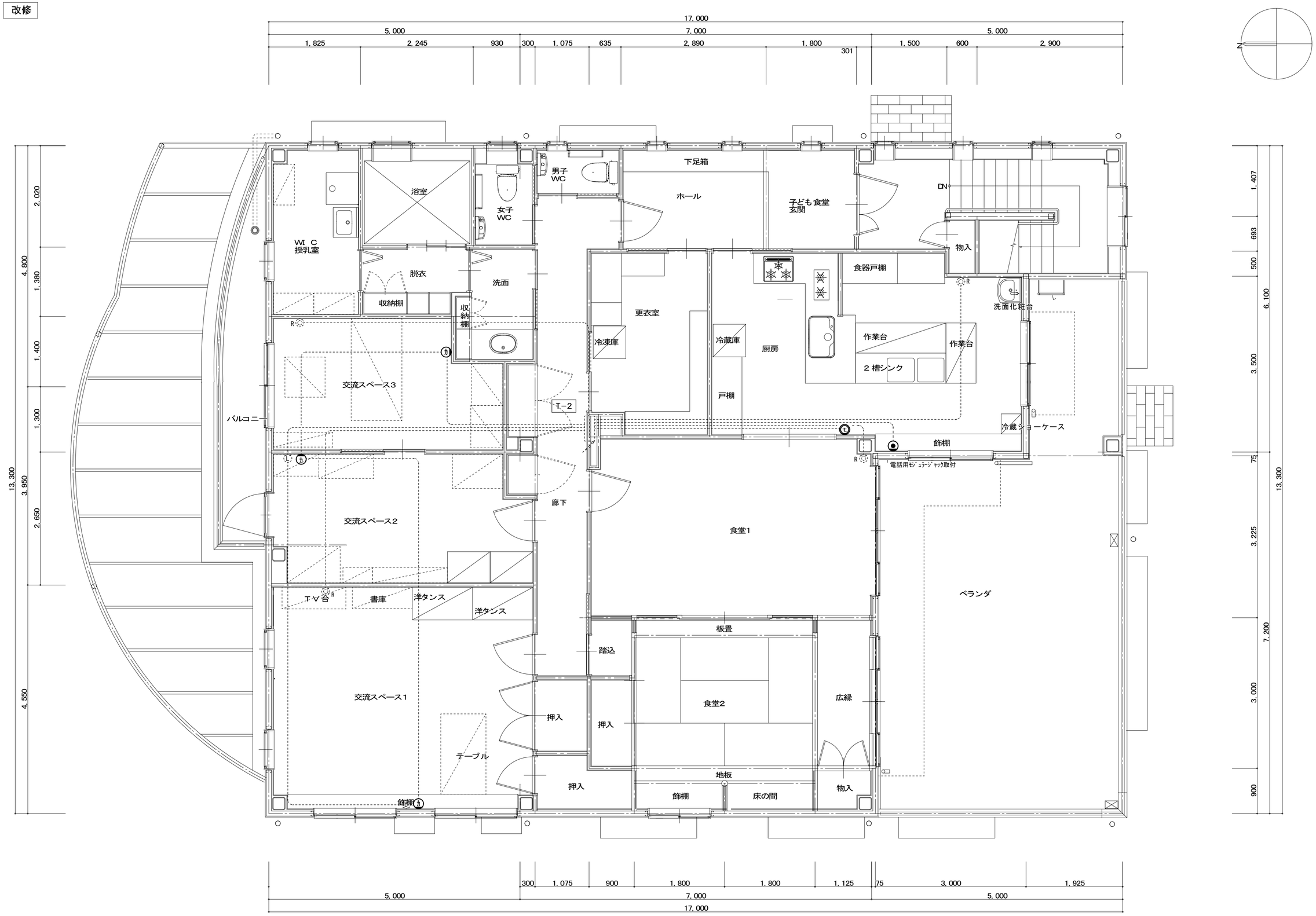
Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by	甲斐裕士
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	改修１階弱電図	1 : 50	Checked by	
				Approved by	青島　彰
				Date	*

青島彰一級建築士事務所
〒４２６－００３７　静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号　ソフィアビル３Ｆ
PHONE 054-643-6118　FAX 054-643-4354
一級建築士登録　第１１８１２４号　青島　彰
一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号

訂正	
*	*

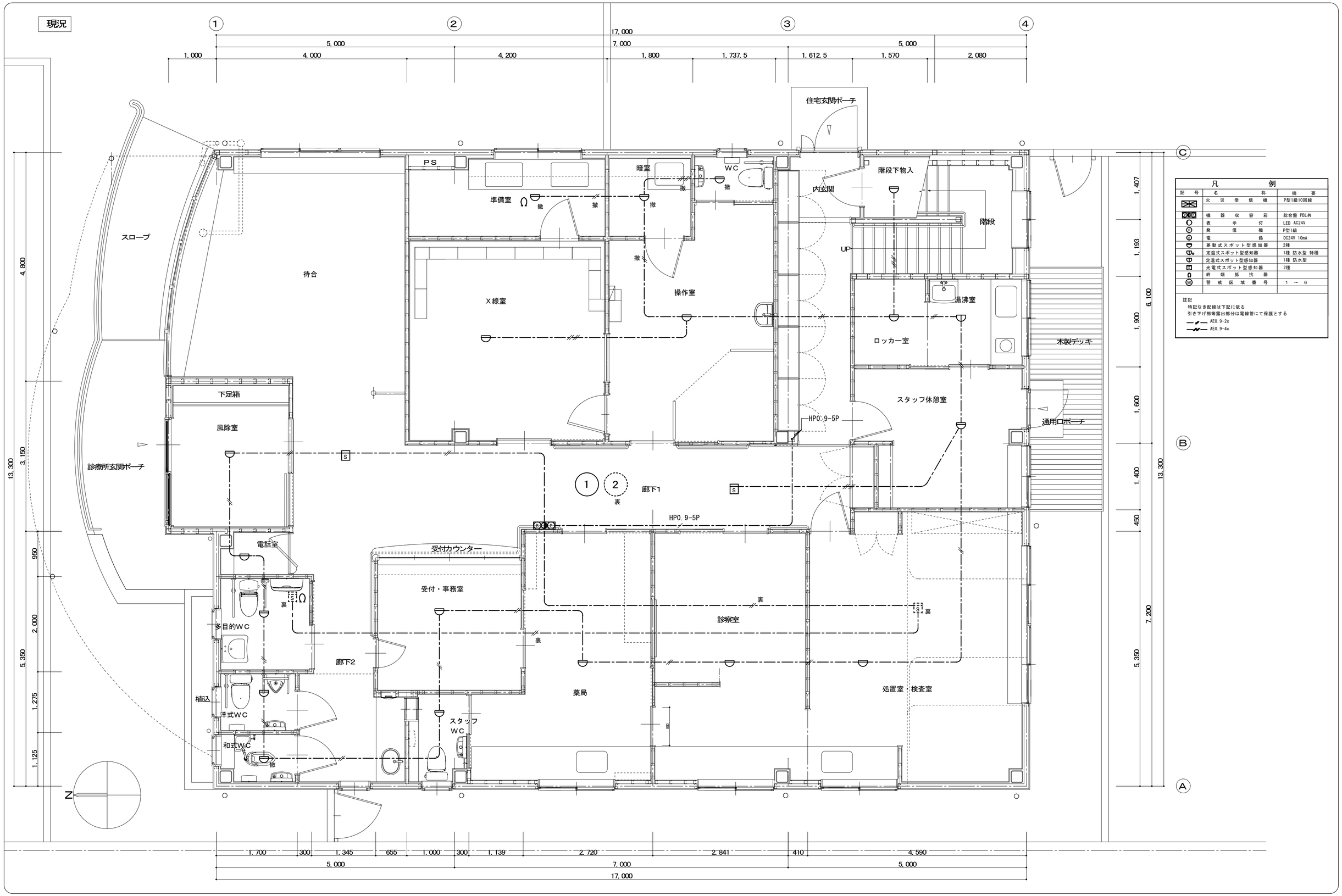
Number in set: E－22

改修



Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 甲斐裕士	青島彰一級建築士事務所	一級建築士登録 第118124号 青島 彰	訂正	Number in set
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	改修２階弱電図	1：50	Checked by	〒426－0037 静岡県藤枝市青木3丁目14番1号 ソフィアビル3F	一級建築士事務所登録（10）第2195号	* *	E－23
				Approved by 青島 彰	PHONE 054-643-6118 FAX 054-643-4354			
				Date *				

現況



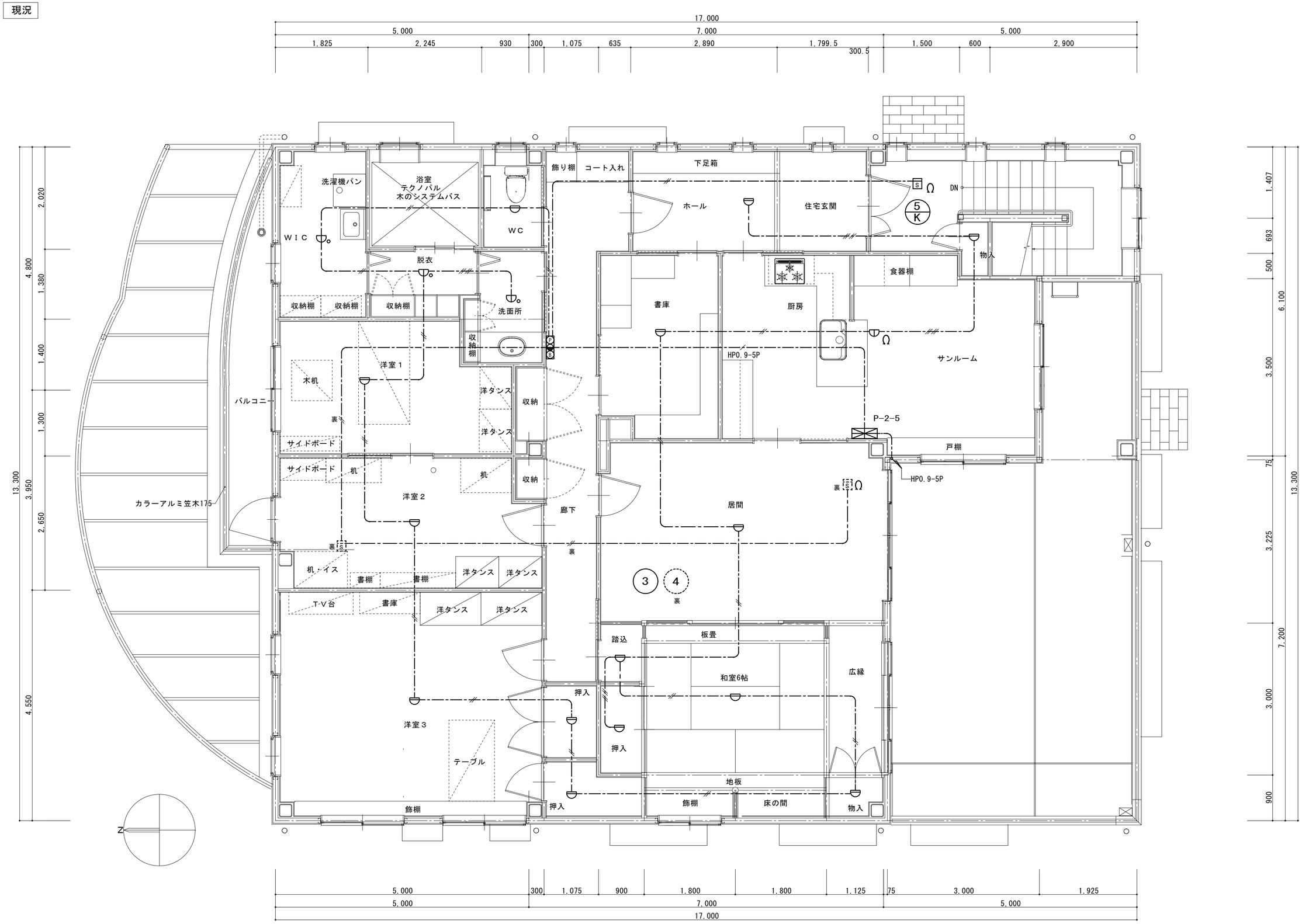
凡例

記号	名称	摘要
	火災受信機	P型1級10回線
	機器収容箱	総合盤 PBL共
	表示灯	LED AC24V
	発信機	P型1級
	電鈴	DC24V 10mA
	差動式スポット型感知器	2種
	定温式スポット型感知器	1種 防水型 特種
	定温式スポット型感知器	1種 防水型
	光電式スポット型感知器	2種
	終端抵抗器	
	警戒区域番号	1 ～ 6

註記
特記なき配線は下記に依る
引き下げ部等露出部分は電線管にて保護とする
AE0.9-2c
AE0.9-4c

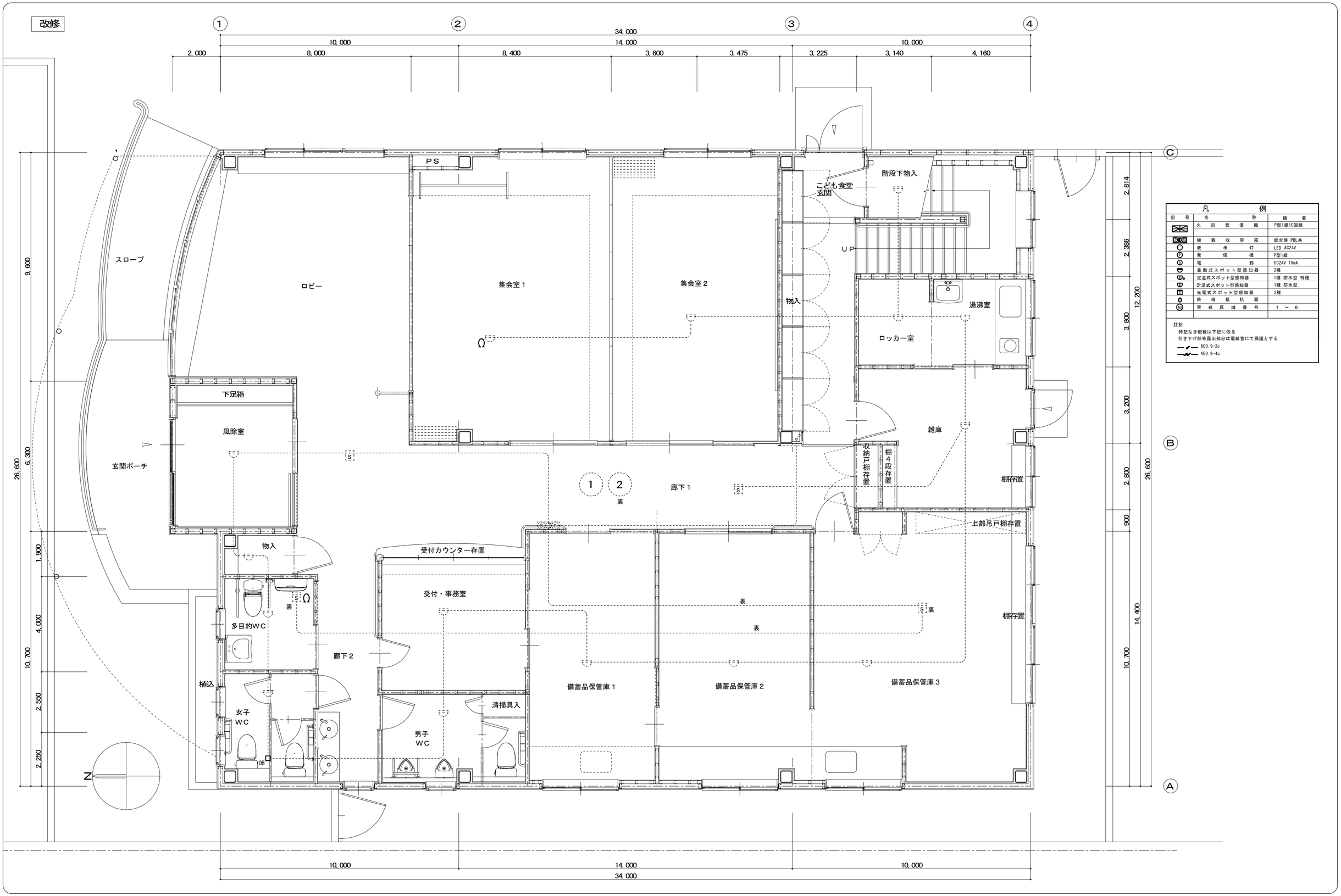
Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 甲斐裕士 / Checked by / Approved by 青島 彰 / Date *	青島彰一級建築士事務所	訂正	Number in set
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	現況１階火報図	1 : 50		〒426－0037 静岡県藤枝市青木3丁目14番1号 ソフィアビル3F PHONE 054-643-6118 FAX 054-643-4354 一級建築士登録 第118124号 青島 彰 一級建築士事務所登録（10）第2195号	* / *	E－24

現況



Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 甲斐裕士	青島彰一級建築士事務所	訂正	Number in set
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	現況２階火報図	１：50	Checked by	一級建築士登録　第１１８１２４号　青島　彰 一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号	*	Ｅ－25
				Approved by 青島　彰	〒４２６－００３７　静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号　ソフィアビル３F		
				Date *	PHONE 054-643-6118　FAX 054-643-4354		

改修



凡　例

記号	名称	摘要
	火災受信機	P型1級10回線
	機器収容箱	総合盤 PBL共
	表示灯	LED AC24V
P	発信機	P型1級
B	電鈴	DC24V 10mA
	差動式スポット型感知器	2種
	定温式スポット型感知器	1種 防水型 特種
	定温式スポット型感知器	1種 防水型
	光電式スポット型感知器	2種
	終端抵抗器	
数	警戒区域番号	1 ～ 6

註記
特記なき配線は下記に依る
引き下げ部等露出部分は電線管にて保護とする
AE0.9-2c
AE0.9-4c

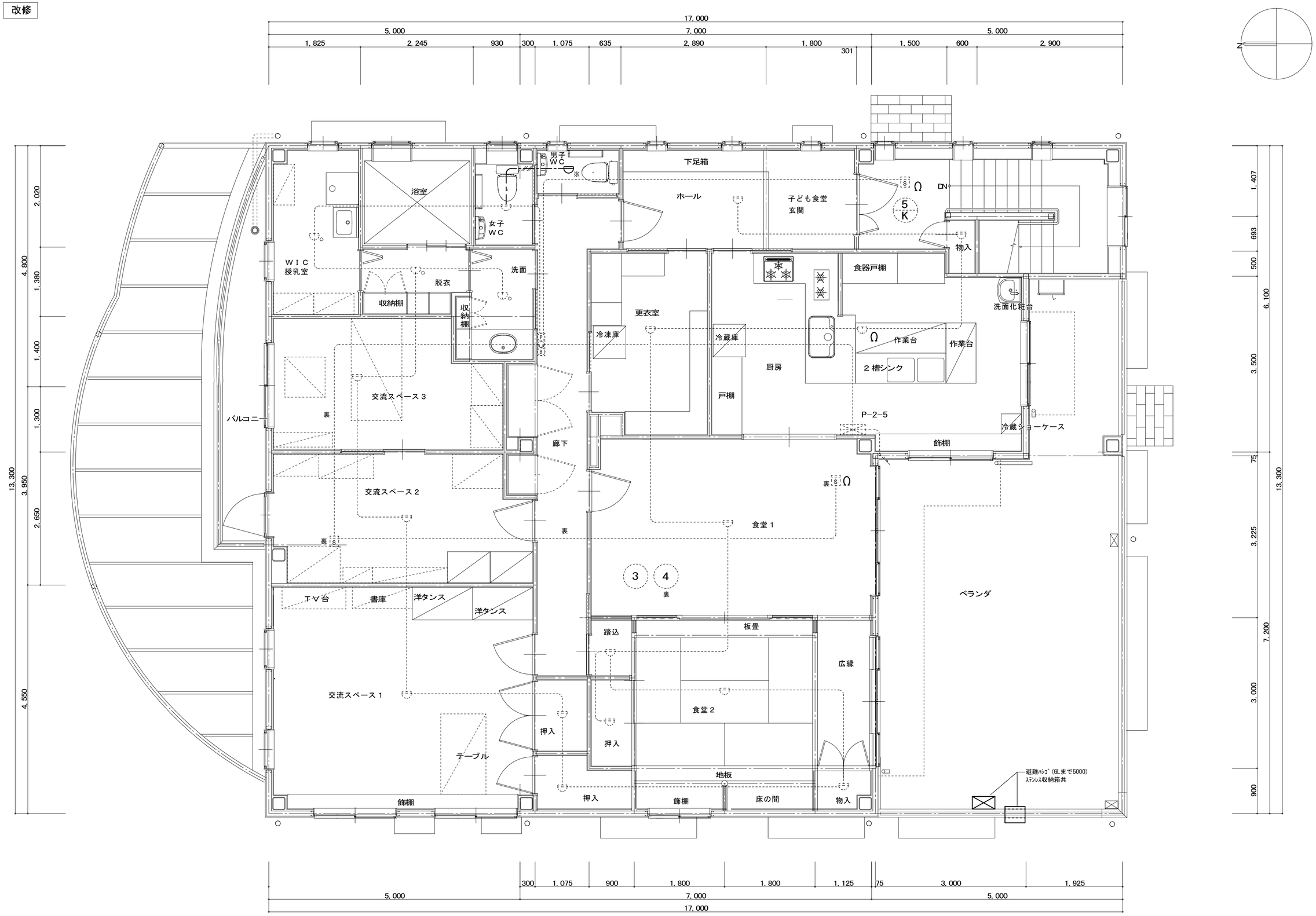
Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by	甲斐裕士
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	改修１階火報図	1 : 50	Checked by	
				Approved by	青島　彰
				Date	*

青島彰一級建築士事務所
〒４２６－００３７　静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号　ソフィアビル３Ｆ
PHONE 054-643-6118　FAX 054-643-4354
一級建築士登録　第１１８１２４号　青島　彰
一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号

訂正	
*	*

Number in set: E－26

改修



Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 甲斐裕士
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	改修２階火報図	１：50	Checked by
				Approved by 青島　彰
				Date ＊

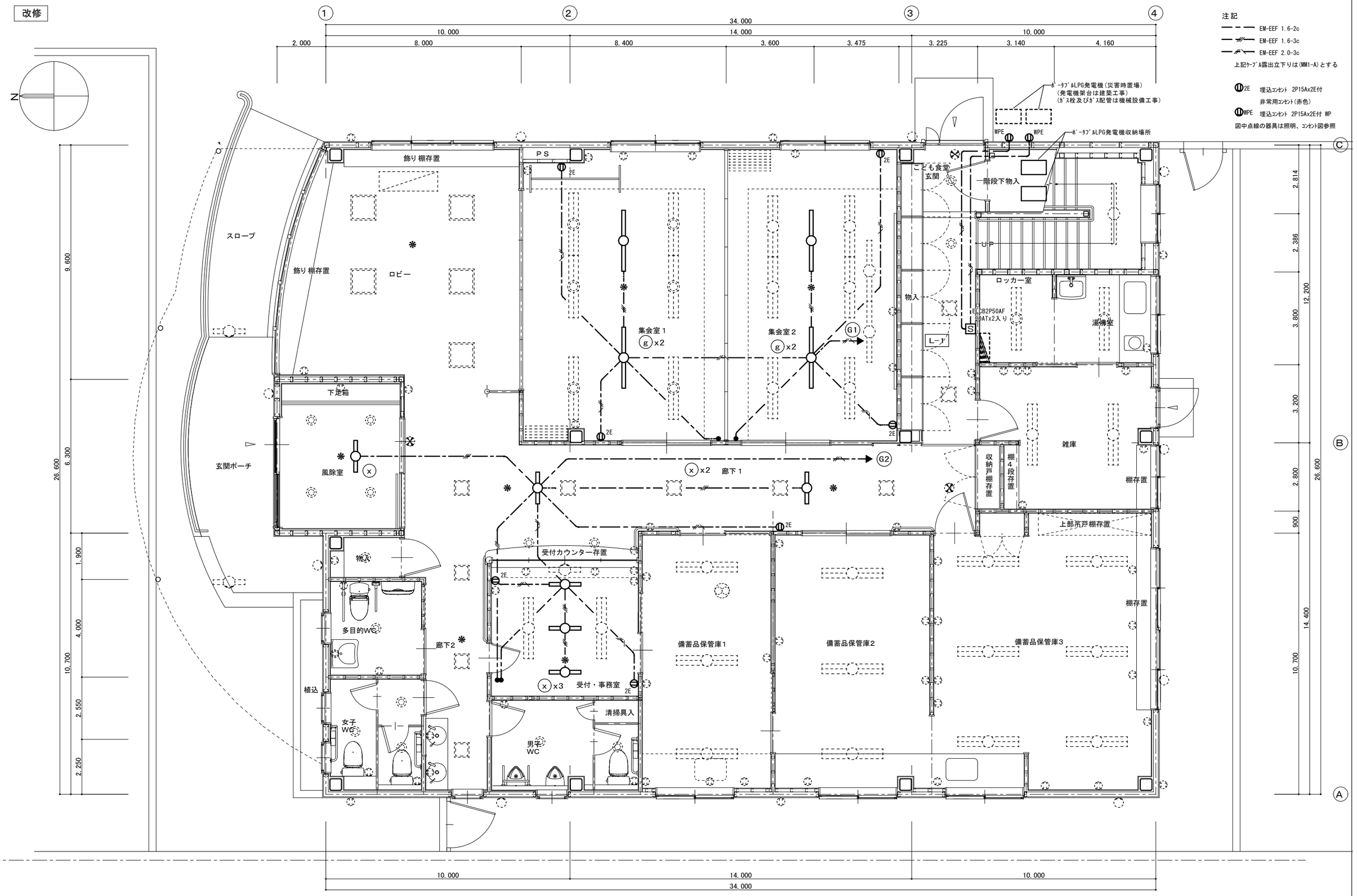
青島彰一級建築士事務所
〒４２６－００３７　静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号　ソフィアビル３Ｆ
PHONE 054-643-6118　FAX 054-643-4354
一級建築士登録　第１１８１２４号　青島　彰
一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号

訂正	
＊	＊

Number in set

Ｅ－27

改修



Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 甲斐裕士	青島彰一級建築士事務所	訂正	Number in set
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	改修１階発電設備図	1：50	Checked by	〒４２６－００３７ 静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号 ソフィアビル３Ｆ	* *	Ｅ－28
				Approved by 青島 彰	PHONE 054-643-6118 FAX 054-643-4354		
				Date *	一級建築士登録 第１１８１２４号 青島 彰		
					一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号		

機械設備工事特記仕様書

Ⅰ　工事概要

1　建設工事名

高洲地区コミュニティ施設改修工事

2　建設工事場所

藤枝市高洲　地内

3　建物概要

建物（棟）名称	構造	階数	延床面積（㎡）	備　考
ｺﾐｭﾆﾃｨｰｾﾝﾀｰ・子供食堂	S	2F	416.76 m2	

4　工事科目（⊙印のあるもの）

⊙空気調和設備，換気設備	⊙給湯設備
・排煙設備	・消火設備
⊙衛生器具設備	⊙ガス設備
⊙屋内給水設備	・浄化槽設備
⊙屋外給水設備	・さく井設備
⊙屋内排水設備	⊙撤去工事
⊙屋外排水設備	・

Ⅱ　仕様

1　特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、下記の国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の仕様書令和４年版による。

⊙公共建築工事標準仕様書（建築工事編）　⊙公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）
⊙公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）⊙公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）
⊙公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）⊙公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）
・建築物解体工事共通仕様書

2　標準図は以下の令和４年版による。

⊙建築工事標準詳細図
⊙公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）
⊙公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）

3　設計図書に明記がない場合、又は相違がある場合は、原則として監督職員の指示によるほか、次の優先順位により判定する。

(1) 質問回答書((2)～(5)に対するもの)　(2) 現場説明書　(3) 特記仕様書
(4) 図面　(5) 標準仕様書

4　特記仕様

(1) 項目は全て適用する。
(2) 特記事項のうち選択する事項は、⊙ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印のない場合は、※印を適用する。　⊙ 印と ⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。

科目	項目	特記事項
一般事項	①法令その他	この工事は、工事に関係する法令、条例及び規定等に基づいて施工する。 官公署の検査を必要とする工事にあっては、工事完成時までに検査を受け検査済証等の交付を受ける。
	②工事実績情報の登録	受注時又は契約変更時に工事請負代金額500万円以上の工事について、工事実績情報ｻｰﾋﾞｽ(CORINS)に10営業日以内に登録すること。また、契約変更により工事請負代金額が500万円未満になった場合は、すみやかに契約変更前の工事登録を削除すること。なお、契約金額の変更登録は完成時のみとする。
	③工事の一時中止	静岡県建設工事請負契約約款第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画書（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。 なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。 また、工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。
	④施工図等の権利	施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。
	⑤工事写真	営繕工事写真撮影要領令和３年版及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「営繕工事写真撮影要領(平成28年版)による工事写真撮影ガイドブック機械設備工事編 平成30年版」によるほか、監督職員の指示により撮影する。
	⑥監理事務所	※ 設けない ・ 設ける（・既存建物内の一部を使用する ・構内に新設する）
	⑦工事用水電力等	本工事に必要な工事用電力・水等は受注者の負担とする。
	8 電気保安技術者	※ 要　・ 不要
	⑨工事用仮設物	敷地内につくることが　※ できる　・ できない
	10 発生材の処理	(1) 引渡しを要するもの　（・　・　） (2) 特別管理産業廃棄物　（・　・　） (3) 再資源化を図るもの　（・ 塩ビ管　・ 塩ビライニング鋼管） （・　・　）
		撤去する配管、ダクト等の保温は分離する。引渡しを要する配管、ダクト等の保温は分離する。 配管、ダクトの支持金物、吊りボルト等は本工事にて撤去する。
	⑪特定建設資材の再資源化等	「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号)の通知の有無 ・通知を要しない（対象工事でない）　⊙通知を要する（対象工事である） 対象建設工事の場合は、分別解体等、特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う。 (1)分別解体の方法

工程	作業内容	分別解体の方法
・新築工事等	建築設備工事 ※有	※手作業 ・手作業・機械作業併用

(2)特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等をする施設

特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等をする施設名称	所在地
・コンクリート	・	・
・コンクリート及び鉄から成る建設資材	・	・
・木材	・	・
・アスファルト・コンクリート	・	・

注)(1)、(2)については積算上の条件明示であり、処理施設等を指定するものではない。
受注者の提示する分別解体の方法、施設等と異なる場合においても、設計変更の対象としない。

⑫産業廃棄物管理票　(財)日本産業廃棄物処理振興ｾﾝﾀｰ(http://www.jwnet.or.jp)が運営する「情報処理ｾﾝﾀｰ」への登録（電子ﾏﾆﾌｪｽﾄ）により行うこと。これにより難い場合は監督職員と協議する。

⑬建設副産物情報交換システム　本工事の情報を「建設副産物情報交換システム（ＣＯＢＲＩＳ）」へ登録するものとし、総合施工計画書作成時、工事完了時及び登録情報に変更が生じた場合には、それぞれ速やかにデータ入力を行う。
また、同システムにより、工事着手時に再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書、及び建設副産物情報交換システム工事登録証明書を、工事完了時に同計画書の実施報告書（書式は同一）を作成し、監督職員に提出する。

⑭環境性能等　使用する機材はトップランナー基準に適合したものであること。

⑮使用機材の選定　工事に使用する機材は、その工事の着手前に、「使用材料（機器）報告書」を監督職員に提出して承諾を受ける。

16 地場産品　静岡県中小企業の受注者機会の増大による地域経済の活性化に関する条例に基づき、地場産品の使用促進を図ることで、地域経済の活性化に寄与することを目的とする。受注者は工事に使用する建設資材等について、契約図書に規定する品質が規格値を満足した地場産品の優先使用に努めること。
「地場産品」とは「県産木材」及び「県産品」をいう。「県産木材」とは「静岡県産材証明制度要綱」第２条に掲げるものをいう。「県産品」とは建設資材又は製品等で、県内で最終工程が施されたものをいう。

⑰機材（工事材料）の検査等　使用する機材について、自主検査記録（任意様式）を作成すること。
ただし、別表１に掲げる機材については監督職員の検査を受ける。
なお、監督職員の検査の結果、合格した機材と同じ種別の機材は以後原則として抽出検査とする。
また、製造工場等における材料検査を行う工事材料は監督職員の指示による。

⑱技能士　⊙配管施工（建築配管作業）　・建築板金施工（ダクト板金作業）
⊙熱絶縁施工（保温保冷工事作業）
・さく井施工（ﾊﾟｰｶｯｼｮﾝ式さく井工事作業又はﾛｰﾀﾘｰ式さく井工事作業）
・冷凍空気調和機器施工(冷凍空気調和機器施工作業)
技能士は一級技能士の資格を有する者とする。

⑲排出ガス対策等　使用する建設機械は排出ｶﾞｽ対策及び低騒音型とする。

⑳検査　中間検査　・対象工事（実施は中間検査実施基準による）　⊙対象外工事
工事施工途中における技術検査の実施回数等は監督職員の指示による。

㉑完成図書　現場説明書による。

㉒電子納品　電子納品特記仕様書による。
貸与する設計図データの有無（　※　有り　・　無し　）
貸与するＣＡＤデータは当該工事のために必要な施工図及び完成図の作成の範囲で使用できる。

㉓公共事業労務費調査に対する協力　受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、以下の各号に掲げる協力をしなければならない。
また、工期経過後においても同様とする。
（１）調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をしなければならない。
（２）調査票等を提出した事業所を発注者が、事後に訪問して行う調査・指導の対象になった場合には、その実施に協力しなければならない。
（３）正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い就業規則を作成すると共に賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければならない。
（４）対象工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請負工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）が前号と同様の義務を負う旨を定めなければならない。

㉔石綿含有建材の事前調査　特定建築物石綿含有建材調査者が石綿含有建材の事前調査を行う。
なお、建築物の改修工事で請負代金額の合計額が100万円以上であるものについては、原則として「石綿事前調査結果報告システム」を用いて調査結果の報告を行い、内容を監督職員へ提出すること。
※石綿事前調査結果報告システムには「gBizID（https://gbiz-id.go.jp）」への登録が必要となる。

25 地下埋設物の事故防止　「静岡県地下埋設物の事故防止マニュアル」に基づき、事故防止対策を行うこと。

総合試運転調整等	① 総合試運転調整	※行わない　・行う（行う場合は下記４項目を選択）
	風量調整	※行う　⊙行わない
	水量調整	※行う　⊙行わない
	室内外空気の温湿度の測定	※行う　・行わない
	室内気流及びじんあいの測定	・行う　※行わない
	② 騒音の測定	⊙行う　※行わない
	3　飲用水の水質の測定	※行わない　・行う（行う場合は下記３項目を選択） ・水道法施行規則第56条第2項による検査項目（臭気、味、色、色度、濁度、残留塩素） ・建築物における衛生的環境の確保に関する法律第4条第3項による28項目及び残留塩素 ・水道法施行規則第10条による全項目及び残留塩素
	4　雑用水の水質の測定	・行う（行う場合は下記による）　※行わない ・建築物における衛生的環境の確保に関する法律に規定される建築物環境衛生管理基準による
	5　化学物質の濃度測定	※ 不要　・ 要 測定時期、測定対象化学物質、測定方法、測定対象室、測定箇所数等については、監督職員の指示による。

共通工事	①屋外支持金物	配管及びダクトの屋外支持金物 ※ ステンレス製　・ 亜鉛メッキ　・
	②溶接部の検査	標準仕様書第2編2.5.17の溶接部の非破壊検査の適用 ・ 要（　）　※ 不要 なお、放射線透過検査の判定基準は監督職員との協議による。
	③地中埋設標	※ 設ける　・ 設けない
	④埋設標識テープ	※ 設ける　・ 設けない
	⑤管の防食	保温を施さない鋼管類でコンクリート埋込み部及びコンクリート壁等の貫通部は、防食用ビニールテープ巻き1/2重ね1回巻きとする。 ただし外面を樹脂等で被覆された鋼管は除く。
	⑥建物導入部配管	変位吸収方法について図面に特記なき場合は、スリークッションにより施工する。（可とう性を有する管種は除く） ポリエチレン管の異種管接続部における点検用桝（※設ける　・設けない）
	⑦弁類の開閉表示	配管に設ける弁類には、開閉表示を（ ※ 行う　・ 行わない） （土中埋設の弁類も同様）
	⑧保温工事	図面に特記のない場合の保温材は下記によるほか標準仕様書第2編による。 一　般　※ グラスウール 屋外、多湿箇所(給水管)※ ポリスチレンフォーム 〃　(給水管以外)※ グラスウール　・ ロックウール 防火区画貫通部　※ ロックウール 高温部　※ ロックウール 図面に特記のない場合の保温箇所は下記によるほか標準仕様書第2編による。 ・保温要（　・消火管　・　）
	⑨亜鉛めっき以外の鉄面のさび止め塗装	※鉛・クロムフリーさび止めペイント(JIS K 5674) ・
	10 養生	養生範囲（　）養生方法（　）
	⑪足場その他	※別契約の関係工事で定置したものは無償で使用できる。 ・本工事で設置する。 内部足場の種別　※脚立、足場板等　・ 外部足場の種別　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・Ｅ種 Ａ種 ： 施工箇所面に枠組足場を設ける Ｂ種 ： 施工箇所面にくさび緊結式足場を設ける Ｃ種 ： 施工箇所面に単管本足場を設ける Ｄ種 ： 仮設ゴンドラを使用する Ｅ種 ： 移動式足場を使用する 設置においては、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月)における手すり据置方式又は手すり先行専用足場方式に基づき設置すること。 外部足場の防護シートによる養生 （ ※養生シート(※Ⅰ類　・Ⅱ類)　・養生ネット　・ネット状養生シート(・Ⅰ類　・Ⅱ類)） （・防音シート　・防音パネル　・　・　・　）
	⑫埋戻し土及び盛土	※ 根切り土の中の良質土(ただし、ｺﾝｸﾘｰﾄ管以外の管の周囲は山砂の類) ・ 山砂の類
	⑬残土処分	※構内敷きならし ⊙構外搬出　片道運搬距離（　）km、DID区間（　・ 有　・ 無　） 場外指定場所に搬出し、搬出後、監督職員へ搬出場所の受入を証明する資料を提出する。 搬出場所の名称及び所在地(　) 受入条件（　） 仮置場（　） 受注者の提示する運搬距離、処分費及び整地費と異なる場合においても設計変更の対象としない。 ・構内指示の場所にたい積
	14 配管施工時の土留め	土留め工法は、(※　軽量鋼矢板先行工法　・　)とする。
	15 コンクリート圧縮強度試験	現場での試験（ ※　行わない　・行う ） 工場での試験成績書の提出（ ※　求める　・求めない ）
	16 関連する工事との施工区分	図面に特記なき場合は「工事区分表」による。ただし、これにより難い場合は監督職員と協議する。
	⑰配管埋設深さ	一般敷地内では管の上端より(※300mm　・　mm)以上とし、構内道路は(※600mm　・　mm)以上とする。
	18 凍結深度	凍結深度(　mm)以上とする。
	⑲非破壊検査	改修工事ではつり作業を行う場合の、非破壊検査による埋設物の事前調査を ⊙ 行う（床　※ 放射線透過検査　・ レーダー探査 壁　※ レーダー探査　・ 放射線透過検査）　・ 行わない
	⑳既存インサート及びアンカー	原則として、再使用しない。やむを得ず再使用する場合は、引張強度の確認試験を行う。
	21 建築材料等	本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の（１）から（４）を満たすものとする。 （１）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗料は、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料を使用する。 （２）接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 （３）接着剤、可塑剤（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシ**ル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。** （４）（１）の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
	22 ステンレス鋼管継手	呼び径60SU以下のステンレス鋼管の継手は下記による。 メカニカル形管継手（ ※ 拡管式　・ プレス式　・　）
	23 鋼管用伸縮管継手	※ ベローズ型　・ スリーブ型
	㉔絶縁継手・絶縁フランジ	異種金属間の接合箇所に取り付ける。
	25 ポンプ	汚物用水中モーターポンプ電動機の極数は、（ ※ 4極・ 6極 ）とする。
	㉖電線保護物類	(1)合成樹脂製可とう電線管(PF管)及び付属品 ※タイプ25を使用するものとする。 (2)金属製露出管路 次の管路は塗装を行う。溶融亜鉛めっき加工された電線管を除く。 （※屋外　※機械室等を除く屋内の見えがかり部　・　）

	27 水槽類	(3)ケーブル配線の保護管は、標準仕様書(電気設備工事編)金属管配線、合成樹脂管配線の項による。 (4) 壁面配管等で人が容易に触れるおそれのある部分（２ｍ以下）の配管支持材には保護キャップ等の安全措置を施すものとする。 水槽類のオーバーフロー管及びドレン管は配管用炭素鋼鋼管（白）とする。
	28 耐震施工	設備機器の設計用水平地震力は、下記に示す設計用水平震度に、機器の質量を乗じたものとする。 設計用鉛直震度は、設計用水平震度の1/2とする。

設置場所	設備耐震クラス分類		
	Ｓクラス	Ａクラス	Ｂクラス
上層階・屋上階及び塔屋	2.0	1.5	1.2
中間階	1.5	1.0	0.72
地下階及び１階	1.0	0.6	0.48
地下階及び１階に設置する水槽	1.5	1.0	0.72

＊防振支持する場合は、設備機器の応答倍率を考慮し、Ｂクラスのときは Ａクラスを、Ａクラスのときは Ｓクラスを適用する。

本施設は（ ・防災上重要な機能を必要とする防災拠点等・ 防災上重要な施設・ 一般の施設 ）とする。

機器等の設備耐震クラスの分類は、次による。

クラス	防災拠点等及び防災上重要な施設	一般の施設
Ｓクラス	・ タンク類 ・ 防災機器 ・ ポンプ類 ・ 無線室等の空調機類 ・	・ 防災機器 ・ ・
Ａクラス	・ 熱源機器 （・ ボイラー ・ 冷凍機 ・ 冷温水機 ・） ・ 冷却塔 ・ 空調機 ・ ガス機器 ・ 配管・ダクト ・	・ タンク類 ・ ポンプ類 ・ ガス機器 ・ ・
Ｂクラス	Ｓ、Ａクラス以外の機器等	Ｓ、Ａクラス以外の機器等

設備機器・配管等の支持、固定は別表２による。
ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議する。
※配管、ダクト、機器等の天井吊下げ用として金属拡張アンカーを用いる場合には、締付け方式のアンカーを使用すること。

空気調和設備・換気設備	①設計条件	

	屋外		屋内（調整目標値）	
	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）
夏期	33.9 ℃	60　%	26 ℃	45 %
冬期	3.5　℃	36.9 %	22 ℃	40 %

2 ばい煙濃度計	※ 設ける(図示による)　・設けない
3 ばいじん量測定口	※ 設ける　・設けない (口径80ｍｍ以上でフランジ付とし、機器ごとに煙道の直線部に設ける。)
4 チャンバー	(1) 内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 (2) 空気調和機の吸込側及び吐出側に接続するチャンバーの板厚は、1.2mm以上とする。なお、製作及び取付は標準仕様書のアングルフランジ工法ダクトの当該事項による。図示されたチャンバーには、450×600の点検口を設ける。 (3) 外壁に面するガラリに直接取付けるチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。
⑤吹出口・吸込口	※ アルミニウム製　・ 鋼製
6 ダンパー	(1) 防煙ダンパー 操作方式　瞬時通電式又は電動式（DC24V 0.7A以下） 復帰方式　・ 遠隔 定格入力は DC24V 0.7A以下とする。 (2) ピストンダンパー 復帰方式　・ 遠隔　・
⑦矩形ダクト	低圧ダクト　・ コーナーボルト工法 （・ 共板フランジ工法　・ スライドオンフランジ工法） ・ アングルフランジ工法 コーナーボルト工法は長辺の長さ1,500mm以下のダクトに適用する。
⑧冷媒ガス	冷媒ガスはメーカー標準とする。
⑨配管材料	冷媒管　※ 冷媒用断熱材被覆銅管 ・ 銅管 冷温水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 冷却水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VA） ・ 排水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ⊙ 硬質塩化ビニル管（VP） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP） ・ 排水･通気用耐火二層管（屋内に限る） 油管　※ 配管用炭素鋼鋼管（黒） 蒸気管　※ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 ・ ブライン管　※ 配管用炭素鋼鋼管（黒）
⑩冷媒管保温外装	屋内露出　※ 保温化粧ケース　・ 屋外露出　・ 保温化粧ケース　※ ステンレス鋼板　・ なお、保温化粧ケースは塩化ビニル樹脂製とする。

青島彰一級建築士事務所		検図 ・ 青島 ・	作図 ・ 横山 ・
藤枝市都市建設部建築住宅課			
高洲地区コミュニティ施設改修工事			図番 M－０１
日付 R07.3.14	脇尺 N.S	図名 機械設備工事特記仕様書(R6.4) 1/2	

機械設備工事特記仕様書

	⑪ 機器類の落下防止措置	吊り機器類の振れ止めは、「防災拠点等における設備地震対策ガイドライン（静岡県）」による。 吊りボルトの規定長さが0.4m未満の場合は、設置状況に応じ適切な振れ止めを行うこと。
	⑫ パネル落下防止措置	天井カセット型空調屋内機にはパネル落下防止措置を行う。 「防災拠点等における設備地震対策ガイドライン（静岡県）」による パネル落下防止措置を行う。
	⑬ 既存ダクトの再利用	改修標準仕様書第３編２．２．７「既設ダクトの再利用」による。 ダクト内清掃　※ 行わない　・ 行う
	⑭ ダクト保温の範囲	外気取入ダクト（ＯＡ）：保温する 外気ダクト（ＥＡ）：外壁から１ｍ保温する 給気ダクト（ＳＡ）：保温する 還気ダクト（ＲＡ）：保温しない 排煙ダクト（ＳＭ）：保温しない
排煙設備	1 ダクト	※ 亜鉛鉄板　・ 普通鋼板（板厚　※ 1.6 mm　・　　mm）
	2 排煙口の形式	・ 天井取付　（・ スリット形　・ パネル形　）
		・ 壁取付　（・ スリット形　・　）
	3 排煙口開放装置	・ 電気式（ 遠隔復帰　・ 要　・ 不要 ）
		・ ワイヤー式
	4 排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書2016年版（(一財)日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。
衛生器具設備	1 掃除流し	排水口形式　※ 目皿　・ 鎖付き共栓
	② 洗浄水量	改修工事における大便器の洗浄水量の調整 調整を（※行う　・行わない） 大便器の洗浄水量の調整は次のとおりとする。 新設の場合:6.5リットル、既存利用の場合:便器の仕様に合わせる
屋内給水設備	① 配管材料	屋内一般　※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VB） ・ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管（PB） 地中埋設　※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VD） ・ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管（PD）
	② 配管接合	ねじ接合　※ 100A 以下　・　A 以下 フランジ接合　※ 125A 以上　・　A 以上　（FVB、FVDとする）
屋外給水設備	① 上水道加入金	※ 不要　・ 要（※ 別途　・ 本工事）
	② 量水器	※ 貸与品　⊙ 本工事（水道事業者の認定品）
	③ 量水器桝	※ 水道事業者の規格　・ 標準図　形
	④ 配管材料	地中埋設　※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VD）（40A 以下） ・ 水道用ポリエチレン二層管（40A 以下） ※ 水道配水用ポリエチレン管（50A 以上） ⊙ 耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HIVP） 架空　※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VB） ・
	⑤ 配管接合	ねじ接合　※ 100A 以下　・　A 以下 フランジ接合　※ 125A 以上　・　A 以上　（FVB、FVDとする） 水道配水用ポリエチレン管は電気融着接合とする
	6 緊急遮断弁装置	駆動方式　※電気式　・機械式
	⑦ 水圧試験	水道配水用ポリエチレン管は、配水用ポリエチレンパイプシステム協会が推奨する試験方法による。
屋内排水設備	① 配管材料	雑排水　※ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP） ⊙ 硬質塩化ビニル管（VP） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ⊙ 排水・通気用耐火二層管 汚水　※ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP） ⊙ 硬質塩化ビニル管(VP) ⊙ 排水・通気用耐火二層管 通気　※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP） ⊙ 硬質塩化ビニル管(VP) ⊙ 排水・通気用耐火二層管
	② 配管施工	(1)排水横主管に設ける90°曲管は原則として大曲管とする。 (2)排水縦管の下部曲がり管及び排水横枝管の水平曲がり管は大曲管とする。
	③ 試験	満水試験　⊙ 行わない　※ 行う 煙試験　※ 行わない　・ 行う 排水の通水試験は、桝への放流を確認し、報告書を作成すること。 （空調ドレン排水を含む）
	④ その他	流しの床上部分の配管を硬質塩化ビニル管（VP）とする場合は監督職員と協議する。（フレキシブルジョイントによる接続は不可） 耐火二層管は国土交通大臣認定及び（一財）日本消防設備安全センター性能評定に基づき、伸縮継手を設置すること。
屋外排水設備	① 放流納付金	※ 不要　・ 要（・ 別途工事　・ 本工事）
	② 配管材料	※ 硬質塩化ビニル管（VU） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（RS-VU）
	3 桝類	マンホールは組立式とする。蓋には汚水、雨水等の文字を入れる。 蓋の鎖　鉄製蓋　※ 要　・ 不要 塩化ビニル製蓋　・ 要　※ 不要
	4 桝の深さ	※ 排水を接続する市町の指針、基準等の規定による。 ・ 以下による。（排水を接続する市町の指針、基準等がない場合） 汚水桝　小口径桝(150mm(流入口径75mm以下に限る))：深さ1,000mm以下 小口径桝(200mm)：深さ1,500mm以下 小口径桝(300mm)：深さ2,500mm以下 雨水桝(ﾊﾞｽｹｯﾄ付)　小口径桝(150mm)：深さ1,200mm以下 小口径桝(200mm)：深さ1,500mm以下 小口径桝(300mm)：深さ2,500mm以下
給湯設備	① 配管材料	※ 一般配管用ステンレス鋼管 ・ 銅管（硬質Ｍ） ⊙ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 ・ 保温付被覆銅管（保温14mm以上） ・ 耐熱性硬質塩化ビニル管（HTVP）
	② 配管保温外装	屋内露出　※ 合成樹脂製カバー 屋外露出　・ 合成樹脂製カバー ※ ステンレス鋼板
消火設備	1 配管材料	屋内一般　※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（STPG370 白管 sch40） ・ 原則としてハウジング形継手は使用しない。 地中埋設　※ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（VS） ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（STPG370VS 白管 sch40） ・
	2 屋内消火栓箱	※ 製造者標準仕様　・ 標準図（Ｐ－　　）による。
ガス設備	① ガスの種類	⊙ 都市ガス　11,000Kcal/nm3 ⊙ 液化石油ガス　24,000Kcal/nm3（配管のみ）
	② 配管材料	屋内一般　※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 地中埋設　※ ポリエチレン被覆鋼管（PLP･PLS） ・ ガス用ポリエチレン管（PE）
	③ ガスメーター	※ 貸与品　・ 本工事
	4 ガス漏れ警報機	外部出力端子（※ 有　・ 無 ）
	5 緊急遮断弁	・ 設ける　・ 設けない
	⑥ その他	ガスボンベ転倒防止の鎖は本工事とする。
浄化槽設備	1 処理方式	合併処理　・ 建築基準法施行令第35条の認定品による ・ 建設省告示第1292号による。第（　）（　　方式）
	2 処理能力	処理対象人員　人 処理水量　m3/日
	3 本体構造	・ コンクリート製　・ ＦＲＰ製
	4 放流水質	BOD　ppm 以下
	5 配管材料	・ 一般配管用ステンレス鋼管（　　） ・ 耐熱性硬質塩化ビニル管　（　　） ・ 配管用炭素鋼鋼管(白)　（　　） ・
	6 土留め工法	・
さく井設備	1 種別	・ 浅井戸　・深井戸
	2 掘削方式	・ ロータリー式　・ パーカッション式　・ ダウンザホールハンマ式
	3 ケーシング	※ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・
	4 ストレーナー	※ ステンレス製巻線型　・
	5 電気検層	※ 連続測定　・ スポット測定
	6 水質検査	※ 行う（原水全項目）　・ 行わない
撤去工事	① 冷媒（フロン系）の回収	※ 無　⊙ 有 （１）冷媒の回収にあたっては、「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）」に従って行うこと。 また、法に規定するものの他、次の書類を監督職員に提出すること。 （ア）第一種フロン類充填回収業者登録通知書の写し （イ）フロン類の処理に関する証明書（充填証明書、引取証明書等） （２）行程管理票の様式は、監督職員の指示による。
	② 家庭用エアコンの処分	家庭用のエアコン等で「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」の対象となっているものは、本工事では撤去までとし、処分等については、施設管理者へ引き渡しを行う。
	3 吸収冷凍機、吸収冷温水機等の臭化リチウム水溶液等	※ 無　・ 有 関係法令に従い、専門業者により適正に処理すること。
	4 石綿含有建材の除去工事	事前調査　※ 行う　・ 行わない 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している建築材料等の使用の有無について調査する。 分析による石綿含有建材の調査　※ 行わない　・ 行う（ 1 箇所） 測定箇所等は監督職員の指示による。 石綿粉じん濃度測定　※ 行わない　・ 行う（　　箇所） 測定箇所等は監督職員の指示による。 石綿作業主任者 石綿作業主任者技能講習修了者又は平成18年3月以前の特定化学物質作業主任者の有資格者の内から選任し、法令に基づき、作業の方法、労働者の指導等必要な措置を行うこと。 石綿含有品　・ フランジ用ガスケット（ ・ 配管　・ ダクト） ・ 配管用成形保温材 ・ 天井材 ・ 外壁（　・塗材　・スレート　・　　） 撤去部にアスベストを含む材料が使用されている場合は、適切に処理を行い、必要に応じて官公庁等への届出を行うこと。 石綿含有塗材の塗布された外壁及び石綿含有スレート波板等の外壁面に対して、足場及び配管等の支持のため、アンカーを打設する際にも、石綿作業主任者を配置し、外壁面に対して湿潤状態とし、集塵機能付き電動工具を使用する等、飛散防止措置を講ずること。
その他		1 ステンレス材を酸洗いした場合、その廃液は産業廃棄物として適切に処理を行なうこと。 2 舗装版切断時の濁水は産業廃棄物として適切に処理を行うこと。

別表１

名　称
配管類
・給水管
・排水管
・冷温水管
・冷媒管
・
弁類
・仕切弁
・バタフライ弁
・逆止弁
・緊急遮断弁
・
ポンプ類
・給水用ポンプ
・空調用ポンプ
・消火ポンプ
・
・
タンク類
・受水槽
・高架水槽
・貯湯槽
・膨張水槽
・
空気調和設備工事用機材
⊙パッケージエアコン
・空気調和機（AHU）
・冷却塔
・ヘッダー
・
自動制御機器類
・中央監視盤
・リモート盤
・
・
・
給排水衛生設備工事用機材
⊙衛生器具
・水栓
・組立てマンホール
・
・
浄化槽
・ＦＲＰ浄化槽
・動力盤、制御盤
・ブロワー
・
・
さく井
・スクリーン
・
・
・
・
その他
・スリーブ（つば付鋼管）
・
・
・
・

⊙ 印の付いたものを適用する。

別表２
設備機器・配管の支持、固定は、以下の図書を適用する。
ガイドライン：静岡県防災拠点等における設備地震対策ガイドライン（平成２５年度）
センター指針：建築設備耐震設計・施工指針（2014年版）

施設分類	設備機器・配管等の支持、固定	左記のうち、横引き配管などの支持
防災上重要な機能を必要とする防災拠点等	ガイドライン＊	ガイドライン＊
防災上重要な施設	ガイドライン＊	標準仕様書
一般の施設	標準仕様書	標準仕様書

＊ガイドラインに記載のない内容は、センター指針を適用する。

青島彰一級建築士事務所		検図：青島	作図：横山
藤枝市都市建設部建築住宅課			
高洲地区コミュニティ施設改修工事			図番 M－０２
日付 R07.3.14	縮尺 N.S	図名 機械設備工事特記仕様書（R6.4） 2/2	

建物法規関連概要

（凡例 無：規制なし=適用外 有：規制有り=適用）

■（建築基準法以外の規制） ・無 ・有 （ ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ法 ）
（ 省ｴﾈ法 ）
（ 中高層建築物条例 ）
（ ）

■（建設場所の特殊性からの規制） ・無 ・有 （・航空進入規制・重要電波走路・その他 ）
（ ）

■（建築基準法関連）
1．都、県、市町村の条例規制 無 ・有 （ 静岡県条例 ）
（ ）
（ ）
（ ）

2．構造規制 ・無 ・耐火建築物・準耐火（・イ・ロ）・防火構造
・無窓の居室構造規制

3．高さ規制（隣地斜線制限 以外） ・無 ・有 （ 高度地域規制 ・１種・２種・３種・４種）
（ 最高高さ規制・無 ・有 10ｍ ）

4．延焼の恐れのある部分 ・無 ・有 （ 北側・ 側・ 側 ）

5．採光面積規制（該当建物用途 ） ・用途 （ 保育所 ）
無 ・有 （ ）

6．換気設備規制 無 ・有 （ ）
（開口面積 居室面接の1/20 以外） （ ）

7．階段規制の別 ・直通階段 ・避難階段 ・特別避難階段

8．廊下の幅員 ・適用外・有 （片側居室廊下 ・1.2ｍ ・1.8ｍ）
（両側居室廊下 ・1.6ｍ ・2.3ｍ）

9．階段踊り場の幅、蹴上げ、踏面、規制 ・ （140cm以上/16cm以下/26cm以上 ）
・ （140cm以上/18cm以下/26cm以上 ）
・ （120cm以上/20cm以下/24cm以上 ）
・ （ 75cm以上/22cm以下/21cm以上 ）
（ ）

10．敷地内通路 ・適用外・適用 （1.5m ）

11．建物周囲の通路 ・適用外・適用 （・隣地境界線側1.5m・建物周囲3.0m）

12．防火区域規制 ・無 ・有 （・1500㎡・3000㎡・竪穴区画・その他）

13.排煙設備規制 ・無 ・有 （・自然排煙 ・機械排煙 ・併用）

14.非常照明設備規制 ・無 ・有

15.非常用進入口規制 ・無 ・有 （・バルコニー設置 ・代替窓 ）

16.内装制限の適用 ・無 ・有 （該当項目：・用途上・規模上・排煙無窓居室）

17.高さ31mを超える建築物制限 ・適用外・有 （・非常用ELV設置 ・その他 ）
（ ）
（ ）

■（消防法関連）
1．消防法上の用途 （１）項のイ～（１７）項の判定 → 令別表第 １５項

2．消防法上の有窓階、無窓階の判定 ・有窓階・無窓階 （ ２階）

3．消防設備の設置判定
・防火管理者 ・要 ・不要 判定基準（ 法８条 ）
・防炎防火対象物 ・要 ・不要 判定基準（ 法８条の３ ）
・消火器 ・要 ・不要 判定基準（ 令10条 ）
・屋内消火栓設備 ・要 ・不要 判定基準（ 令11条 ）
・スプリンクラー設備 ・要 ・不要 判定基準（ 令12条 ）
・消火設備（・水・泡・酸・ハ・粉） ・要 ・不要 判定基準（ 令13条～令18条 ）
・屋外消火栓設備 ・要 ・不要 判定基準（ 令19条 ）
・動力消防ポンプ設備 ・要 ・不要 判定基準（ 令20条 ）
・自動火災報知設備 ・要 ・不要 判定基準（ 令21条 ）
・ガス漏れ火災警報設備 ・要 ・不要 判定基準（ 令21条の２ ）
・漏電火災警備設備 ・要 ・不要 判定基準（ 令22条 ）
・火災報知設備 ・要 ・不要 判定基準（ 令23条 ）
・非常警報設備 ・要 ・不要 判定基準（ 令24条 ）
・避難器具 ・要 ・不要 判定基準（ 令25条 ）
・誘導灯 ・要 ・不要 判定基準（ 令26条 ）
・消防用水 ・要 ・不要 判定基準（ 令27条 ）
・排煙設備 ・要 ・不要 判定基準（ 令28条 ）
・連結散水設備 ・要 ・不要 判定基準（ 令28条の２ ）
・連結送水栓 ・要 ・不要 判定基準（ 令29条 ）
・非常コンセント設備 ・要 ・不要 判定基準（ 令29条の２ ）
・消防検査対象物 ・要 ・不要 判定基準（ 法17条の３の２ ）
・点検、報告対象物 ・要 ・不要 判定基準（ 法８条の２の２ ）
・その他特殊設備 （ ）
（ ）

機械設備工事関連 共通事項

○ 建築設備の支持構造部及び緊結金物で腐食の恐れのある部分には平12建告1388号第1に従い防腐措置を講じる
（令129条の2の4第2号）
○ 配管設備の構造は平12建告1388号第4の規定に従う（令129条2の4第2号）
○ 屋上から突出する水槽・煙突・冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部分又は建築物の構造耐力上
主要な部分に緊結する
○ 建築物に設ける給水、排水その他に配管設備は以下の仕様とする
①風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の振動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とする
②建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等、有効な管の
破損防止のための措置を講ずる
③管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずる恐れがある場合においては、伸縮継ぎ手又は可とう
継ぎ手を設ける等有効は損傷防止のための措置を講ずる
④管を支持し又は固定する場合において、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の振動及び
衝撃の緩和のための措置を講ずる
○ 配管・風道が令112条15項に規定する防火区画及び令114条に規定する界壁、防火上主要な間仕切壁または隔壁を貫通
する場合には、ﾓﾙﾀﾙまたはﾛｯｸｳｰﾙを充填する（令112条16項、昭48建告2565号、昭49建告1579号、平12建告1376.1377号）
風道が前記区画貫通する場合には防火設備（防火ダンパー）を合わせて設置する（令112条16項、平12建告1376号）
なお東京都内においては、東京都条例8条区画に対応し、前記74条の処置を行う
なお静岡県内においては、静岡県条例25条の2に対応し、前記区画と同じ処置を行う
○ 裸火区画（他区画とも）の貫通ダクトには防火ダンパーを設置する
○ 防火ダンパーの構造方法は昭和48建告2565号に適合した物（認定品）とする
外復帰形FD丸：NBK-02-010 角：NBK-02-002 外復帰形SFVD丸：NBK-02-009 角：NBK-02-001
VC用FD：第01E6021号、第07E0002号
ｳｪｻﾞｰｶﾊﾞｰ用FD：第09EG366号、第03EG010号、第11EG373号、第11EG374号 ※認定番号は参考とする
○ 防火ダンパーの設置は平12建告1376号に適合して行う
○ 防火区画貫通のFD設置部分には点検口を設置とする。
○ 給水装置については水道法施行令5条、給水装置の構造及び材質の基準に関する省令の規定に従う
（水道法16条、給水装置の構造及び材質に関する省令）
○ 排水設備の構造は下水道法10条3項及び同法施行令8条の規定に従う
○ ガス及び換気設備は、ガス事業法施行規則108条の規定に従う
○ ガス設備は、ガス事業法施行規則40条の4の規定に従う
○ ガス設備は、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律38条の2の規定に従う
○ 火を使用する設備またはその使用に際し火災の発生の恐れのある設備の位置構造は火災予防条例の規定に従う
（消防法9条）
○ 消防用設備などは、消防法17条の規定に従い設置する（消防法施行令2章、消防法17条2項に基づく条例）
○ 冷媒・電力管用区画貫通処理部材は国土交通大臣認定品を使用する
床：PS060FL-0129 壁：PS060WL-0131 中空壁：PS060WL-0130 ※認定番号は参考とする
○ さや管工法用給水・給湯・電力配管用区画貫通処理部材は国土交通大臣認定品を使用する ※認定番号は参考とする
床：PS060FL-0073、-0586 ｽﾗﾌﾞ埋設：KK19-101（日本消防設備安全ｾﾝﾀｰ性能評定）
壁：PS060WL-0065、-0066、-0587 中空壁：PS060WL-0101
○ さや管工法用ガス配管用区画貫通処理部材は国土交通大臣認定品を使用する
壁：PS060WL-0622、-0623 ｽﾗﾌﾞ埋設：KK24-017（日本消防設備安全ｾﾝﾀｰ性能評定） ※認定番号は参考とする
○ 給水・排水工事については所轄官庁の規定に準拠し、指定工事店が施工する
○ ウォーターハンマー防止の処置は、減圧弁・水撃防止器を設置する事で行う事
○ 排水管の傾斜、管径は SHASE-S 206 の排水管選定線図、排水負荷単位法を使用し、それらを満足したもとする
（令129条2の5の3）
○ 排水トラップは汚水に含まれる汚物等が付着または沈殿しない措置を講じた器具とする
（令129条2の5の2、5、昭和50建告1597号）
○ 通気管の構造は、昭50建告1597号第2第五号に適合にしたものとする
○ 耐火二層管の構造（20～150A）は、国土交通大臣認定品を使用する
PS060FL-0454、PS060FL-0391、PS060WL-0534、PS060WL-0312 ※認定番号は参考とする
○ 貫通部ｽﾗﾌﾞ厚を100mm以上確保が必要な場合は、必要に応じてｽﾗﾌﾞ厚を確保する事
○ ガスを使用する設備へ接続するガス栓は、金属管、金属可とう管、金属入り強化ホースとねじ接合出来るものとし、
そのガス栓は過流出安全機構を有した物（ヒューズコック）とする（令129条2の5の1の8、昭和56年建告1099号）
○ ガス種類、建物用途に応じたガス漏れ警報設備を設ける、ただし必要のない場合はこれを省略出来る
（令129条2の5の1の8、昭和56年建告1099号）
○ 給湯設備を設置する場合は、設置・固定方法は設置場所と重量に応じた方法とする
（平12年度建設省告示第1388号）
○ 阻集器は、建告第1597号 第2項 第4号の構造に適合したものとする。
○ 水栓の開口部に講じた水の逆流防止のための措置として、水栓とあふれ面の吐水口空間(150)を確保する。

転倒防止措置（平12年度 建設省告示 第1388号、平成24年度 国土交通省告示 第1447号）

［一号］ 脚部だけを固定する場合

設置場所	質 量	アスペクト比	アンカーボルトの種類	本 数	機器番号
地階及び1階並びに敷地の部分	15kgを超え200kg以下	4.5以下	径が8mm以上であり、かつ埋込長さが35mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、引張耐力が2.8kN/本以上のもの	3本以上	
		6以下	径が6mm以上であり、かつ埋込長さが30mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、引張耐力が2.2kN/本以上のもの	4本以上	
	200kgを超え350kg以下	4以下	径が10mm以上であり、かつ埋込長さが40mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、引張耐力が3.6kN/本以上のもの	3本以上	
		5以下	径が6mm以上であり、かつ埋込長さが30mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、引張耐力が2.2kN/本以上のもの	4本以上	
	350kgを超え600kg以下	4以下	径が12mm以上であり、かつ埋込長さが50mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、引張耐力が5.8kN/本以上のもの	3本以上	
		5以下	径が10mm以上であり、かつ埋込長さが40mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、引張耐力が3.6kN/本以上のもの	4本以上	
中間階	15kgを超え200kg以下	4以下	径が10mm以上であり、かつ埋込長さが40mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、引張耐力が3.6kN/本以上のもの	3本以上	
		6以下	径が8mm以上であり、かつ埋込長さが35mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、引張耐力が2.8kN/本以上のもの	4本以上	
	200kgを超え350kg以下	4以下	径が12mm以上であり、かつ埋込長さが50mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、引張耐力が5.8kN/本以上のもの	3本以上	
		5以下	径が10mm以上であり、かつ埋込長さが40mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、引張耐力が3.6kN/本以上のもの	4本以上	
	350kgを超え600kg以下	3.5以下	径が16mm以上であり、かつ埋込長さが60mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、引張耐力が8.0kN/本以上のもの	3本以上	
		5以下	径が12mm以上であり、かつ埋込長さが50mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、引張耐力が5.8kN/本以上のもの	4本以上	
及び上層階屋上	15kgを超え200kg以下	6以下	径が12mm以上であり、かつ埋込長さが50mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、引張耐力が5.8kN/本以上のもの	4本以上	
	200kgを超え350kg以下	5以下	径が12mm以上であり、かつ埋込長さが50mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、引張耐力が5.8kN/本以上のもの	4本以上	
	350kgを超え600kg以下	5以下	径が10mm以上であり、かつ埋込長さが100mm以上であるJ形埋込アンカー又は、引張耐力が9.0kN/本以上のもの	4本以上	

※アスペクト比とは、給湯設備の幅または奥行の小さい方に対する高さの比をいう

［二号］ 脚部と上部を固定する場合

設置場所	質 量	上部締結方法	本 数	底部固定仕様	機器番号
地階及び1階並びに敷地の部分	15kgを超え60kg以下	径が5mm以上であり、かつ埋込長さが20mm以上であるおねじ形あと施工アンカー	1本以上	—	
		径が4.8mm以上であり、かつ有効打ち込み長さが15mm以上である木ねじ	1本以上		
		引張耐力の合計が0.3kN以上のアンカーボルト等	—		
	60kgを超え350kg以下	径が5mm以上であり、かつ埋込長さが20mm以上であるおねじ形あと施工アンカー	1本以上	径が8mm以上であり、かつ埋込長さが35mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、せん断耐力が0.3kN/本以上のもの 3本以上	
		径が4.8mm以上であり、かつ有効打ち込み長さが12mm以上である木ねじ	4本以上		
		引張耐力の合計が0.8kN以上のアンカーボルト等	—		
	350kgを超え600kg以下	径が6mm以上であり、かつ埋込長さが30mm以上であるおねじ形あと施工アンカー	2本以上	径が10mm以上であり、かつ埋込長さが40mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、せん断耐力が0.5kN/本以上のもの 3本以上	
		径が5.5mm以上であり、かつ有効打ち込み長さが15mm以上である木ねじ	4本以上		
		引張耐力の合計が1.4kN以上のアンカーボルト等	—		
中間階及び上層階屋上	15kgを超え60kg以下	径が5mm以上であり、かつ埋込長さが20mm以上であるおねじ形あと施工アンカー	1本以上	—	
		径が4.8mm以上であり、かつ有効打ち込み長さが15mm以上である木ねじ	2本以上		
		引張耐力の合計が0.6kN以上のアンカーボルト等	—		
	60kgを超え350kg以下	径が6mm以上であり、かつ埋込長さが30mm以上であるおねじ形あと施工アンカー	1本以上	径が8mm以上であり、かつ埋込長さが35mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、せん断耐力が0.7kN/本以上のもの 3本以上	
		径が4.8mm以上であり、かつ有効打ち込み長さが25mm以上である木ねじ	4本以上		
		引張耐力の合計が2.0kN以上のアンカーボルト等	—		
	350kgを超え600kg以下	径が8mm以上であり、かつ埋込長さが35mm以上であるおねじ形あと施工アンカー	2本以上	径が10mm以上であり、かつ埋込長さが40mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、せん断耐力が1.2kN/本以上のもの 3本以上	
		径が5.5mm以上であり、かつ有効打ち込み長さが25mm以上である木ねじ	6本以上		
		引張耐力の合計が3.6kN以上のアンカーボルト等	—		

［三号］ 壁掛けの場合

設置場所	質 量	壁固定方法	本 数	機器番号
地階及び1階並びに敷地の部分	15kgを超え60kg以下	径が6mm以上であり、かつ埋込長さが30mm以上であるあと施工アンカー又は、引張耐力が0.3kN/本以上のもの	2本以上	
		径が4.8mm以上であり、かつ有効打ち込み長さが12mm以上である木ねじ又は、引張耐力が0.2kN/本以上のもの	4本以上	
	60kgを超え100kg以下	径が6mm以上であり、かつ埋込長さが30mm以上であるあと施工アンカー又は、引張耐力が0.5kN/本以上のもの	2本以上	
		径が4.8mm以上であり、かつ有効打ち込み長さが15mm以上である木ねじ又は、引張耐力が0.3kN/本以上のもの	4本以上	
中間階及び上層階屋上	15kgを超え60kg以下	径が6mm以上であり、かつ埋込長さが30mm以上であるあと施工アンカー又は、引張耐力が0.5kN/本以上のもの	2本以上	GH-6
		径が4.8mm以上であり、かつ有効打ち込み長さが15mm以上である木ねじ又は、引張耐力が0.3kN/本以上のもの	4本以上	
	60kgを超え100kg以下	径が6mm以上であり、かつ埋込長さが30mm以上であるあと施工アンカー又は、引張耐力が0.5kN/本以上のもの	4本以上	
		径が5.5mm以上であり、かつ有効打ち込み長さが15mm以上である木ねじ又は、引張耐力が0.4kN/本以上のもの	8本以上	

［四号］ 計算により安全上支障のないことを確認する
例えば、質量やアスペクト比等が告示に示された一号～三号を満たさない場合など

火気使用ダクトの板厚

排気ダクト等の板厚（入力が21キロワットを超えるもの）

	フードの長辺（単位ミリメートル）	板厚（単位ミリメートル） ステンレス鋼板	亜鉛鉄板
フードの板厚	450以下	0.5以上	0.6以上
	450を超え1,200以下	0.6以上	0.8以上
	1,200を超え1,800以下	0.8以上	1.0以上
	1,800を超えるもの	1.0以上	1.2以上
	ダクトの長辺（単位ミリメートル）	板厚（単位ミリメートル） ステンレス鋼板	亜鉛鉄板
排気ダクトの板厚	450以下	0.5以上	0.6以上
	450を超え1,200以下	0.6以上	0.8以上
	1,200を超え1,800以下	0.8以上	1.0以上
	1,800を超えるもの	1.0以上	1.2以上
	円形ダクトの直径（単位ミリメートル）	板厚（単位ミリメートル） ステンレス鋼板	亜鉛鉄板
	300以下	0.5以上	0.6以上
	300を超え 750以下	0.5以上	0.6以上
	750を超え1,000以下	0.6以上	0.8以上
	1,000を超え1,250以下	0.8以上	1.0以上
	1,250を超えるもの	0.8以上	1.2以上

排気ダクト等の板厚（入力が21キロワット以下）

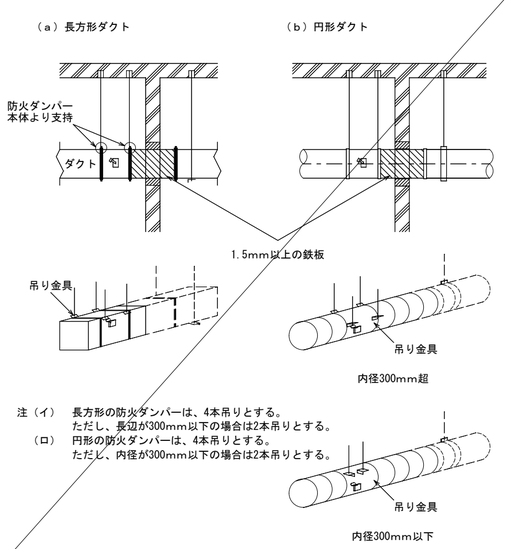
	フードの長辺（単位ミリメートル）	板厚（単位ミリメートル） ステンレス鋼板	亜鉛鉄板
フードの板厚	800以下	0.5以上	0.6以上
	800を超え1,200以下	0.6以上	0.8以上
	1,200を超え1,800以下	0.8以上	1.0以上
	1,800を超えるもの	1.0以上	1.2以上
	ダクトの長辺（単位ミリメートル）	板厚（単位ミリメートル） ステンレス鋼板	亜鉛鉄板
排気ダクトの板厚	300以下	0.5以上	0.5以上
	300を超え 450以下	0.5以上	0.6以上
	450を超え1,200以下	0.6以上	0.8以上
	1,200を超え1,800以下	0.8以上	1.0以上
	1,800を超えるもの	1.0以上	1.2以上
	円形ダクトの直径（単位ミリメートル）	板厚（単位ミリメートル） ステンレス鋼板	亜鉛鉄板
	300以下	0.5以上	0.5以上
	300を超え 750以下	0.5以上	0.6以上
	750を超え1,000以下	0.6以上	0.8以上
	1,000を超え1,250以下	0.8以上	1.0以上
	1,250を超えるもの	0.8以上	1.2以上

青島彰一級建築士事務所
一級建築士登録 第118124号 青島 彰
一級建築士事務所登録（10）第2195号
〒426－0037 静岡県藤枝市青木3丁目14番1号 ソフィアビル3F
PHONE054－643－6118 FAX054－643－4354

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale		
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	機械設備特記仕様書３	N・S	Drawn by 横山 純也	
				Checked by 青島 彰	
				Approved by 青島 彰	
				Date R07. 03. 14	

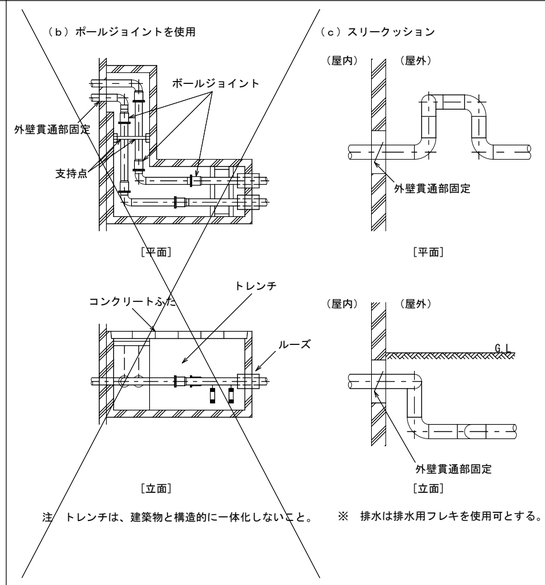
訂正		Number in set
*	*	M － 03

ダクトの防火区画貫通部施工要領



注（イ）　長方形の防火ダンパーは、4本吊りとする。
　　ただし、長辺が300mm以下の場合は2本吊りとする。
（ロ）　円形の防火ダンパーは、4本吊りとする。
　　ただし、内径が300mm以下の場合は2本吊りとする。

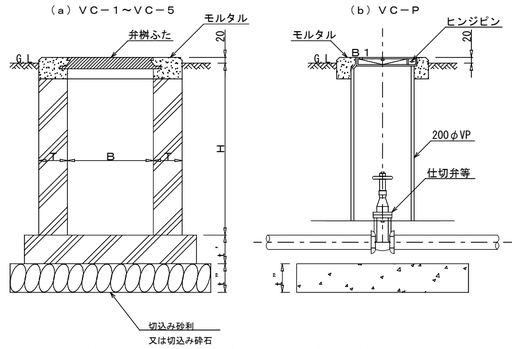
建築物導入部の変位吸収配管要領



注　トレンチは、建築物と構造的に一体化しないこと。

※　排水は排水用フレキを使用可とする。

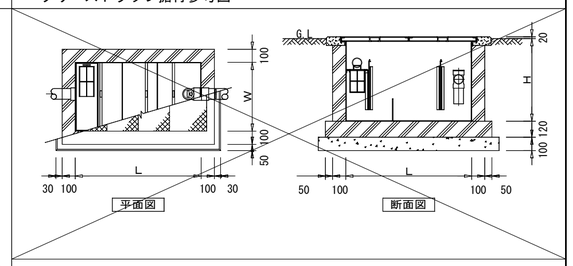
弁桝



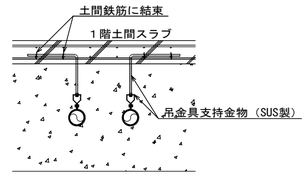
記　号	弁の呼び径	B	H	T	t'	t"	ふた
ＶＣ－Ｐ	25以下	200φ	－	－	－	100	Ｂ１
ＶＣ－１	40以下	180×180	550	75	75	100	Ｂ１
ＶＣ－２			850	100	100	100	
ＶＣ－３	50～80	300×300	700	100	100	100	MHA-P300
ＶＣ－４			900				
ＶＣ－５	100～200	450×450	1,200	120	120	100	MHA-P450

注（イ）　本表のＢ及びＨ寸法は、５Ｋ仕切弁を対象とする。
（ロ）　コンクリート部には、必要に応じ鉄筋を入れる。
　　なお、コンクリート部は工場製品でもよい。
（ハ）　桝底部には、必要ある場合は、水抜管を設ける。
（ニ）　ＶＣ－Ｐの配管廻りは、山砂の類とする。

グリーストラップ据付参考図



土間配管支持



全ての配管に適用する。

※インサートによる吊支持としても良い

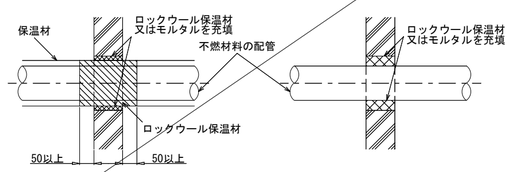
熱膨張シートによる区画貫通措置の施工例

配管の防火区画貫通部施工要領

単位　mm

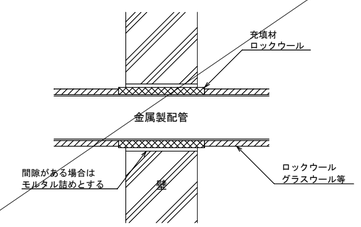
不燃材料の配管が、「建築基準法施行令第112条第15項」に規定する防火区画を貫通する場合

（a）貫通部において保温が必要な配管　　（b）貫通部において保温が必要ない配管



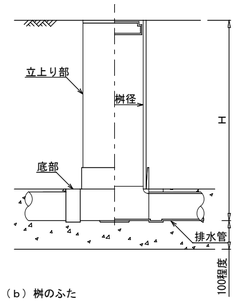
注（イ）　不燃材料以外の配管が防火区画を貫通する場合は、建築基準法令に適合する工法とする。
（ロ）　貫通部周囲の充填材は、必要に応じて脱落防止措置を施す。
（ハ）　不燃材料以外のスリーブ材（紙製仮枠等）を使用した場合は、配管前に必ず取り除く。

保湿等のある配管の防火区画貫通部措置工法例



小口径桝施工要領

（a）硬質塩化ビニル桝



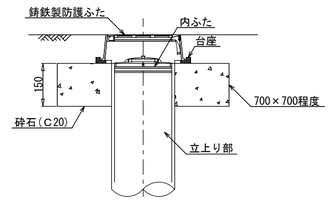
単位：mm

記号	底部種類	桝径	流入口径	流出口径	H
ST	ストレート	200	100 125 150	100 125 150	1200 以下
90Y	90度合流				
45Y	45度合流				
90L	90度曲り				
45L	45度曲り				
DR	ドロップストレート				

（b）桝のふた

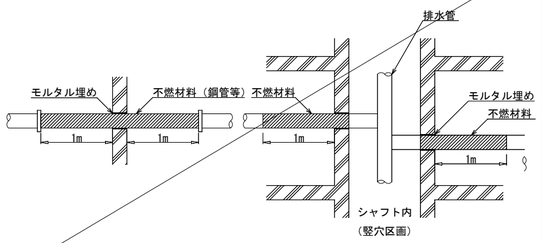
名称		適用区分例
密閉ふた		車道以外
鋳鉄製防護ふた	T8A	大型の車両が通行しない場所

（c）鋳鉄製防護ふたの設置例

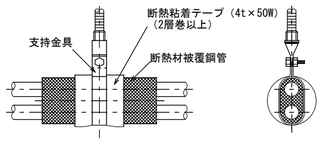


注（イ）　プラスティック桝は、JSWAS K-7（下水道用硬質塩化ビニル製ます）とし、ふたの耐荷重を必要とする場合は、JSWAS G-3（下水道用鋳鉄製防護ふた）による。
（ロ）　立上り部は、JIS K 6741（硬質ポリ塩化ビニル管）のVU又はJIS K 9797（リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管）のRS-VUとする。
（ハ）　桝のふたは、特記がない場合には密閉ふたとする。
（ニ）　鋳鉄製防護ふたは、台座を設け設置する。
（ホ）　良質地盤の場合のインバート桝の据付けは、桝の下端より100mm程度の山砂の類を施し、据付ける。
（ヘ）　表示例
　　記号　流入口径－桝径
　　ＳＴ　100－200

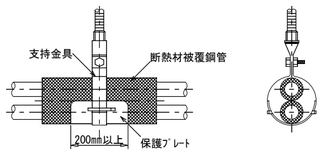
防火区画等の貫通



冷媒配管の支持の例

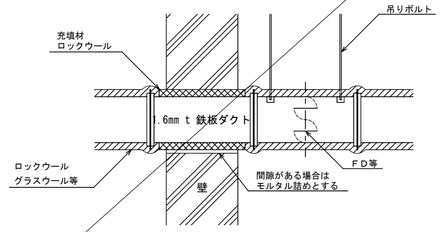


断熱粘着テープの重ね巻き（２層巻き以上）により、配管荷重（自重）による支持金具の断熱材への食い込みを吸収する方法

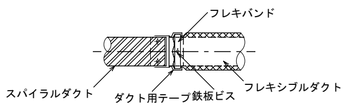


配管受け面積の広い保護プレートで支持することにより、配管荷重（自重）による断熱材の潰れを防止する方法

保湿等のあるダクトの防火区画貫通部措置工法例



フレキシブルダクトとの接続



Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale		
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	機械設備特記仕様書４	N・S	Drawn by 横山　純也 Checked by 青島　彰 Approved by 青島　彰 Date R07. 03. 14	

青島彰一級建築士事務所
一級建築士登録　第１１８１２４号　青島　彰
一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号
〒４２６－００３７　静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号　ソフィアビル３Ｆ
ＰＨＯＮＥ０５４－６４３－６１１８　ＦＡＸ０５４－６４３－４３５４

訂正	
*	*

Number in set　Ｍ － ０４

衛生設備　撤去器具表（撤去）

器具名称	仕様	合計	1F								
			洋式ＷＣ	和式ＷＣ	スタッフＷＣ	ＷＣ	操作室	薬局	Ｘ線準備室	暗室	廊下２
和風便器	ﾀﾝｸ式	1		1							
洋風便器	ﾀﾝｸ式	3	1		1	1					
小便器		1	1								
洗面器		2					1				1
壁掛手洗器		4	1	1	1	1					
小便器用手摺		1	1								
大便器用手摺(壁床固定式)	ｽﾃﾝﾚｽ	2	1			1					
大便器用手摺(壁床固定式)	樹脂ｺｰﾃｨﾝｸﾞ	1		1							
混合水栓		3						1	2		
単水栓		3							2	1	
化粧鏡		1							1		

衛生設備　撤去機器表（改修前）

名称	記　号	形　式	用途	仕　　様	台数
ガス湯沸器	GH-1	給湯器(再利用)	給湯用	屋外壁掛形、ﾘﾓｺﾝﾚｽﾀｲﾌﾟ 16号、配管ｶﾊﾞｰ付　消費電力 74W	1
	GH-2	給湯器(再利用)	給湯用	屋外壁掛形、ﾘﾓｺﾝﾚｽﾀｲﾌﾟ 16号、配管ｶﾊﾞｰ付　消費電力 74W	1
	GH-3	給湯器(撤去)	給湯用	屋外壁掛形、ﾘﾓｺﾝﾚｽﾀｲﾌﾟ 20号、配管ｶﾊﾞｰ付　消費電力 74W	1
	GH-4	給湯器(撤去)	給湯用	屋外壁掛形、ﾘﾓｺﾝﾚｽﾀｲﾌﾟ 16号、配管ｶﾊﾞｰ付　消費電力 74W	1
	GH-5	給湯器(再利用)	風呂用	屋外壁掛形、ﾌﾙｵｰﾄﾀｲﾌﾟ 24号 台所・風呂ﾘﾓｺﾝ、循環金具、配管ｶﾊﾞｰ共　消費電力116W	1
	GH-6	給湯器(新設)	給湯用	屋外壁掛形、ﾘﾓｺﾝﾚｽﾀｲﾌﾟ 24号、配管ｶﾊﾞｰ付、高効率ﾀｲﾌﾟ　消費電力 54W	1

衛生設備　器具表（改修後）

器具名称	仕様	参考型番 (TOTO)	参考型番 (LIXIL)	給水		排水		合計	1F			2F		
				床	壁	床	壁		男子ＷＣ	女子ＷＣ	廊下２	男子ＷＣ	厨房	
洋風便器	腰掛式防露便器,密結形防露ﾀﾝｸ,洗浄便座(314W,100V,蓋あり),棚付紙巻器(木製 L700,二連紙巻器),他付属品共	CS597BPC,SH596BAYR,TCF588,YHB63NR	BC-P20SU,DT-PA250UCH,CW-PB21-NE,NKF-2WU2		○	○		4	1	2		1		
小便器	低ﾘｯﾌﾟUS一体形小便器(100V),他付属品共	UFS900R	U-A51AP		○		○	2	2					
洗面器	ｶｳﾝﾀｰ式(ｱﾝﾀﾞｰｶｳﾝﾀｰﾀｲﾌﾟ),自動単水栓(100V)	L530,TLC11AR,TLDP2107JA	L-2260 AM-300V1 LF-WN7PCFL		○		○	2			2			
手洗器	壁掛形,ﾊﾝﾄﾞﾙ式単水栓	LSL870APR	L-A74HC		○		○	1				1		
洗面化粧台	洗面化粧台,混合水栓,壁付水せっけん入れ,ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ(1面鏡)	LDSAS050AAGKG1,TS126R,LMAS050A1GEG1G	FTV1N-504,KF-24G,MFK-501S	○		○		1					1	
小便器用手摺	樹脂被覆ﾀｲﾌﾟ	T112CU22	KF-701AEJ					1	1					
I型手摺	木製手摺,L600	YHB603	KF-M10					4	1	2		1		
はね上げ式手摺	被覆鋼管ﾀｲﾌﾟ,L650	EWC702	NKF-AA481H70					1				1		
混合水栓	ｼﾝｸﾞﾙ混合水栓(ｼｬﾜｰ切替)	TKS05303J	SH-HB442SYXA					2					2	

注）１．陶器は防汚・抗菌仕様とする。　　２．器具品番は主要参考品番を示し、器具附属品及び器具固定下地材、取付金具等は全て本工事に含むものとする。

配管凡例（改修前）

記　号	名　称	記号	材　料・備　考	保温
——-——	給水管	VB	VB(屋内一般)	GW
——-——	給水管	VD	VD(屋内埋設)	―
——-——	給水管	HI	HIVP(屋外埋設)	―
——I——	給湯管	HT	HTLP(屋内一般)	GW
——I——	給湯管	WHT	W-HTLP(屋内埋設)	―
——I——	給湯管	HV	HTVP(屋外埋設)	―
——φ——	汚水管	FP	FP(屋内一般)	―
——φ——	汚水管	V	VP(埋設)	―
————	雑排水管	FP	FP(屋内一般)	―
————	雑排水管	V	VP(埋設)	―
- — — -	通気管	FP	FP(屋内一般)	―
- — — -	通気管	V	VP(埋設)	―

配管凡例（新設）

記　号	名　称	記号	材　料・備　考	保温				
				一般	ﾋﾟｯﾄ	屋内露出	屋外露出	区画貫通
——-——	給水管	VB	VB(屋内一般,屋外露出)	ALGC(GW)+亀甲	着色ALGC(GW)	合成樹脂製ｶﾊﾞｰ	ｽﾃﾝﾚｽﾗｯｷﾝｸﾞ(ﾎﾟﾘ)	ALGC(RW)+亀甲
		VD	VD(屋内埋設)	―	―	―	―	ALGC(RW)+亀甲
——I——	給湯管	HT	HTLP(屋内一般, 屋外露出)	―	―	―	ｽﾃﾝﾚｽﾗｯｷﾝｸﾞ(GW)	―
		WHT	W-HTLP(屋内埋設)	―	―	―	―	―
		HV	HTVP(屋外埋設)	―	―	―	―	―
——φ——	汚水管	FP	FP(屋内一般)	―	―	―	―	―
		V	VP(屋内埋設)	―	―	―	―	―
————	雑排水管	FP	FP(屋内一般)	―	―	―	―	―
		V	VP(屋内埋設)	―	―	―	―	―
- — — -	通気管	FP	FP(屋内一般)	―	―	―	―	―
		V	VP(屋内埋設)	―	―	―	―	―
--------	既設管							

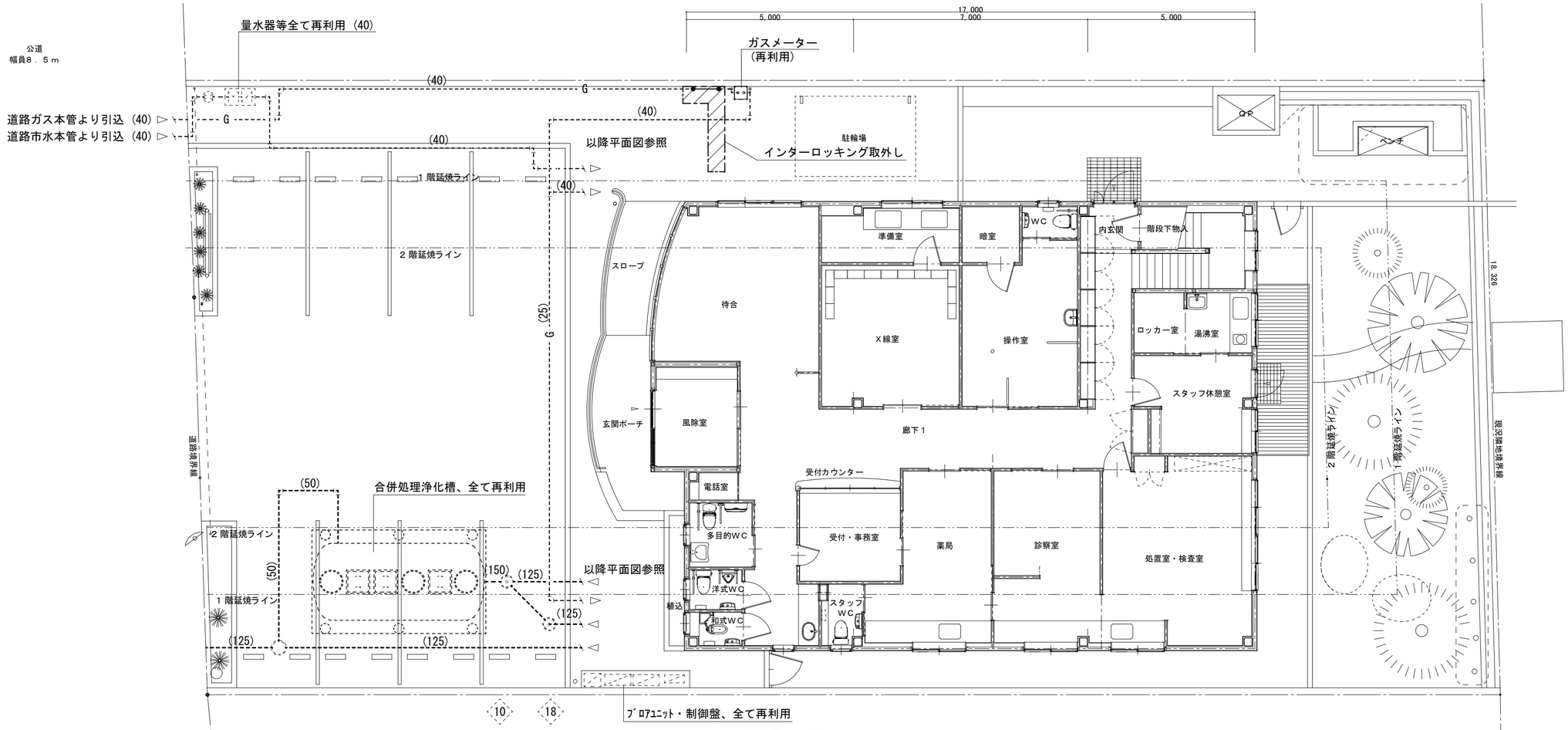
Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	衛生設備＜改修前・改修後＞ 機器表	N.S	Drawn by 横山 純也 Checked by 青島 彰 Approved by 青島 彰 Date R07. 03. 14

青島彰一級建築士事務所
一級建築士登録　第１１８１２４号　青島 彰
一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号
〒４２６－００３７ 静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号 ソフィアビル３Ｆ
ＰＨＯＮＥ０５４－６４３－６１１８　ＦＡＸ０５４－６４３－４３５４

訂正	
*	*

Number in set
Ｍ － ０５

改修前



配置図　1：100

桝表　※全て既設再利用

No.	桝	蓋	管底	備考
1	C090L100-150　（右）	ﾐｶｹﾞ150Φ	GL-350	
2	C090Y100-150　（右）	ﾐｶｹﾞ150Φ	GL-385	
3	C045Y100-150　（右）	ﾐｶｹﾞ150Φ	GL-400	
4	C090Y100-150　（右）	ﾐｶｹﾞ150Φ	GL-405	
5	C090Y100-150　（右）	鋳鉄150Φ	GL-455	T-2
6	C090Y125-200　（右）	鋳鉄200Φ	GL-465	T-2
7	C045Y125-200　（右）	鋳鉄200Φ	GL-475	T-2
8	C090L125-200　（右）	鋳鉄200Φ	GL-570	T-8
9	C090L125-200　（左）	鋳鉄200Φ	GL-720	T-8
１０	C045Y150-200　（右）	鋳鉄200Φ	GL-740	T-8
１１	ST100-150	ﾐｶｹﾞ150Φ	GL-540	
１２	C045Y100-150　（左）	ﾐｶｹﾞ150Φ	GL-575	
１３	C090L100-150　（左）	ﾐｶｹﾞ150Φ	GL-585	
１４	C090L125-200　（左）	ﾐｶｹﾞ150□	GL-600	
１５	C045Y125-200　（左）	ﾐｶｹﾞ200□	GL-610	
１６	C045L125-200　（左）	ﾐｶｹﾞ200□	GL-640	
１７	C045L125-200　（右）	ﾐｶｹﾞ200□	GL-690	
１８	C045L125-200　（左）	鋳鉄200Φ	GL-720	T-8

特記・凡例

実線は撤去配管を示す。

破線は既設配管・設備（改修無し）を示す。
口径は（　）と表示する。

切断位置を示す。

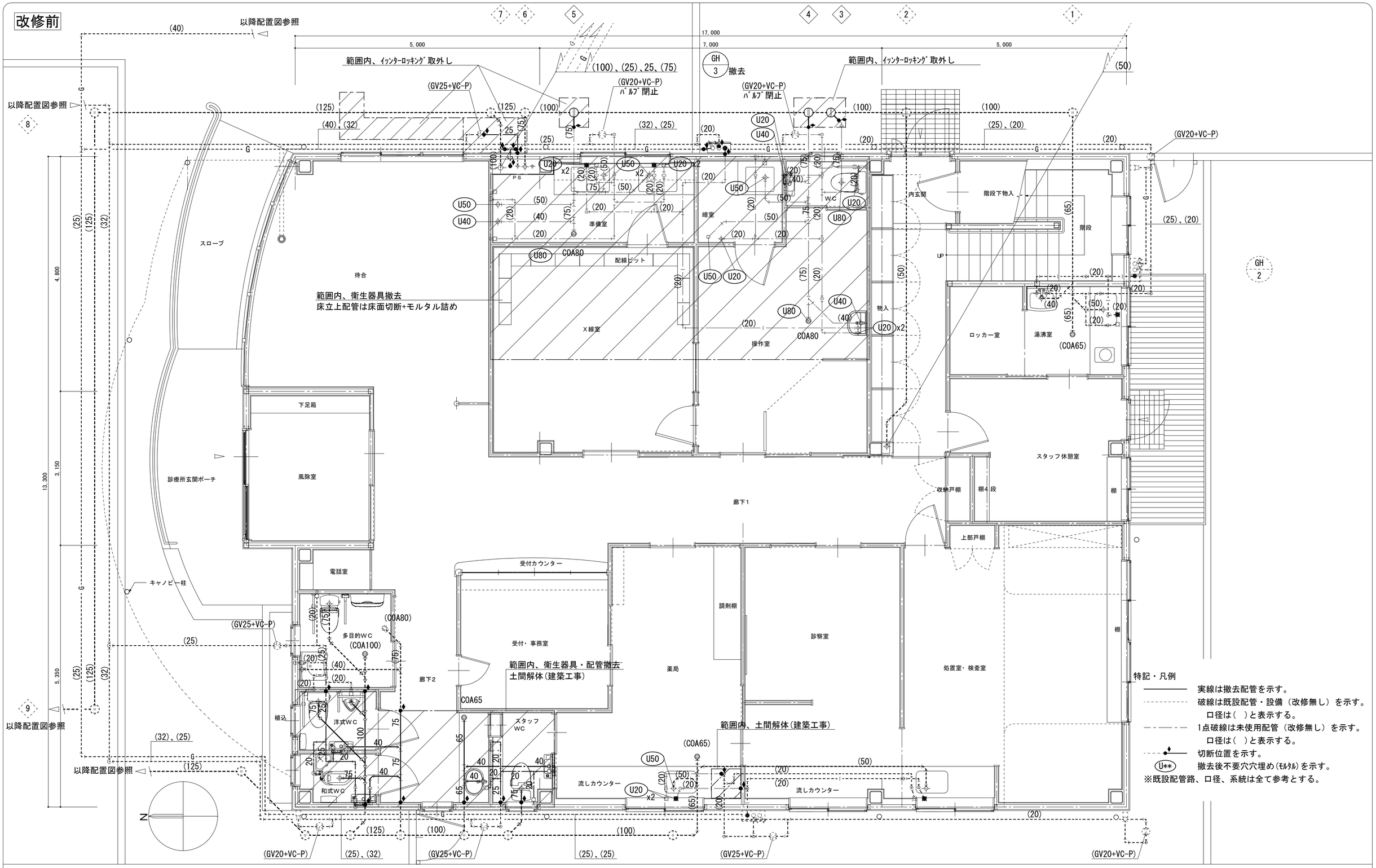
※既設配管路、口径、系統は全て参考とする。

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale		
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	衛生設備＜改修前＞配置図	１：１００	Drawn by 横山　純也 Checked by 青島　彰 Approved by 青島　彰 Date R07．03．14	

青島彰一級建築士事務所
一級建築士登録　第１１８１２４号　青島　彰
一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号
〒４２６－００３７　静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号　ソフィアビル３Ｆ
ＰＨＯＮＥ０５４－６４３－６１１８　ＦＡＸ０５４－６４３－４３５４

訂正	
*	*

Number in set　Ｍ － ０６



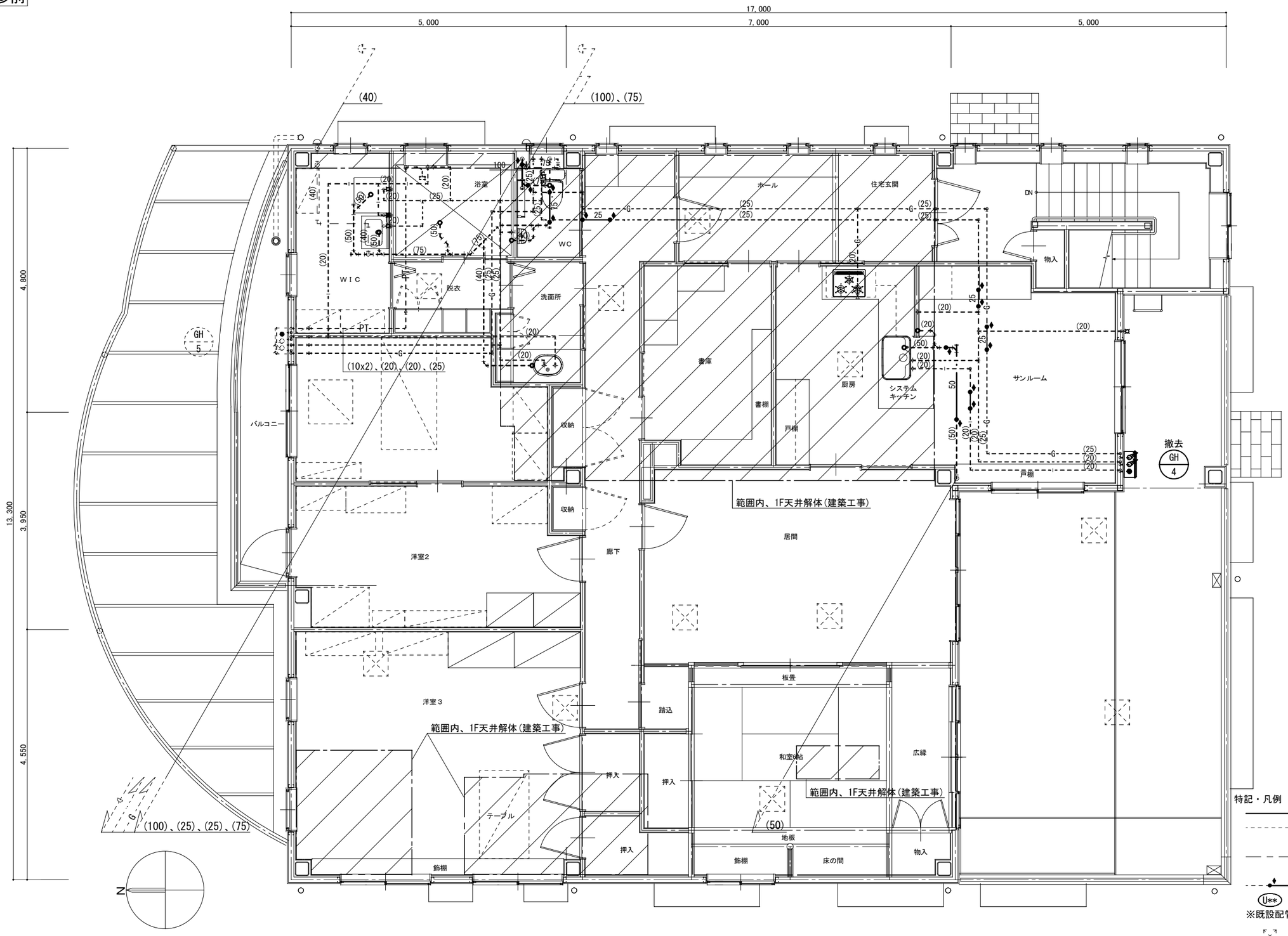
Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale		
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	衛生設備＜改修前＞１階平面図	１：５０	Drawn by 横山 純也 Checked by 青島 彰 Approved by 青島 彰 Date R07. 03. 14	

青島彰一級建築士事務所
一級建築士登録 第１１８１２４号 青島 彰
一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号
〒４２６－００３７ 静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号 ソフィアビル３Ｆ
ＰＨＯＮＥ０５４－６４３－６１１８ ＦＡＸ０５４－６４３－４３５４

訂正	
*	*

Number in set: Ｍ － ０７

改修前



特記・凡例

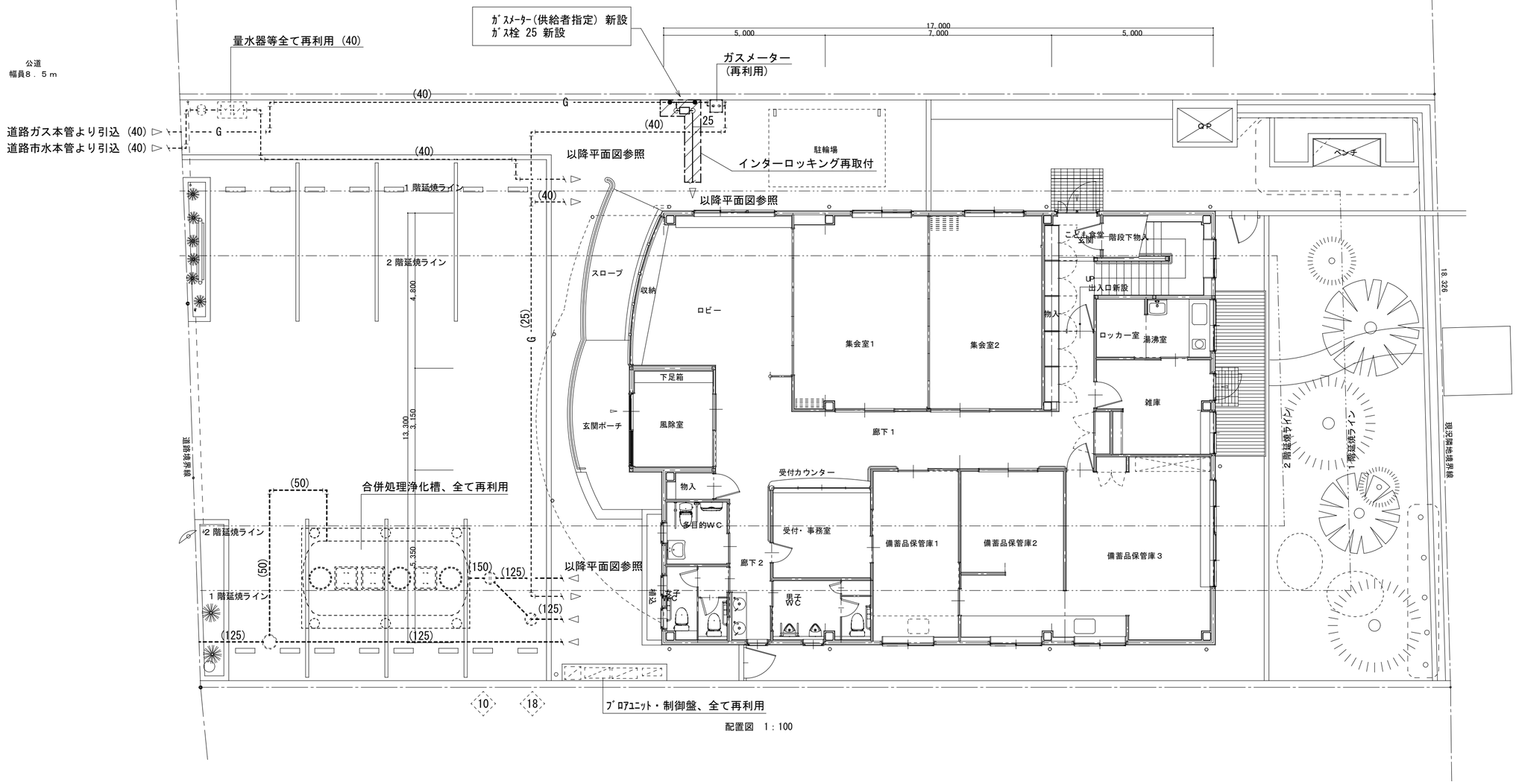
- 実線は撤去配管を示す。
- 破線は既設配管・設備（改修無し）を示す。口径は（　）と表示する。
- 1点破線は未使用配管（改修無し）を示す。口径は（　）と表示する。
- 切断位置を示す。
- U** 撤去後不要穴埋め(ﾓﾙﾀﾙ)を示す。

※既設配管路、口径、系統は全て参考とする。

1F既存点検口を示す。

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 横山 純也	青島彰一級建築士事務所	訂正	Number in set
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	衛生設備＜改修前＞２階平面図	1：50	Checked by 青島 彰	一級建築士登録 第１１８１２４号 青島 彰	* *	Ｍ － ０８
				Approved by 青島 彰	一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号		
				Date R07. 03. 14	〒４２６－００３７ 静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号 ソフィアビル３Ｆ		
					PHONE０５４－６４３－６１１８ FAX０５４－６４３－４３５４		

改修後



配置図　1：100

特記・凡例

実線は新設配管を示す。

破線は既設配管・設備（改修無し）を示す。
口径は（　）と表示する。

接続位置を示す。

※既設配管路、口径、系統は全て参考とする。

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale		
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	衛生設備＜改修後＞配置図	1：100	Drawn by 横山 純也 Checked by 青島 彰 Approved by 青島 彰 Date R07．03．14	

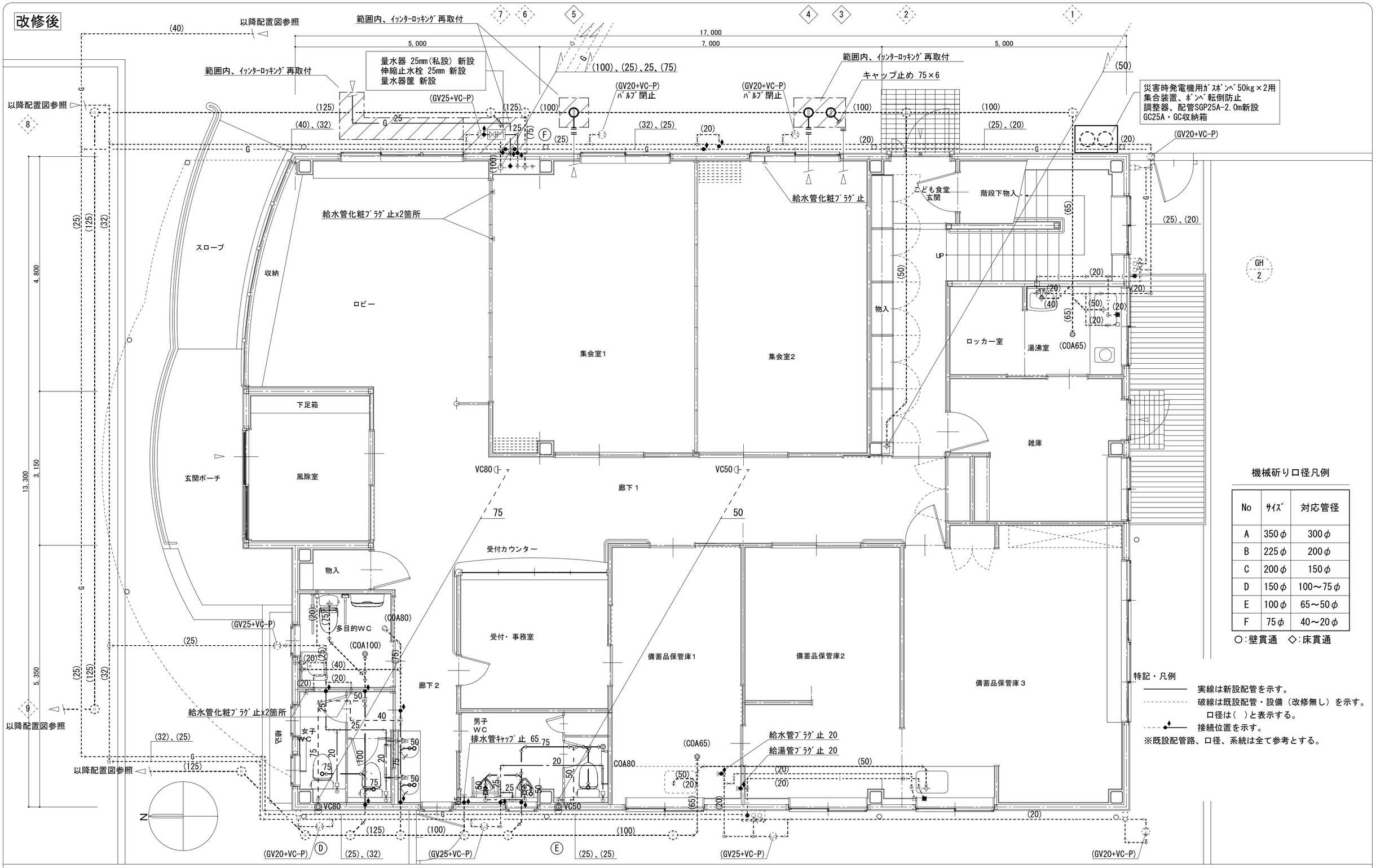
青島彰一級建築士事務所
一級建築士登録　第118124号　青島 彰
一級建築士事務所登録（10）第2195号
〒426－0037　静岡県藤枝市青木3丁目14番1号　ソフィアビル3F
PHONE054－643－6118　FAX054－643－4354

訂正	
*	*

Number in set

M － 09

改修後



機械斫り口径凡例

No	ｻｲｽﾞ	対応管径
A	350φ	300φ
B	225φ	200φ
C	200φ	150φ
D	150φ	100～75φ
E	100φ	65～50φ
F	75φ	40～20φ

○:壁貫通　◇:床貫通

特記・凡例

実線は新設配管を示す。

破線は既設配管・設備（改修無し）を示す。
口径は（　）と表示する。

接続位置を示す。

※既設配管路、口径、系統は全て参考とする。

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	衛生設備＜改修後＞１階平面図	１：５０	

Drawn by	横山　純也
Checked by	青島　彰
Approved by	青島　彰
Date	R07．03．14

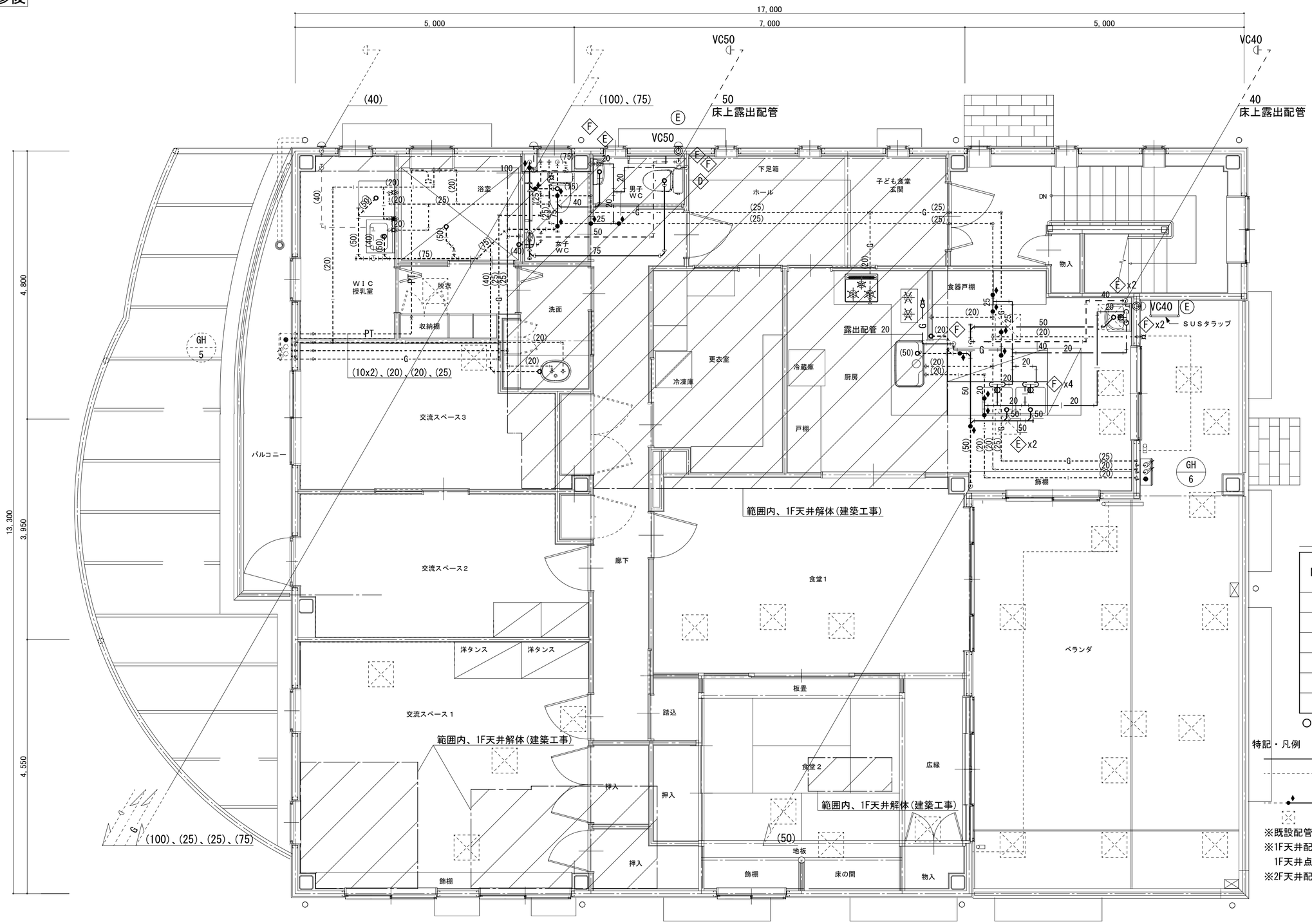
青島彰一級建築士事務所
一級建築士登録　第１１８１２４号　青島　彰
一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号
〒４２６－００３７　静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号　ソフィアビル３Ｆ
ＰＨＯＮＥ０５４－６４３－６１１８　ＦＡＸ０５４－６４３－４３５４

訂正	
*	*

Number in set

Ｍ － １０

改修後



機械斫り口径凡例

No	ｻｲｽﾞ	対応管径
A	350φ	300φ
B	225φ	200φ
C	200φ	150φ
D	150φ	100～75φ
E	100φ	65～50φ
F	75φ	40～20φ

○:壁貫通　◇:床貫通

特記・凡例

実線は新設配管を示す。
破線は既設配管・設備（改修無し）を示す。
口径は（　）と表示する。
接続位置を示す。
1F点検口を示す。

※既設配管路、口径、系統は全て参考とする。
※1F天井配管は、天井を解体しない範囲については、1F天井点検口からの作業とする。
※2F天井配管なし。

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale		
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	衛生設備＜改修後＞２階平面図	１：５０	Drawn by 横山 純也 Checked by 青島 彰 Approved by 青島 彰 Date R07. 03. 14	

青島彰一級建築士事務所
一級建築士登録　第１１８１２４号　青島 彰
一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号
〒４２６－００３７　静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号　ソフィアビル３Ｆ
ＰＨＯＮＥ０５４－６４３－６１１８　ＦＡＸ０５４－６４３－４３５４

訂正	
*	*

Number in set: M － 11

空調設備　機器表（改修前）

機器番号	名称	仕様	台数	電気容量	階	設置場所	参考品番	備考（付属品共）
EHP-01 撤去	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ （室外機）	型式：冷暖房切替型 冷暖房能力：35.5kW/40.0kW 液(φ)/ｶﾞｽ(φ)：15.9/31.8 冷媒：R22：11kg	1	3φ-200V 冷房：13.88kW 暖房：13.00kW	1		PUHY-J355BM-B1	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎
EHP-01-1 撤去	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ （室内機）	型式：天井ｶｾｯﾄ形(4方向) 冷暖房能力：8.0kW/9.0kW 液(φ)/ｶﾞｽ(φ)：9.5/15.9	1	1φ-200V 冷房：0.16kW 暖房：0.16kW	1	待合室	PLFY-J80AM-C	
EHP-01-2 残置 (使用不可)	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ （室内機）	型式：天井ｶｾｯﾄ形(4方向) 冷暖房能力：4.5kW/5.0kW 液(φ)/ｶﾞｽ(φ)：6.4/12.7	1	1φ-200V 冷房：0.09kW 暖房：0.09kW	1	処置室・検査室	PLFY-J45AM-C	
EHP-01-3 撤去	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ （室内機）	型式：天井ｶｾｯﾄ形(2方向) 冷暖房能力：4.5kW/5.0kW 液(φ)/ｶﾞｽ(φ)：6.4/12.7	1	1φ-200V 冷房：0.17kW 暖房：0.16kW	1	廊下１	PLFY-J45LMD-C	
EHP-01-4 撤去	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ （室内機）	型式：天井ｶｾｯﾄ形(1方向) 冷暖房能力：3.6kW/4.0kW 液(φ)/ｶﾞｽ(φ)：6.4/12.7	2	1φ-200V 冷房：0.04kW 暖房：0.04kW	1	Ｘ線室 操作室	PLFY-J36BM-C	
EHP-01-5 撤去	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ （室内機）	型式：天井ｶｾｯﾄ形(1方向) 冷暖房能力：2.8kW/3.2kW 液(φ)/ｶﾞｽ(φ)：6.4/12.7	2	1φ-200V 冷房：0.04kW 暖房：0.04kW	1	受付事務室 準備室	PLFY-J28BM-C	
EHP-01-4' 残置 (使用不可)	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ （室内機）	型式：天井ｶｾｯﾄ形(1方向) 冷暖房能力：3.6kW/4.0kW 液(φ)/ｶﾞｽ(φ)：6.4/12.7	2	1φ-200V 冷房：0.04kW 暖房：0.04kW	1	診察室 スタッフ休憩室	PLFY-J36BM-C	
EHP-01-5' 残置 (使用不可)	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ （室内機）	型式：天井ｶｾｯﾄ形(1方向) 冷暖房能力：2.8kW/3.2kW 液(φ)/ｶﾞｽ(φ)：6.4/12.7	1	1φ-200V 冷房：0.04kW 暖房：0.04kW	1	薬局	PLFY-J28BM-C	
PAC-1 撤去	空冷HPﾊﾟｯｹｰｼﾞ	型式：天井ｶｾｯﾄ形(2方向) 冷暖房能力：5.6(0.8～5.8)kW/7.1(0.9～9.8)kW 液(φ)/ｶﾞｽ(φ)：6.4/12.7 冷媒：R22：1.5kg	1	1φ-200V 冷房：2.12kW 暖房：1.92kW	2	厨房・ｻﾝﾙｰﾑ	MLZ-56GS	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎既製品(再利用) 防振ｺﾞﾑﾊﾟｯﾄﾞ
PAC-2 撤去	空冷HPﾊﾟｯｹｰｼﾞ	型式：天井ｶｾｯﾄ形(1方向) 冷暖房能力：5.0(2.5～5.0)kW/6.7(2.5～8.0)kW 液(φ)/ｶﾞｽ(φ)：6.4/12.7 冷媒：R22：1.45kg	1	1φ-200V 冷房：2.36kW 暖房：2.72kW	2	洋室３	MLZ-5017S	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎既製品(再利用) 防振ｺﾞﾑﾊﾟｯﾄﾞ
PAC-3 撤去	空冷HPﾊﾟｯｹｰｼﾞ	型式：天井ｶｾｯﾄ形(1方向) 冷暖房能力：4.0(1.8～4.4)kW/5.6(1.6～6.9)kW 液(φ)/ｶﾞｽ(φ)：6.4/12.7 冷媒：R22：1.15kg	1	1φ-200V 冷房：1.66kW 暖房：1.93kW	2	居間	MLZ-4017S	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎既製品(再利用) 防振ｺﾞﾑﾊﾟｯﾄﾞ
PAC-4 撤去	空冷HPﾊﾟｯｹｰｼﾞ	型式：天井ｶｾｯﾄ形(1方向) 冷暖房能力：2.8(0.8～3.4)kW/4.0(0.9～6.2)kW 液(φ)/ｶﾞｽ(φ)：6.4/12.7 冷媒：R22：1.05kg	4	1φ-200V 冷房：0.71kW 暖房：1.01kW	2	洋室１ 洋室２ 和室6帖 書庫	MLZ-2817S	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎既製品(再利用) 防振ｺﾞﾑﾊﾟｯﾄﾞ

青島彰一級建築士事務所
一級建築士登録 第118124号 青島 彰
一級建築士事務所登録（10）第2195号
〒426－0037 静岡県藤枝市青木3丁目14番1号 ソフィアビル3F
PHONE054－643－6118 FAX054－643－4354

空調設備　機器表（改修後）

機器番号	名称	仕様	台数	電気容量	階	設置場所	参考品番	備考（付属品共）
PAC-1	空冷HPﾊﾟｯｹｰｼﾞ	型式：天井ｶｾｯﾄ形(4方向)　更新対応　APF：6.5 冷暖房能力：5.6(1.4～6.3)kW/6.3(1.6～8.0)kW 圧縮機：1.18kW　FAN：(内)53W　(外)50W 液(φ)/ｶﾞｽ(φ)：6.4/12.7 付属品：化粧ﾊﾟﾈﾙ・ﾛﾝｸﾞﾗｲﾌﾌｨﾙﾀｰ・ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・ﾜｲﾄﾞﾊﾟﾈﾙ・他標準付属品一式	1	1φ-200V 冷房：1.44kW 暖房：1.45kW	1	集会室１	SZRC63BYV	防振吊金物(ｺﾞﾑ) 転倒防止金物 ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎既製品 防振ｺﾞﾑﾊﾟｯﾄﾞ
PAC-2	空冷HPﾊﾟｯｹｰｼﾞ	型式：天井ｶｾｯﾄ形(4方向)　更新対応　APF：6.4 冷暖房能力：4.5(1.2～5.0)kW/5.0(1.3～6.3)kW 圧縮機：0.92kW　FAN：(内)53W　(外)90W 液(φ)/ｶﾞｽ(φ)：6.4/12.7 付属品：化粧ﾊﾟﾈﾙ・ﾛﾝｸﾞﾗｲﾌﾌｨﾙﾀｰ・ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・ﾜｲﾄﾞﾊﾟﾈﾙ・他標準付属品一式	1	1φ-200V 冷房：1.19kW 暖房：1.13kW	1	集会室２	SZRC50BYV	防振吊金物(ｺﾞﾑ) 転倒防止金物 ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎既製品 防振ｺﾞﾑﾊﾟｯﾄﾞ
PAC-3	空冷HPﾊﾟｯｹｰｼﾞ	型式：天井ｶｾｯﾄ形(1方向)　更新対応　APF：5.1 冷暖房能力：3.6(1.7～4.0)kW/4.0(1.8～5.3)kW 圧縮機：0.65kW　FAN：(内)78W　(外)90W 液(φ)/ｶﾞｽ(φ)：6.4/12.7 付属品：化粧ﾊﾟﾈﾙ・ﾛﾝｸﾞﾗｲﾌﾌｨﾙﾀｰ・ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・ﾜｲﾄﾞﾊﾟﾈﾙ・他標準付属品一式	1	1φ-200V 冷房：0.944kW 暖房：1.06kW	1	受付事務室	SZRK40BYV	防振吊金物(ｺﾞﾑ) 転倒防止金物 ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎既製品 防振ｺﾞﾑﾊﾟｯﾄﾞ
PAC-4	空冷HPﾊﾟｯｹｰｼﾞ	型式：天井ｶｾｯﾄ形(4方向)　更新対応　APF：6.4 冷暖房能力：4.5(1.2～5.0)kW/5.0(1.3～6.3)kW 圧縮機：0.92kW　FAN：(内)53W　(外)90W 液(φ)/ｶﾞｽ(φ)：6.4/12.7 付属品：化粧ﾊﾟﾈﾙ・ﾛﾝｸﾞﾗｲﾌﾌｨﾙﾀｰ・ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・ﾜｲﾄﾞﾊﾟﾈﾙ・他標準付属品一式	1	1φ-200V 冷房：1.19kW 暖房：1.13kW	1	ロビー	SZRC50BYV	防振吊金物(ｺﾞﾑ) 転倒防止金物 ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎既製品 防振ｺﾞﾑﾊﾟｯﾄﾞ
PAC-5	空冷HPﾊﾟｯｹｰｼﾞ	型式：天井ｶｾｯﾄ形(2方向)　更新対応　APF：5.4 冷暖房能力：4.0(1.8～4.5)kW/4.5(2.1～5.9)kW 圧縮機：0.78kW　FAN：(内)46W　(外)90W 液(φ)/ｶﾞｽ(φ)：6.4/12.7 付属品：化粧ﾊﾟﾈﾙ・ﾛﾝｸﾞﾗｲﾌﾌｨﾙﾀｰ・ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・ﾜｲﾄﾞﾊﾟﾈﾙ・他標準付属品一式	1	1φ-200V 冷房：1.07kW 暖房：1.20kW	1	廊下	SZRG45BYV	防振吊金物(ｺﾞﾑ) 転倒防止金物 ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎既製品 防振ｺﾞﾑﾊﾟｯﾄﾞ
PAC-6	空冷HPﾊﾟｯｹｰｼﾞ	型式：天井ｶｾｯﾄ形(1方向)　更新対応　APF：4.9 冷暖房能力：5.6(2.6～6.3)kW/6.3(2.9～8.0)kW 圧縮機：1.18kW　FAN：(内)78W　(外)50W 液(φ)/ｶﾞｽ(φ)：6.4/12.7 付属品：化粧ﾊﾟﾈﾙ・ﾛﾝｸﾞﾗｲﾌﾌｨﾙﾀｰ・ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・ﾜｲﾄﾞﾊﾟﾈﾙ・他標準付属品一式	1	1φ-200V 冷房：1.76kW 暖房：1.81kW	2	交流スペース１	SZRK63BYV	防振吊金物(ｺﾞﾑ) 転倒防止金物 ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎既製品(再利用) 防振ｺﾞﾑﾊﾟｯﾄﾞ
PAC-7	空冷HPﾊﾟｯｹｰｼﾞ	型式：天井ｶｾｯﾄ形(1方向)　更新対応　APF：5.1 冷暖房能力：3.6(1.7～4.0)kW/4.0(1.8～5.3)kW 圧縮機：0.65kW　FAN：(内)78W　(外)90W 液(φ)/ｶﾞｽ(φ)：6.4/12.7 付属品：化粧ﾊﾟﾈﾙ・ﾛﾝｸﾞﾗｲﾌﾌｨﾙﾀｰ・ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・ﾜｲﾄﾞﾊﾟﾈﾙ・他標準付属品一式	1	1φ-200V 冷房：0.944kW 暖房：1.06kW	2	交流スペース２	SZRK40BYV	防振吊金物(ｺﾞﾑ) 転倒防止金物 ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎既製品(再利用) 防振ｺﾞﾑﾊﾟｯﾄﾞ
PAC-8	空冷HPﾊﾟｯｹｰｼﾞ	型式：天井ｶｾｯﾄ形(1方向)　更新対応　APF：5.1 冷暖房能力：3.6(1.7～4.0)kW/4.0(1.8～5.3)kW 圧縮機：0.65kW　FAN：(内)78W　(外)90W 液(φ)/ｶﾞｽ(φ)：6.4/12.7 付属品：化粧ﾊﾟﾈﾙ・ﾛﾝｸﾞﾗｲﾌﾌｨﾙﾀｰ・ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・ﾜｲﾄﾞﾊﾟﾈﾙ・他標準付属品一式	1	1φ-200V 冷房：0.944kW 暖房：1.06kW	2	交流スペース３	SZRK40BYV	防振吊金物(ｺﾞﾑ) 転倒防止金物 ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎既製品(再利用) 防振ｺﾞﾑﾊﾟｯﾄﾞ
PAC-9	空冷HPﾊﾟｯｹｰｼﾞ	型式：天井ｶｾｯﾄ形(1方向)　更新対応　APF：4.9 冷暖房能力：5.0(2.3～5.6)kW/5.6(2.6～7.1)kW 圧縮機：1.07kW　FAN：(内)78W　(外)50W 液(φ)/ｶﾞｽ(φ)：6.4/12.7 付属品：化粧ﾊﾟﾈﾙ・ﾛﾝｸﾞﾗｲﾌﾌｨﾙﾀｰ・ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・ﾜｲﾄﾞﾊﾟﾈﾙ・他標準付属品一式	1	1φ-200V 冷房：1.49kW 暖房：1.63kW	2	食堂１	SZRK56BYV	防振吊金物(ｺﾞﾑ) 転倒防止金物 ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎既製品(再利用) 防振ｺﾞﾑﾊﾟｯﾄﾞ
PAC-10	空冷HPﾊﾟｯｹｰｼﾞ	型式：天井ｶｾｯﾄ形(1方向)　更新対応　APF：5.1 冷暖房能力：3.6(1.7～4.0)kW/4.0(1.8～5.3)kW 圧縮機：0.65kW　FAN：(内)78W　(外)90W 液(φ)/ｶﾞｽ(φ)：6.4/12.7 付属品：化粧ﾊﾟﾈﾙ・ﾛﾝｸﾞﾗｲﾌﾌｨﾙﾀｰ・ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・ﾜｲﾄﾞﾊﾟﾈﾙ・他標準付属品一式	1	1φ-200V 冷房：0.944kW 暖房：1.06kW	2	食堂２	SZRK40BYV	防振吊金物(ｺﾞﾑ) 転倒防止金物 ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎既製品(再利用) 防振ｺﾞﾑﾊﾟｯﾄﾞ
PAC-11	空冷HPﾊﾟｯｹｰｼﾞ	型式：天井ｶｾｯﾄ形(1方向)　更新対応　APF：4.8 冷暖房能力：7.1(3.2～8.0)kW/8.0(3.6～9.5)kW 圧縮機：1.70kW　FAN：(内)78W　(外)90W 液(φ)/ｶﾞｽ(φ)：9.5/15.9 付属品：化粧ﾊﾟﾈﾙ・ﾛﾝｸﾞﾗｲﾌﾌｨﾙﾀｰ・ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・ﾜｲﾄﾞﾊﾟﾈﾙ・他標準付属品一式	1	1φ-200V 冷房：2.49kW 暖房：2.45kW	2	厨房	SZRK80BYV	防振吊金物(ｺﾞﾑ) 転倒防止金物 ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎既製品(再利用) 防振ｺﾞﾑﾊﾟｯﾄﾞ

機器番号	名称	仕様	台数	電気容量	階	設置場所	参考品番	備考（付属品共）
PAC-12	空冷HPﾊﾟｯｹｰｼﾞ	型式：天井ｶｾｯﾄ形(1方向)　更新対応　APF：5.1 冷暖房能力：3.6(1.7～4.0)kW/4.0(1.8～5.3)kW 圧縮機：0.65kW　FAN：(内)78W　(外)90W 液(φ)/ｶﾞｽ(φ)：6.4/12.7 付属品：化粧ﾊﾟﾈﾙ・ﾛﾝｸﾞﾗｲﾌﾌｨﾙﾀｰ・ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・ﾜｲﾄﾞﾊﾟﾈﾙ・他標準付属品一式	1	1φ-200V 冷房：0.944kW 暖房：1.06kW	2	更衣室	SZRK40BYV	防振吊金物(ｺﾞﾑ) 転倒防止金物 ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎既製品(再利用) 防振ｺﾞﾑﾊﾟｯﾄﾞ

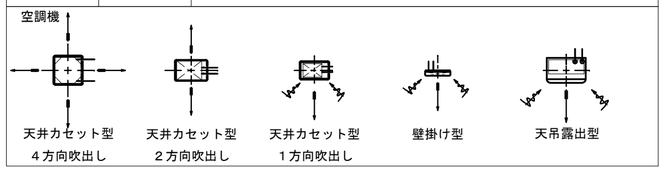
【特記事項】

1) 1次電源の供給は電気工事とする。
2) 冷暖房能力以外の使用は参考値とする。
3) 参考品番は参考型番であり、同等品以上を選定のこと
~~4) 参考品番が省エネ法改定に基づくﾄｯﾌﾟﾗﾝﾅｰ機器(経告234号)でなくても、~~
~~対象機器はﾄｯﾌﾟﾗﾝﾅｰ機器とすること。~~
5) 冷房能力、暖房能力はJIS B 8616 による.(空冷HPﾊﾟｯｹｰｼﾞ)
6) ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝの能力及び消費電力は、JIS B 8616 による
7) 冷房能力、暖房能力はJIS C 9612 による。(ﾙｰﾑｴｱｺﾝ)
8) 天井吊り高さが0.4m以上の空調室内機は振れ止め処置を講じること。
又、天井吊り高さが1.5m以上の場合は鋼製架台にて吊りﾎﾞﾙﾄを1.5m以下となるようにすること。

空調凡例

記　号	名　称	材　料・備　考
―― R ――	冷媒管	冷媒用被覆銅管(メーカー標準)
―― D ――	ドレン管	硬質塩ﾋﾞ管 VP(全て)
――●――		区画貫通用耐火キット
- - - - - - - -	ﾘﾓｺﾝ制御線	シールドケーブル (冷媒管と共巻き、LGS内はPF管で保護する。露出は、金属線ぴＡ型とする。)
RS	リモコン	ワイヤードリモコン、ワイヤレスリモコン

空調機



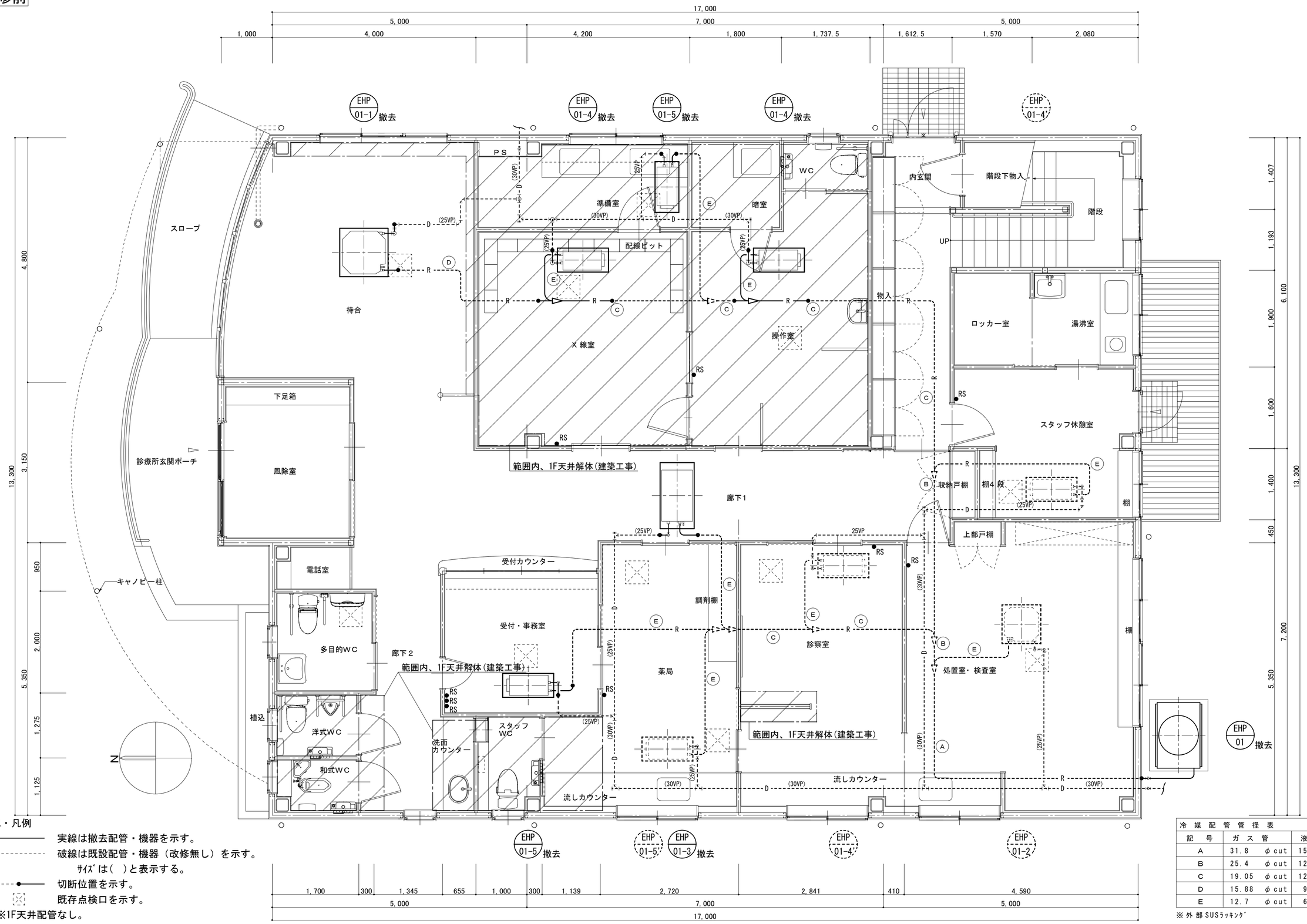
Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	空調設備＜改修後＞機器表	N.S	Drawn by 横山 純也 Checked by 青島 彰 Approved by 青島 彰 Date R07. 03. 14

青島彰一級建築士事務所
一級建築士登録　第118124号　青島 彰
一級建築士事務所登録（10）第2195号
〒426－0037 静岡県藤枝市青木3丁目14番1号 ソフィアビル3F
PHONE054－643－6118　FAX054－643－4354

訂正	
*	*

Number in set
M － 13

改修前



特記・凡例

実線は撤去配管・機器を示す。

破線は既設配管・機器（改修無し）を示す。
ｻｲｽﾞは(　)と表示する。

切断位置を示す。

既存点検口を示す。

※1F天井配管なし。

冷媒配管管径表				
記号	ガス管		液管	
A	31.8	φcut	15.88	φcut
B	25.4	φcut	12.7	φcut
C	19.05	φcut	12.7	φcut
D	15.88	φcut	9.52	φcut
E	12.7	φcut	6.35	φcut

※ 外部SUSﾗｯｷﾝｸﾞ

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale		
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	空調設備＜改修前＞１階平面図	１：５０	Drawn by 横山 純也 Checked by 青島 彰 Approved by 青島 彰 Date R07. 03. 14	

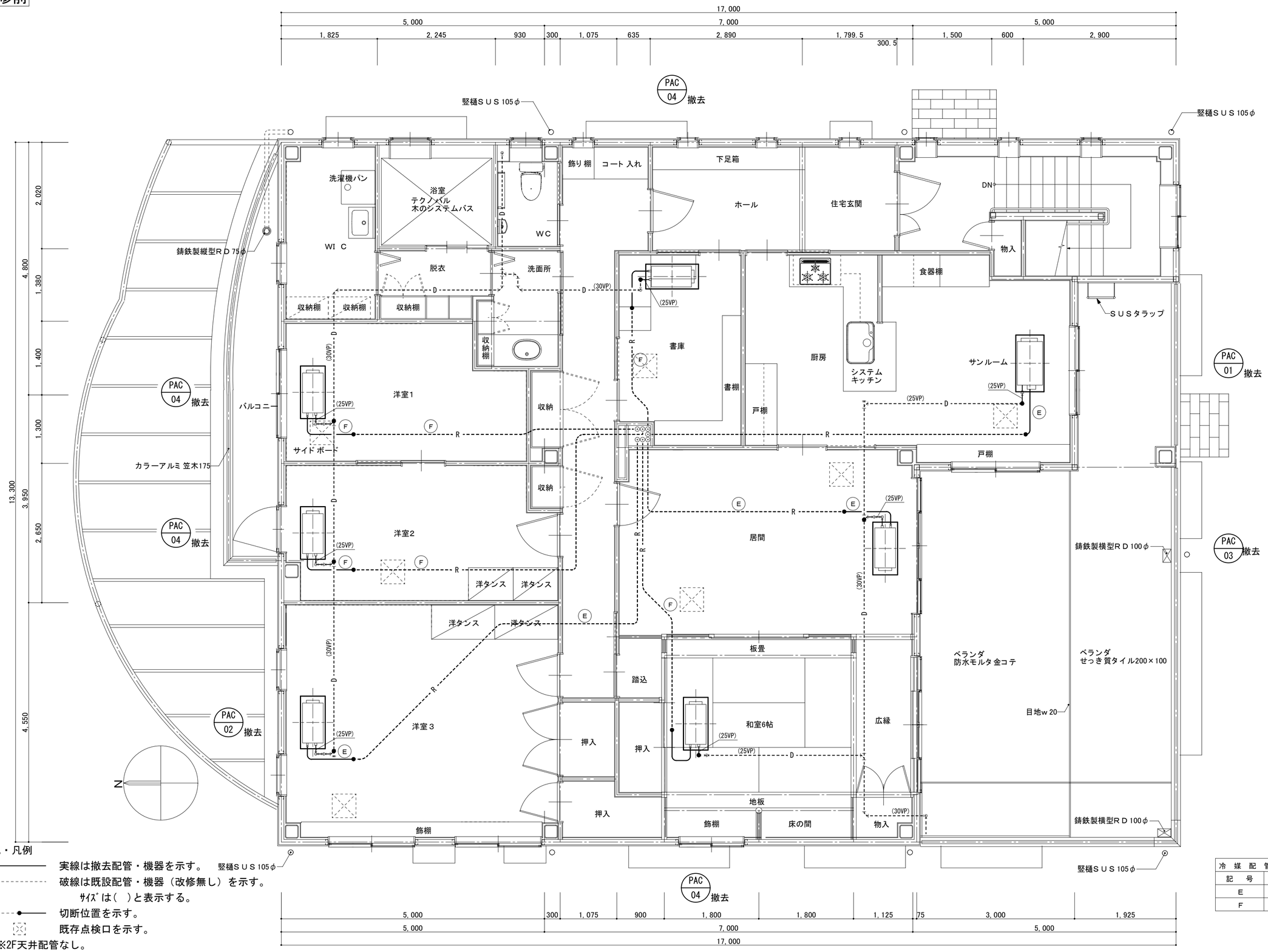
青島彰一級建築士事務所
一級建築士登録 第１１８１２４号 青島 彰
一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号
〒４２６－００３７ 静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号 ソフィアビル３Ｆ
PHONE０５４－６４３－６１１８ FAX０５４－６４３－４３５４

訂正	
*	*

Number in set

Ｍ － １４

改修前



特記・凡例

実線は撤去配管・機器を示す。

破線は既設配管・機器（改修無し）を示す。

ｻｲｽﾞは（　）と表示する。

切断位置を示す。

既存点検口を示す。

※2F天井配管なし。

冷媒配管管径表		
記号	ガス管	液管
E	12.7 φcut	6.35 φcut
F	9.52 φcut	6.35 φcut

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale		
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	空調設備＜改修前＞２階平面図	１：５０		

Drawn by	横山　純也
Checked by	青島　彰
Approved by	青島　彰
Date	R07. 03. 14

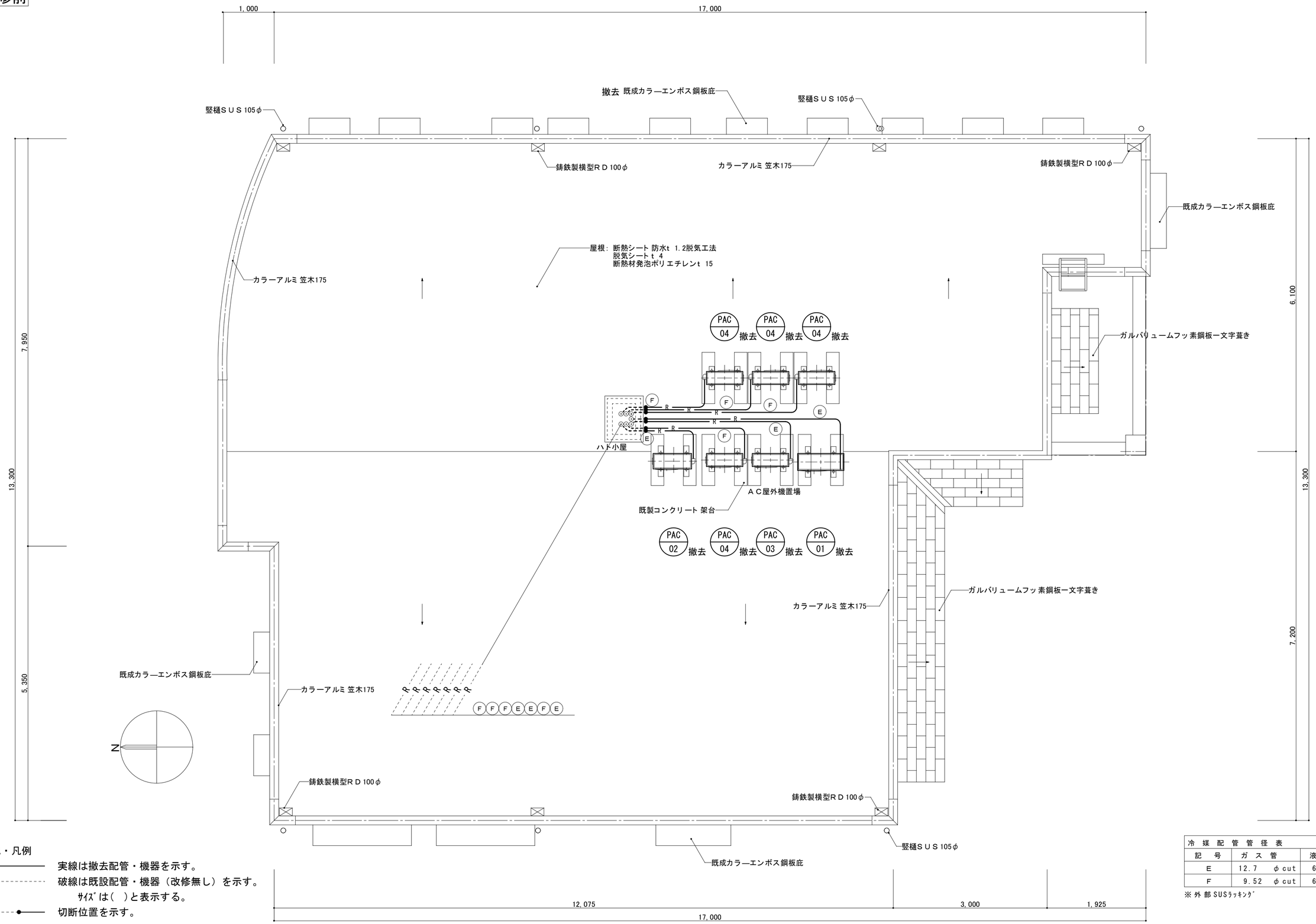
青島彰一級建築士事務所
一級建築士登録　第１１８１２４号　青島　彰
一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号
〒４２６－００３７　静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号　ソフィアビル３Ｆ
ＰＨＯＮＥ０５４－６４３－６１１８　ＦＡＸ０５４－６４３－４３５４

訂正	
*	*

Number in set

Ｍ － １５

改修前



特記・凡例

実線は撤去配管・機器を示す。

破線は既設配管・機器（改修無し）を示す。
ｻｲｽﾞは（　）と表示する。

切断位置を示す。

冷媒配管管径表		
記号	ガス管	液管
E	12.7 φcut	6.35 φcut
F	9.52 φcut	6.35 φcut

※外部SUSﾗｯｷﾝｸﾞ

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	空調設備＜改修前＞屋根伏図	1：50	

Drawn by	横山 純也
Checked by	青島 彰
Approved by	青島 彰
Date	R07. 03. 14

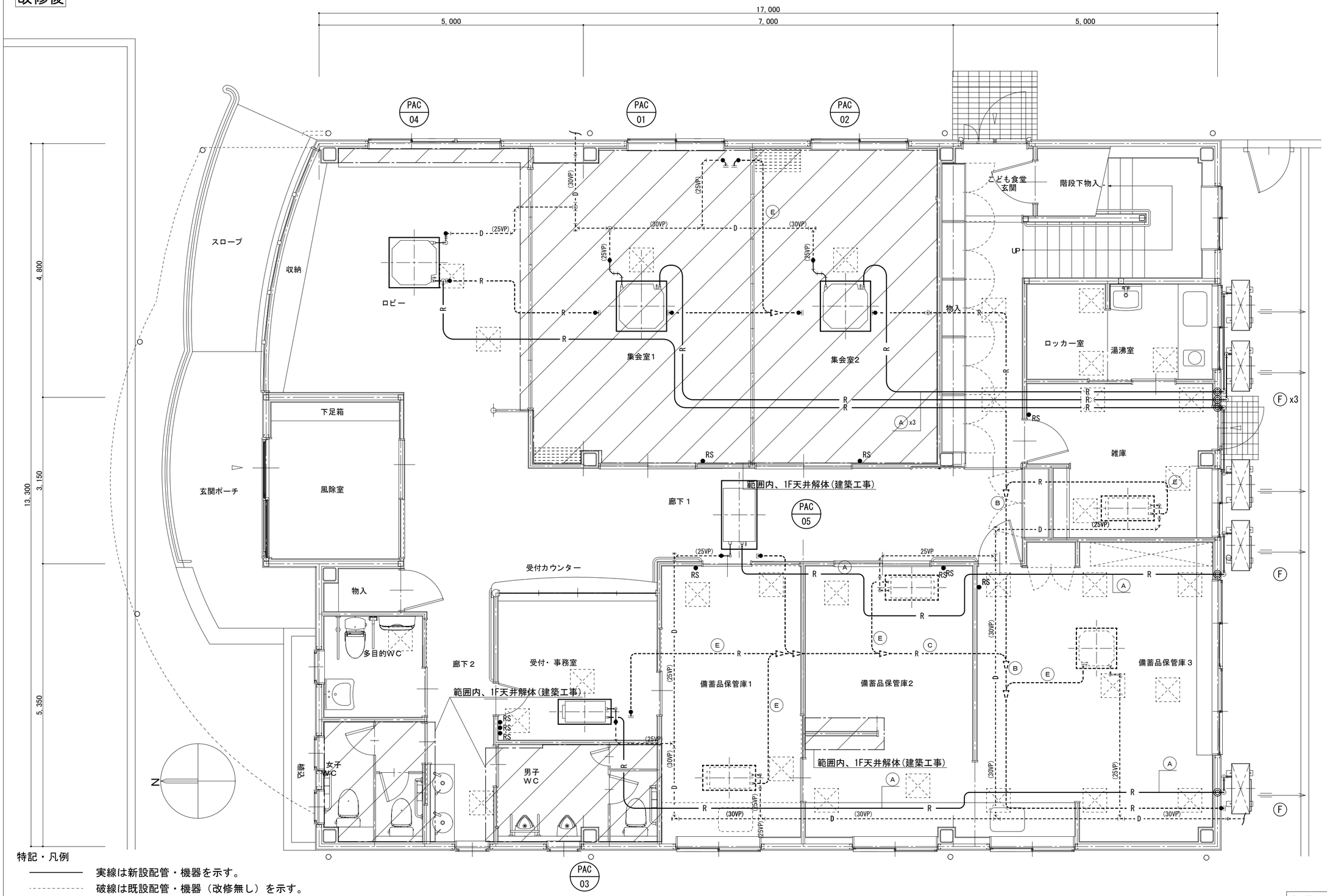
青島彰一級建築士事務所
一級建築士登録　第118124号　青島 彰
一級建築士事務所登録（10）第2195号
〒426－0037 静岡県藤枝市青木3丁目14番1号 ソフィアビル3F
PHONE054－643－6118　FAX054－643－4354

訂正	
*	*

Number in set

M － 16

改修後



機械斫り口径凡例

No	ｻｲｽﾞ	対応管径
A	350φ	300φ
B	225φ	200φ
C	200φ	150φ
D	150φ	100～75φ
E	100φ	65～50φ
F	75φ	40～20φ

○:壁貫通　◇:床貫通

特記・凡例

実線は新設配管・機器を示す。

破線は既設配管・機器（改修無し）を示す。

ｻｲｽﾞは(　)と表示する。

接続位置を示す。

冷媒管閉塞を示す。

※1F天井配管なし。

1F点検口を示す。

※1F天井配管は、天井を解体しない範囲については、1F天井点検口からの作業とする。

冷媒配管管径表		
記号	ガス管	液管
A	12.7 φcut	6.35 φcut

※外部SUSﾗｯｷﾝｸﾞ

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	空調設備＜改修後＞１階平面図	１：５０

Drawn by	横山　純也
Checked by	青島　彰
Approved by	青島　彰
Date	R07．03．14

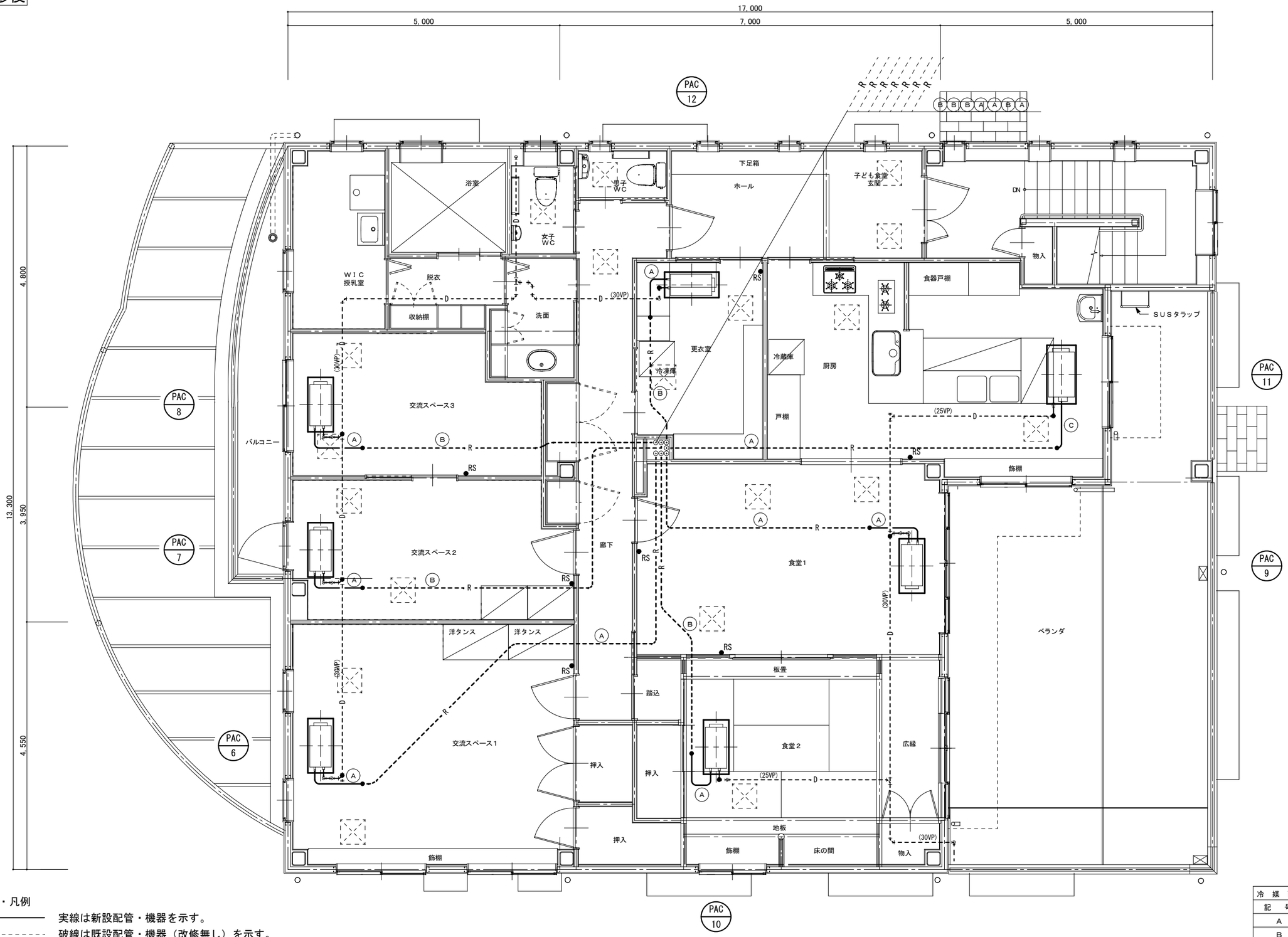
青島彰一級建築士事務所
一級建築士登録　第１１８１２４号　青島　彰
一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号
〒４２６－００３７　静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号　ソフィアビル３Ｆ
ＰＨＯＮＥ０５４－６４３－６１１８　ＦＡＸ０５４－６４３－４３５４

訂正	
*	*

Number in set

M － 17

改修後



特記・凡例

実線は新設配管・機器を示す。

破線は既設配管・機器（改修無し）を示す。

ｻｲｽﾞは（　）と表示する。

接続位置を示す。

※2F天井配管なし。

2F点検口を示す。

※2F天井配管は、天井を解体しない範囲については、2F天井点検口からの作業とする。

冷媒配管管径表		
記号	ガス管	液管
A	12.7 φcut	6.35 φcut
B	9.52 φcut	6.35 φcut
C	15.9 φcut	9.5 φcut

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	空調設備＜改修後＞２階平面図	１：５０	

Drawn by	横山　純也
Checked by	青島　彰
Approved by	青島　彰
Date	R07. 03. 14

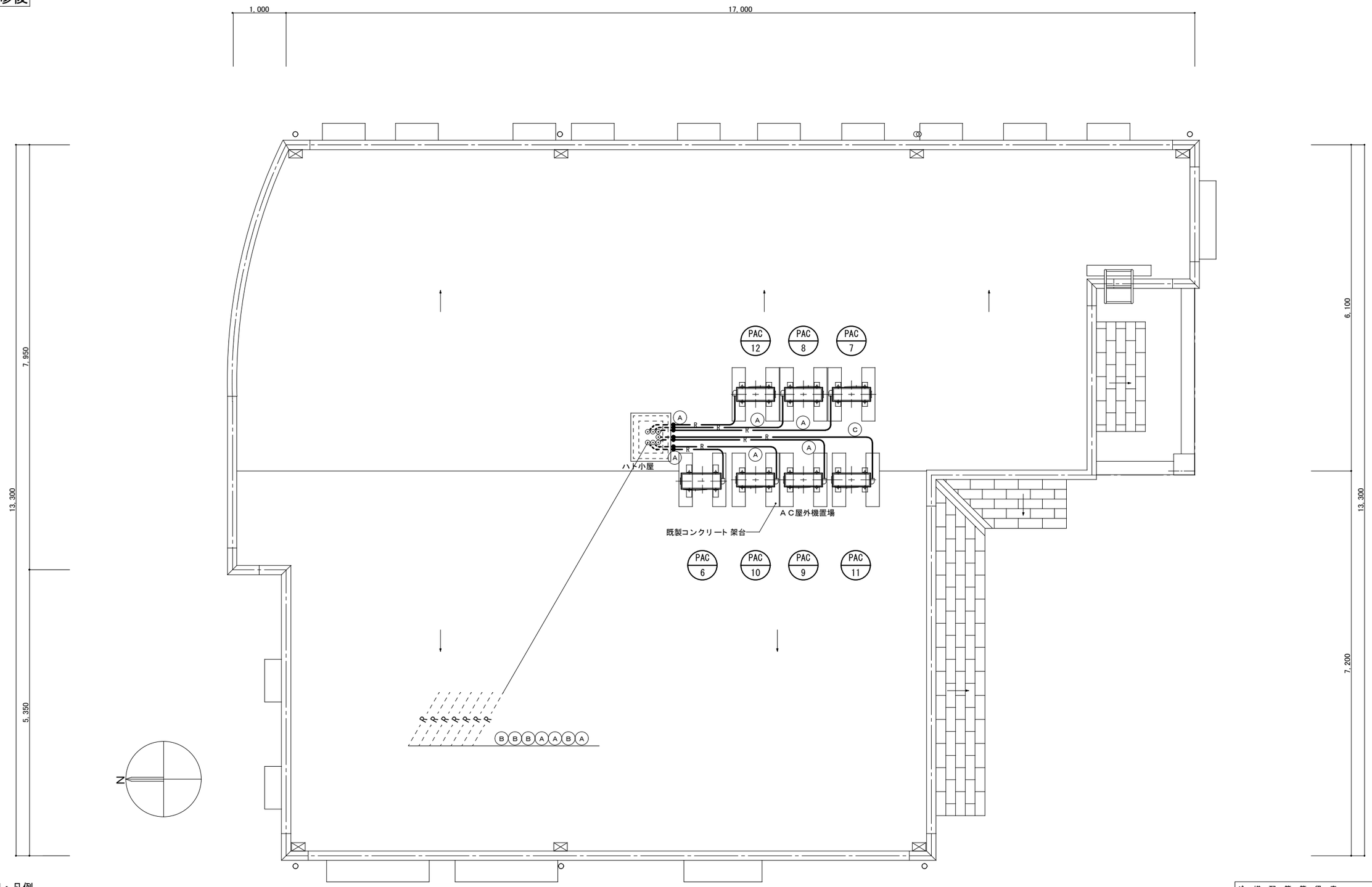
青島彰一級建築士事務所
一級建築士登録　第１１８１２４号　青島　彰
一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号
〒４２６－００３７　静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号　ソフィアビル３Ｆ
ＰＨＯＮＥ０５４－６４３－６１１８　ＦＡＸ０５４－６４３－４３５４

訂正	
*	*

Number in set

Ｍ － １８

改修後

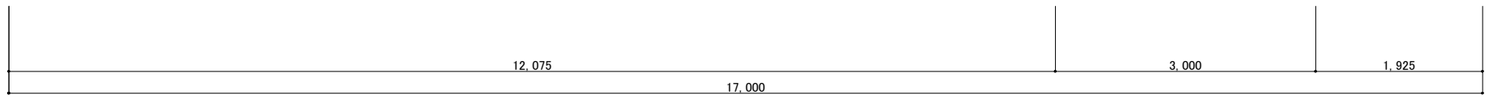


特記・凡例

実線は新設配管・機器を示す。

破線は既設配管・機器（改修無し）を示す。
ｻｲｽﾞは（　）と表示する。

接続位置を示す。



冷媒配管管径表		
記号	ガス管	液管
A	12.7 φcut	6.35 φcut
B	9.52 φcut	6.35 φcut
C	15.9 φcut	9.5 φcut

※ 外部SUSﾗｯｷﾝｸﾞ

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 横山 純也	青島彰一級建築士事務所	訂正	Number in set
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	空調設備＜改修後＞屋根伏図	1：50	Checked by 青島 彰 Approved by 青島 彰 Date R07. 03. 14	一級建築士登録 第118124号 青島 彰 一級建築士事務所登録（10）第2195号 〒426－0037 静岡県藤枝市青木3丁目14番1号 ソフィアビル3F PHONE054－643－6118 FAX054－643－4354	* *	M － 19

換気設備　機器表（改修前）

機器番号	名　　称	仕　　様	台数	電源	階	設置場所	備　　考
HEX-1 撤去	全熱交換器	型式：天吊カセット形　仕様：200φ 付属品：他標準付属品一式	1	1φ-100V	1	待合室	
F-1 撤去	ダクト用換気用	型式：低騒音形　仕様：150φ 付属品：他標準付属品一式	1	1φ-100V	1	湯沸	
F-2 撤去	ダクト用換気用	型式：低騒音形　仕様：150φ 付属品：他標準付属品一式	9	1φ-100V	1 1 1,2	Ｘ線室・準備室・操作室・薬局 診察室・処置室・検査室 スタッフ休憩室・洋室３・居間	
F-3 撤去	ダクト用換気用	型式：低騒音形　仕様：100φ 付属品：他標準付属品一式	7	1φ-100V	1 2 2	受付事務室・ロッカー室 洋室１・洋室２・和室 サンルーム・書庫	
F-4 撤去	ダクト用換気用	型式：低騒音形　仕様：150φ 付属品：他標準付属品一式	1	1φ-100V	1	多目的ＷＣ	
F-5 撤去	ダクト用換気用	型式：低騒音形　仕様：100φ 付属品：他標準付属品一式	2	1φ-100V	1	暗室・スタッフＷＣ	
F-6 撤去	ダクト用換気用	型式：低騒音形　仕様：100φ 付属品：他標準付属品一式	3	1φ-100V	1 2	洋式ＷＣ・和式ＷＣ ＷＣ	
F-7 撤去	ダクト用換気用	型式：低騒音形　仕様：100φ 付属品：他標準付属品一式	1	1φ-100V	1	ＷＣ	
F-8 （再利用）	ダクト用換気用	型式：低騒音形　仕様：150φ 付属品：他標準付属品一式	1	1φ-100V	2	ＷＩＣ	
F-9 （再利用）	ダクト用換気用	型式： 付属品：他標準付属品一式	1	1φ-100V	2	浴室	
F-10 （建築工事）	ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞﾌｧﾝ	型式： 付属品：他標準付属品一式	1	1φ-100V	2	厨房	
F-11 （再利用）	ダクト用換気用	型式：低騒音形　仕様：100φ 付属品：他標準付属品一式	1	1φ-100V	2	洗面脱衣	

２４時間換気計算書（改修後）

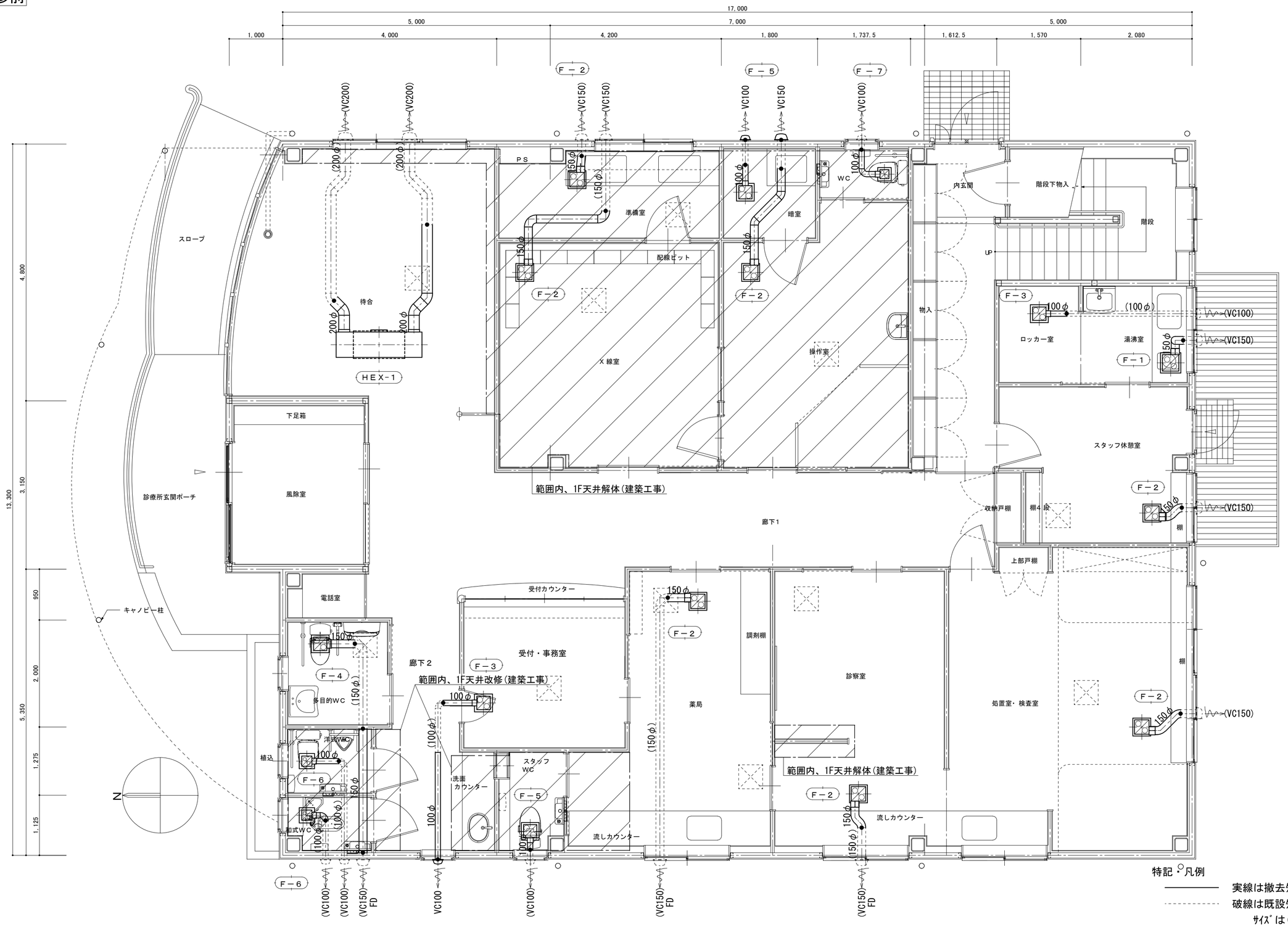
階	部屋名	床面積 m^2	天井高 m	気積 m^3	居室有無	換気方式	24h換気 換気回数 回/h	必要換気量 m^3/h	排気機器	風量	台数	合計風量
1	**集会室１**	25.62	2.60	66.6	○	第3種	0.3	20	VF-1	100	1	100
	集会室２	21.58	2.40	51.8	○	第3種	0.3	16	VF-2	80	1	80
	受付事務室	8.74	2.50	21.9	○	第3種	0.3	7	VF-3	30	1	30
	ロビー	23.20	2.70	62.6	○	第3種	0.3	19	VF-1	100	1	100
2	**交流スペース１**	24.12	2.40	57.9	○	第3種	0.3	18	VF-12	100	1	100
	交流スペース２	13.51	2.40	32.4	○	第3種	0.3	10	VF-13	30	1	30
	交流スペース３	11.77	2.40	28.2	○	第3種	0.3	9	VF-14	30	1	30
	食堂１	20.41	2.40	49.0	○	第3種	0.3	15	VF-15	80	1	80
	食堂２	14.04	2.40	33.7	○	第3種	0.3	11	VF-16	30	1	30
	厨房	23.65	2.40	56.8	○	第3種	0.3	18	VF-17	30	1	30

換気設備　機器表（改修後）

機器番号	名　　称	仕　　様	台数	電気容量・消費電力(参考)	階	設置場所	参考品番	備考(付属品共)
VF-1 24h	天井換気扇	型式：低騒音形　直結ﾀｲﾌﾟ　仕様：150φ×200m3/h×60Pa 付属品：他標準付属品一式	2	1φ-100V 40W	1	集会室１ ロビー	VD-18ZLXP14-CS	24hSW
VF-2 24h	天井換気扇	型式：低騒音形　直結ﾀｲﾌﾟ　仕様：100φ×150m3/h×60Pa 付属品：他標準付属品一式	1	1φ-100V 22.5W	1	集会室２	VD-15ZLXP14-CS	24hSW
VF-3 24h	天井換気扇	型式：低騒音形　直結ﾀｲﾌﾟ　仕様：100φ×50m3/h×60Pa 付属品：他標準付属品一式	1	1φ-100V 9.3W	1	受付事務室	VD-10ZLC14-S	24hSW
VF-4	天井換気扇	型式：低騒音形　直結ﾀｲﾌﾟ　仕様：100φ×125m3/h×60Pa 付属品：他標準付属品一式	1	1φ-100V 15.5W	1	備蓄品保管庫１	VD-15ZC14	
VF-5	天井換気扇	型式：低騒音形　直結ﾀｲﾌﾟ　仕様：100φ×150m3/h×60Pa 付属品：他標準付属品一式	1	1φ-100V 23W	1	備蓄品保管庫２	VD-15ZPC14	
VF-6	天井換気扇	型式：低騒音形　直結ﾀｲﾌﾟ　仕様：150φ×175m3/h×60Pa 付属品：他標準付属品一式	1	1φ-100V 40W	1	備蓄品保管庫３	VD-18ZLXP14-CS	
VF-7	天井換気扇	型式：低騒音形　直結ﾀｲﾌﾟ　仕様：100φ×75m3/h×60Pa 付属品：他標準付属品一式	1	1φ-100V 15.5W	1	雑庫	VD-13ZC14	
VF-8	天井換気扇	型式：低騒音形　直結ﾀｲﾌﾟ　仕様：100φ×50m3/h×60Pa 付属品：他標準付属品一式	1	1φ-100V 9.3W	1	ロッカー室	VD-10ZC14	
VF-9	天井換気扇	型式：低騒音形　直結ﾀｲﾌﾟ　仕様：100φ×125m3/h×60Pa 付属品：他標準付属品一式	1	1φ-100V 24W	1	湯沸室	VD-15ZY14	
VF-10	天井換気扇	型式：低騒音形　直結ﾀｲﾌﾟ　仕様：100φ×150m3/h×60Pa 付属品：他標準付属品一式	1	1φ-100V 23W	1	男子ＷＣ	VD-15ZPC14	
VF-11	天井換気扇	型式：低騒音形　直結ﾀｲﾌﾟ　仕様：100φ×125m3/h×60Pa 付属品：他標準付属品一式	1	1φ-100V 15.5W	1	女子ＷＣ	VD-15ZC14	
VF-12 24h	天井換気扇	型式：低騒音形　直結ﾀｲﾌﾟ　仕様：150φ×175m3/h×60Pa 付属品：他標準付属品一式	1	1φ-100V 40W	2	交流スペース１	VD-18ZLXP14-CS	24hSW
VF-13 24h	天井換気扇	型式：低騒音形　直結ﾀｲﾌﾟ　仕様：100φ×100m3/h×60Pa 付属品：他標準付属品一式	1	1φ-100V 14W	2	交流スペース２	VD-15ZLX14-CS	24hSW
VF-14 24h	天井換気扇	型式：低騒音形　直結ﾀｲﾌﾟ　仕様：100φ×100m3/h×60Pa 付属品：他標準付属品一式	1	1φ-100V 14W	2	交流スペース３	VD-15ZLX14-CS	24hSW
VF-15 24h	天井換気扇	型式：低騒音形　直結ﾀｲﾌﾟ　仕様：100φ×150m3/h×60Pa 付属品：他標準付属品一式	1	1φ-100V 22.5W	2	食堂１	VD-15ZLXP14-CS	24hSW
VF-16 24h	天井換気扇	型式：低騒音形　直結ﾀｲﾌﾟ　仕様：100φ×100m3/h×60Pa 付属品：他標準付属品一式	1	1φ-100V 14W	2	食堂２	VD-15ZLX14-CS	24hSW
VF-17 24h	天井換気扇	型式：低騒音形　直結ﾀｲﾌﾟ　仕様：100φ×100m3/h×60Pa 付属品：他標準付属品一式	1	1φ-100V 14W	2	厨房	VD-15ZLX14-CS	24hSW
VF-18	天井換気扇	型式：低騒音形　直結ﾀｲﾌﾟ　仕様：100φ×75m3/h×60Pa 付属品：他標準付属品一式	1	1φ-100V 15.5W	2	更衣室	VD-13ZC14	
VF-19	パイプファン	型式：低騒音形　直結ﾀｲﾌﾟ　仕様：100φ×50m3/h×10Pa 付属品：他標準付属品一式	1	1φ-100V 4.6W	2	男子ＷＣ	V-08PS8	
VF-20	天井換気扇	型式：低騒音形　直結ﾀｲﾌﾟ　仕様：100φ×75m3/h×60Pa 付属品：他標準付属品一式	1	1φ-100V 15.5W	2	女子ＷＣ	VD-13ZC14	
VF-21	天井換気扇	型式：低騒音形　直結ﾀｲﾌﾟ　仕様：100φ×125m3/h×60Pa 付属品：他標準付属品一式	1	1φ-100V 15.5W	1	多目的ＷＣ	VD-15ZC14	

【特記事項】
1) 機器静圧は施工条件に合わせて再度検討すること。
2) 電気容量のW数は参考値とする。
3) FD付VC・WCは平面図にて確認すること。
4) VC等外部に設置するものは、仕様、場所等、
再度関係者と打ち合わせの上決定すること
5) 参考品番が省エネ法改定に基づくﾄｯﾌﾟﾗﾝﾅｰ機器(経告234号)でなくても、
対象機器はﾄｯﾌﾟﾗﾝﾅｰ機器とすること。
6) 各ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁは電気に支給、配線配管は電気工事とする。
7) 天井吊り高さが0.4m以上の空調室内機は振れ止め処置を講じること。
又、天井吊り高さが1.5m以上の場合は鋼製架台にて吊りﾎﾞﾙﾄを1.5m以下となるようにすること。
8) 機械換気設備の消費電力は、JIS C9603で規定された値とする。

改修前



特記・凡例

実線は撤去ﾀﾞｸﾄ・機器を示す。

破線は既設ﾀﾞｸﾄ・機器（改修無し）を示す。
ｻｲｽﾞは（　）と表示する。

切断位置を示す。

既存点検口を示す。

※1F天井配管なし。

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale		
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	換気設備＜改修前＞１階平面図	１：５０	Drawn by 横山 純也 Checked by 青島 彰 Approved by 青島 彰 Date R07. 03. 14	

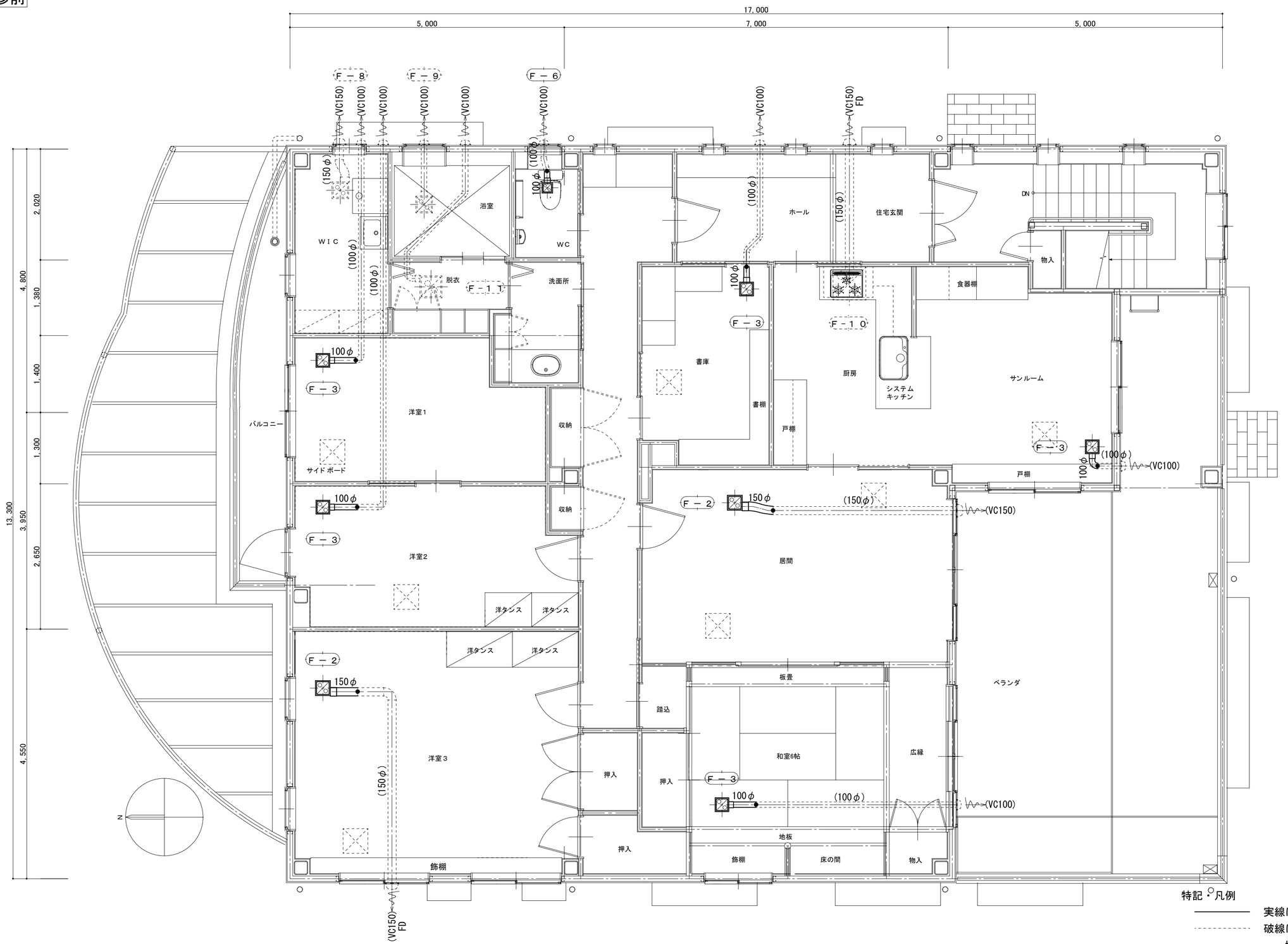
青島彰一級建築士事務所
一級建築士登録　第１１８１２４号　青島 彰
一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号
〒４２６－００３７　静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号　ソフィアビル３Ｆ
ＰＨＯＮＥ０５４－６４３－６１１８　ＦＡＸ０５４－６４３－４３５４

訂正	
*	*

Number in set

Ｍ － ２１

改修前



特記・凡例

実線は撤去ﾀﾞｸﾄ・機器を示す。

破線は既設ﾀﾞｸﾄ・機器（改修無し）を示す。
ｻｲｽﾞは（　）と表示する。

切断位置を示す。

既存点検口を示す。

※2F天井配管なし。

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale			
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	換気設備＜改修前＞２階平面図	１：５０	Drawn by 横山 純也 Checked by 青島 彰 Approved by 青島 彰 Date R07. 03. 14		

青島彰一級建築士事務所
一級建築士登録　第１１８１２４号　青島 彰
一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号
〒４２６－００３７　静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号　ソフィアビル３Ｆ
ＰＨＯＮＥ０５４－６４３－６１１８　ＦＡＸ０５４－６４３－４３５４

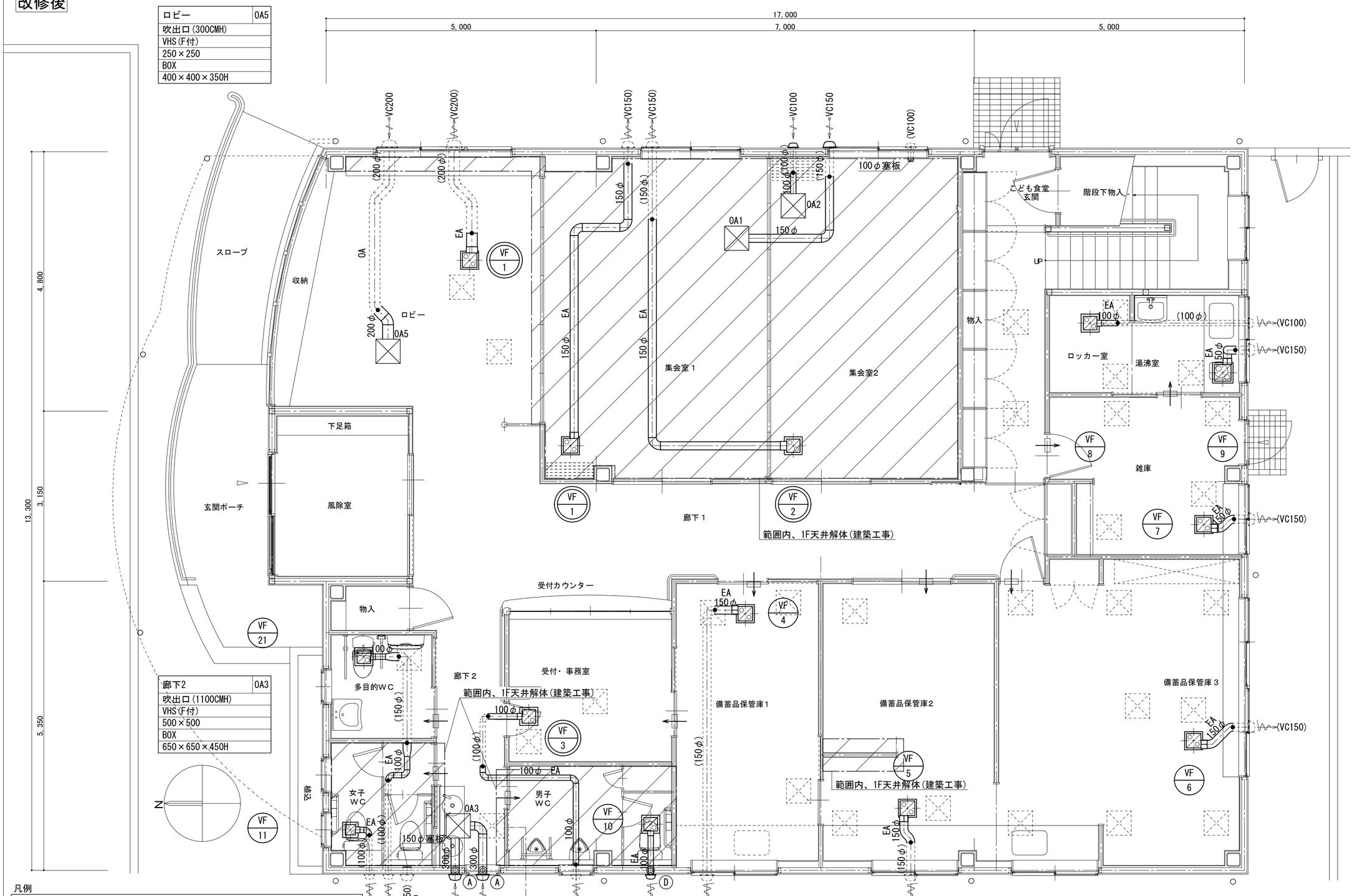
訂正	
*	*

Number in set

Ｍ － ２２

改修後

ロビー	OA5
吹出口(300CMH)	
VHS(F付)	
250×250	
BOX	
400×400×350H	



機械斫り口径凡例

No	ｻｲｽﾞ	対応管径
A	350φ	300φ
B	225φ	200φ
C	200φ	150φ
D	150φ	100～75φ
E	100φ	65～50φ
F	75φ	40～20φ

○:壁貫通　◇:床貫通

集会室1	OA1
吹出口(175CMH)	
VHS(F付)	
200×200	
BOX	
350×350×350H	

集会室2	OA2
吹出口(150CMH)	
VHS(F付)	
200×200	
BOX	
350×350×350H	

凡例

**/* ：24時間換気対応機種を示す

：給気経路（ドアガラリ、アンダーカット、引戸すき間等）を示す

：給気口　樹脂製 3ﾉｯｸﾀｲﾌﾟ ﾌｨﾙﾀｰ付を示す

特記・凡例

実線は新設ﾀﾞｸﾄ・機器を示す。

破線は既設ﾀﾞｸﾄ・機器（改修無し）を示す。

ｻｲｽﾞは（　）と表示する。

接続位置を示す。

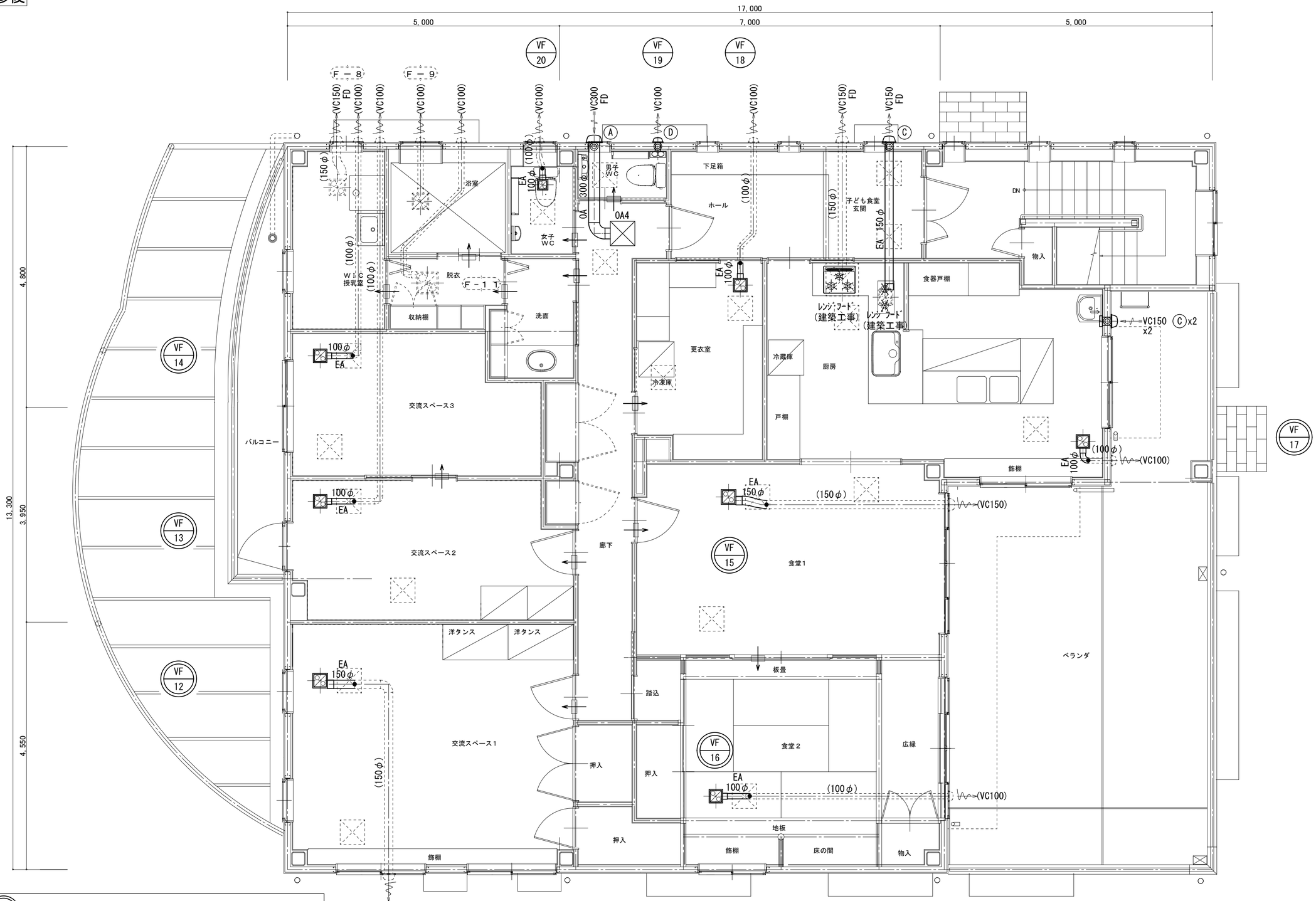
※1F天井配管なし。

1F点検口を示す。

※1F天井ダクトは、天井を解体しない範囲については、1F天井点検口からの作業とする。

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 横山 純也	青島彰一級建築士事務所	訂正	Number in set
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	換気設備＜改修後＞１階平面図	1：50	Checked by 青島 彰	一級建築士登録 第118124号 青島 彰	* *	M － 23
				Approved by 青島 彰	一級建築士事務所登録（10）第2195号		
				Date R07. 03. 14	〒426－0037 静岡県藤枝市青木3丁目14番1号 ソフィアビル3F		
					PHONE054－643－6118 FAX054－643－4354		

改修後



機械斫り口径凡例

No	ｻｲｽﾞ	対応管径
A	350φ	300φ
B	225φ	200φ
C	200φ	150φ
D	150φ	100～75φ
E	100φ	65～50φ
F	75φ	40～20φ

○:壁貫通　◇:床貫通

廊下	OA4
吹出口(750CMH)	
VHS(F付)	
400×400	
BOX	
550×550×450H	

凡例

- **/* : 24時間換気対応機種を示す
- : 給気経路（ドアガラリ、アンダーカット、引戸すき間等）を示す
- : 給気口　樹脂製 3ﾉｯｸﾀｲﾌﾟ ﾌｨﾙﾀｰ付を示す

特記・凡例

- 実線は新設ﾀﾞｸﾄ・機器を示す。
- 破線は既設ﾀﾞｸﾄ・機器（改修無し）を示す。
  ｻｲｽﾞは(　)と表示する。
- 接続位置を示す。

※2F天井配管なし。

2F点検口を示す。
※2F天井ダクトは、天井を解体しない範囲については、2F天井点検口からの作業とする。

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 横山 純也	青島彰一級建築士事務所	訂正	Number in set
	高洲地区コミュニティ施設改修工事	換気設備＜改修後＞２階平面図	１：５０	Checked by 青島 彰 Approved by 青島 彰 Date R07. 03. 14	一級建築士登録 第１１８１２４号 青島 彰 一級建築士事務所登録（１０）第２１９５号 〒４２６－００３７ 静岡県藤枝市青木３丁目１４番１号 ソフィアビル３Ｆ PHONE０５４－６４３－６１１８ FAX０５４－６４３－４３５４	* / *	Ｍ － ２４